

令和6年度
環境問題に関する事業所意識
アンケート報告書
【詳細版】

令和7年2月
群馬県

目次

1 調査の概要.....	1
①調査の目的.....	1
②調査の方法.....	1
③回収状況.....	1
④調査項目概要.....	2
⑤報告書の見方.....	3
2 回答者属性.....	4
3 調査結果.....	7
3-1 調査項目別要旨.....	7
3-2 取組.....	11
3-2-1 環境保全に対する取組.....	11
3-2-2 その他の取組.....	28
3-3 環境保全のための体制.....	88
3-3-1 環境保全担当部署の設置.....	88
3-3-2 環境方針や環境保全ガイドライン策定.....	92
3-3-3 取引先からの環境に関する取組の要求.....	95
3-3-4 環境保全に関する社員教育.....	96
3-3-5 環境保全活動の経費の増減状況.....	98
3-3-6 環境保全活動を実施して得られているメリット.....	100
3-3-7 実施している環境保全活動に関して消費者等にPRしたいこと.....	102
3-3-8 環境保全活動に関する社外団体や地域社会への協力.....	104
3-4 環境保全に対する考え方.....	107
3-4-1 環境保全に対する企業の役割.....	107
3-5 行政への要望.....	115
主な意見の抜粋(業種).....	115
情報提供・指導・啓発.....	115
補助金や人的な支援.....	115
ルール・制度の見直し・簡素化・効率化.....	115
事務・事業の強化.....	116
研究・開発の推進.....	116
その他.....	116
4 調査票.....	117

1 調査の概要

①調査の目的

令和3年3月に策定した「群馬県環境基本計画 2021-2030」に基づいて、良好な環境の保全と創造を図るための総合的な環境保全対策を実施していますが、この計画について内容の充実を図るため中間見直しを実施します。

本計画の推進には、事業者の参加が重要であり、事業者の意見を計画に反映させるため、環境問題に関する事業者の意識について、アンケート調査を行い見直しの基礎資料とします。

②調査の方法

(1) 調査対象

群馬県内に営業基盤を置く事業所 (1,009 事業所)

(2) サンプルング方法

一般財団法人 群馬県経済研究所の「2024 群馬県会社要覧」(R6年2月発行)に掲載されている全ての会社(1,009社)を抽出した。

(3) 調査方法

郵送配布、郵送回収及びWEB回収(督促状送付1回)

(4) 調査期間

令和6年9月12日(木)～10月4日(金)

③回収状況

有効回収数：625 (回収率：61.9%)

④調査項目概要

質問項目		ねらい
【事業所の概要】		
業種、主たる事業形態、本社所在地、従業員数、アンケート送付先内の従業員数、年間売上高・出荷額		
【取組】		
問6	(1)事業所での廃棄物のリサイクル (2)自社取扱商品・容器などの回収やリサイクル (3)ゼロエミッションへの対応 (4)太陽熱や太陽光の利用 (5)廃熱や温排水の有効利用 (6)物流システムの効率化や輸送面での省エネルギー化	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題への取組状況を把握し、その経年推移を比較・検討する。 ・今後、どのような企業にどのような対策を講じるよう指導していくのかを検討するための材料として活用する。
問7	環境保全の取組の実施状況 A. 大気環境保全 B. 水・土壌環境保全 C. 騒音・振動・悪臭 D. 廃棄物の減量・リサイクル E. カーボンニュートラル F. 地球環境保全 G. 自然環境の保全 H. 活動その他	
【環境保全のための体制】		
問8	環境保全担当部署の設置状況とその活動内容 (1)環境問題を専門に担当する部署の設置 (2)設置年、活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者が今後一層、環境保全対策に取り組んでいくための体制・条件の検討材料とする。
問9	環境方針や環境保全ガイドラインの策定状況、策定の有無、策定年	
問10	取引先からの環境に関する取組の要求	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の環境保全に関する活動状況を把握し、支援策などの検討材料とする。
問11	環境保全に関する社員教	
問12	環境保全に関する経費の増減状況	
問13	環境保全活動を実施して得られるメリット	
問14	環境保全活動で消費者などにPRしたいこと A. 事業所の内部での活動 B. 消費者や取引先等に対する活動	
問15	環境保全活動に関する社外団体や地域社会への協力 (1)協力の度合い (2)協力している活動の内容	

【環境保全に対する考え方】		
問 16	環境保全に対する企業の役割	・ 環境保全に対する事業者の意識や価値観を把握し、その経年推移を比較検討する。
【行政への要望】		
問 17	行政に望む対応	・ 行政の対応策の検討課題として活用する。

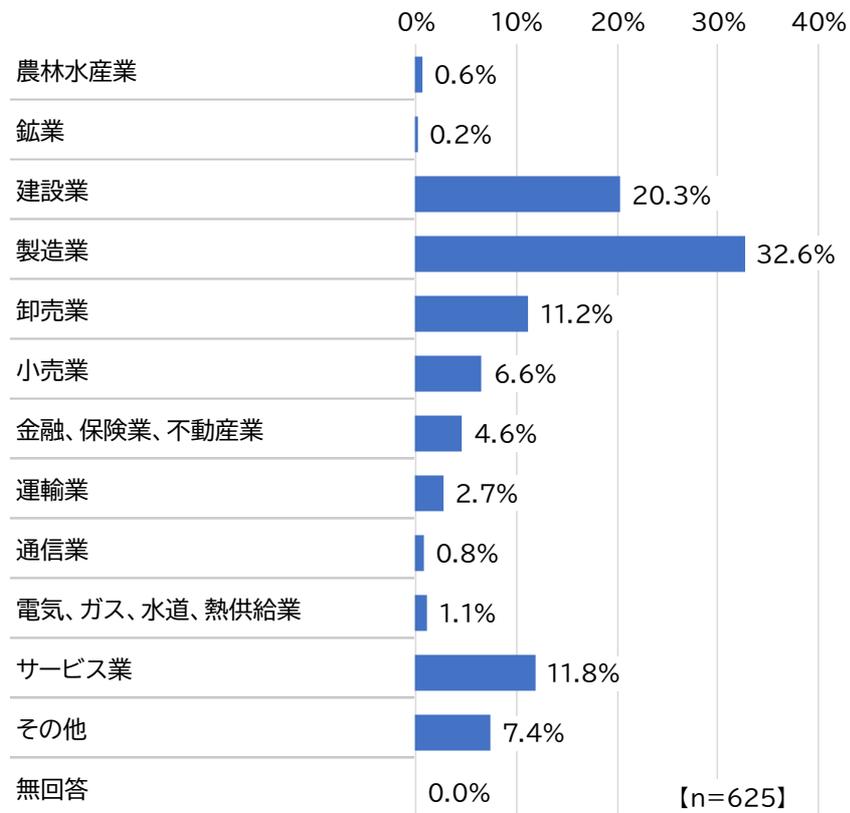
経年変化による比較は、平成 17、22、27、30 年度と行い、平成 18 年度以降に追加された設問については、その年度との比較を行う。

⑤報告書の見方

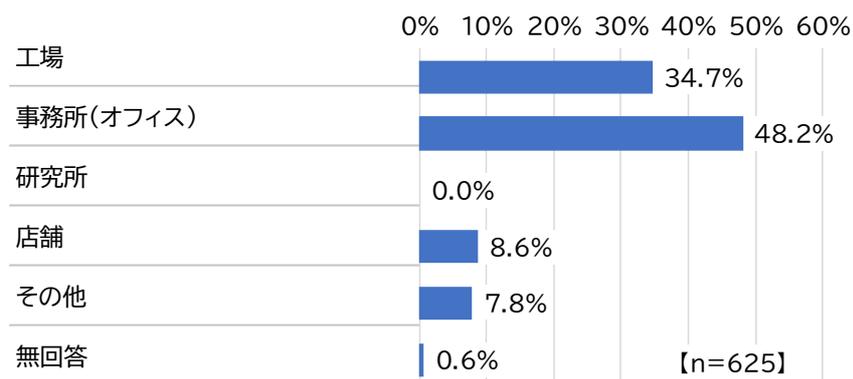
- 1 単数回答の設問における各選択肢の回答割合（比率）は、非該当者を除いた回答者数（「n」で表す当該設問での該当者数）を基数とした百分率（%）で示しています。各数値は、小数点以下第二位を四捨五入して算出しているため、比率の合計は 100%にならない場合があります。
- 2 複数回答の設問における各選択肢の回答割合（比率）は、非該当者を除いた回答者数（「n」で表す当該設問での該当者数）を基数とした百分率（%）で示しています。したがって、比率の合計値は 100%以上となります。
- 3 図や表、本文では、選択肢の一部や数値の一部を省略している場合があります。また、「」（一重かっこ）は 1 項目を示し、『』（二重かっこ）は複数項目をまとめた項目となっています。
- 4 クロス集計、経年推移では、差があるものにコメントしています。また、回答数の少ない間はコメントを省いています。

2 回答者属性

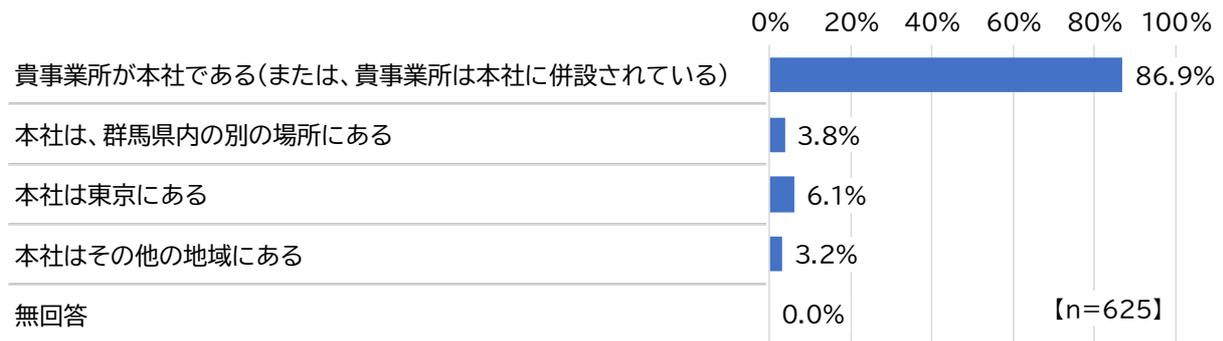
(1) 業種（兼業の場合は、売上の最も多いもの）



(2) 主たる事業形態

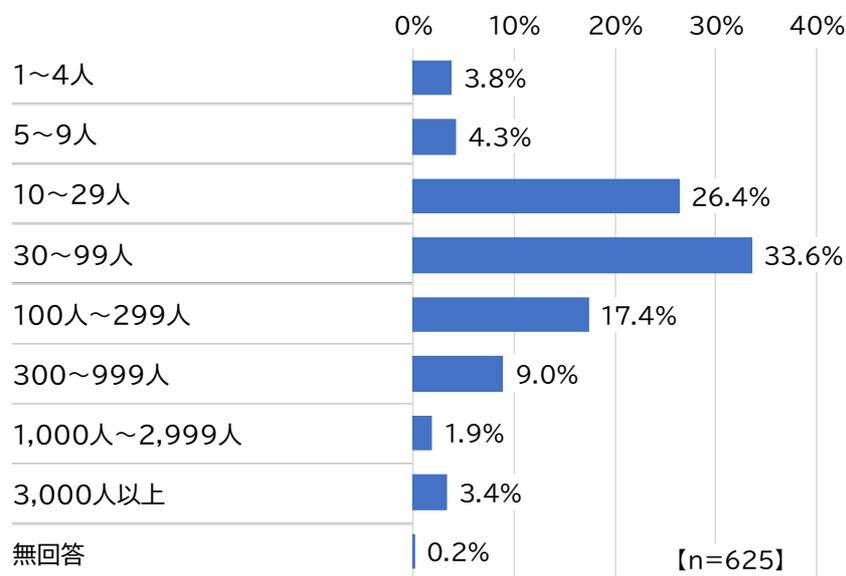


(3) 本社所在地

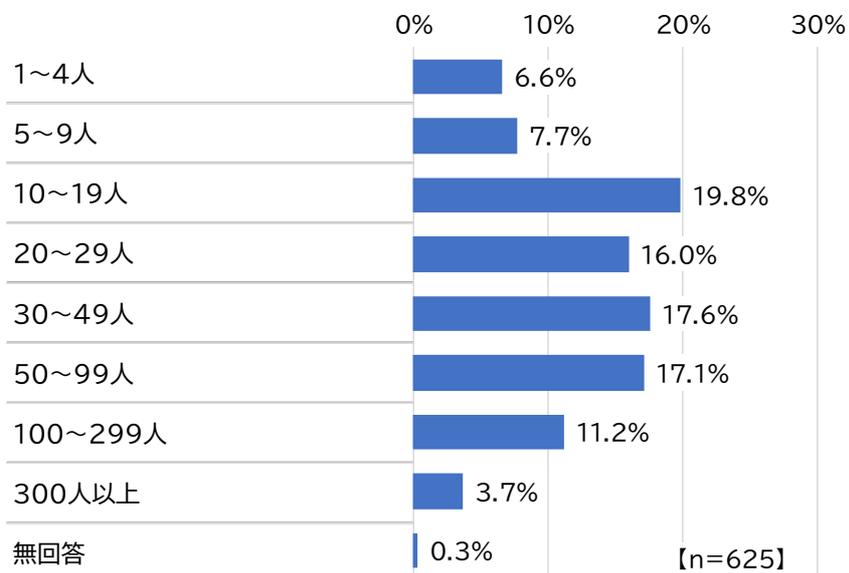


(4) 従業員数（常勤および長期のアルバイト、パートタイマーを含む）

【①貴社の他事業所を含めた全体の従業員数】

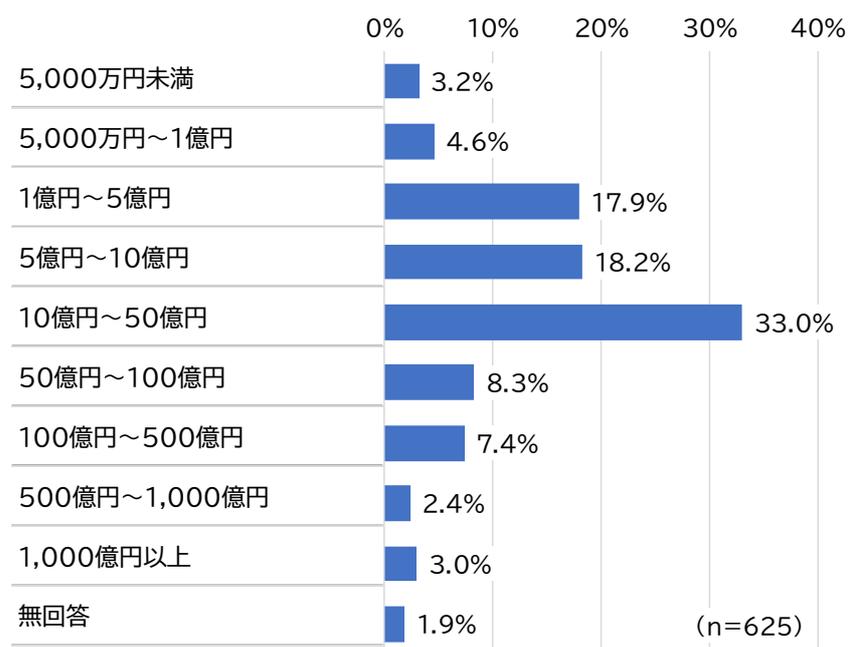


【②本アンケートが送られた事業所だけの従業員数】



2 回答者属性

(5) 年間売上高・出荷額



3 調査結果

3-1 調査項目別要旨

I 取組

環境保全の取組の実施

●事業所での廃棄物のリサイクル

事業所での廃棄物のリサイクルについては、「概ね実施している」が55.0%、「一部実施している」が36.5%、「検討中・行っていない」が7.9%となっており、「概ね実施している」「一部実施している」を合わせた『実施している』（以下同様）は、91.5%となっています。

●自社取扱商品・容器などの回収やリサイクル

自社取扱商品・容器などの回収やリサイクルについては、「概ね実施している」が38.7%、「一部実施している」が25.6%、「検討中・行っていない」が33.8%となっており、『実施している』は、64.3%となっています。

●ゼロエミッション※への対応

ゼロエミッションへの対応については、「概ね実施している」が15.8%、「一部実施している」が24.6%、「検討中・行っていない」が58.1%となっており、『実施している』は、40.4%となっています。

●太陽熱や太陽光の利用

太陽熱や太陽光の利用については、「概ね実施している」が14.6%、「一部実施している」が18.4%、「検討中・行っていない」が66.2%となっており、『実施している』は、33.0%となっています。

●廃熱や温排水の有効利用

廃熱や温排水の有効利用については、「概ね実施している」が2.7%、「一部実施している」が5.0%、「検討中・行っていない」が91.4%となっており、『実施している』は、7.7%となっています。

●物流システムの効率化や輸送面での省エネルギー化

物流システムの効率化や輸送面での省エネルギー化については、「概ね実施している」が10.4%、「一部実施している」が25.1%、「検討中・行っていない」が63.4%となっており、『実施している』は、35.5%となっています。

●環境に関するCSR活動

環境に関するCSR活動については、「概ね実施している」が17.1%、「一部実施している」が28.5%、「検討中・行っていない」が52.3%となっており、『実施している』は、45.6%となっています。

※ゼロエミッションとは、国連大学が提唱するもので「ある企業の生産活動に伴う廃棄物を他の企業の原料とすることで、全体として廃棄物をゼロにする」という考え方

環境保全の取組

●大気環境保全に対する各取組

大気環境保全に対する各取組について、「既に実施している」は、「③停車時のアイドリングを控えるように指導」が 39.8%と最も多く、次いで「②低公害車の導入の推進」が 36.8%となっています。

●水・土壌環境保全

水・土壌環境保全について、「既に実施している」は、「⑥土壌・地下水汚染を防止するための有害物質の適正な管理」が 26.2%と最も多く、次いで「⑤節水器具の設置」が 14.6%、「③用水量の把握と削減目標の設定」が 13.6%となっています。

●騒音・振動・悪臭

騒音・振動・悪臭について、「既に実施している」は、「②低騒音・振動型の機器・機材の導入」が 23.5%と最も多く、次いで「①防音壁や防音ダクトなどの設備の配置」が 21.1%となっています。

●廃棄物の減量・リサイクル

廃棄物の減量・リサイクルについて、「既に実施している」は、「①空き瓶・空き缶、古紙等の分別排出の実施」が 90.2%と最も多く、次いで「②資料等の作成枚数の最少化、両面コピーを指導」が 83.0%となっています。

●カーボンニュートラル

カーボンニュートラルについて、「既に実施している」は、「②不必要時には、電灯を消し、OA 機器の電源を切る」が 86.6%と最も多く、次いで「①事業所内の冷暖房温度の適切な管理」が 78.4%、「③省エネ型の機器の導入」が 64.3%となっています。

●地球環境保全

地球環境保全について、「既に実施している」は、「②フロン使用の機器等の処分時には、フロンを回収する」が 47.4%と最も多く、次いで「③フロン使用の機器等の簡易点検や定期点検を実施し、記録保存する」が 34.4%となっています。

●自然環境の保全

自然環境の保全について、「既に実施している」は、「⑥社会貢献活動として生物多様性の保全の取組の実施や支援」が 8.2%と最も多くなっています。

●活動その他

活動その他について、「既に実施している」は、「①美化活動、森林整備、環境イベント等、地域の環境保全活動参加」が 39.4%と最も多く、次いで「⑥国際規格 ISO14001、エコアクション 21、環境 GS の認証取得」が 38.1%となっています。

II 環境保全のための体制

専門部署の設置

専門部署の設置については、「当事業所に設置している」が14.9%、「当事業所には設置していないが、本社など会社組織の中には設置している」が5.3%、「当事業所にも、本社など会社組織にもないが、今後設置する予定はある」が6.4%、「当事業所にも、本社など会社組織にもなく、今のところ設置する予定もない」が69.1%となっており、「当事業所に設置している」「当事業所には設置していないが、本社など会社組織の中には設置している」を合わせた『設置している』は、20.2%となっています。

また、活動内容については、「環境関連法規制の把握と対応」が76.2%と最も多く、次いで「廃棄物の処理や処理状況の確認」が71.4%となっています。

環境方針や環境保全ガイドラインなどの策定

環境方針や環境保全ガイドラインなどの策定については、「当事業所として策定している」が21.8%、「当事業所としては策定していないが、会社全体としては定めている」が8.3%、「まだ策定していないが、今後策定する予定はある」が13.3%、「今のところ策定する予定はない」が55.0%となっています。

取引先から求められている環境に関する取組

取引先から求められている環境に関する取組については、「取引先の示した基準や指針に基づく取組を求められている」が17.6%、「環境への取組をアンケートなどで問われたことがある」が14.1%、「国際規格ISO14001の認証取得を求められている」が12.6%となっています。一方、「特に求められたことはない」が60.6%となっています。

実施している環境保全に関する社員教育

実施している環境保全に関する社員教育については、「特に研修制度は設けていないが省資源やリサイクルについて社員に呼びかけている」が35.8%と最も多くなっています。一方、「特に環境保全に関する社員教育は行っていない」が37.8%となっています。

環境保全活動の経費の増減

環境保全活動の経費の増減については、「環境保全活動の経費は、ほとんど増減していない」が26.4%と最も多く、次いで「年々、環境保全活動の経費は、少しずつ増加している」が25.1%となっています。

環境保全活動を実施して、得られているメリット

環境保全活動を実施して、得られているメリットについては、「社員の環境保全に対する意識を高められた」が33.1%と最も多く、次いで「地域や顧客からの信頼を得られた」が27.4%となっています。一方、「環境保全活動は実施していない」が26.2%となっています。

実施している環境保全活動で、消費者や取引先などにPRしたいもの

●事業所の内部での活動（事業所内でのリサイクルや、省エネなど）

事業所の内部での活動については、「事業所での廃棄物のリサイクル」が36.6%と最も多く、次いで「再生紙など再生利用製品の積極的利用」が23.4%、「太陽熱の利用や、太陽光発電など、自然エネルギーの利用」が21.3%となっています。

●消費者や取引先などに対する活動

消費者や取引先などに対する活動については、「地域の環境保全活動への参加」が21.0%と最も多く、次いで「自社取扱商品・容器などの回収やリサイクル」が15.5%、「簡易包装など、包装材

廃棄物の減量化」が14.4%となっています。

環境保全活動に関する社外の団体や地域社会への協力

環境保全活動に関する社外の団体や地域社会への協力については、「積極的に協力している」「多少は協力している」を合わせた『協力している』は、48.7%となっています。一方、「あまり協力していない」「まったく協力していない」を合わせた『協力していない』は、34.1%となっています。

また、協力している内容については、「ごみ拾いなどの地域美化活動」が79.9%と最も多く、次いで「植林や下草刈りなどの森林保全活動」が29.9%、「道に花や木を植えるなどの緑化活動」が22.4%となっています。

Ⅲ 環境保全に対する考え方

環境保全に対する企業の役割

環境保全に対する企業の役割については、「非常に重要である」「重要である」を合わせた『重要である』では、「①事業活動に伴う環境への負荷（排ガスや排水、廃棄物など）をできるだけ少なくする」が92.5%と最も多く、次いで「⑥企業も一市民として地域の環境保全活動へ参加、協力する」が87.5%、「⑦国や地方自治体の環境保全施策に協力する」が87.2%となっています。

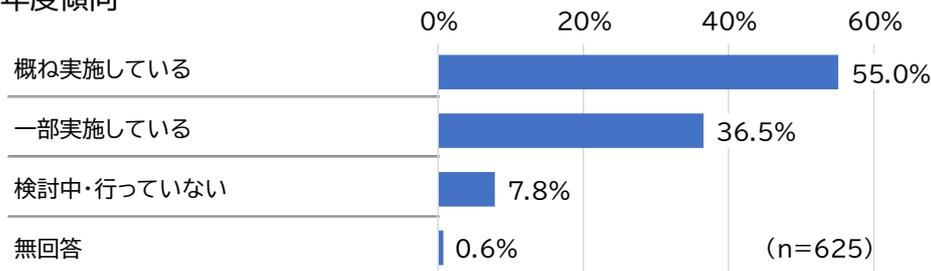
3-2 取組

3-2-1 環境保全に対する取組

問6 貴事業所では、どのような環境保全の取組を実施していますか。次の(1)から(7)までの取組について、それぞれ、あてはまる番号を1つだけ選び○をつけてください。さらに、「概ね実施している」、「一部実施している」に○をした場合は、その際の問題点を、「検討中・行っていない」に○をした場合は、その理由に○をつけてください。

(1) 事業所出る廃棄物のリサイクル

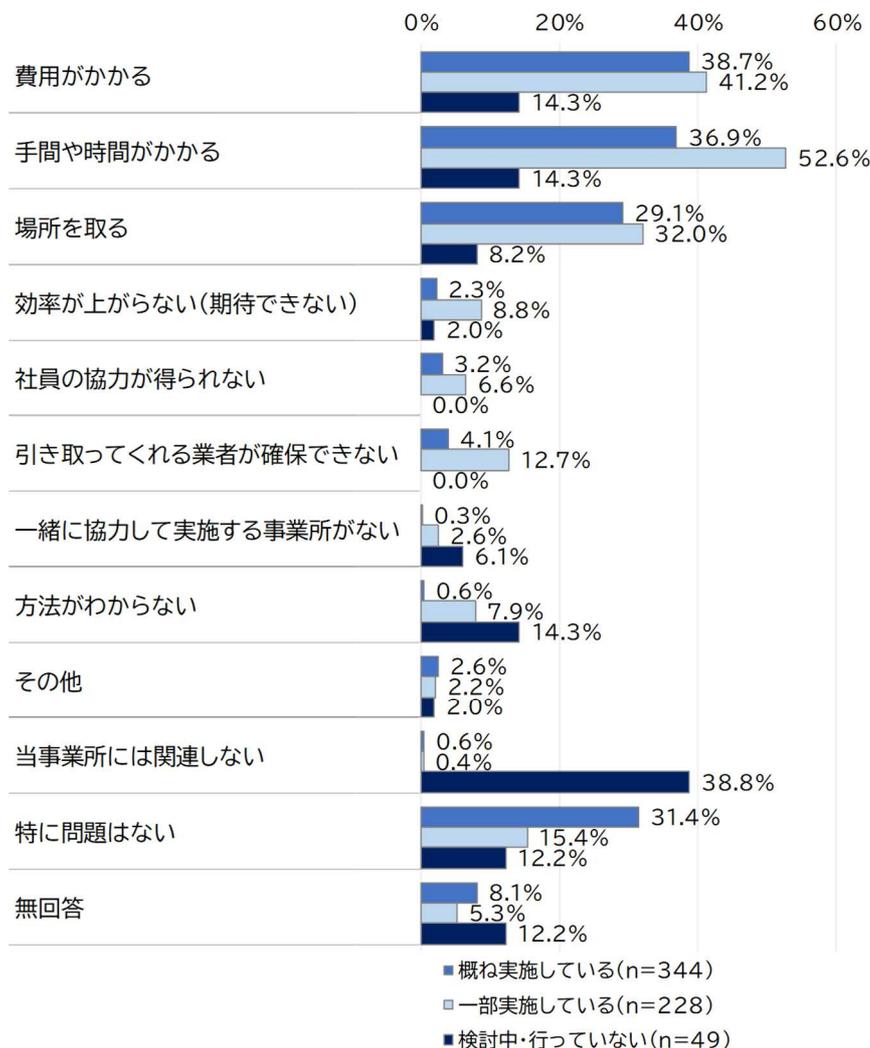
◆R6年度傾向



■実施・検討にあたっての問題点・理由

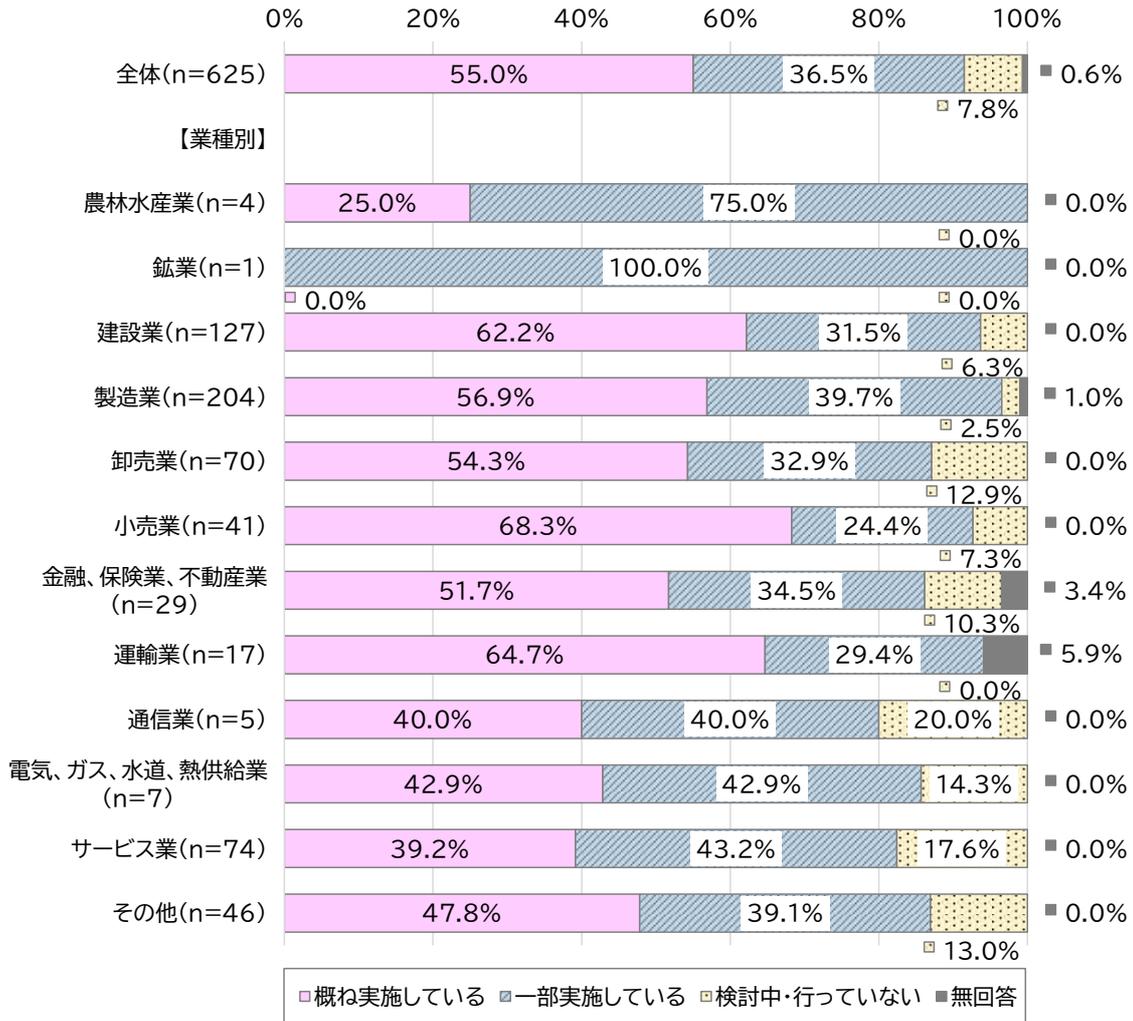
概ね実施している事業所の問題点は、「費用がかかる」が38.7%で最も多く、一部実施している事業所の問題点は、「手間や時間がかかる」が52.6%で最も多くなっています。

検討中・行っていない事業所の実施していない理由は、「費用がかかる」「手間や時間がかかる」に加え、「方法がわからない」との回答も多くなっています。

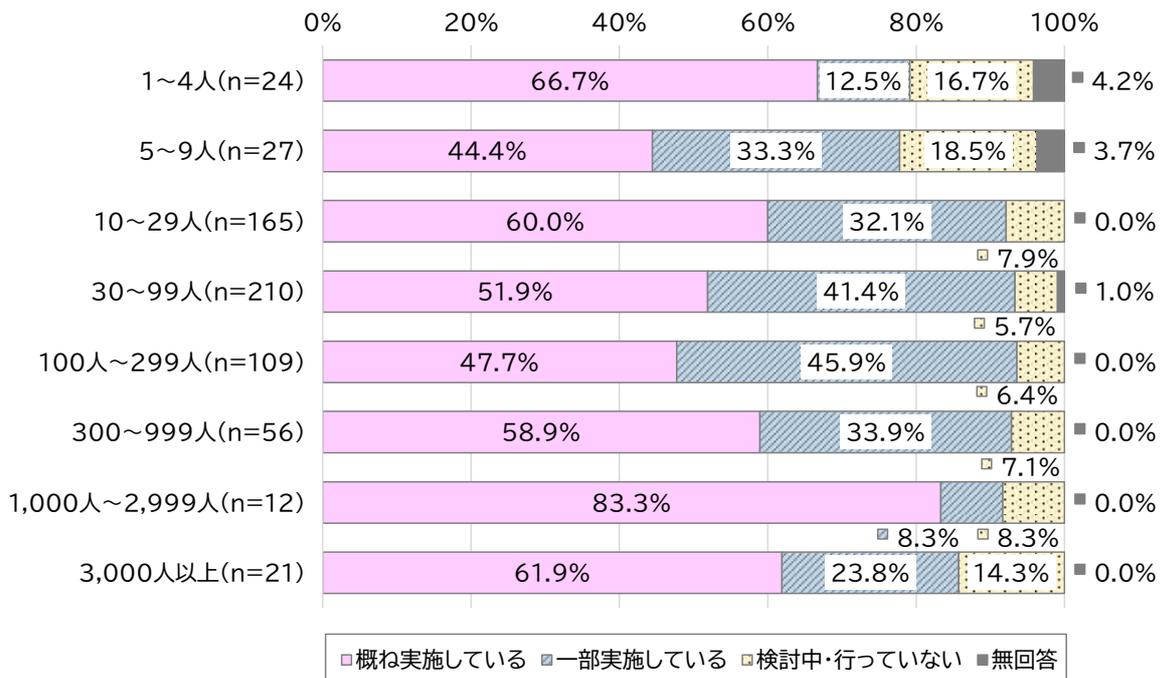


3 調査結果

◆業種別傾向

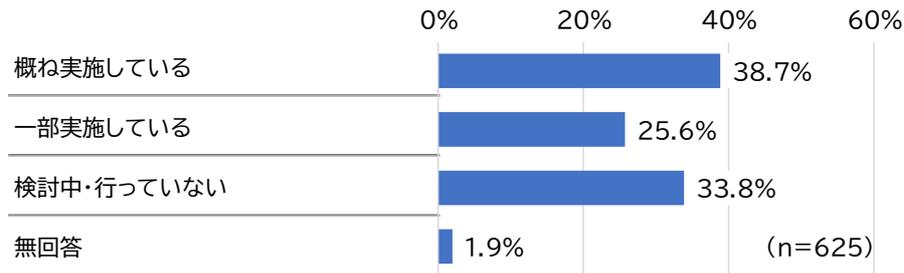


◆規模別傾向



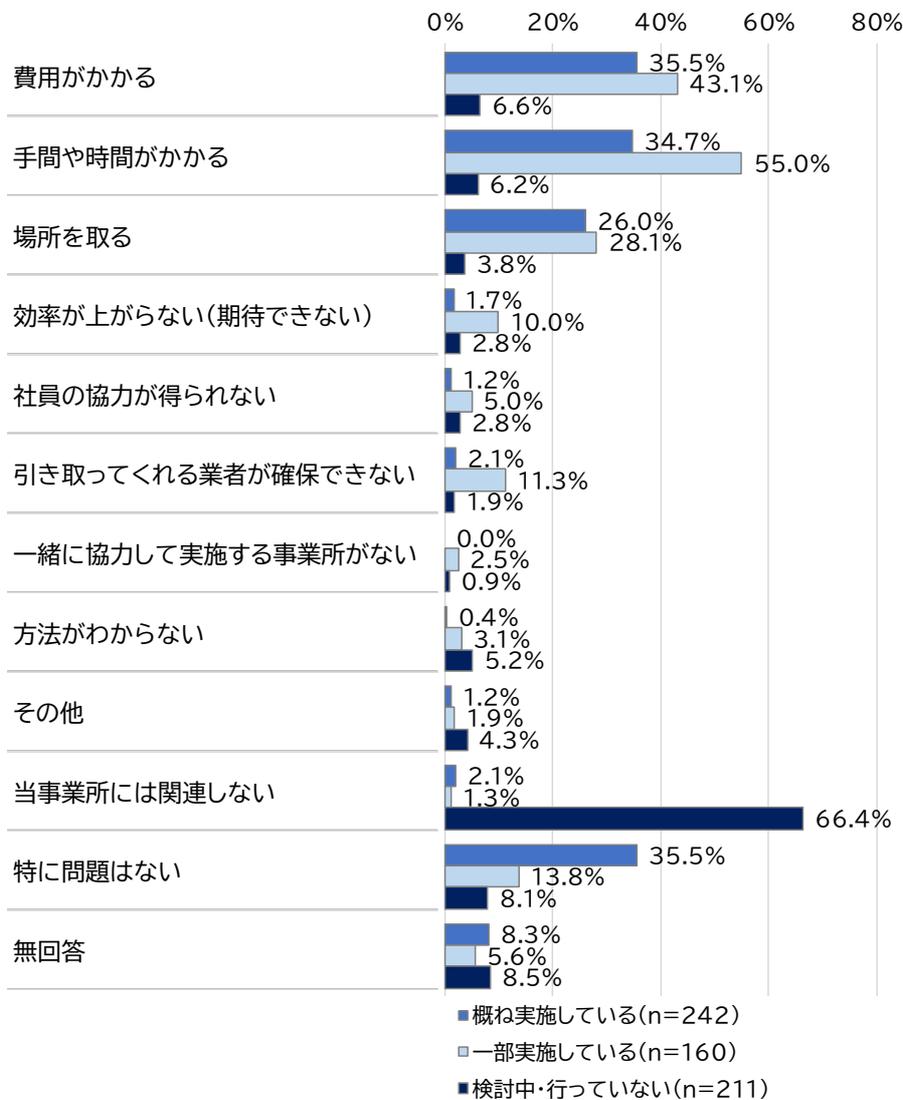
(2) 自社取扱商品・容器などの回収やリサイクル

◆R6年度傾向



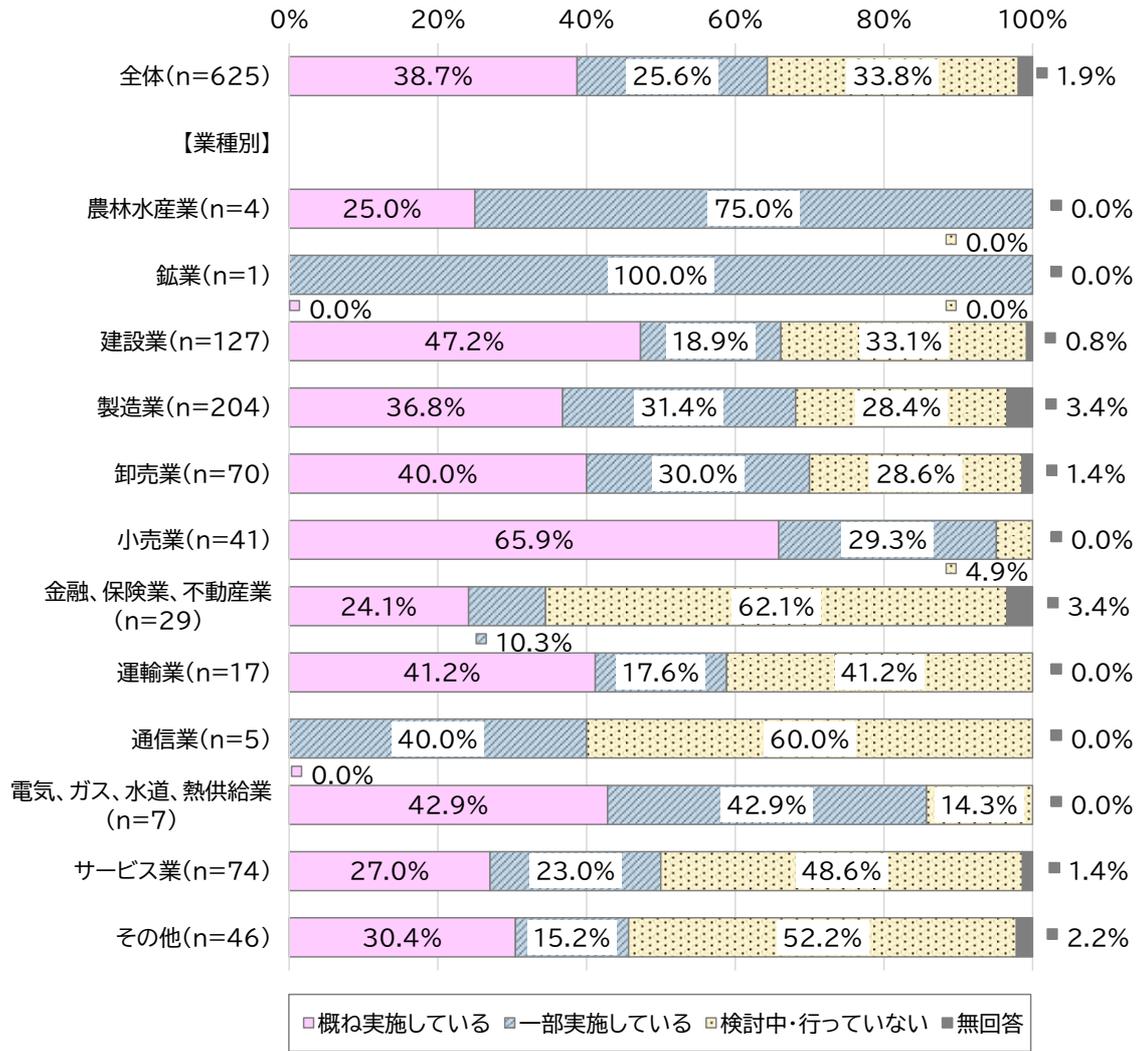
■実施・検討にあたっての問題点・理由

概ね実施している事業所の問題点は、「費用がかかる」が35.5%で最も多く、一部実施している事業所の問題点は、「手間や時間がかかる」が55.0%で最も多くなっています。

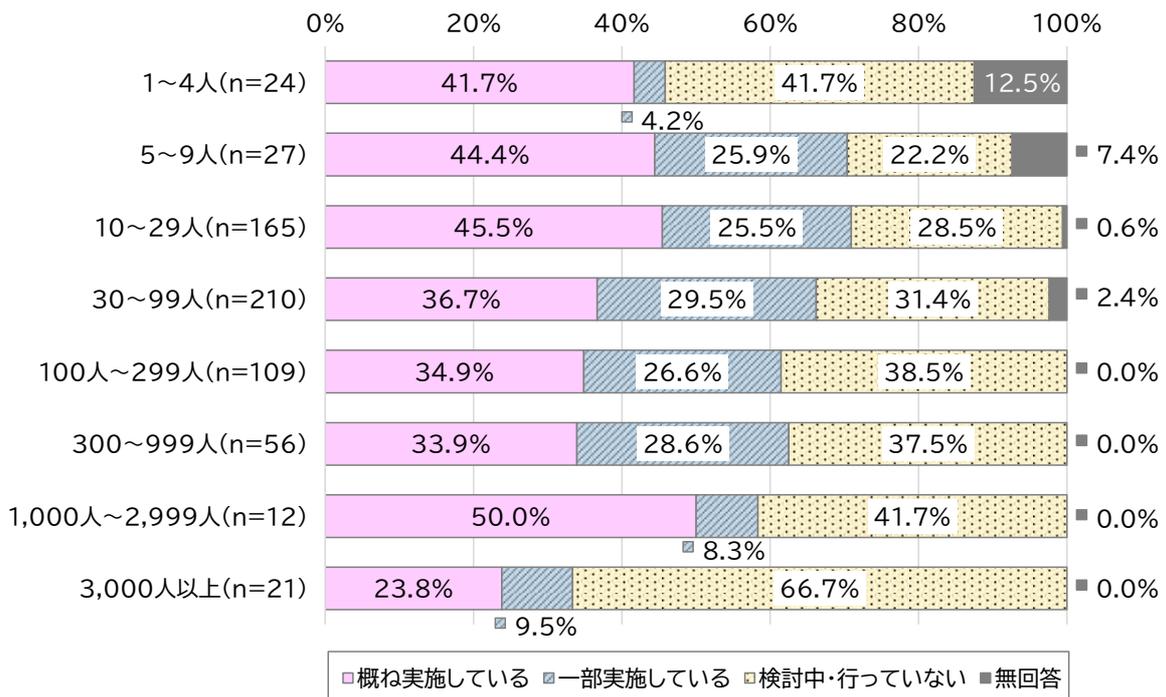


3 調査結果

◆業種別傾向

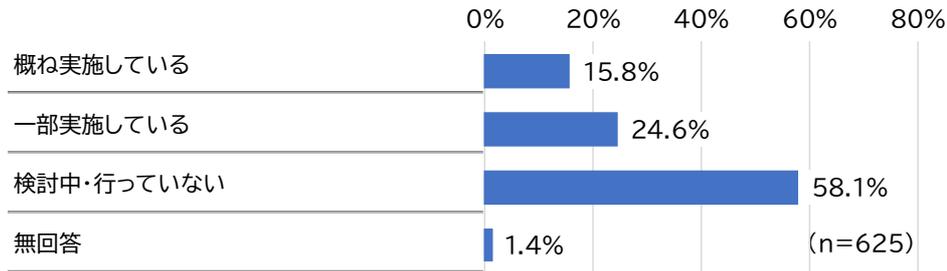


◆規模別傾向



(3) ゼロエミッション※への対応

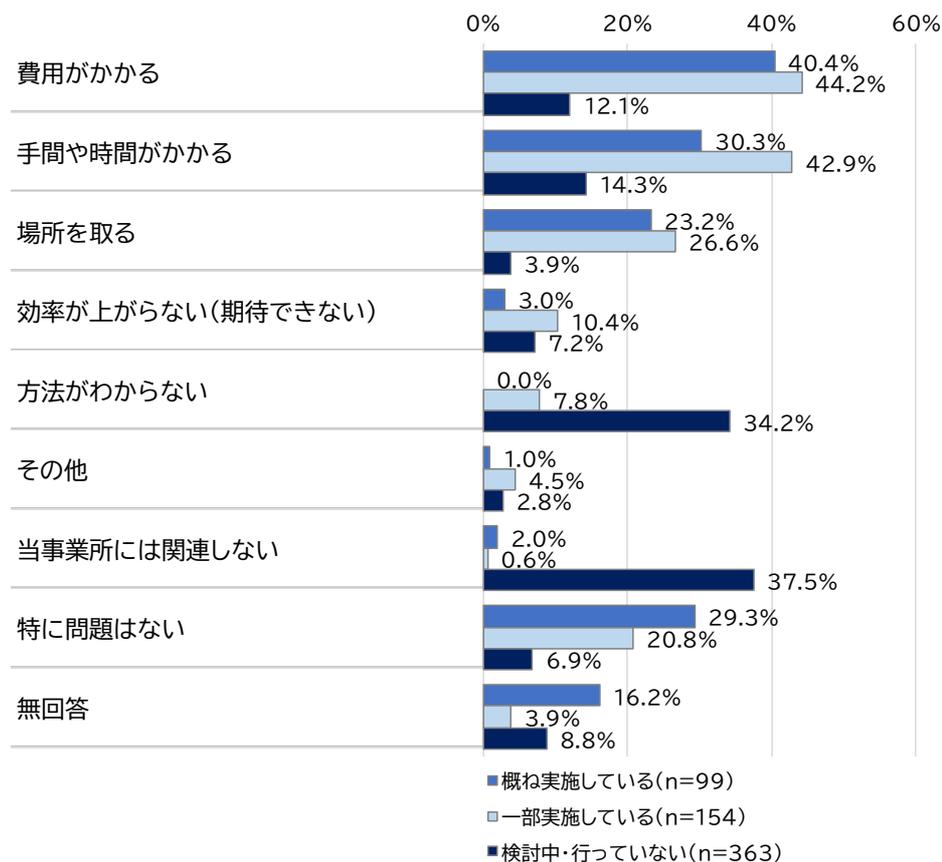
◆R6年度傾向



■実施・検討にあたっての問題点・理由

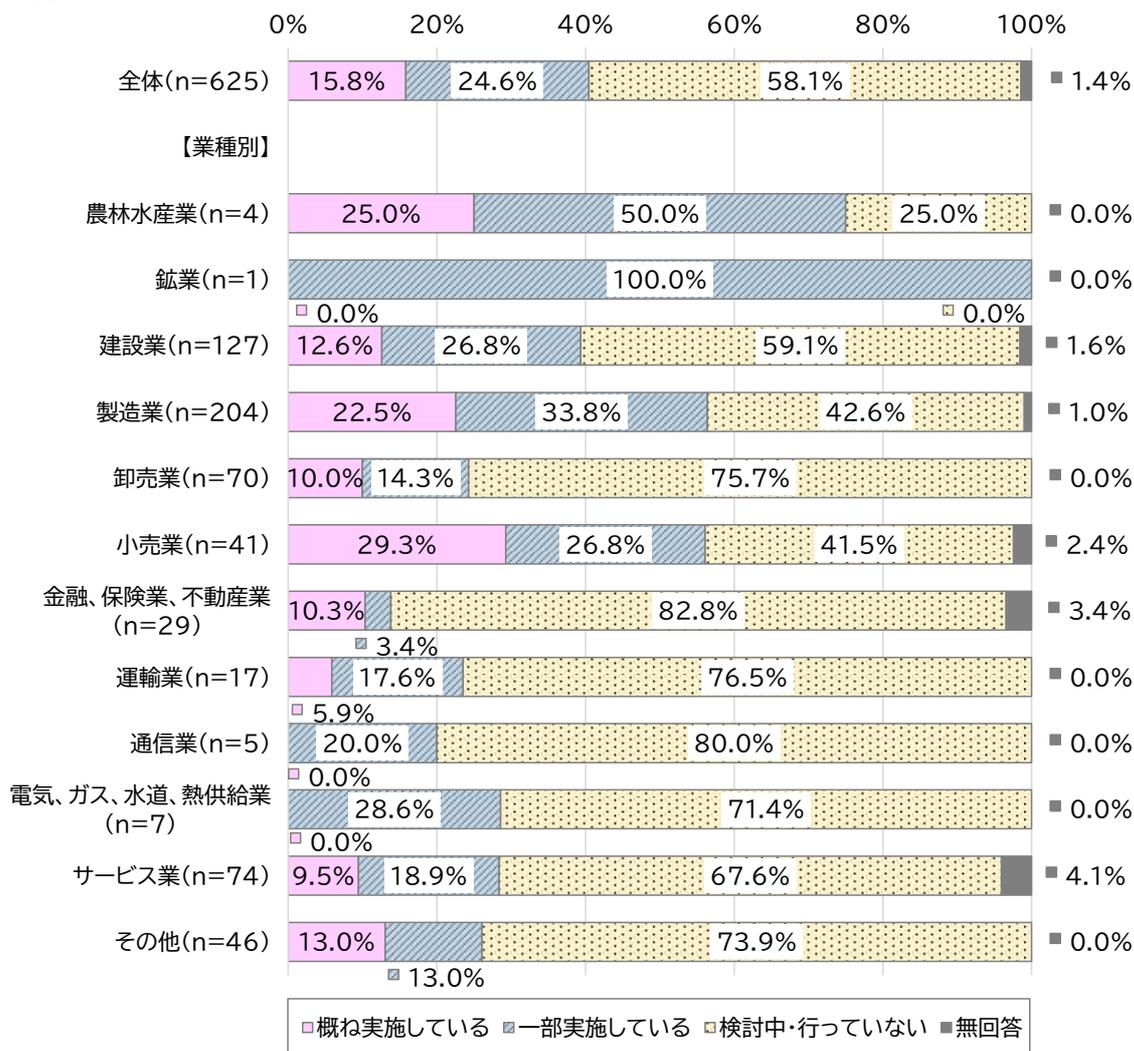
概ね実施している事業所の問題点は、「費用がかかる」が40.4%で最も多く、一部実施している事業所の問題点も、「費用がかかる」が44.2%と最も多くなっています。

検討中・行っていない事業所の実施していない理由は、「方法がわからない」が34.2%で最も多くなっています。

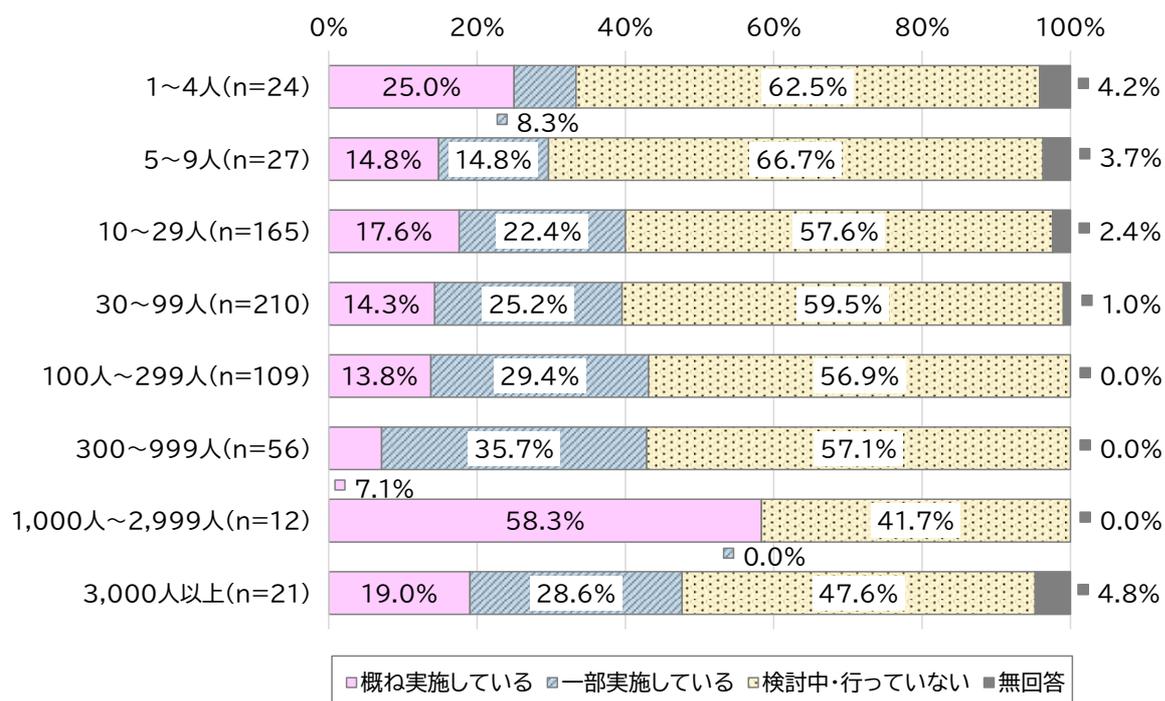


3 調査結果

◆業種別傾向

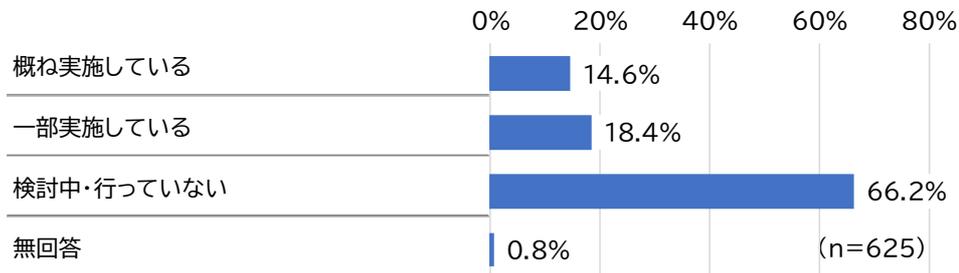


◆規模別傾向



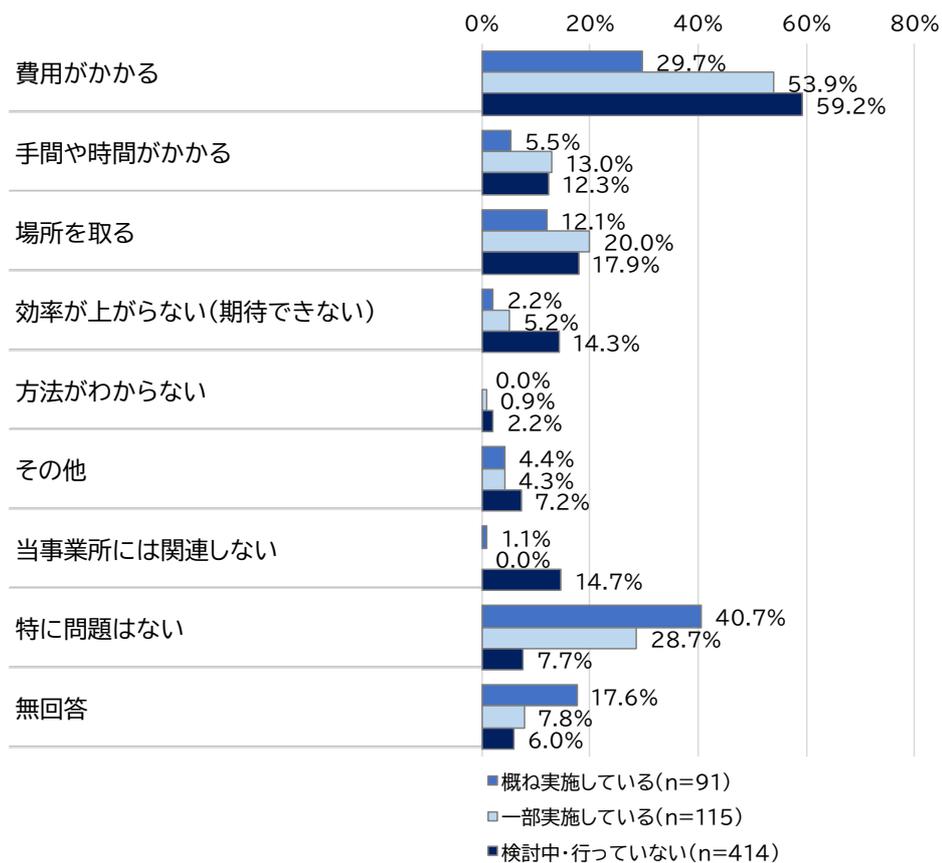
(4) 太陽熱や太陽光の利用

◆R6年度傾向



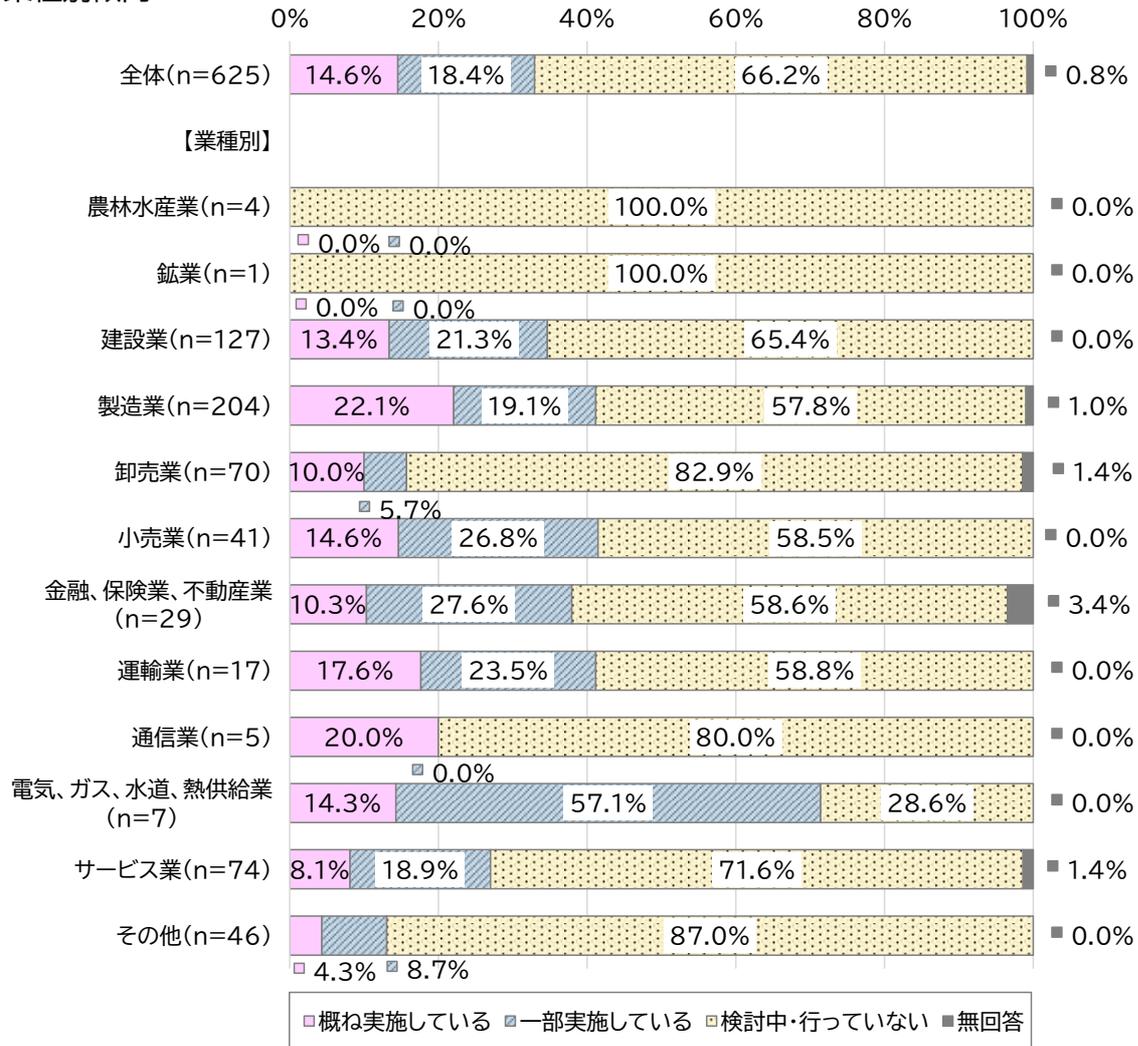
■実施・検討にあたっての問題点・理由

実施・未実施に関わらず問題点・理由は、「費用がかかる」が最も多く、概ね実施している事業所は29.7%、一部実施している事業所は53.9%、検討中・行っていない事業所は59.2%となっています。

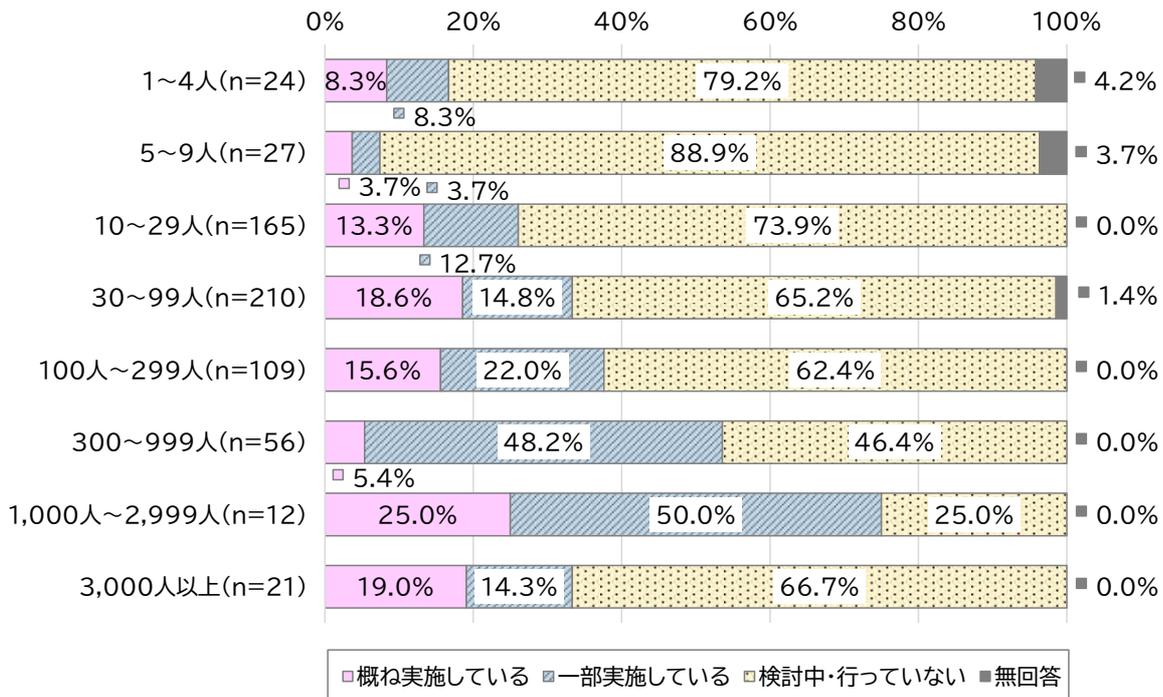


3 調査結果

◆業種別傾向

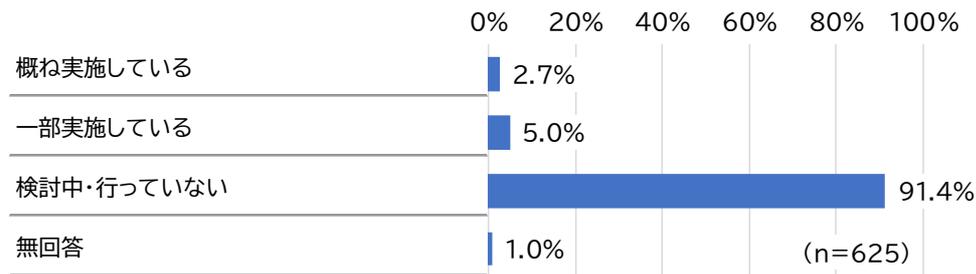


◆規模別傾向



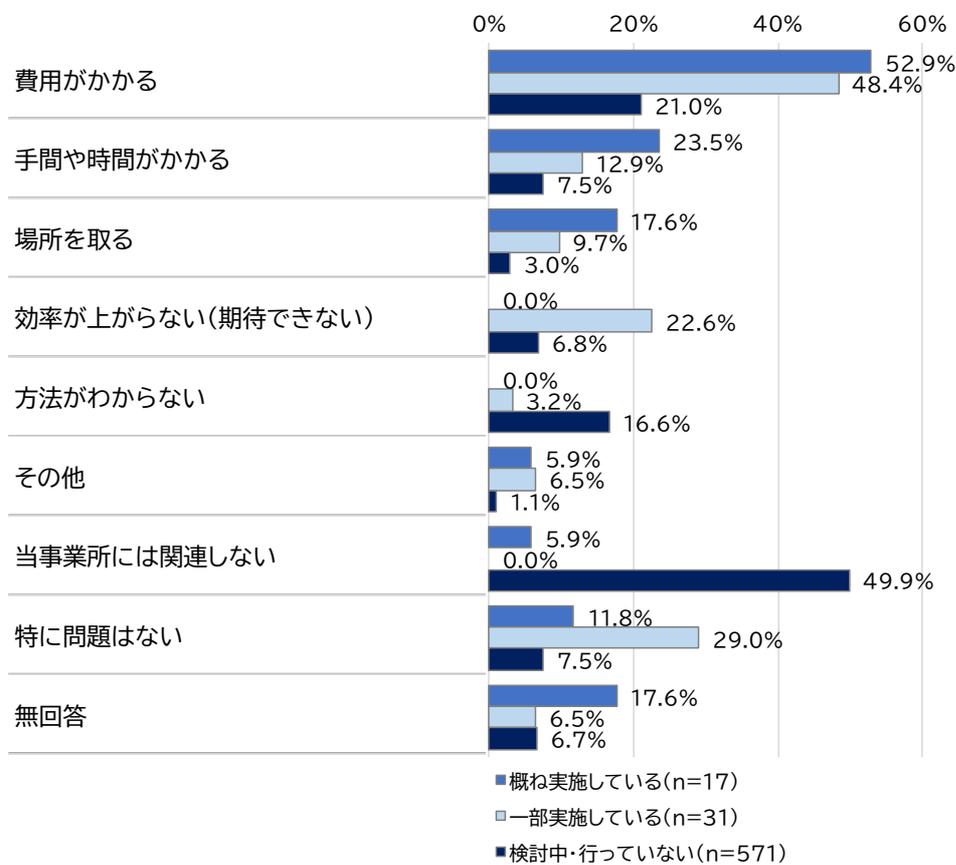
(5) 廃熱や温排水の有効利用

◆R6年度傾向



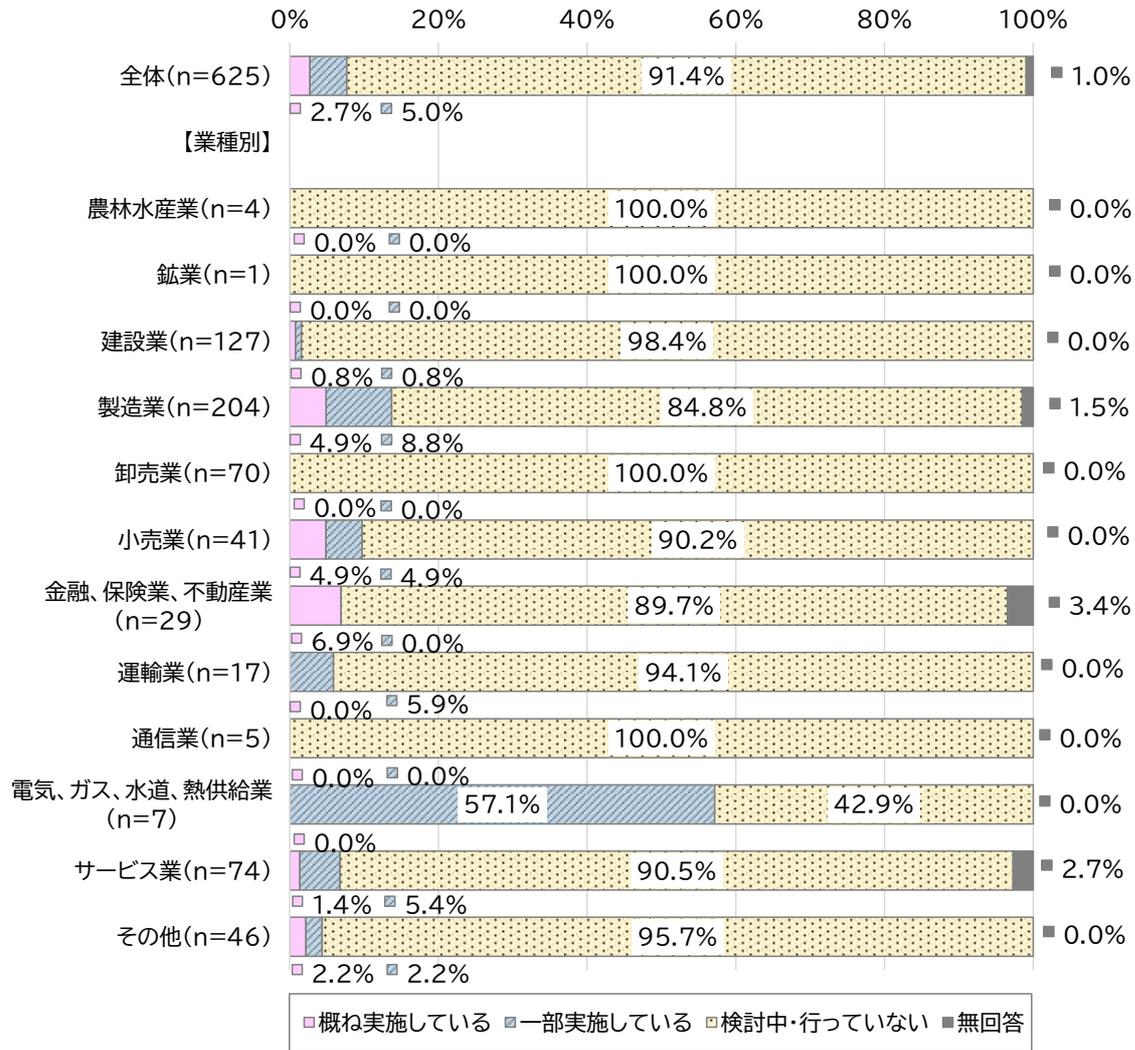
■実施・検討にあたっての問題点・理由

検討中・行っていない事業所の実施していない理由は、「費用がかかる」が21.0%で最も多く、次いで「方法がわからない」が16.6%となっています。

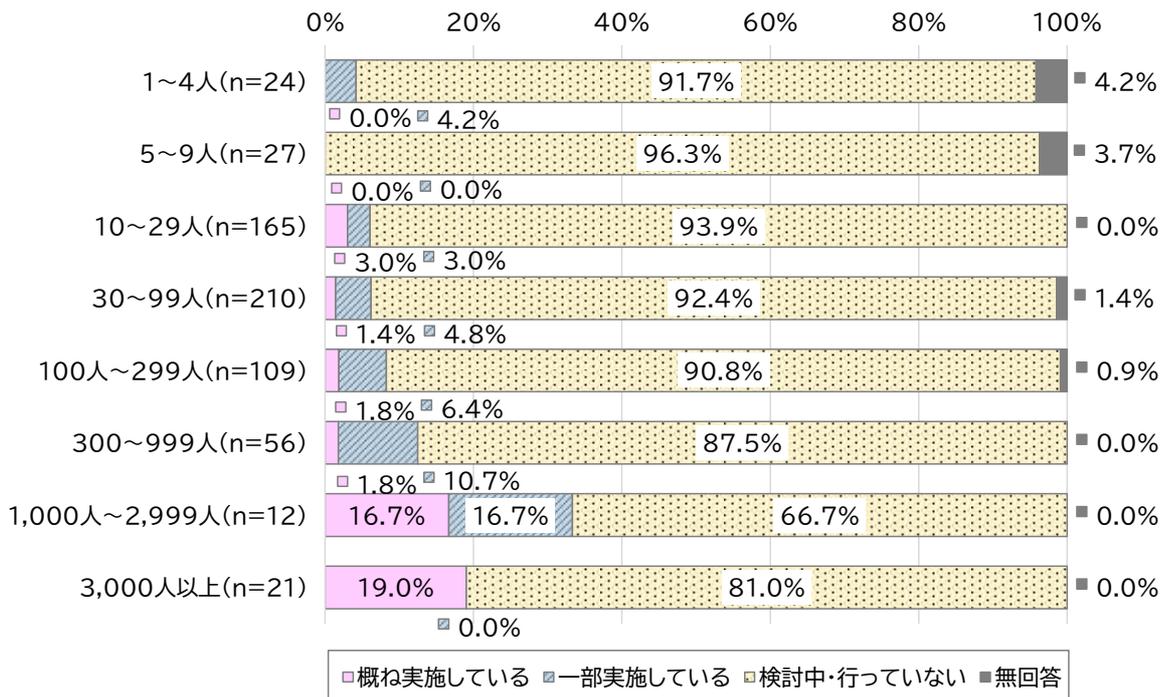


3 調査結果

◆業種別傾向

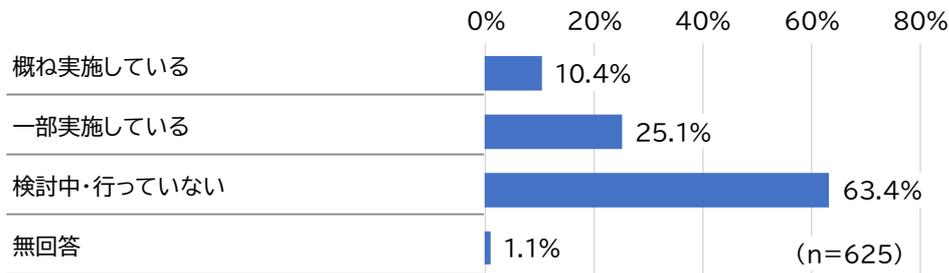


◆規模別傾向



(6) 物流システムの効率化や輸送面での省エネルギー化

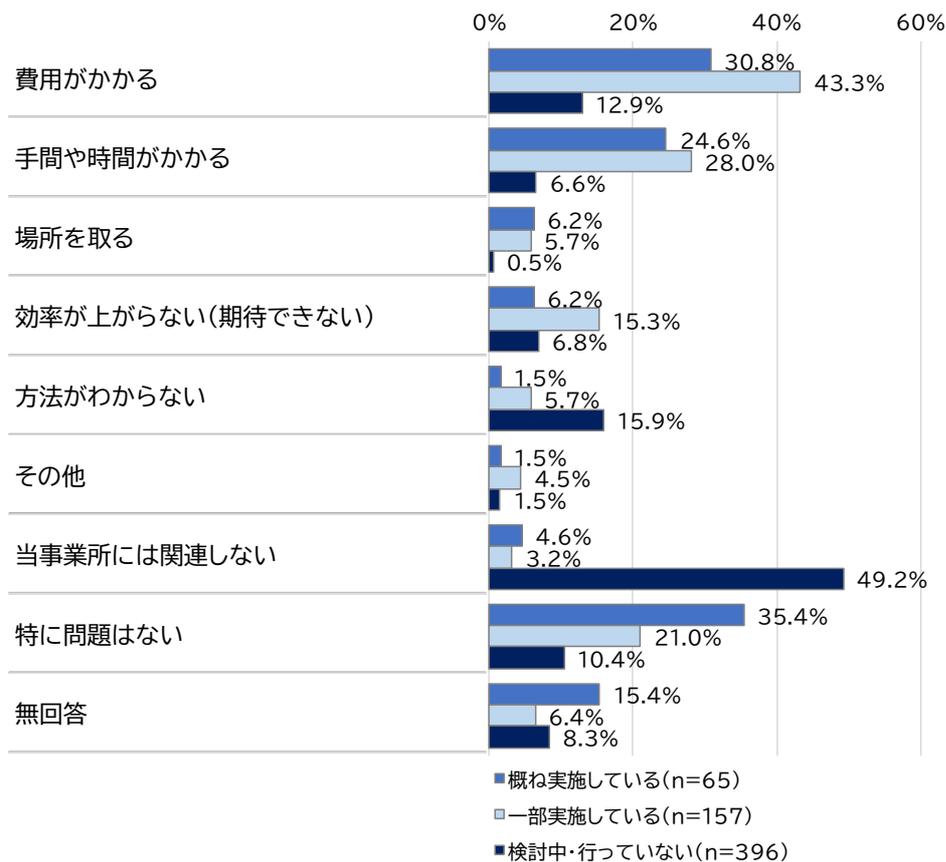
◆R6年度傾向



■実施・検討にあたっての問題点・理由

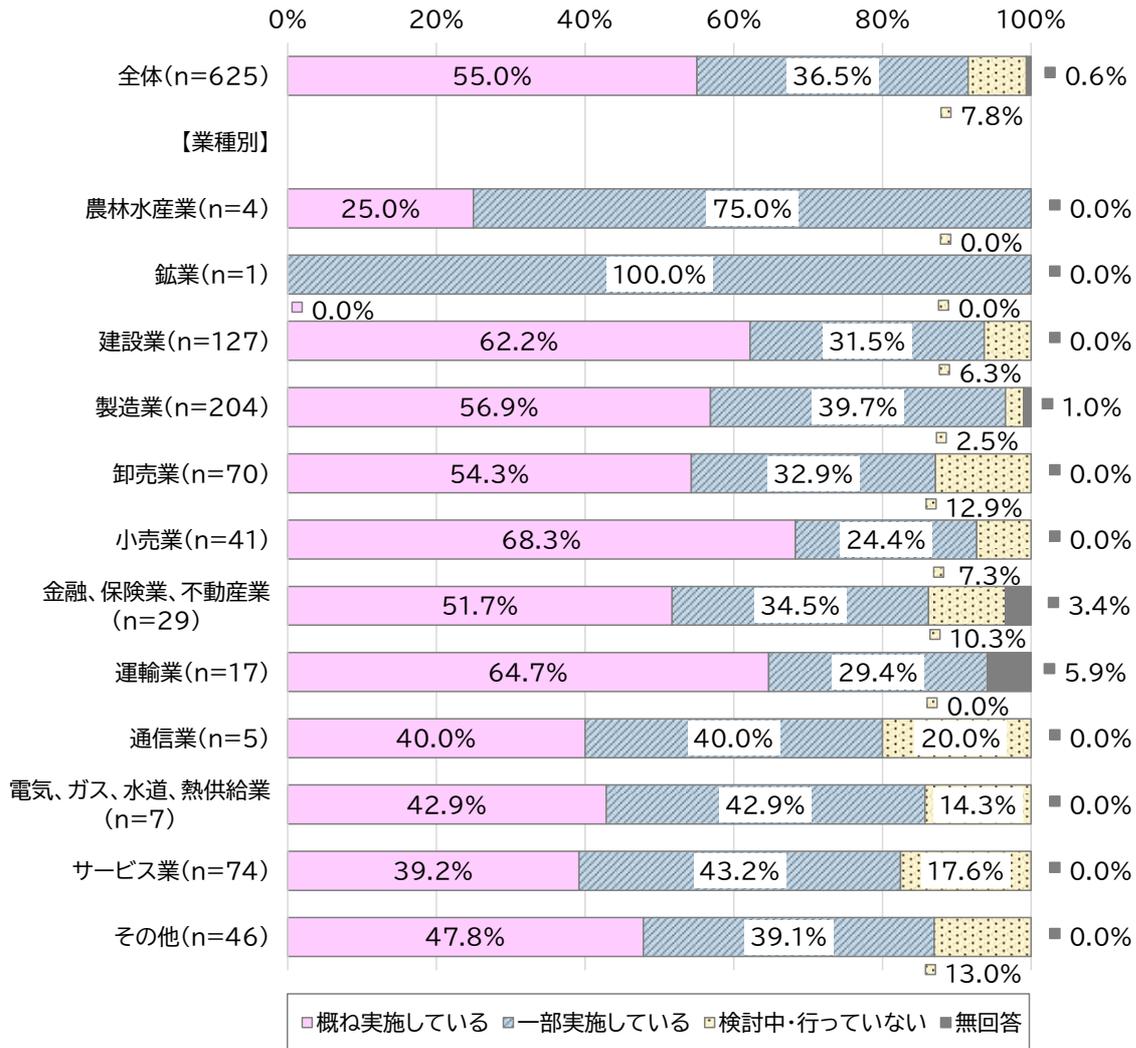
概ね実施している事業所の問題点は、「費用がかかる」が30.8%で最も多く、一部実施している事業所の問題点も、「費用がかかる」が43.3%と最も多くなっています。

検討中・行っていない事業所の実施していない理由は、「方法がわからない」が15.9%で最も多くなっています。

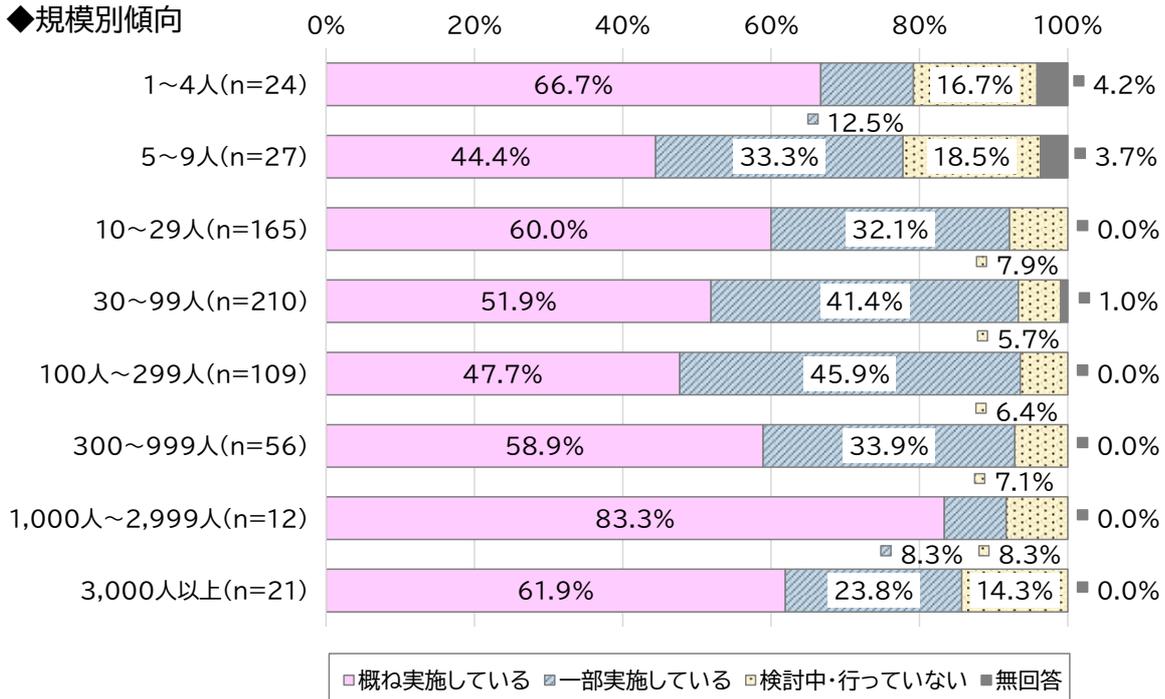


3 調査結果

◆業種別傾向

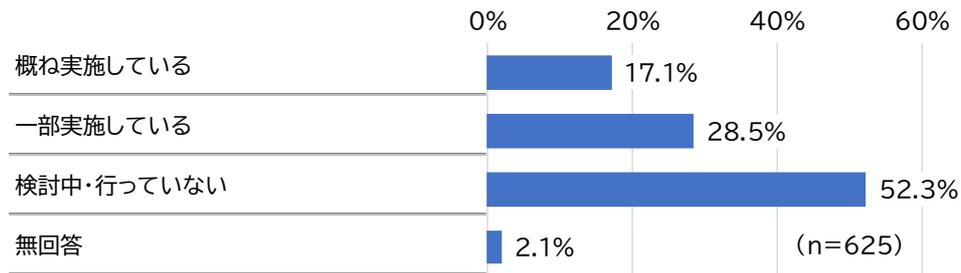


◆規模別傾向



(7) 環境に関するCSR活動

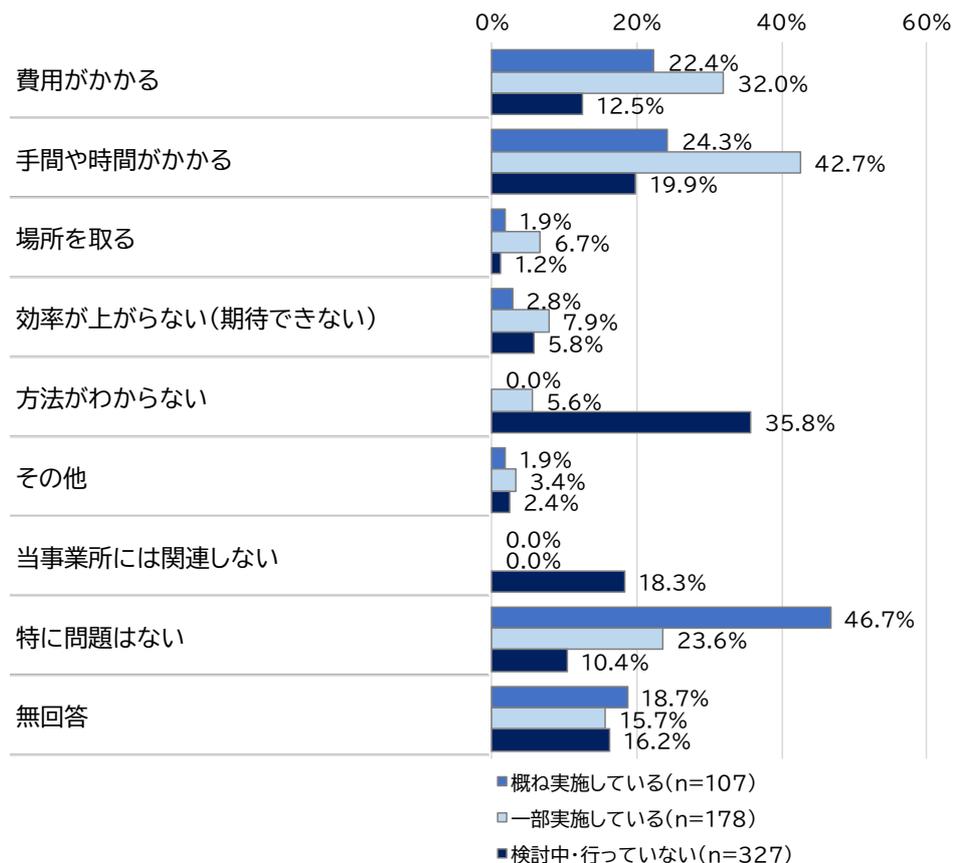
◆R6年度傾向



■実施・検討にあたっての問題点・理由

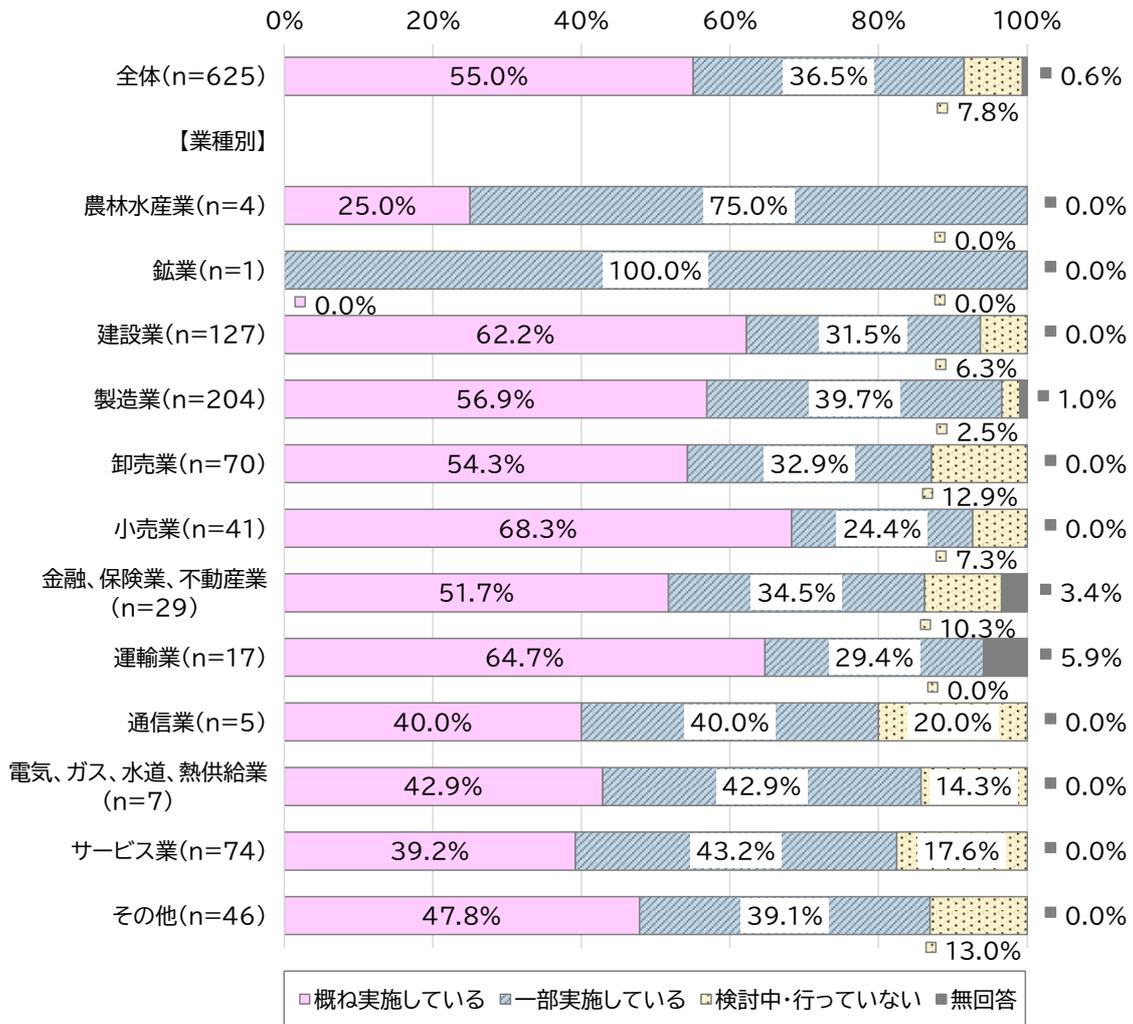
概ね実施している事業所の問題点は、「手間や時間がかかる」が24.3%で最も多く、一部実施している事業所の問題点も、「手間や時間がかかる」が42.7%と最も多くなっています。

検討中・行っていない事業所の実施していない理由は、「方法がわからない」が35.8%で最も多くなっています。

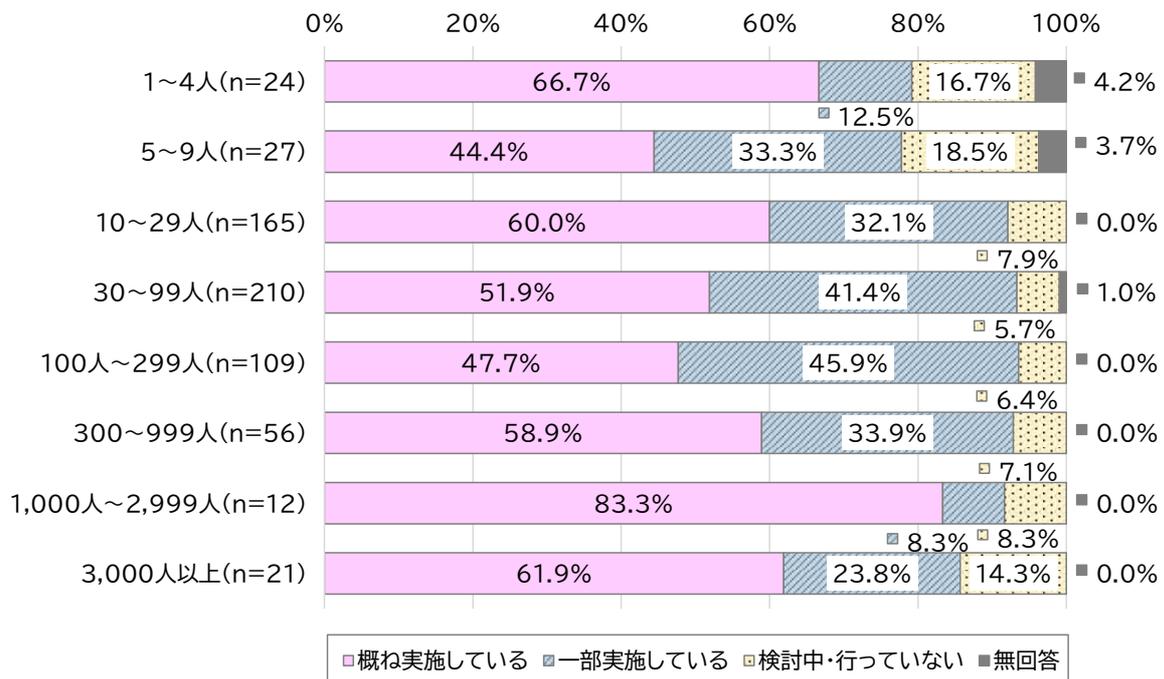


3 調査結果

◆業種別傾向



◆規模別傾向



(7) - 2 上記(7)で「概ね実施している」「一部実施している」と回答した方にお伺いします。具体的な活動内容について教えてください。

記述が 190 件あり 9 のカテゴリーに分け集計しました。

カテゴリー	概ね実施している	一部実施している	計
環境対策	26	45	71
法令などの取組	12	15	27
リサイクル・リユース・節約対策	13	20	33
清掃活動・ボランティア等の実施	6	15	21
働きやすい職場環境	3	10	13
スポーツ・学習などの取組	6	7	13
地域活動	1	4	5
人権尊重について	1	2	3
健康被害について	2	2	4
その他	0	0	0
計	70	120	190

《記述の一部抜粋》

■概ね実施している■

環境対策

- 生物多様性を確保するため自社構内にビオトープ園を設置公開。毎月 1 回自社ビル周辺の清掃活動を社員有志が実施
- 環境マネジメントシステム (ESM) の構築、運用 グリーン調達
- 長期的な視点で CO₂ 排出量の削減に取り組んでいる。職場の安全環境の皆瀬、ワークバランスの推進、ハラスメントの撲滅等、環境問題等、従業員に対するコンプライアンス研修を行う。
- エコアクション 21 活動に加入実施
- 全社環境安全委員会、サステナビリティレポート 等

法令などの取組

- ISO や群馬環境 GS、健康優良法人など
- 地元環境団体への寄付。ISO14001 の取得。県有林整備パートナー事業への参加
- 環境方針・環境行動計画・環境組織図を作成し燃費向上を目指している 0.1% (前年比)
- SDGs 宣言、社内の表彰制度導入、SDGs の取り組みに関する社内報作成、カッコソウ保全活動、足尾植樹活動 等

リサイクル・リユース・節約対策

- 廃棄物 (事業系・一般及び産業) の分別を細分化
- 燃料、電気の削減、産業廃棄物のリサイクル
- 温室効果ガス排出量 (Scope1+2): VOC 排出量: COD 排出量: リサイクル率: ゼロエミッション率 ホームページでも公開
- リサイクルに向けた、分別回収 等

清掃活動・ボランティア等の実施

- 無償のゴミひろい活動など地域の環境美化に積極的にとりこんでいます。
- 環境ボランティア活動の実施 (河川清掃、工場地域美化清掃)、社有林の森林保全、外部講師による社員向け環境セミナーの開催、環境コミュニケーションの実施等
- 会社の HP を活用し CSR を発信しております。また、当事業所と致しまして、近隣の町内会や企業と協力して地域貢献活動として、清掃活動に参画しております。

3 調査結果

- 会社の HP や株主総会を通じて発信をしております。当事業所と致しまして、近隣の町内会や企業と協力して清掃活動として、近隣市域の環境保全活動に参画しております。 等

働きやすい職場環境

- 利益を出し納税する。環境に配慮した商品の供給。雇用した従業員に人権的配慮を行う。地域社会及び環境改善に取り組む。
- 働きやすい環境づくり。
- 意識向上の為、社員全員に CSR ハンディカードを配布し各職場（朝会）にて読み上げを実施しています。

スポーツ・学習などの取組

- 証券ビジネスを通じて培ってきた金融経済分野の知識やノウハウを活かしさまざまな世代に対して金融経済教育を通じて将来を切り拓く力や資産管理スキルを身に付けてもらうことを目的とした教育プログラムの提供および支援活動などを行っていきます。
- 地域社会との関係強化→農業ビジネス立上雇用促進を実施
- 事業で排出されたエネルギー消費量を委員会で報告、組合員活動で環境イベントを実施している。
- 環境基本方針基に EMS 委員会を設置、環境負荷低減に向けた活動を推進しています。

地域活動

- 地域社会への貢献（各種イベントの開催、協賛など）
- 地域清掃、森林保護、GHG・廃棄物・水使用量削減、ZEB Ready に対応した新建屋の建築

健康被害について

- 減農薬、環境にやさしいゴルフ場をめざす。脱農薬、化学肥料

その他

- 年数回の従業員周知、監査など
- 商品の企画から製造・保守運用に至るまですべての業務プロセスにおいて、環境配慮型商品とサービスの提供に取り組む

■一部実施している■

環境対策

- EA21 を認証取得し活動を行っている。
- 森林保全活動への寄付。地域行事への参加
- CO₂削減にむけたアイドリングストップ、エコドライブや照明の LED 化。業務の DX 化や働き方改革に伴う生産性の向上に取り組む
- 太陽光発電設備でオフィスのエネルギーの自給、電気自動車への充電をしている。ZEH 仕様の住宅リフォームを提案している。
- 電気の使用量削減への取り組み・ごみの分別の促進
- ペーパーレスによる森林資源保護・クールビズなどの省エネ化による地球温暖化防止 等

法令などの取組

- SDGs の一環としてペットボトルキャップの収集を行っている。
- 環境 ISO に基づき諸施策を実施
- 群馬環境 GS 認定制度
- 前橋市 SDGs パートナー協働アクションへの参加、再生エネルギーの利用
- オフィス内の証明の LED 化（環境マネジメントシステム「ISO14001」）認証取得済み 等

リサイクル・リユース・節約対策

- 家電のリユース事業で古い家電を洗浄や修理、点検をして消費者に安く販売している。
- リサイクル・リユースなど環境に配慮する商品の取扱いを増す。
- 資源ゴミ分別の徹底
- 廃棄物の分別回収
- 商品開発においてリサイクル素材の使用や染色時の排水制限等を行い環境に配慮した製造等を行っております。

清掃活動・ボランティア等の実施

- 清掃等のボランティア活動
- 年に2~3回、同業者と連携して社会貢献を行っています。(例：カーブミラー、規制標識の清掃など。)
- 社会感謝デー(清掃活動 etc)
- 植林、緩速ろ過装置にて池の水を浄化

働きやすい職場環境

- 客先処分物に対し、指示通り極力分別するようにしている。細かい機器部品などは手間がかかるが協力している。
- 働きやすい環境づくり
- 健康管理 ワークライフバランス 人権尊重
- 安全や健康に配慮した職場環境と従業員支援
- 半導体工場の中では顧客からの要望など有り実施している。

スポーツ・学習などの取組

- 地域社会への貢献としてプロスポーツチームの協賛を通じて地域社会に貢献しています。
- 群馬県内における森林での自然環境学習・森林での植林活動

地域活動

- 地域のイベント協力や事業所周辺の環境を向上させる活動など
- 毎年、地元の市町村役場へ寄付金活動を実施し環境や子育て等に役立てて頂いている。
- 顧客満足度調査を定期実施中
- 環境対策と地域社会への貢献(環境対策配慮品の導入、LED化、省エネ対策、定期的な清掃活動など)。

健康被害について

- 健康経営宣言。中学校マナー教育。日本橋花植栽交流事業。藤岡市との災害協定締結
- 除草剤を使用せず草むしり、月1程度行う。

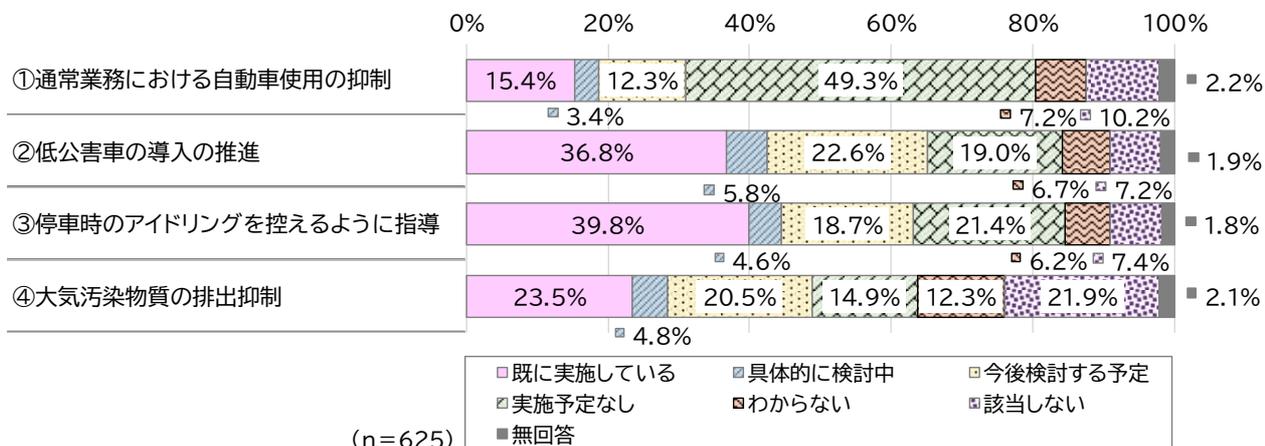
その他

- 他社と一体となり交流会との取組み
- HPでの情報公開

3-2-2 その他の取組

問7 問6でおうかがいした取組のほかに、貴事業所では、どのような環境保全の取組を実施していますか。以下のそれぞれの項目について、あてはまる番号を1つだけ選び○をつけてください。

A. 大気環境保全

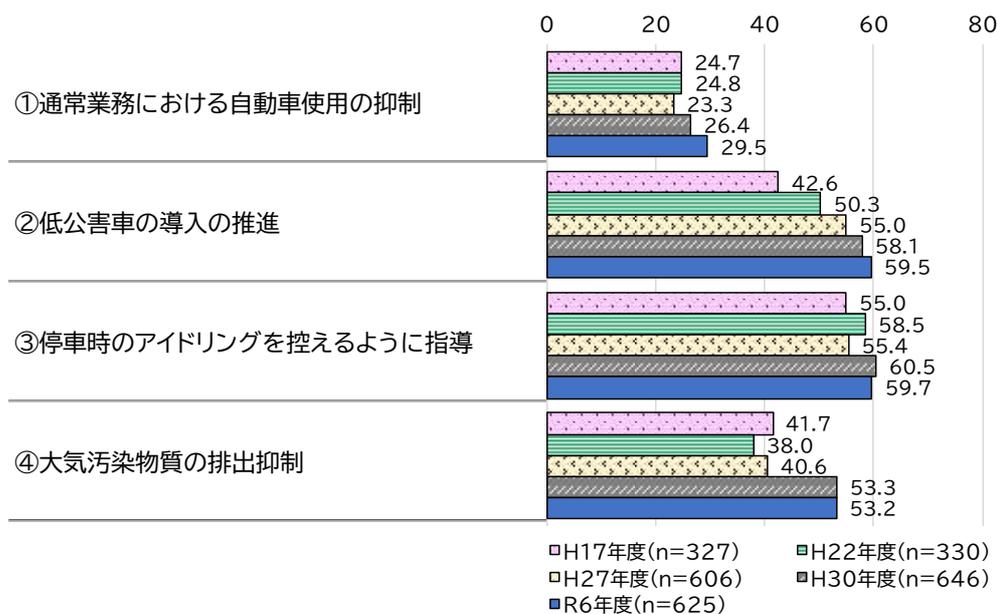


◆経年推移（加重平均）

加重平均の求め方

「既に実施している」=100点、「具体的に検討中」=75点、「今後検討する予定」=50点、「実施予定なし」=0点、「わからない」=25点とし加重を与え、指標化

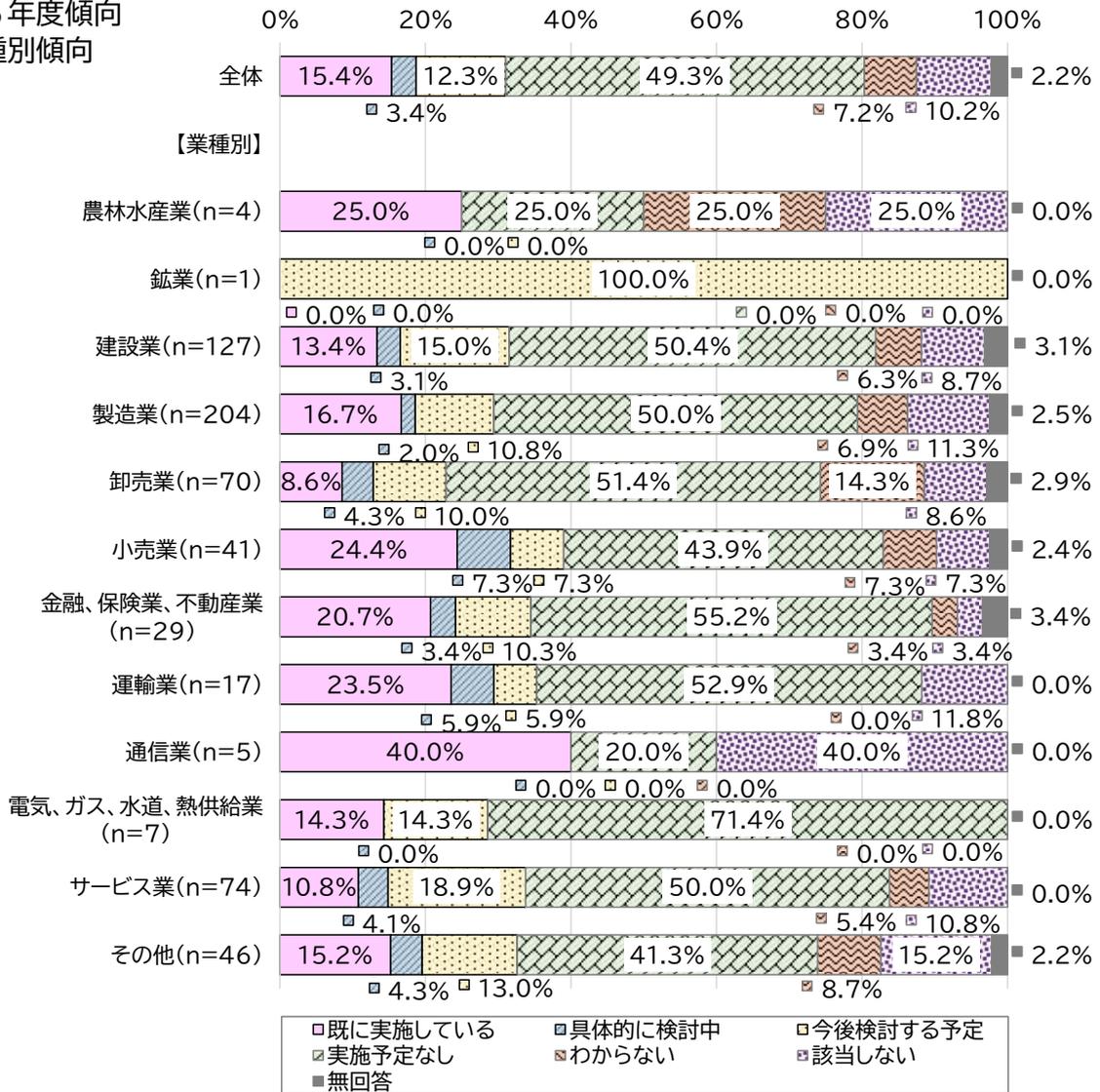
経年比較すると、「①通常業務における自動車使用の抑制」は前回より3.1ポイントの増加、「②低公害車の導入の推進」はやや増加、残りの2項目はH30年度調査と同様の傾向となっています。



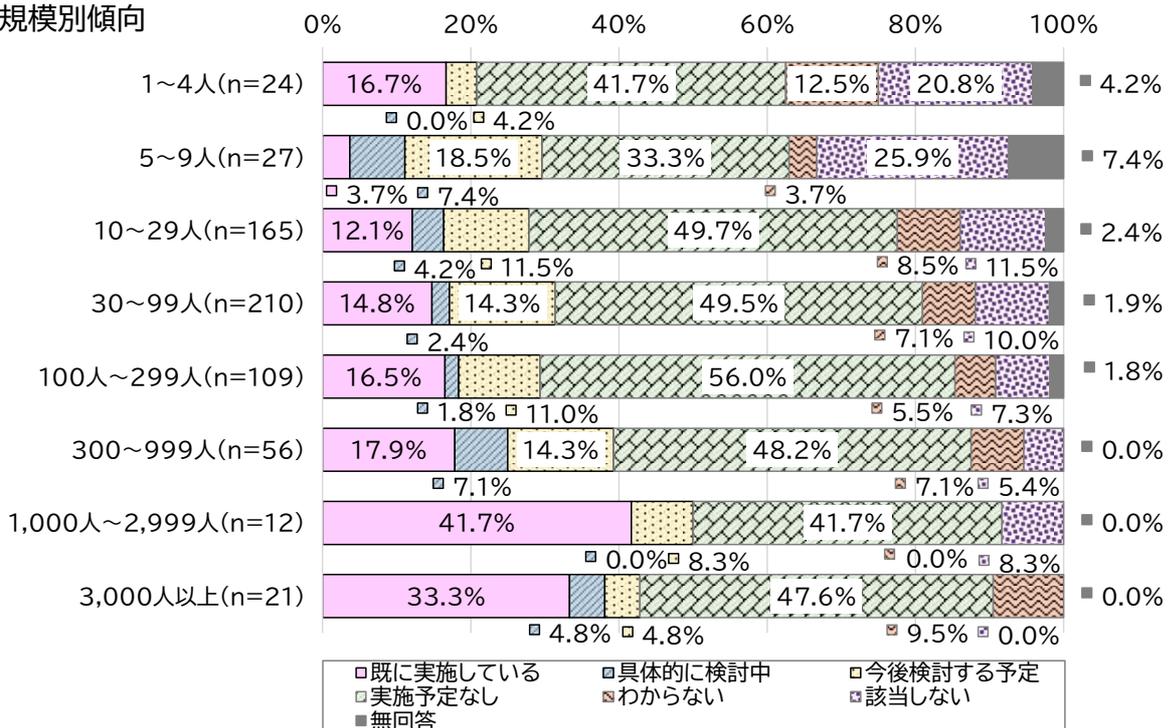
※H17年度、H22年度、H27年度調査については、「該当しない」を加重平均に含めている可能性があるため、比較対象としていません。

①通常業務における自動車使用の抑制

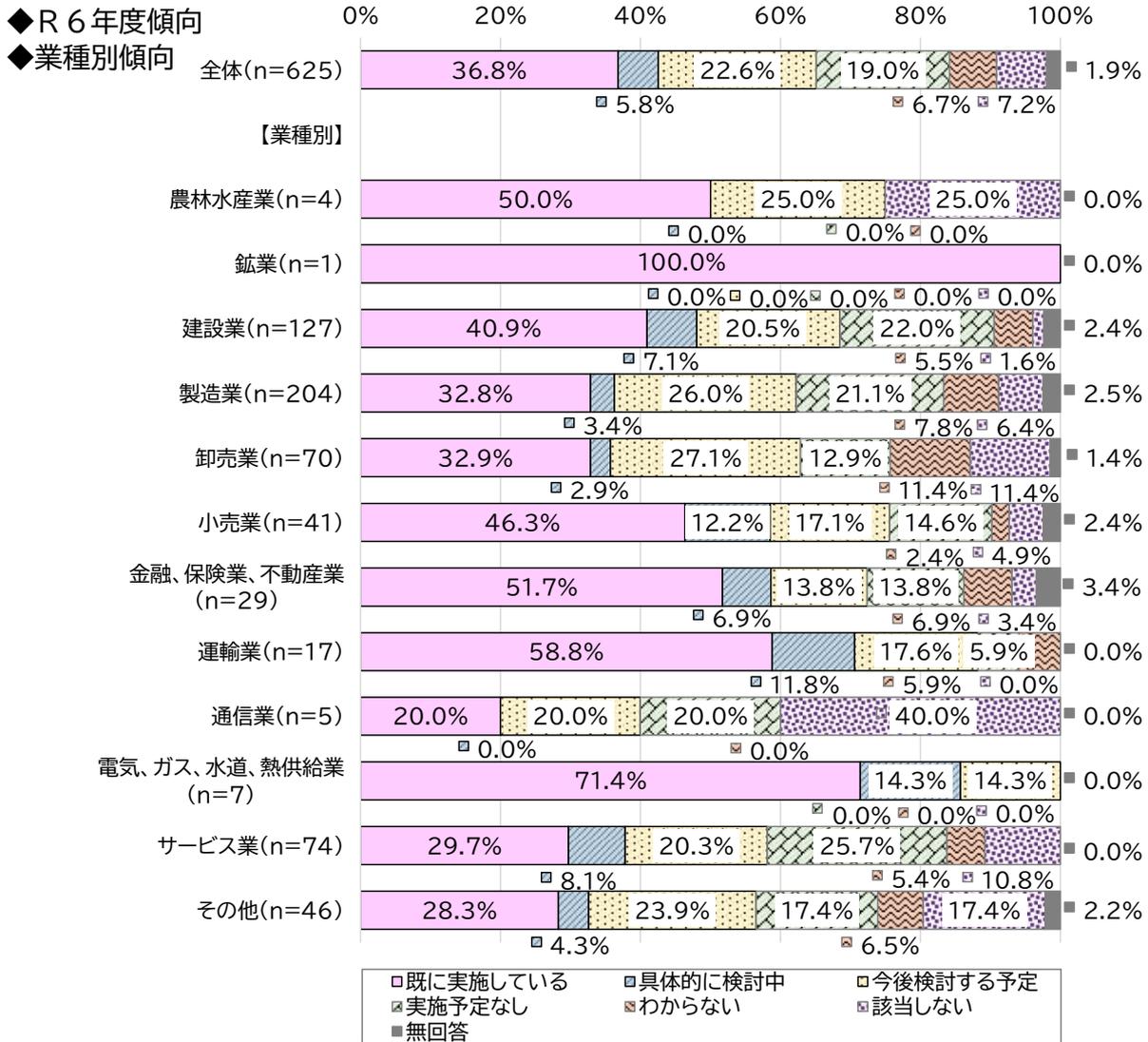
◆R6年度傾向
◆業種別傾向



◆規模別傾向

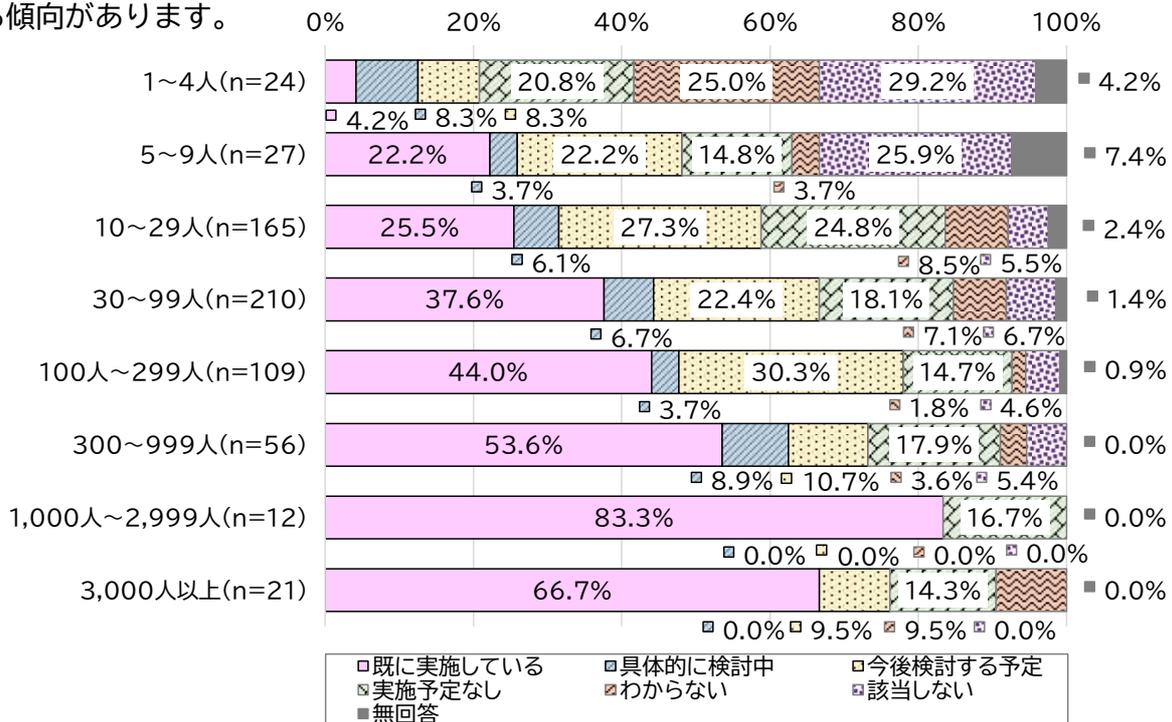


②低公害車の導入の推進



◆規模別傾向

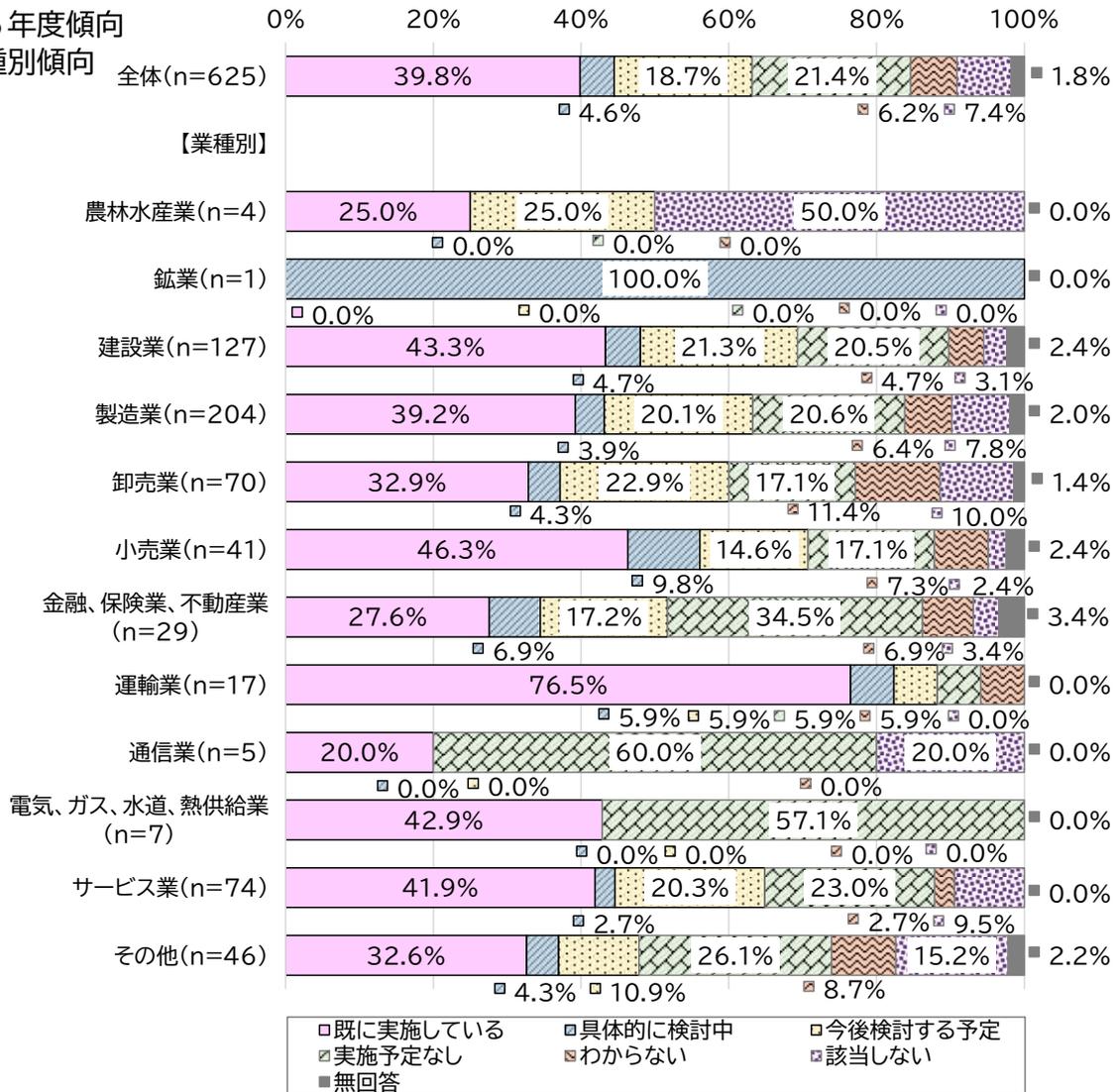
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既の実施している」が高くなる傾向があります。



③停車時のアイドリングを控えるように指導

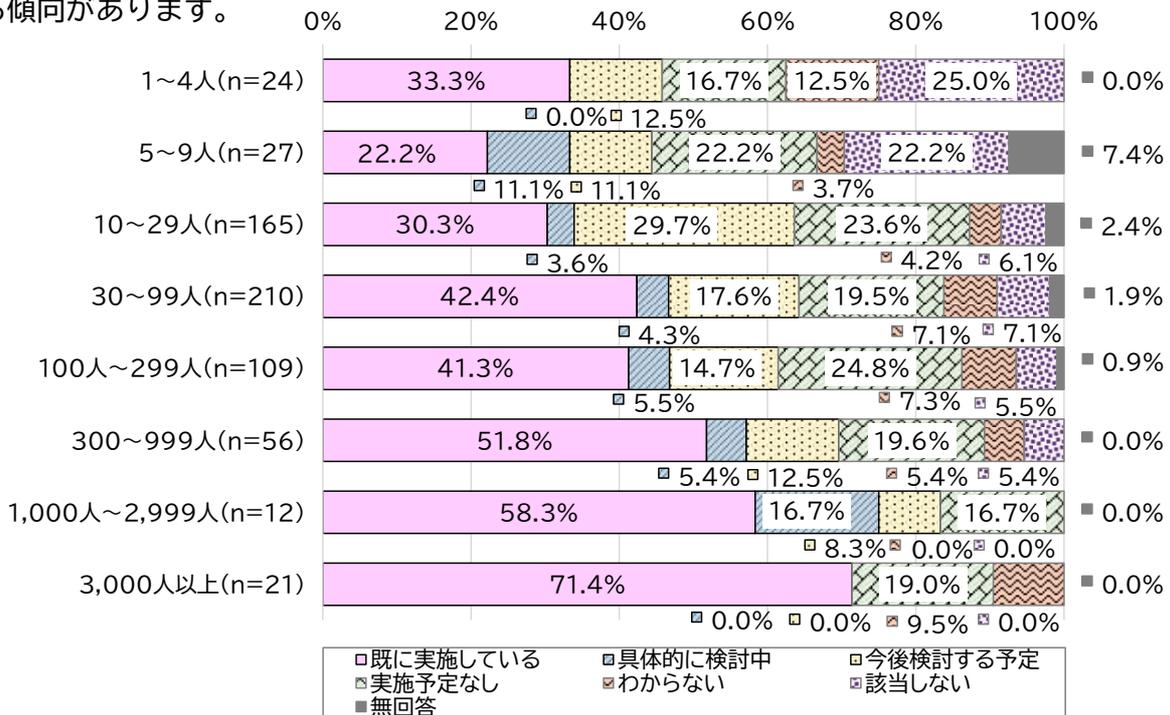
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



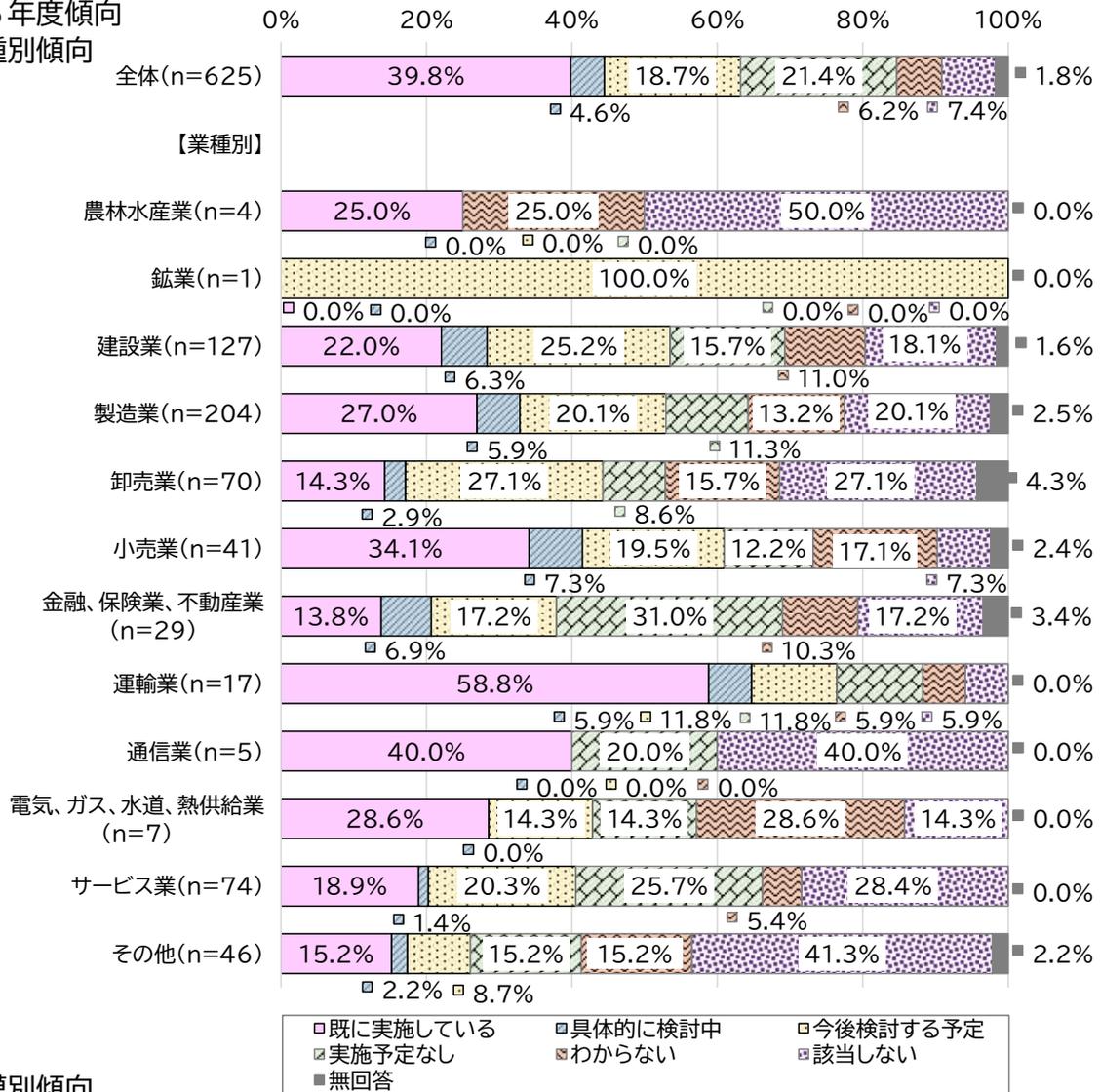
◆規模別傾向

回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既の実施している」が高くなる傾向があります。



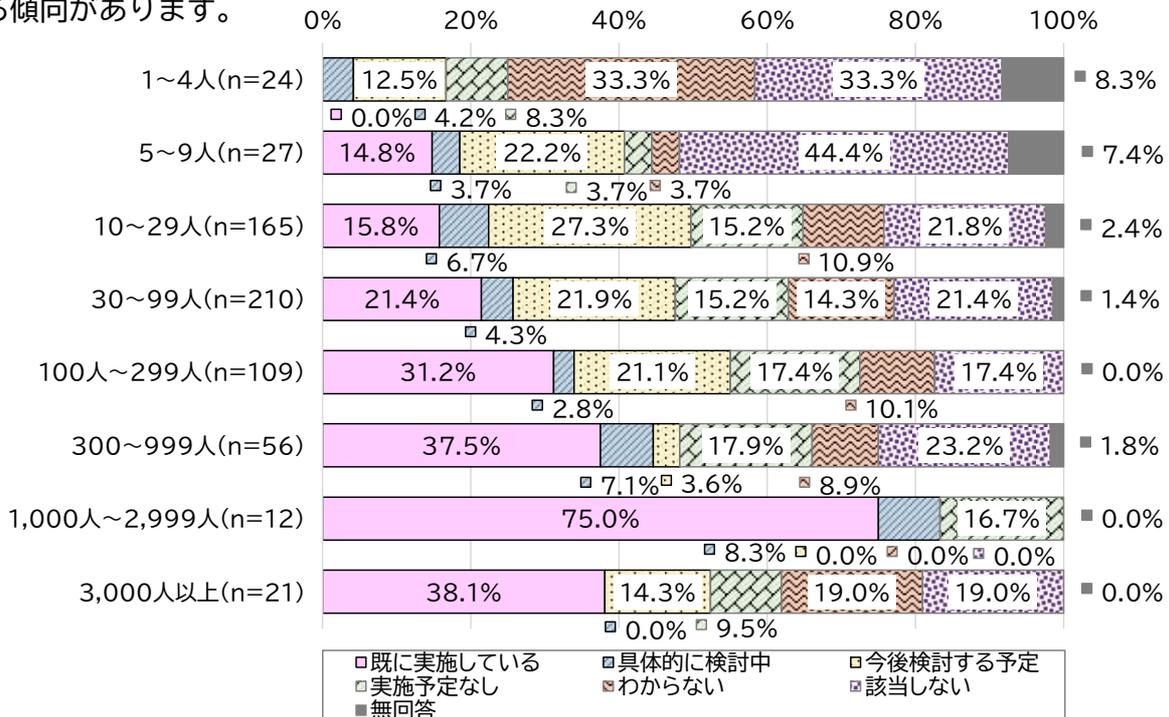
④大気汚染物質の排出抑制

◆R6年度傾向
◆業種別傾向

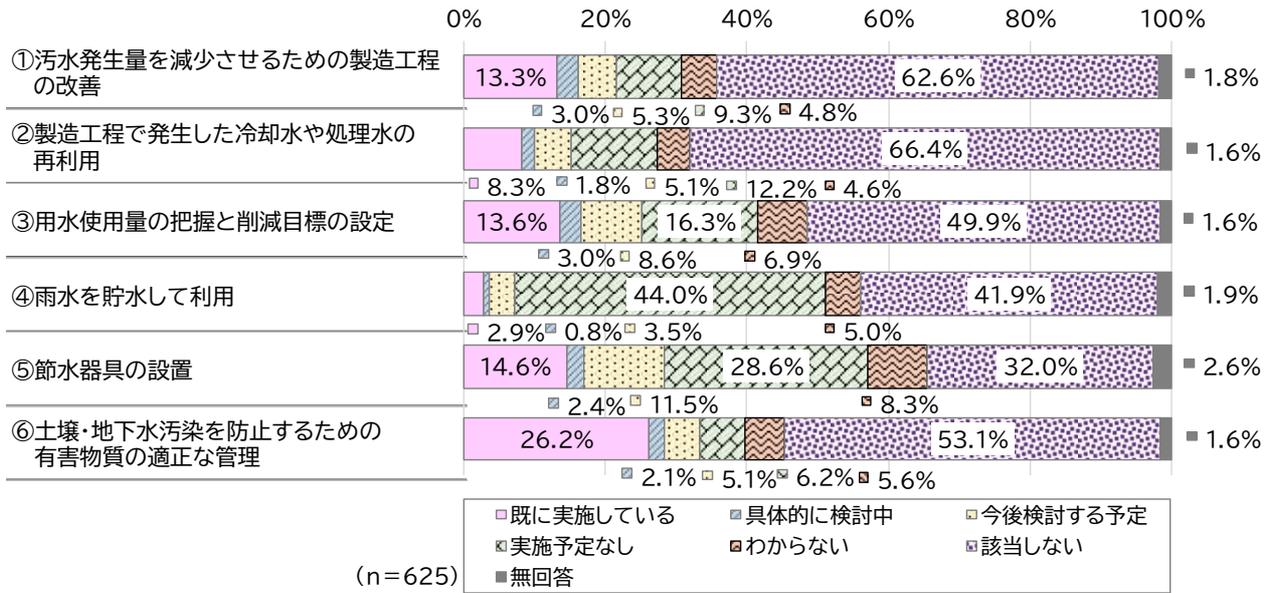


◆規模別傾向

回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



B. 水・土壌環境保全

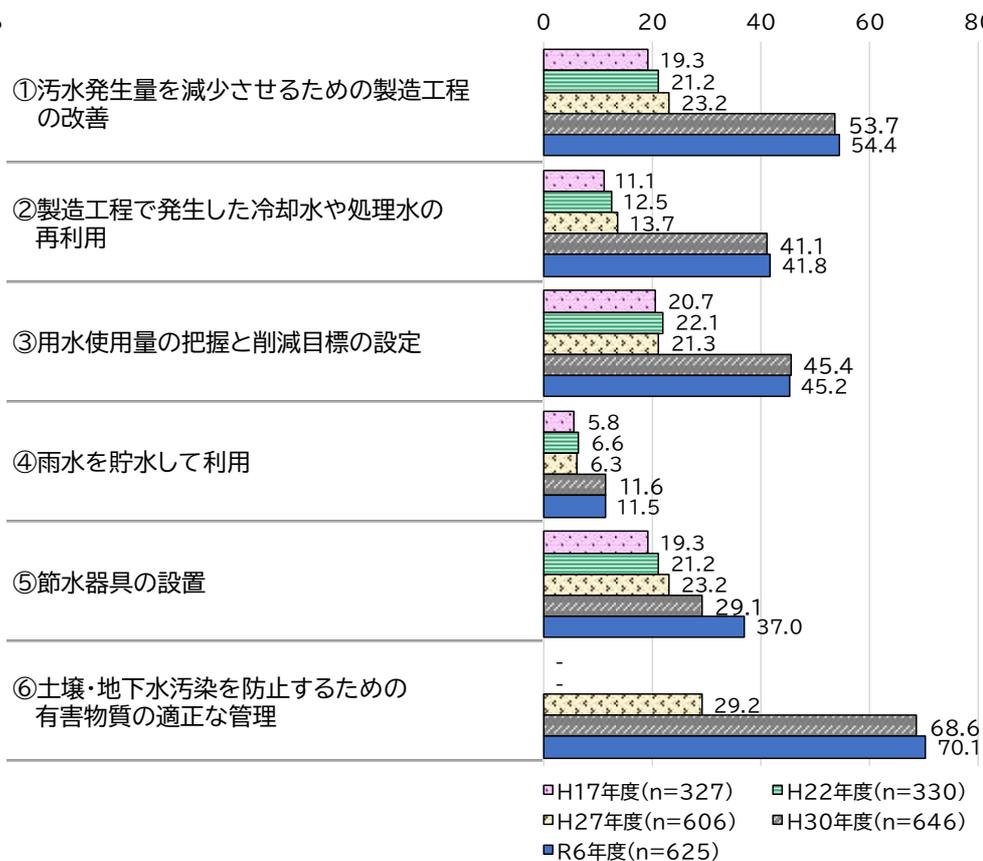


◆経年推移（加重平均）

加重平均の求め方

「既に実施している」=100点、「具体的に検討中」=75点、「今後検討する予定」=50点、「実施予定なし」=0点、「わからない」=25点とし加重を与え、指標化

経年比較すると、「⑤節水器具の設置」は、H30年調査より今回調査で7.9ポイント高くなっています。



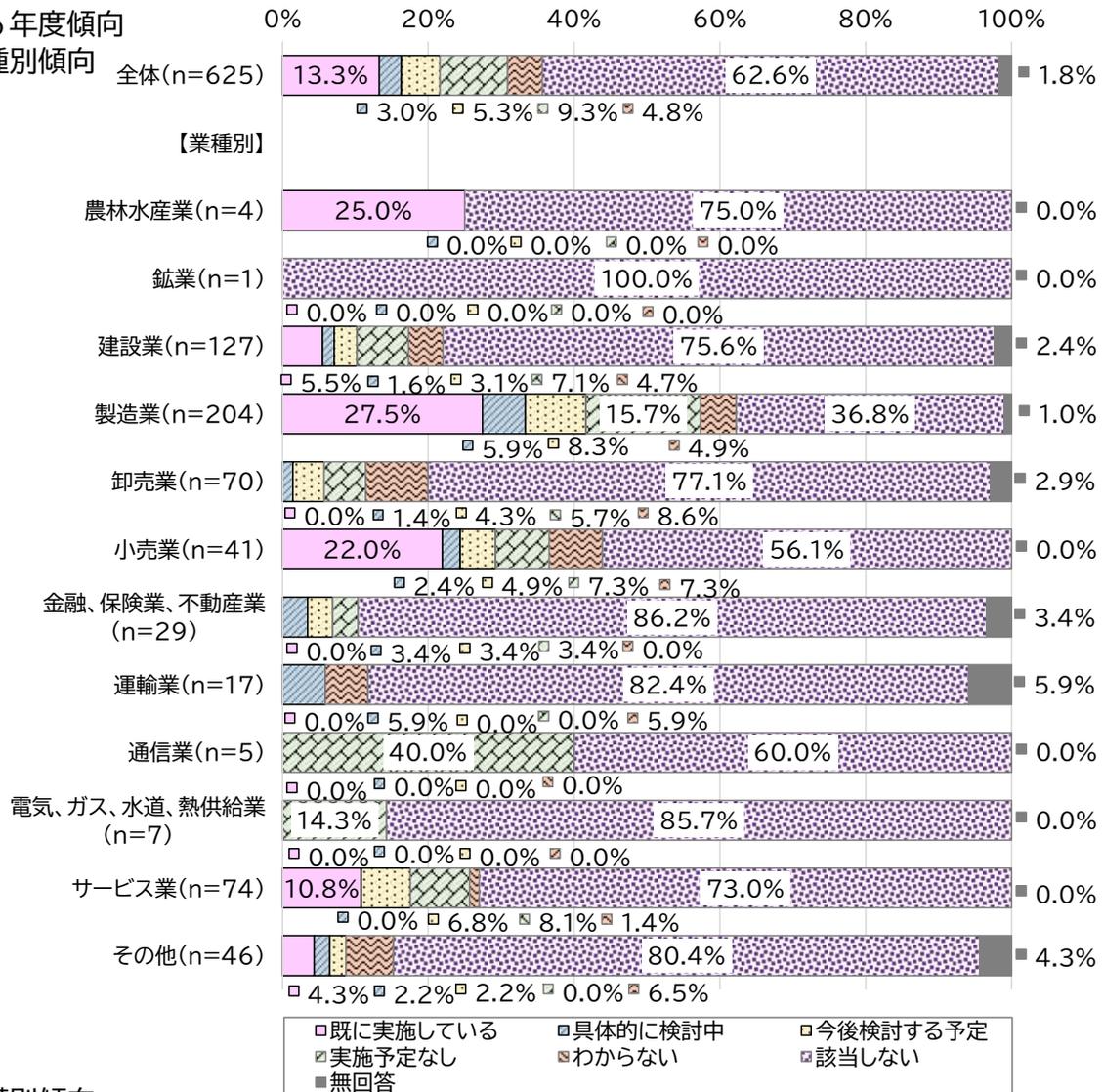
※グラフ内の「-」は、前回調査なし

※H17年度、H22年度、H27年度調査については、「該当しない」を加重平均に含めている可能性があるため、比較対象としていません。

①汚水発生量を減少させるための製造工程の改善

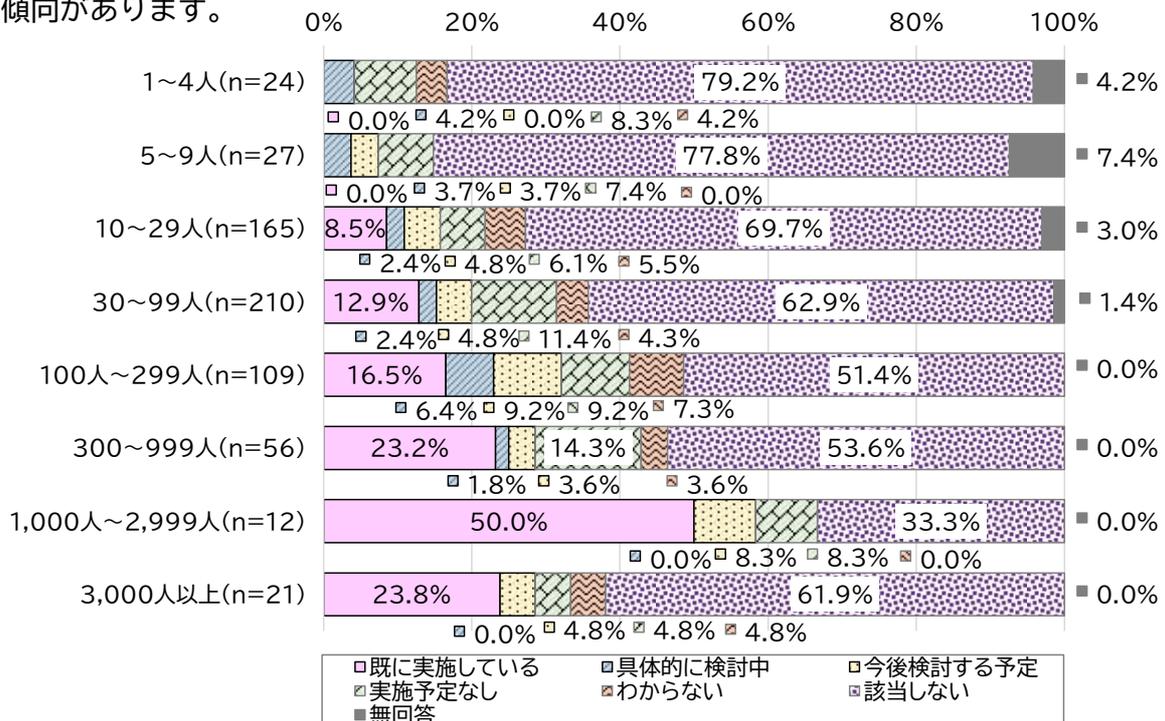
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

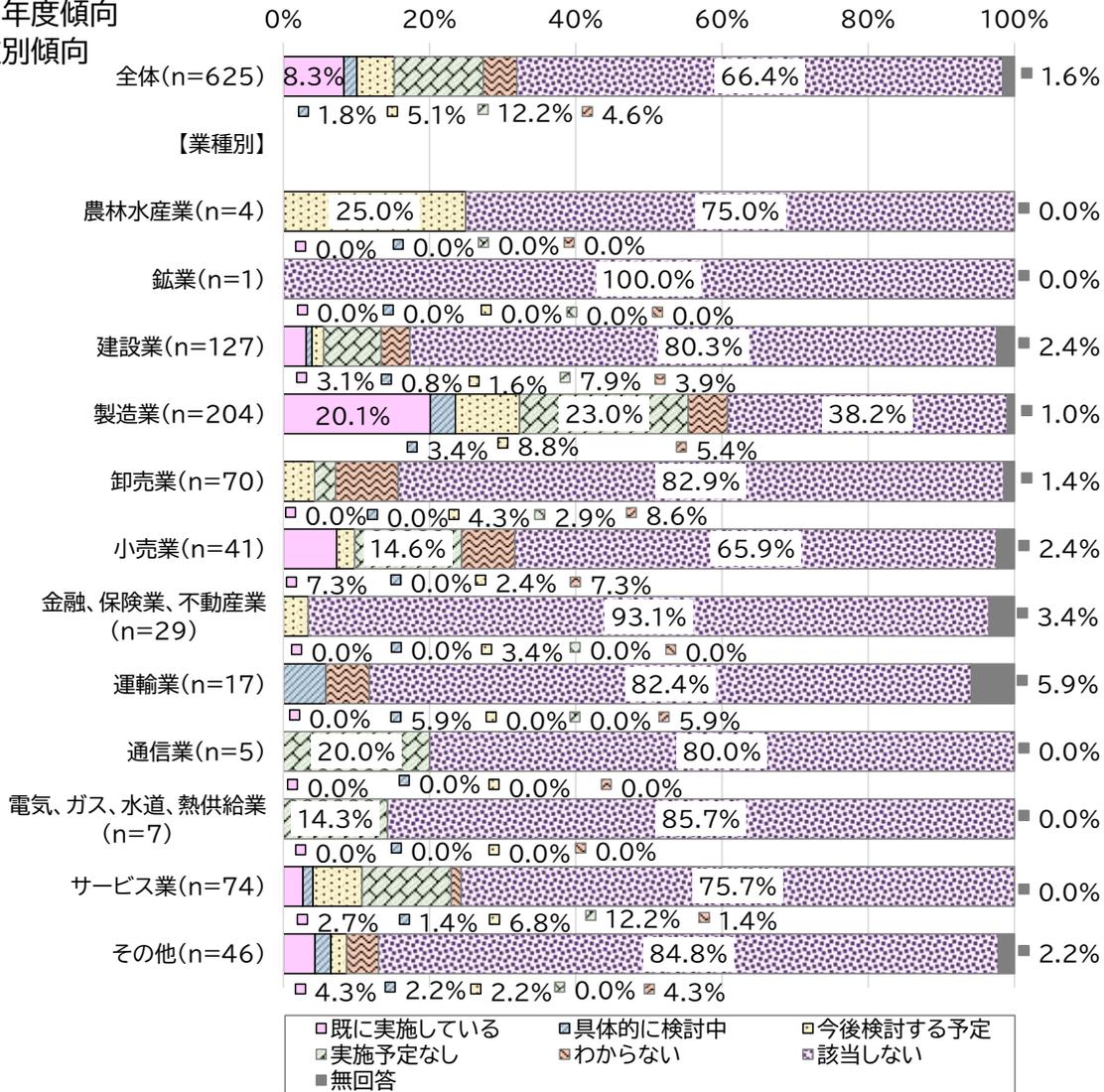
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



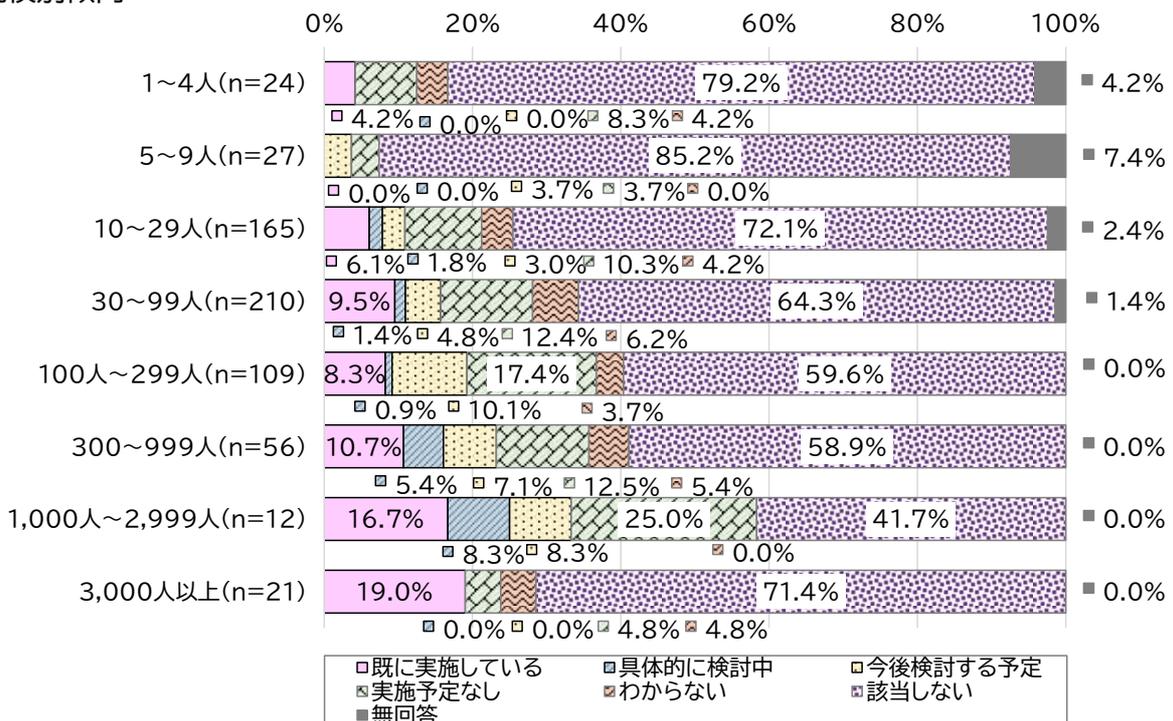
②製造工程で発生した冷却水や処理水の再利用

◆R6年度傾向

◆業種別傾向



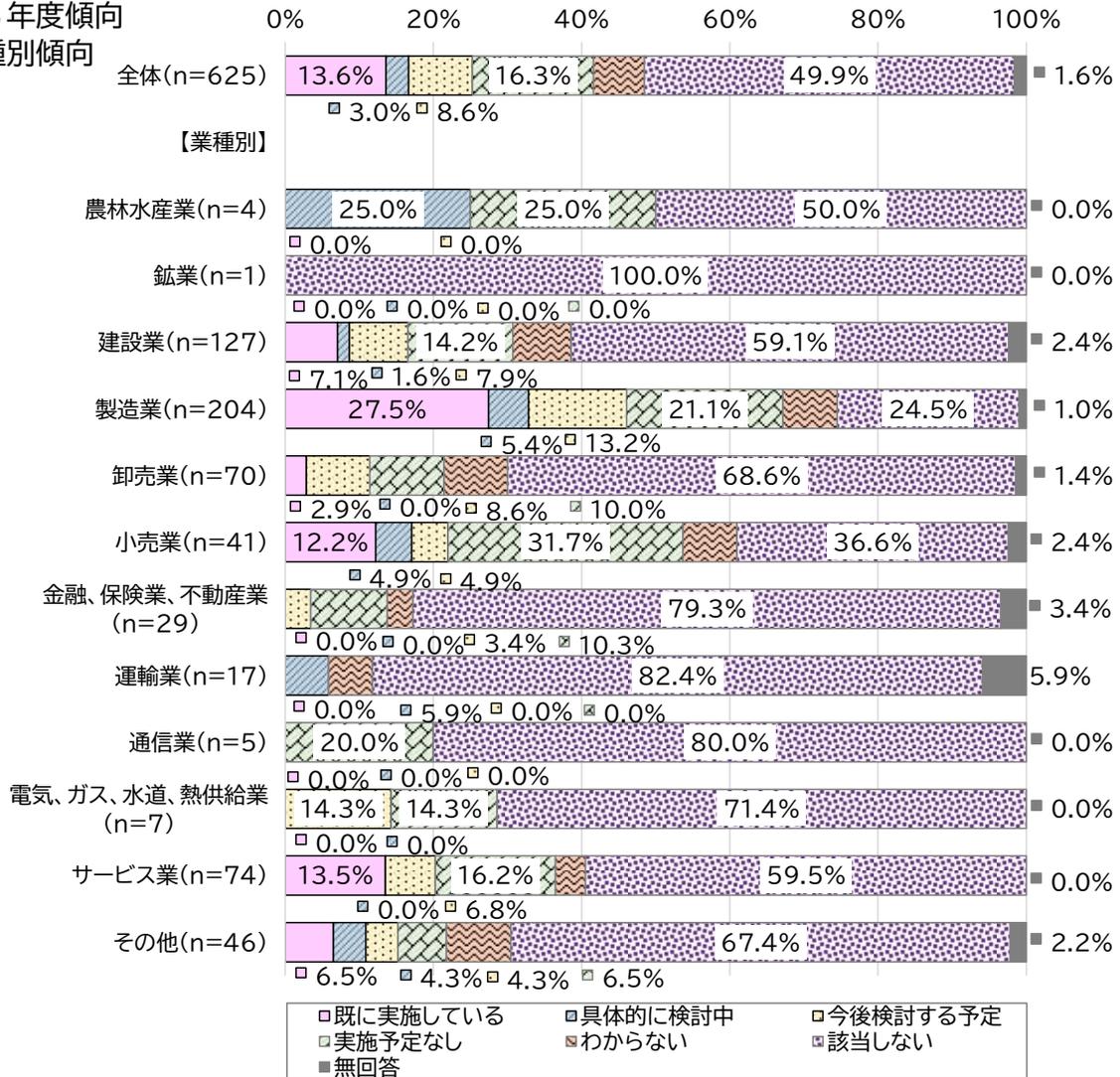
◆規模別傾向



③用水使用量の把握と削減目標の設定

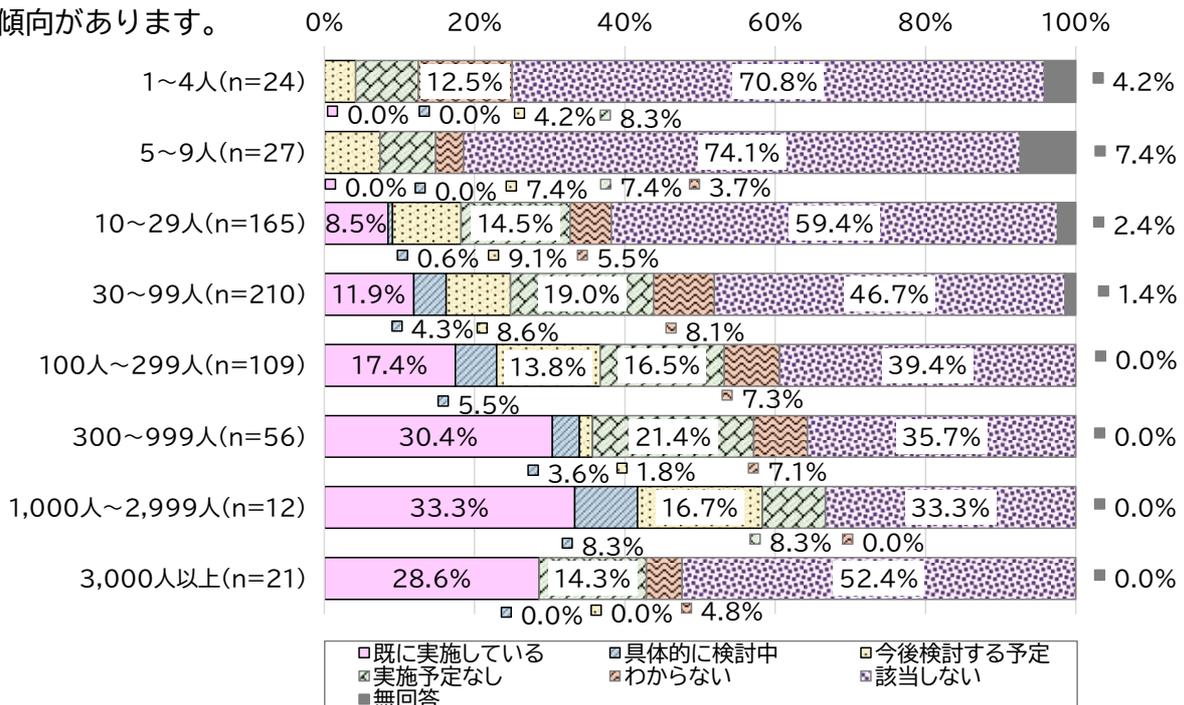
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

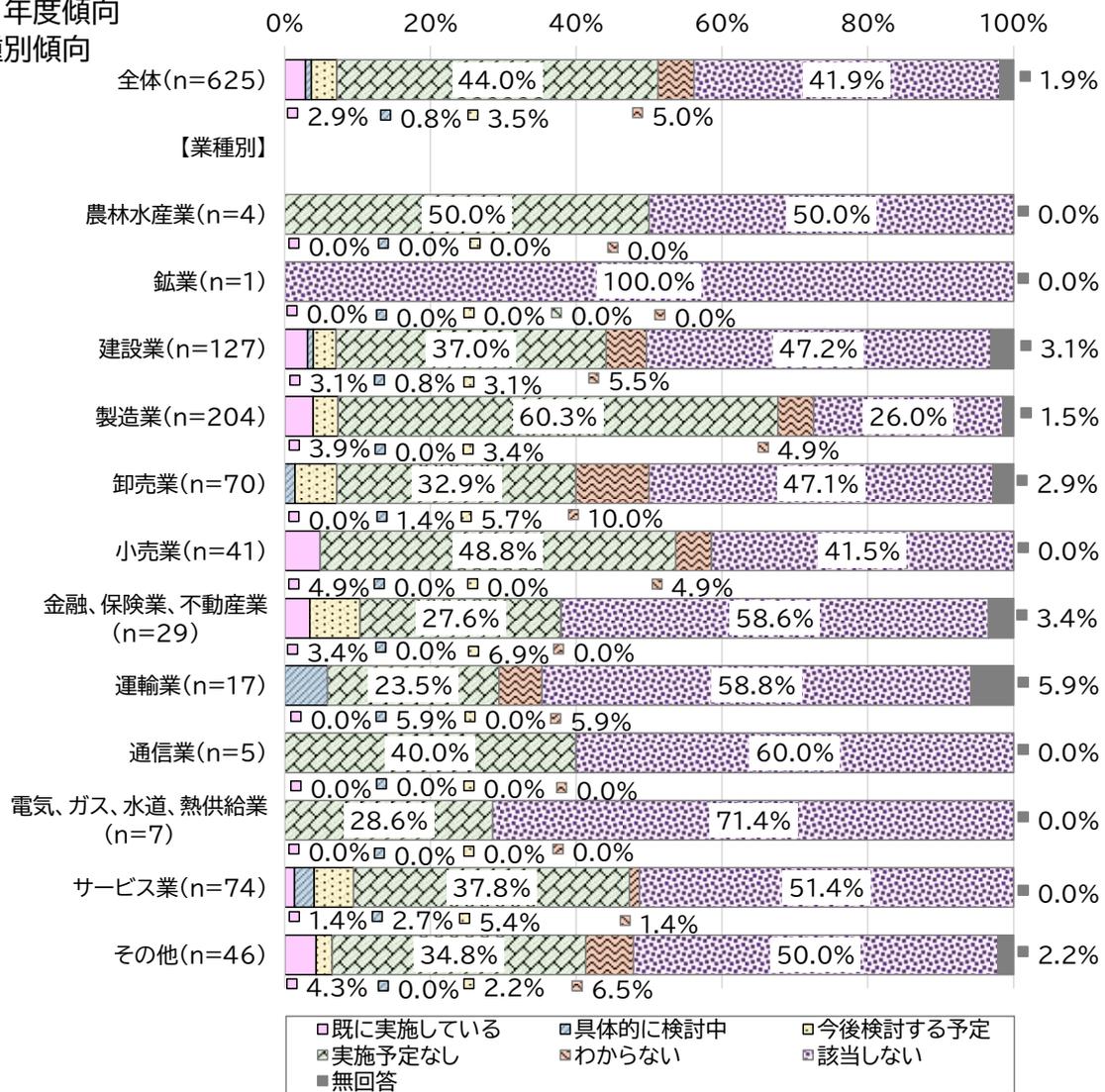
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



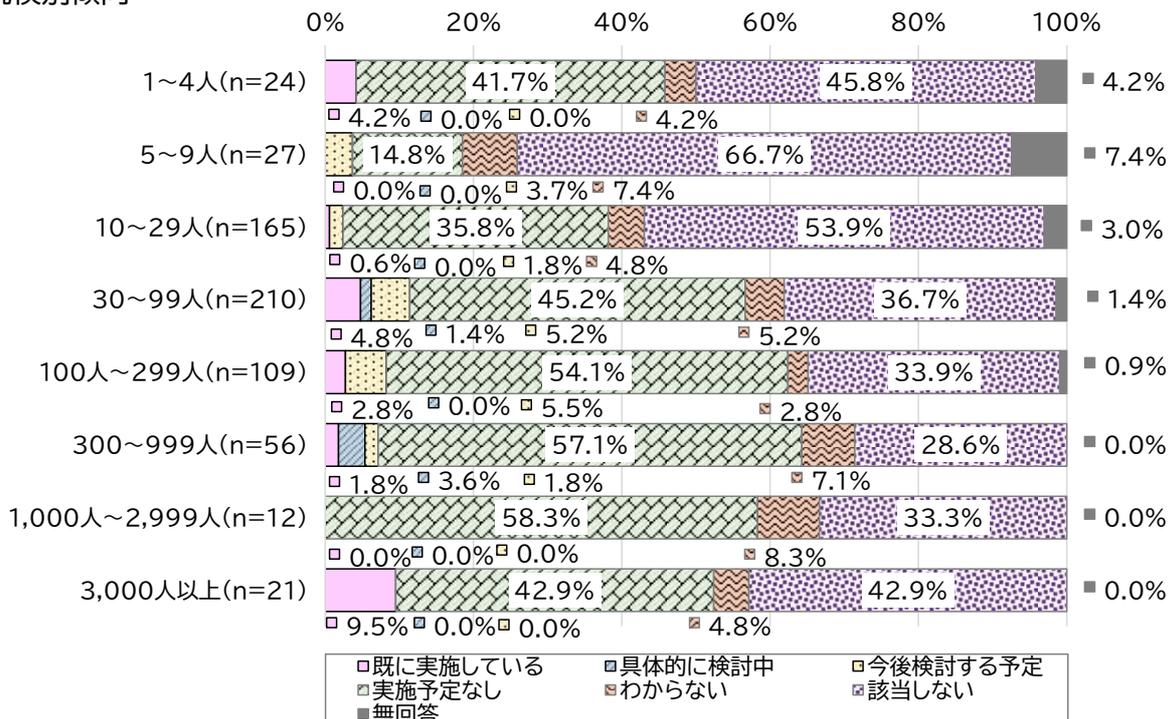
④雨水を貯水して利用

◆R6年度傾向

◆業種別傾向



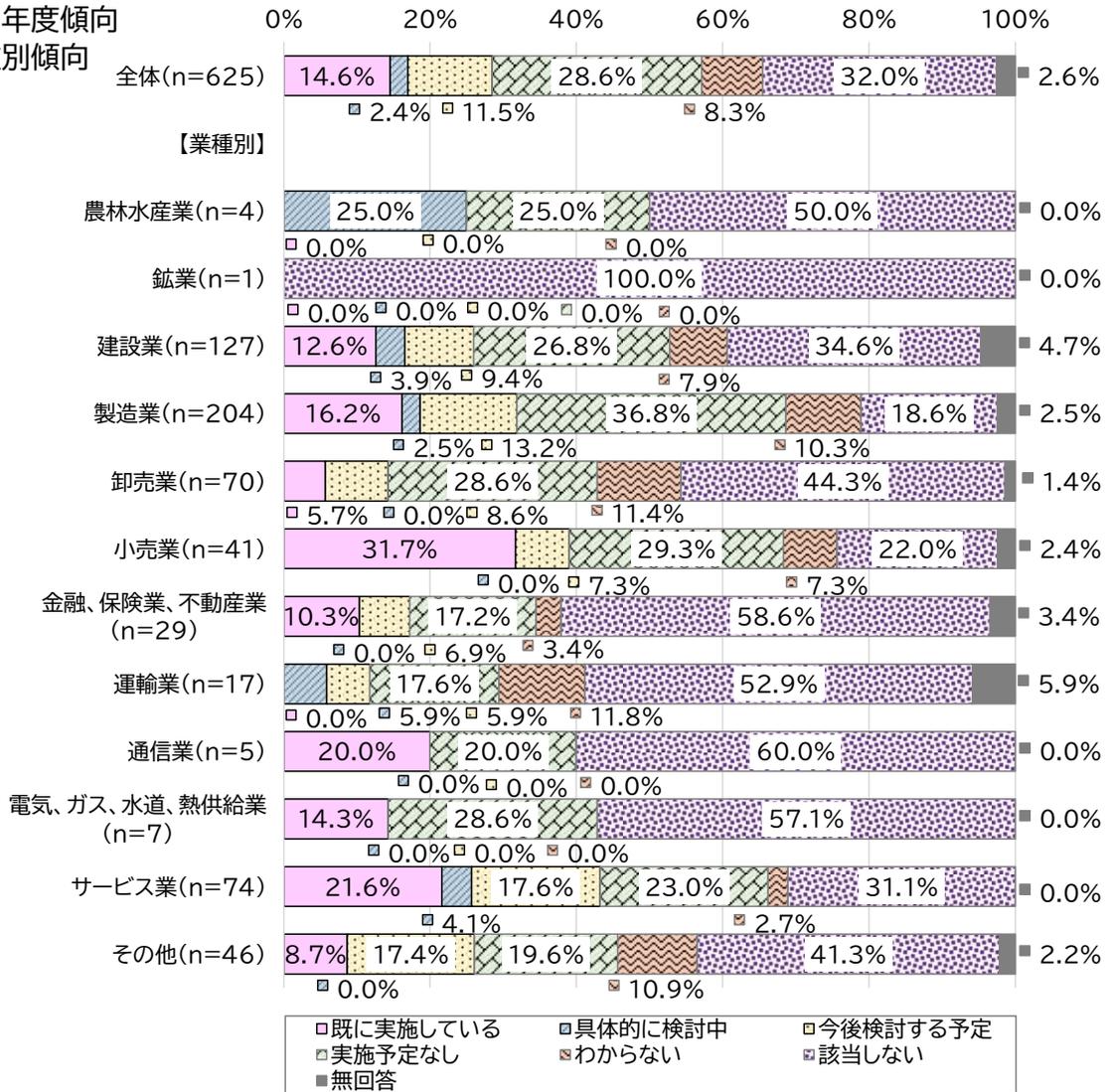
◆規模別傾向



⑤節水器具の設置

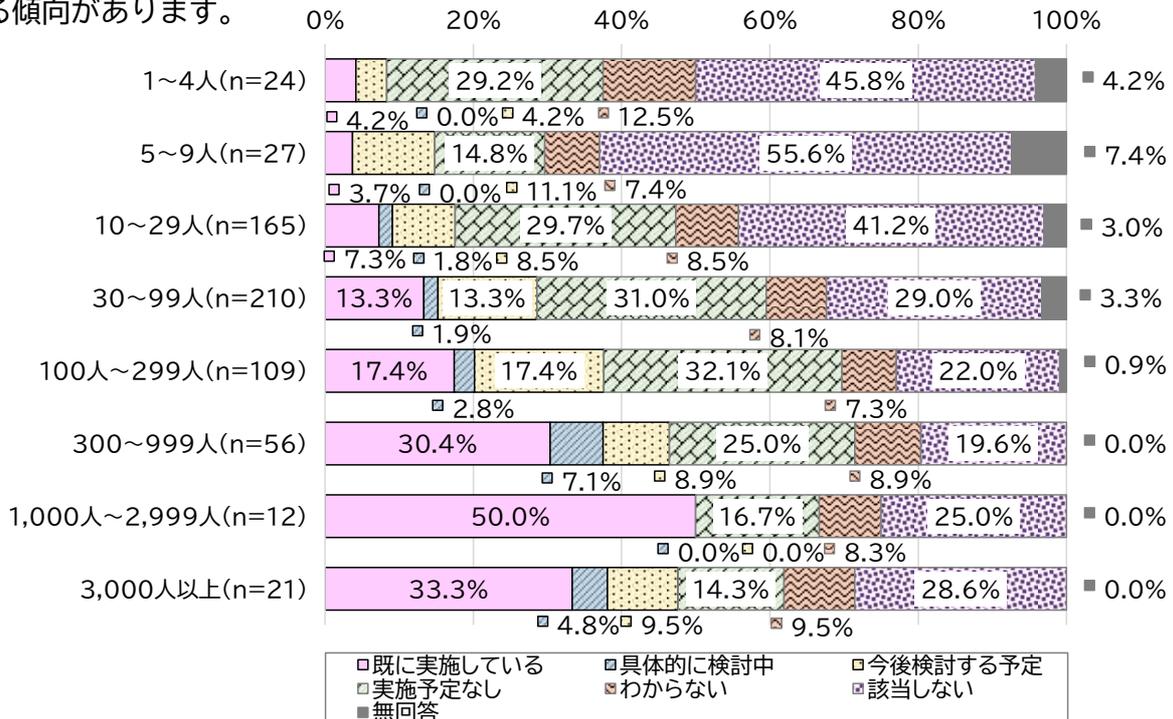
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

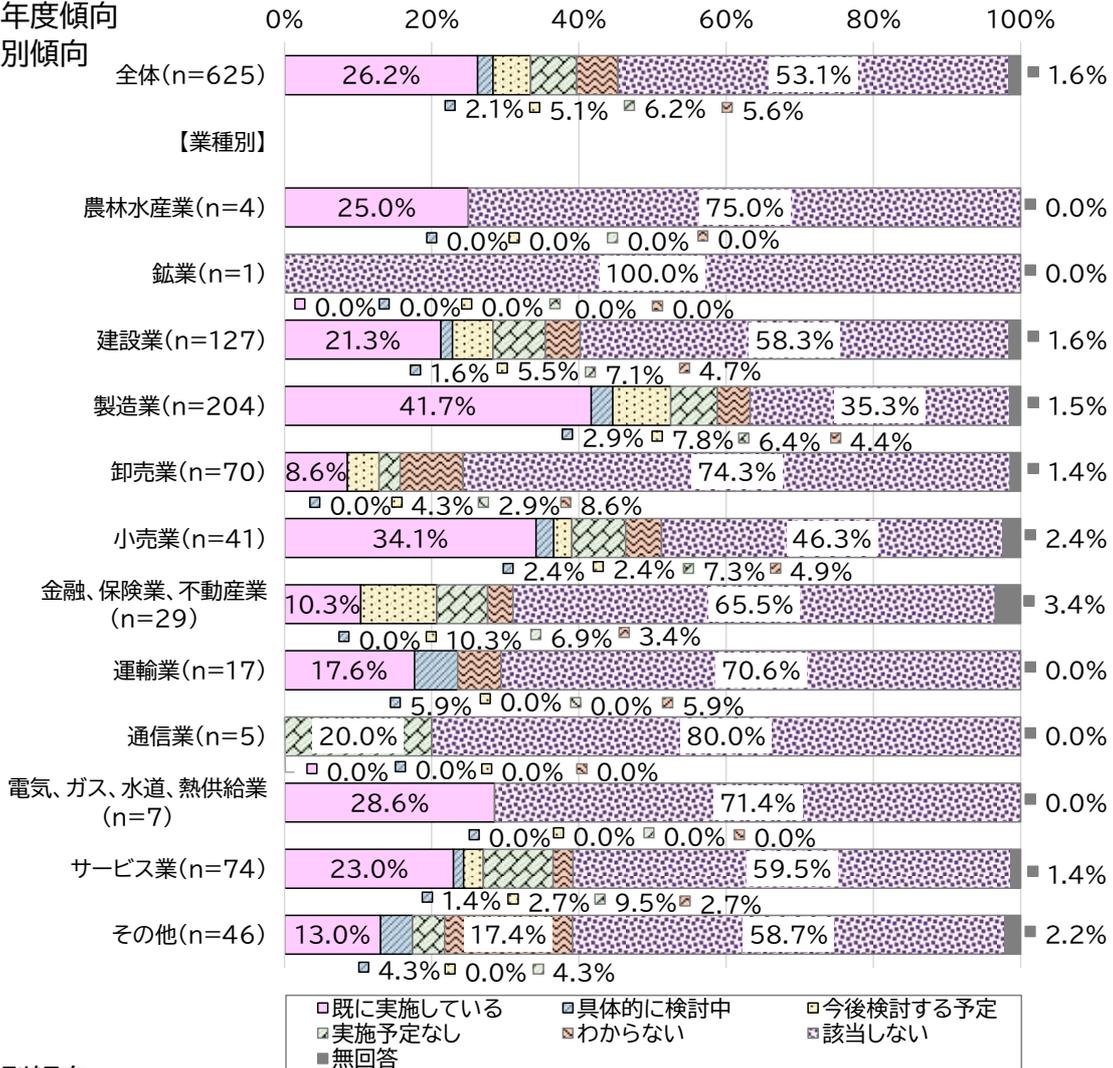
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既の実施している」が高くなる傾向があります。



⑥土壌・地下水汚染を防止するための有害物質の適正な管理

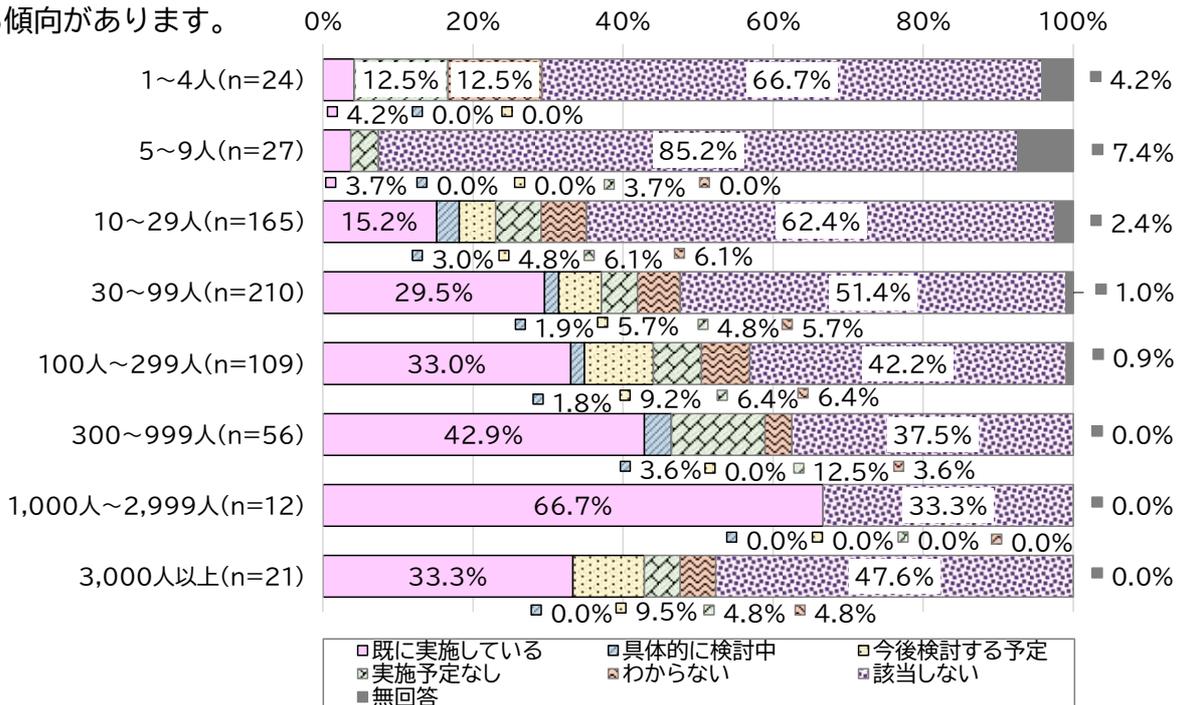
◆R6年度傾向

◆業種別傾向

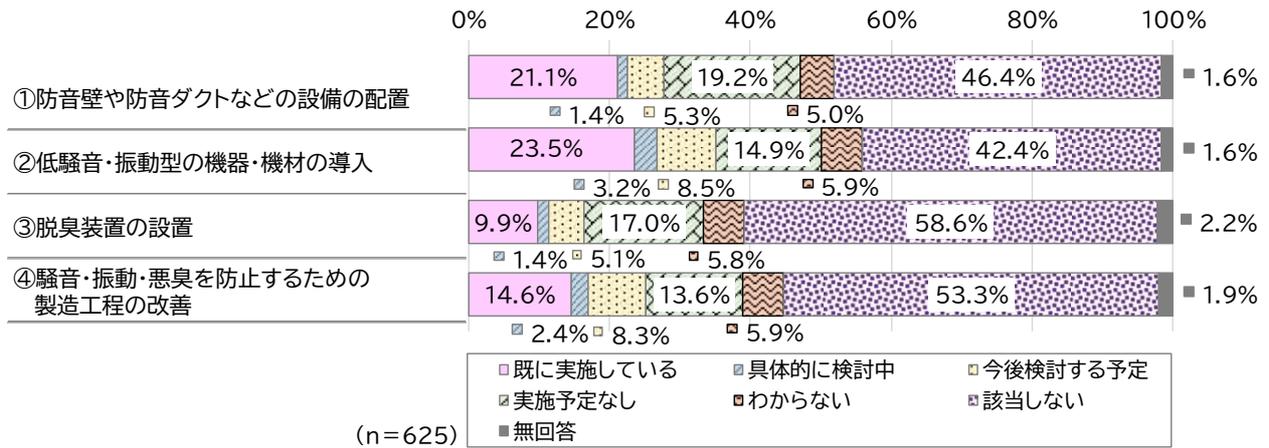


◆規模別傾向

回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



C. 騒音・振動・悪臭

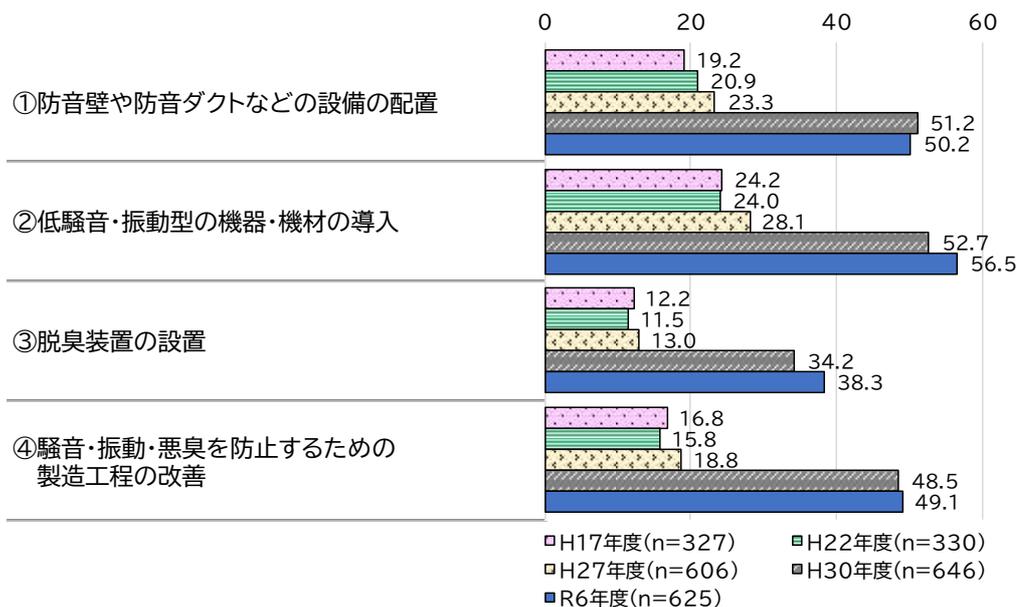


◆経年推移（加重平均）

加重平均の求め方

「既に実施している」=100点、「具体的に検討中」=75点、「今後検討する予定」=50点、「実施予定なし」=0点、「わからない」=25点とし加重を与え、指標化

経年比較すると、「②低騒音・振動型の機器・機材の導入」は3.8ポイント、「③脱臭装置の設置」は4.1ポイントH30年調査より今回調査が高くなっています。

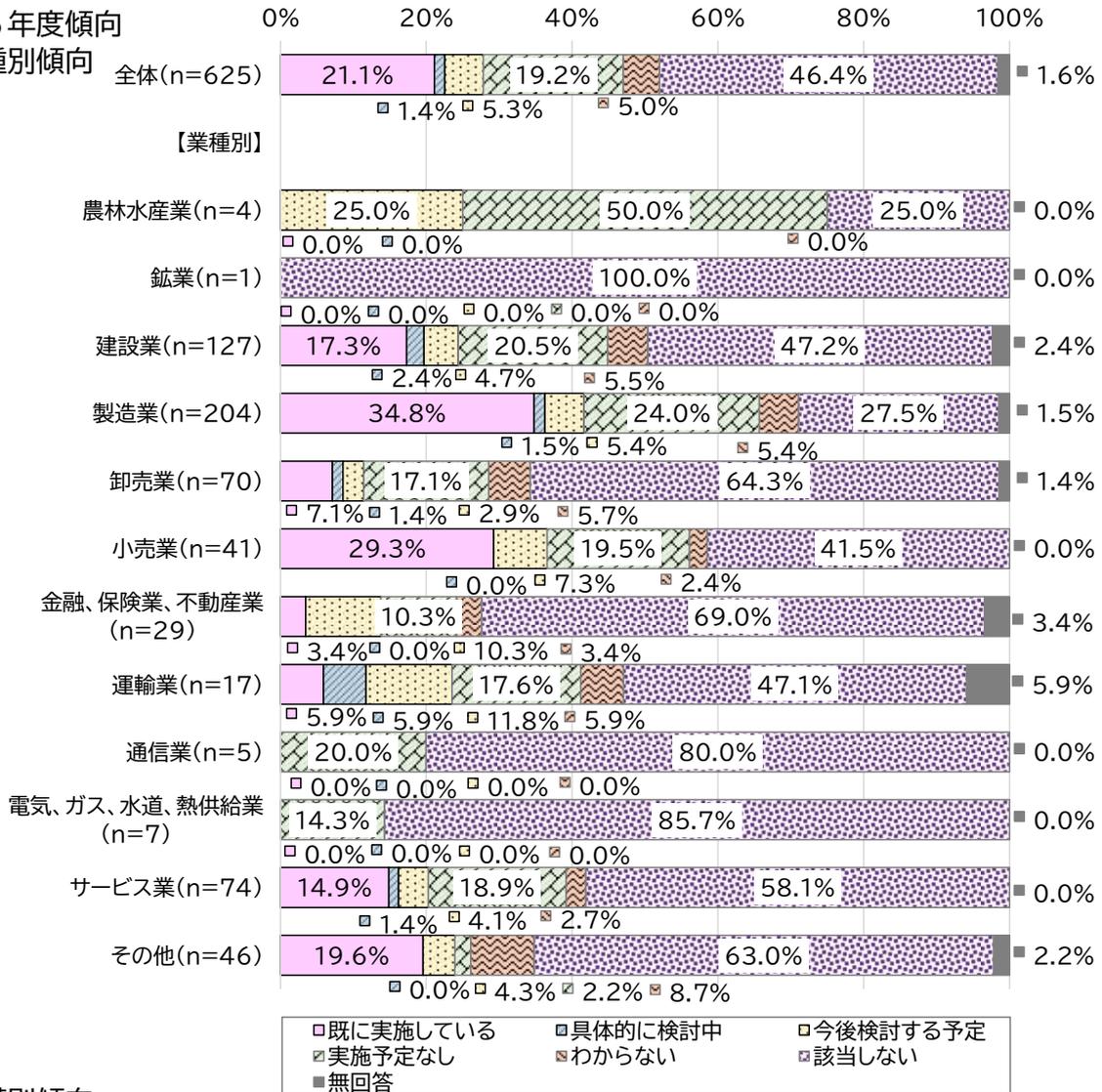


※H17年度、H22年度、H27年度調査については、「該当しない」を加重平均に含めている可能性があるため、比較対象としていません。

①防音壁や防音ダクトなどの設備の配置

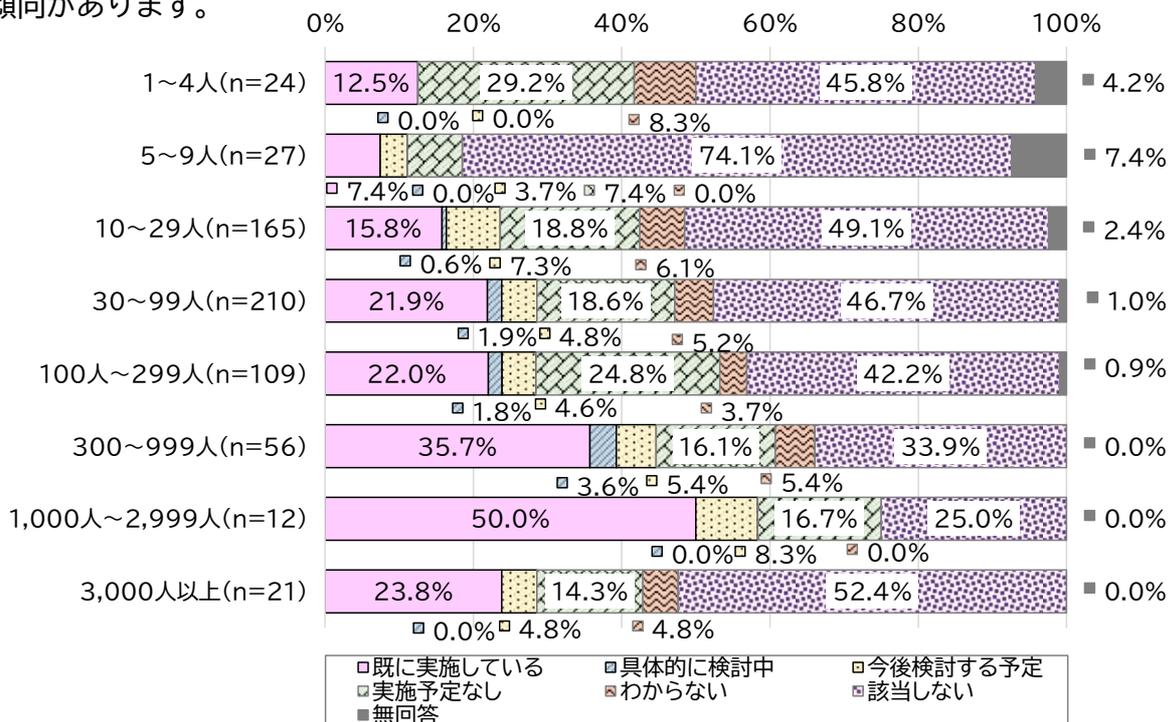
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

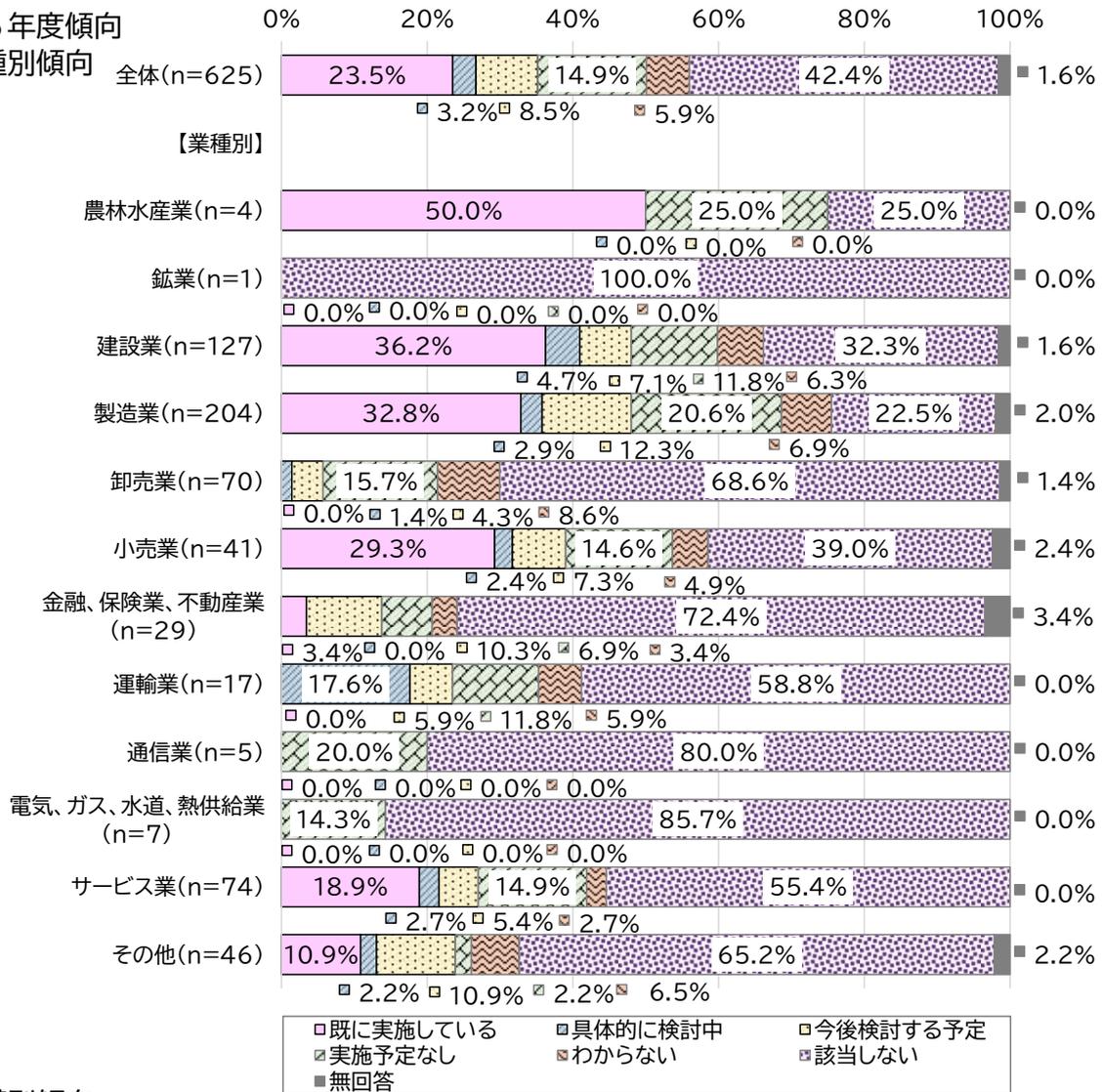
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



②低騒音・振動型の機器・機材の導入

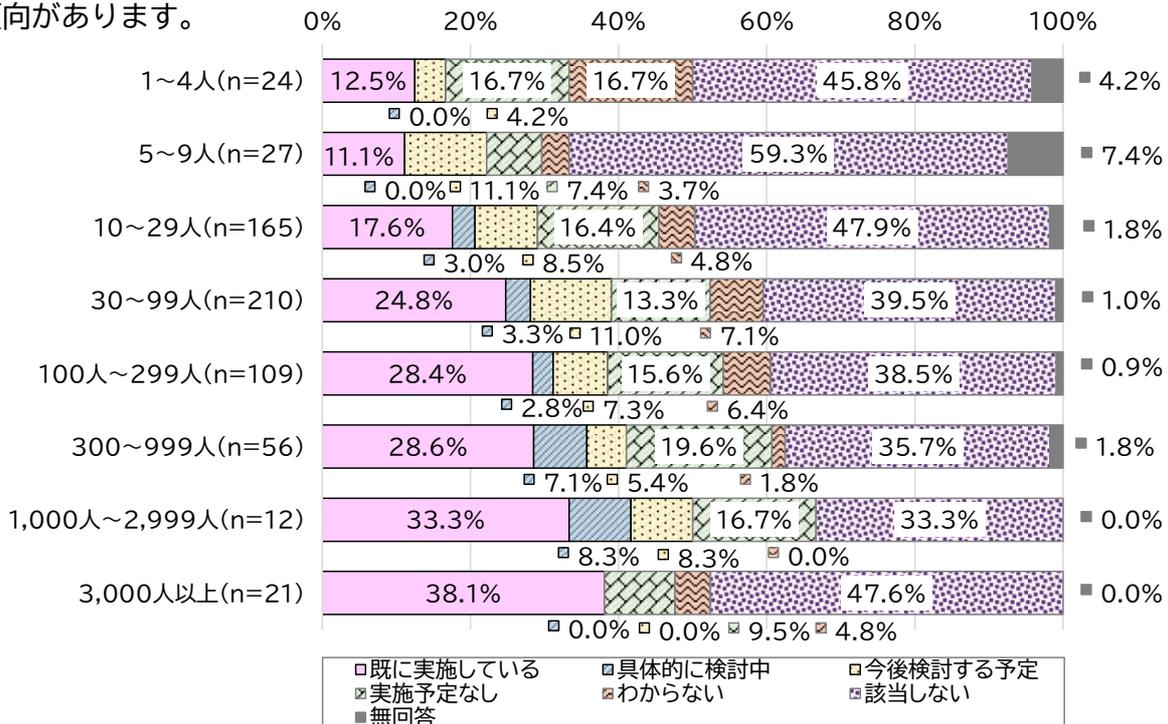
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

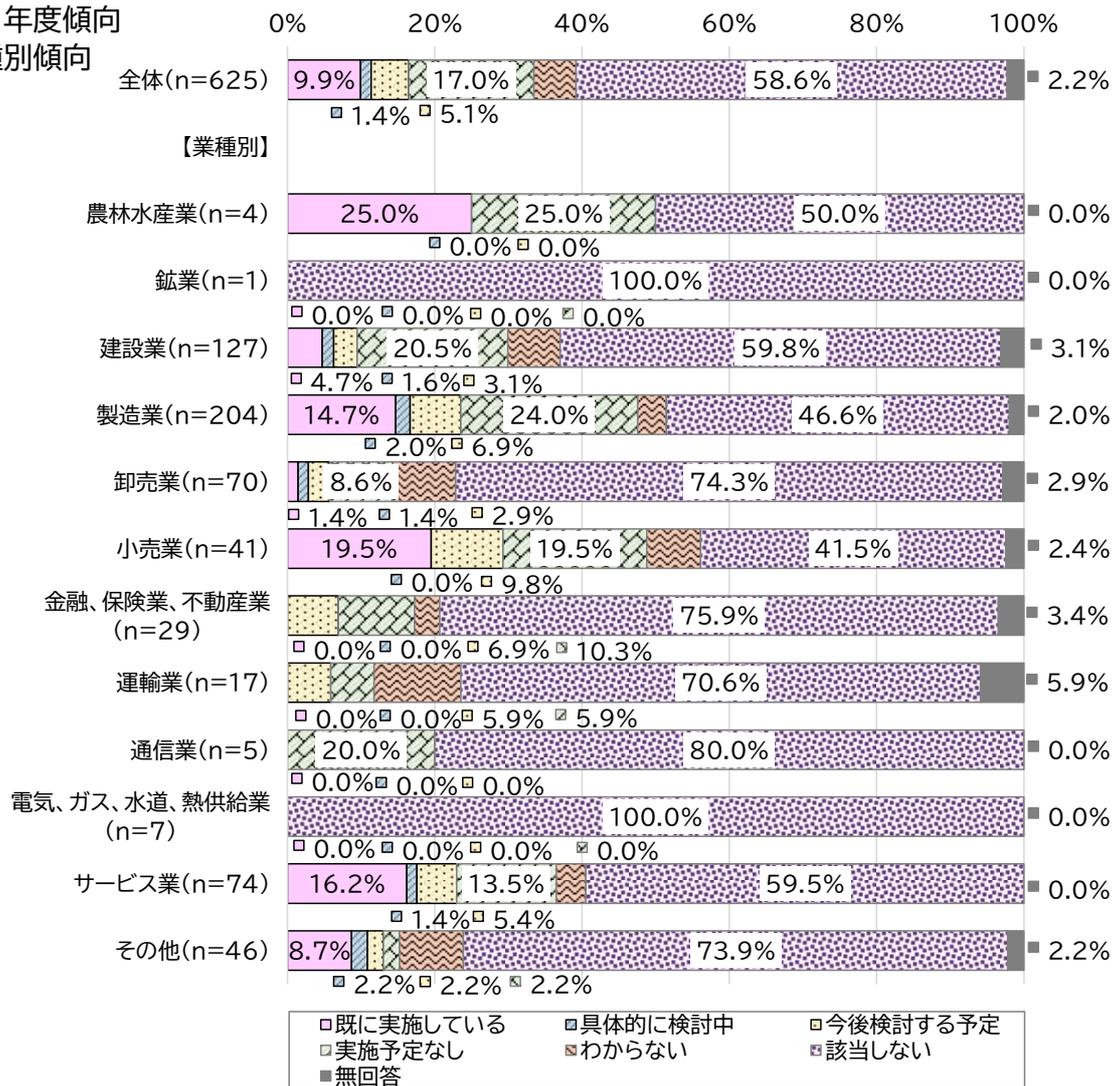
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既の実施している」が高くなる傾向があります。



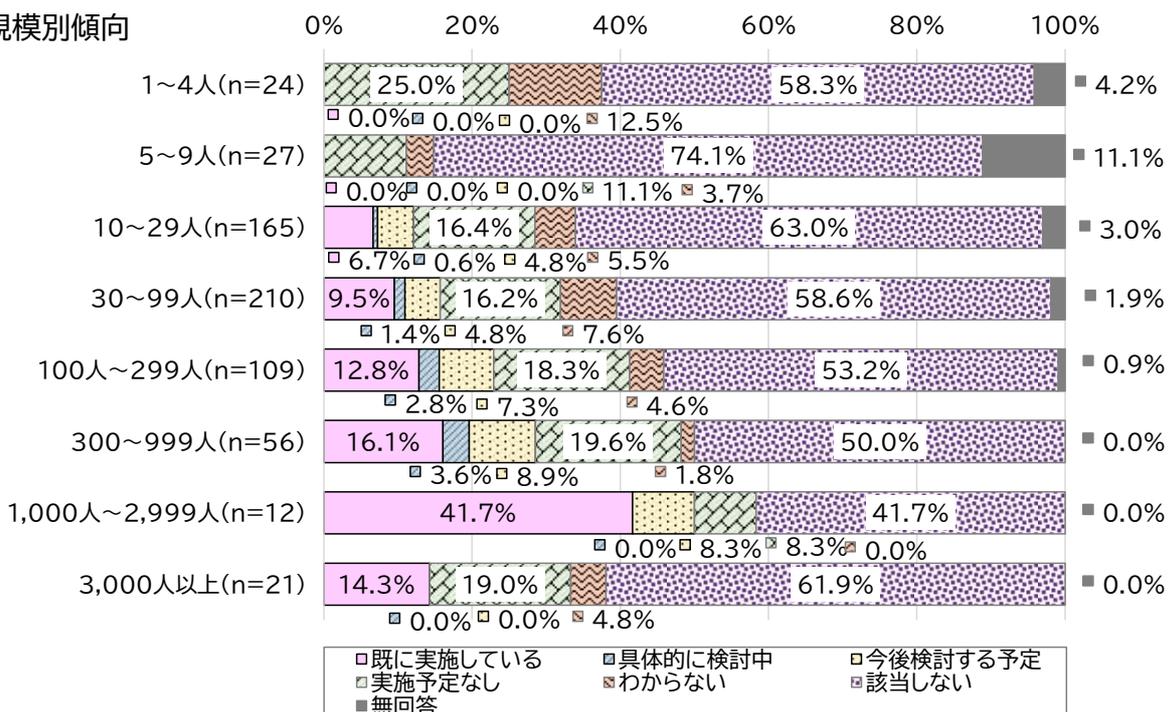
③脱臭装置の設置

◆R6年度傾向

◆業種別傾向



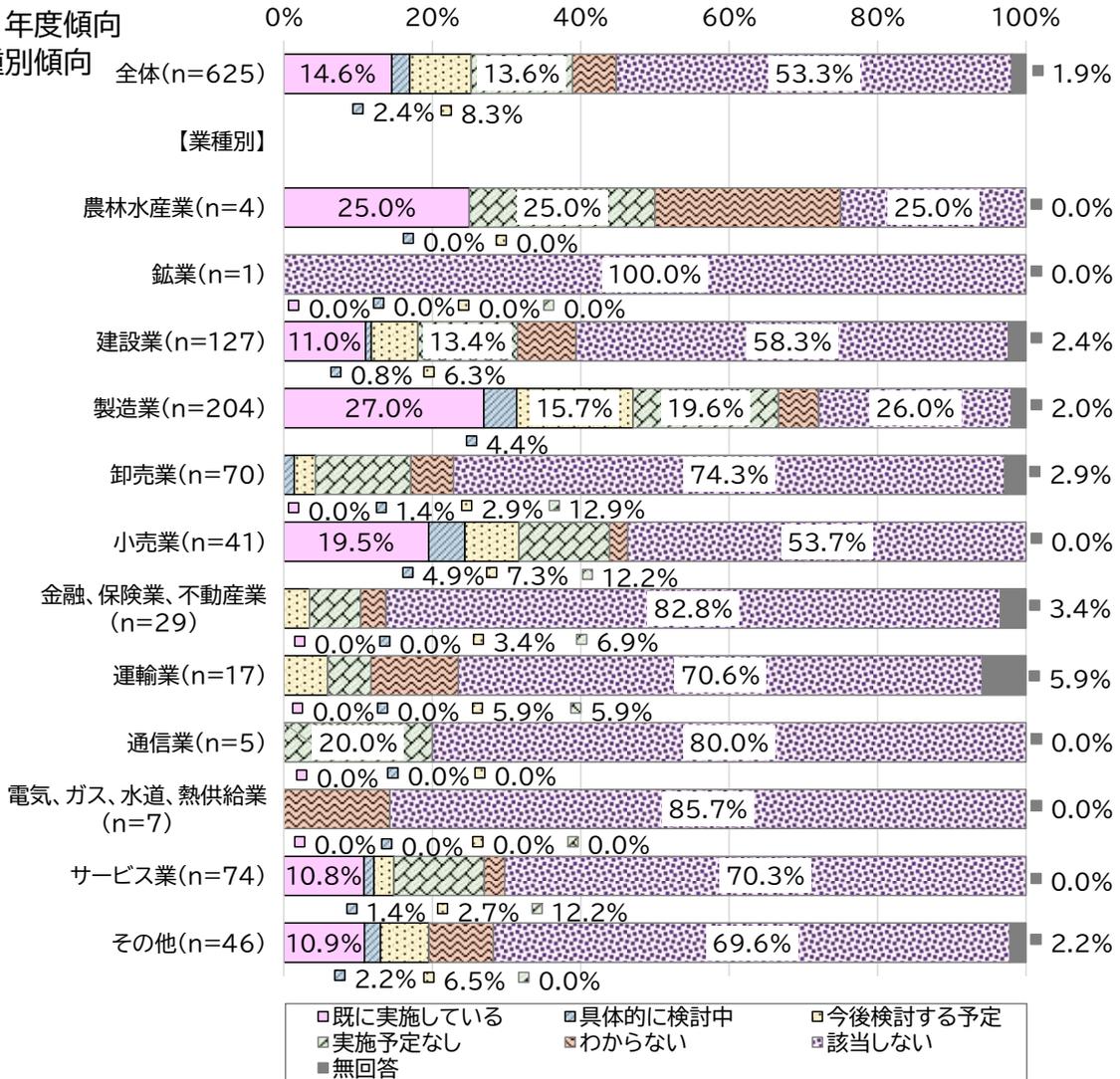
◆規模別傾向



④騒音・振動・悪臭を防止するための製造工程の改善

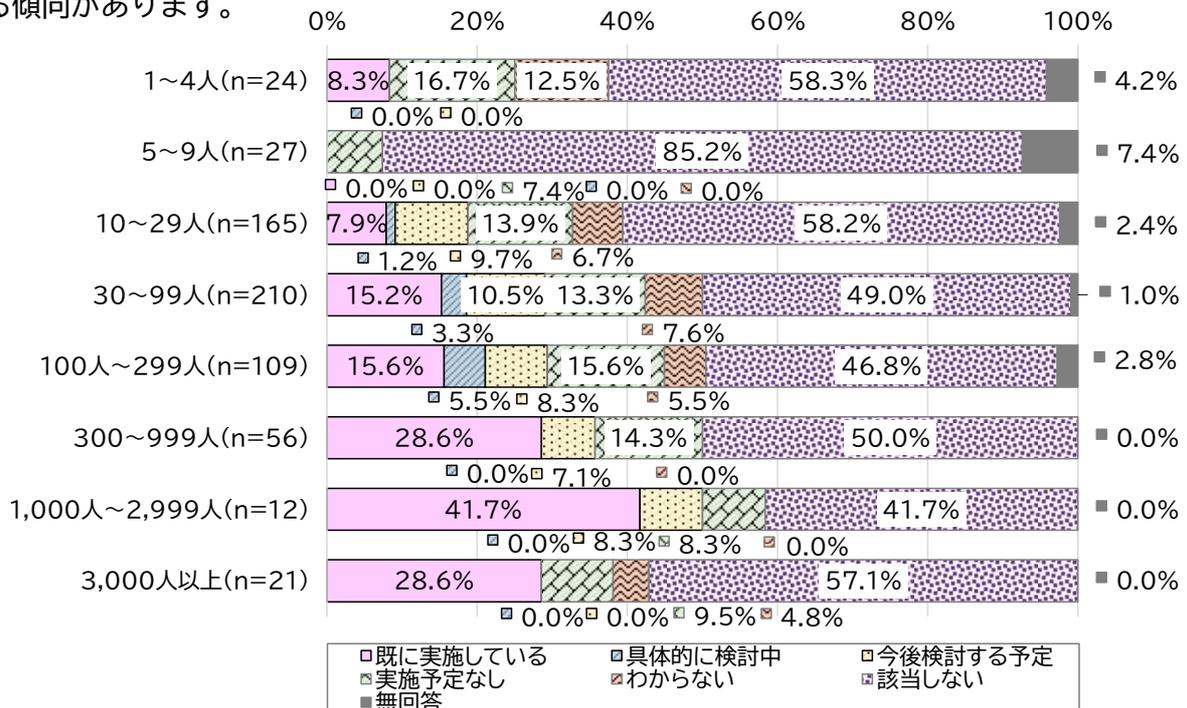
◆R6年度傾向

◆業種別傾向

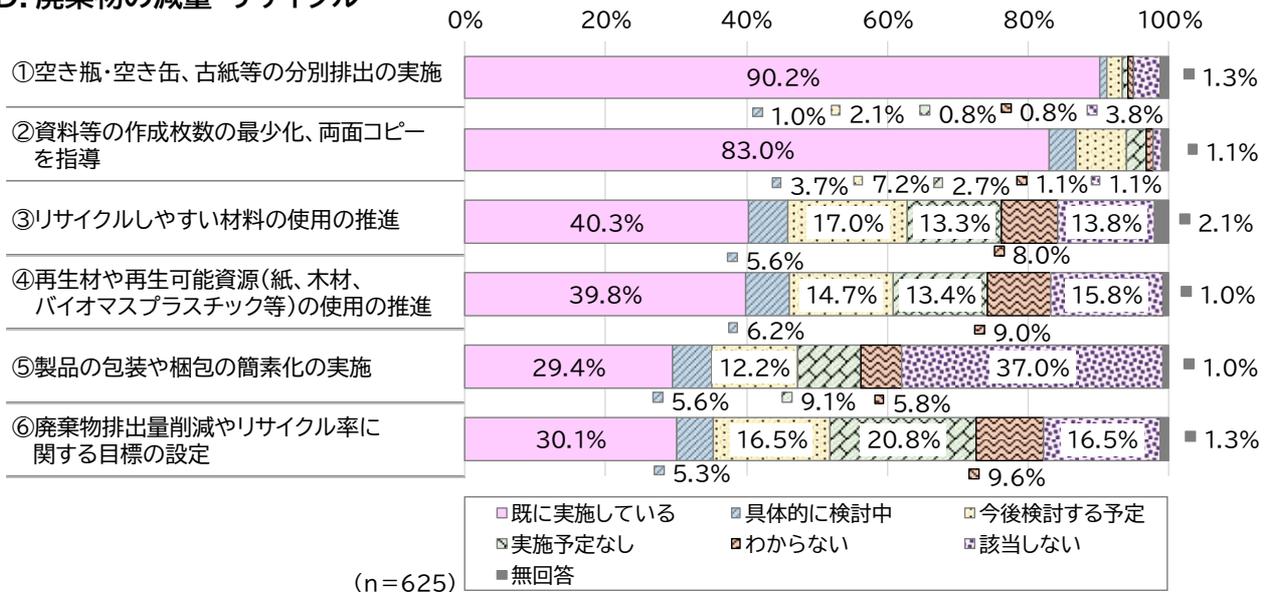


◆規模別傾向

回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



D. 廃棄物の減量・リサイクル

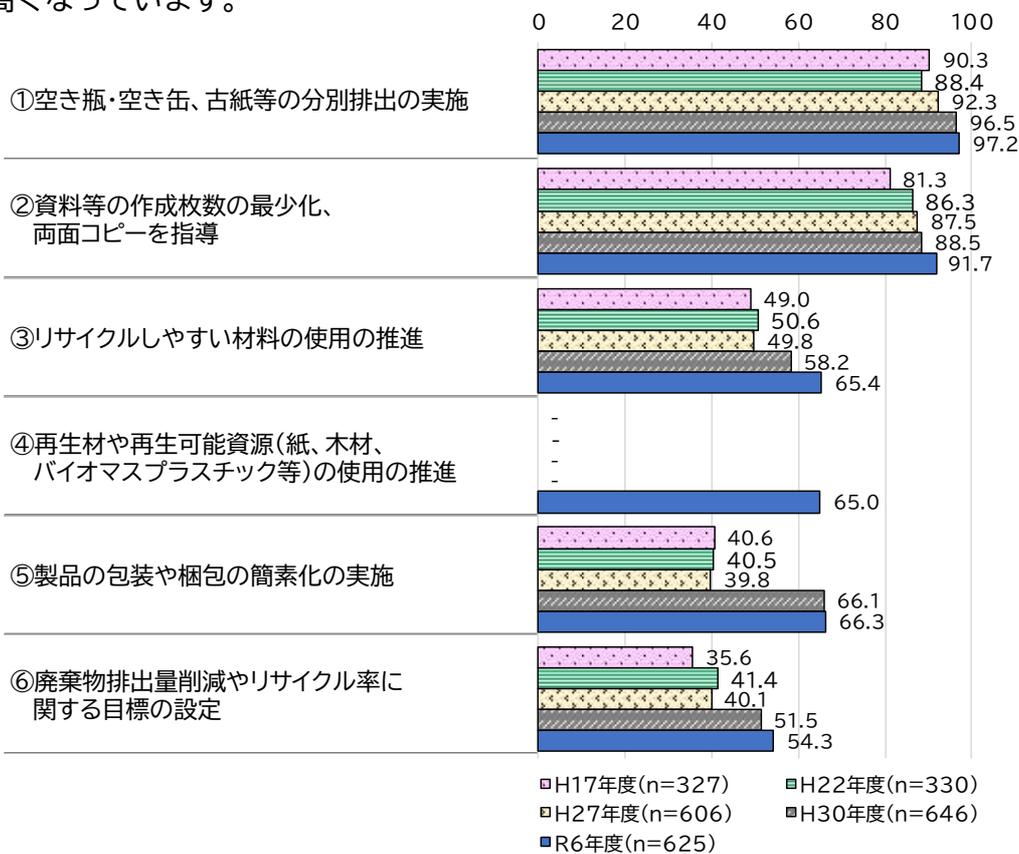


◆経年推移（加重平均）

加重平均の求め方

「既に実施している」=100点、「具体的に検討中」=75点、「今後検討する予定」=50点、「実施予定なし」=0点、「わからない」=25点とし加重を与え、指標化

経年比較すると、「③リサイクルしやすい材料の使用の推進」は、H30年調査より今回調査で7.2ポイント高くなっています。



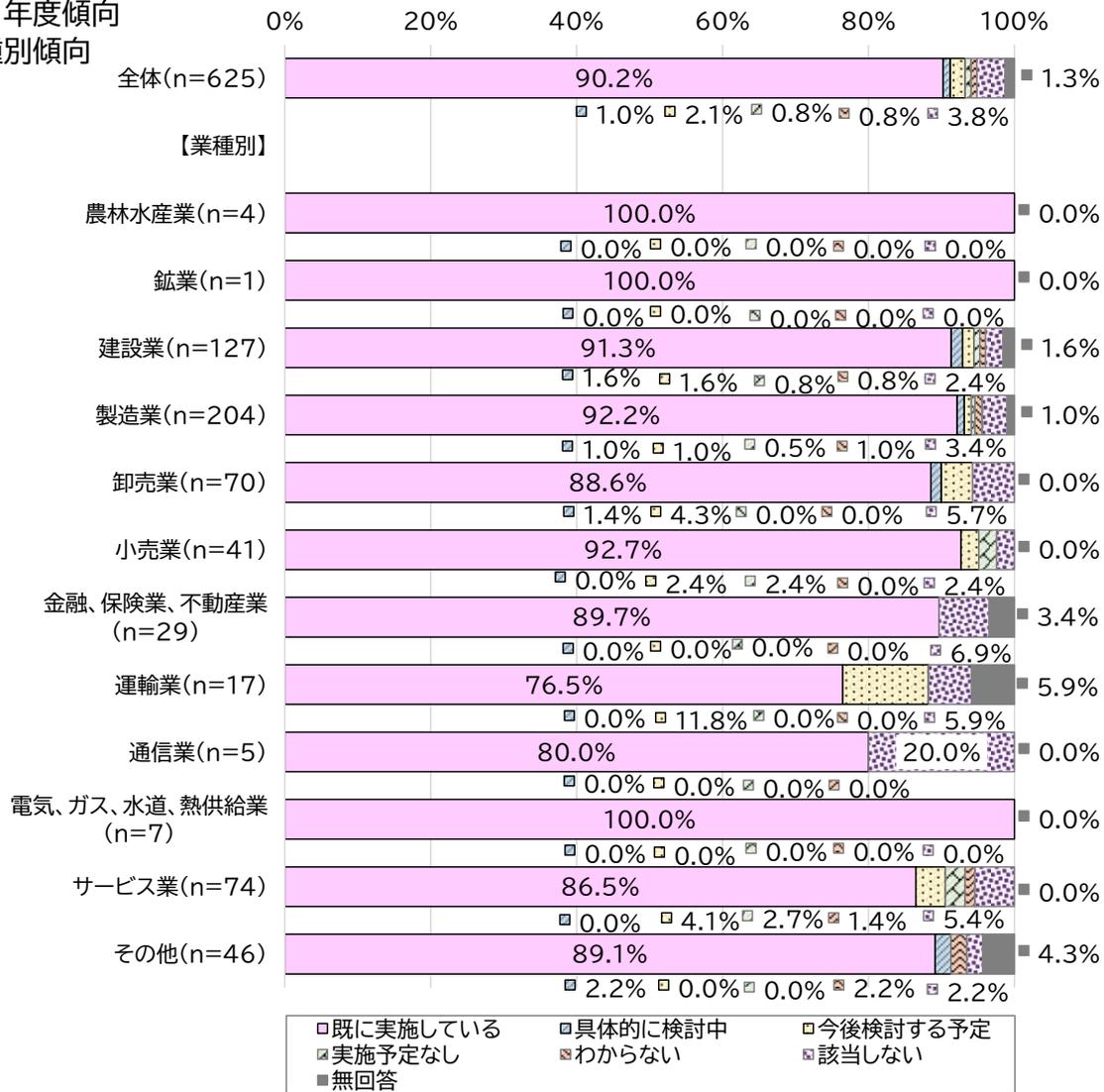
※グラフ内の「-」は、前回調査なし

※H17年度、H22年度、H27年度調査については、「該当しない」を加重平均に含めている可能性があるため、比較対象としていません。

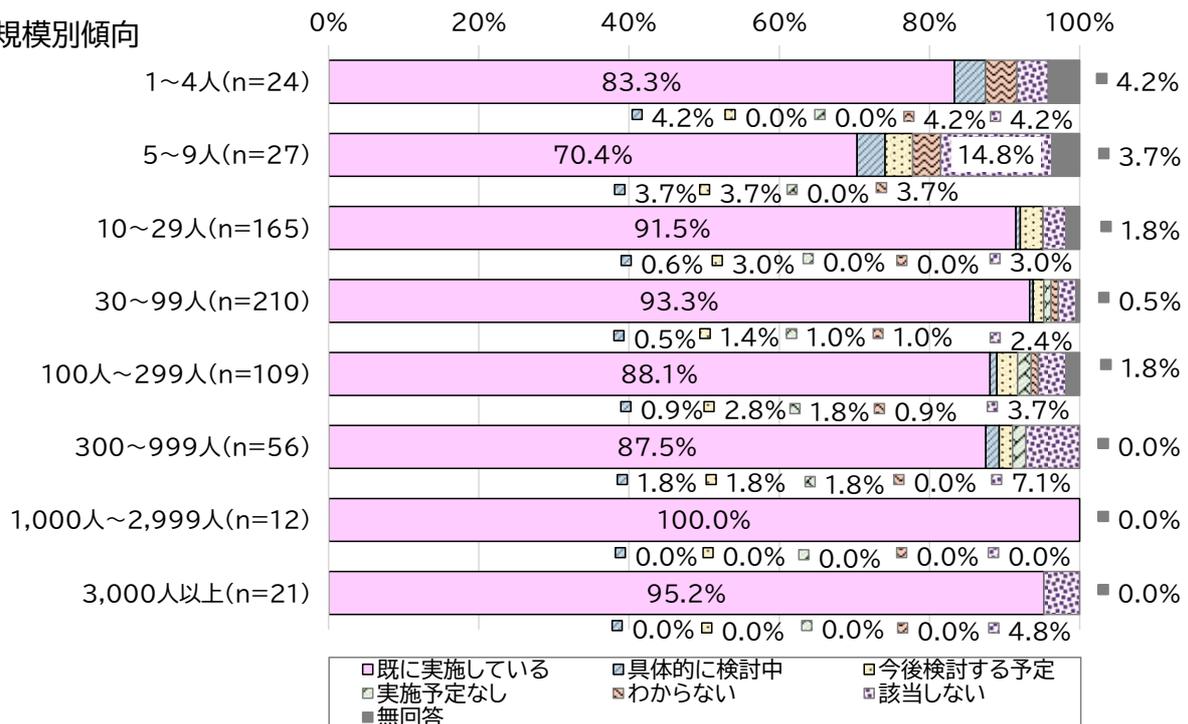
①空き瓶・空き缶、古紙等の分別排出の実施

◆R6年度傾向

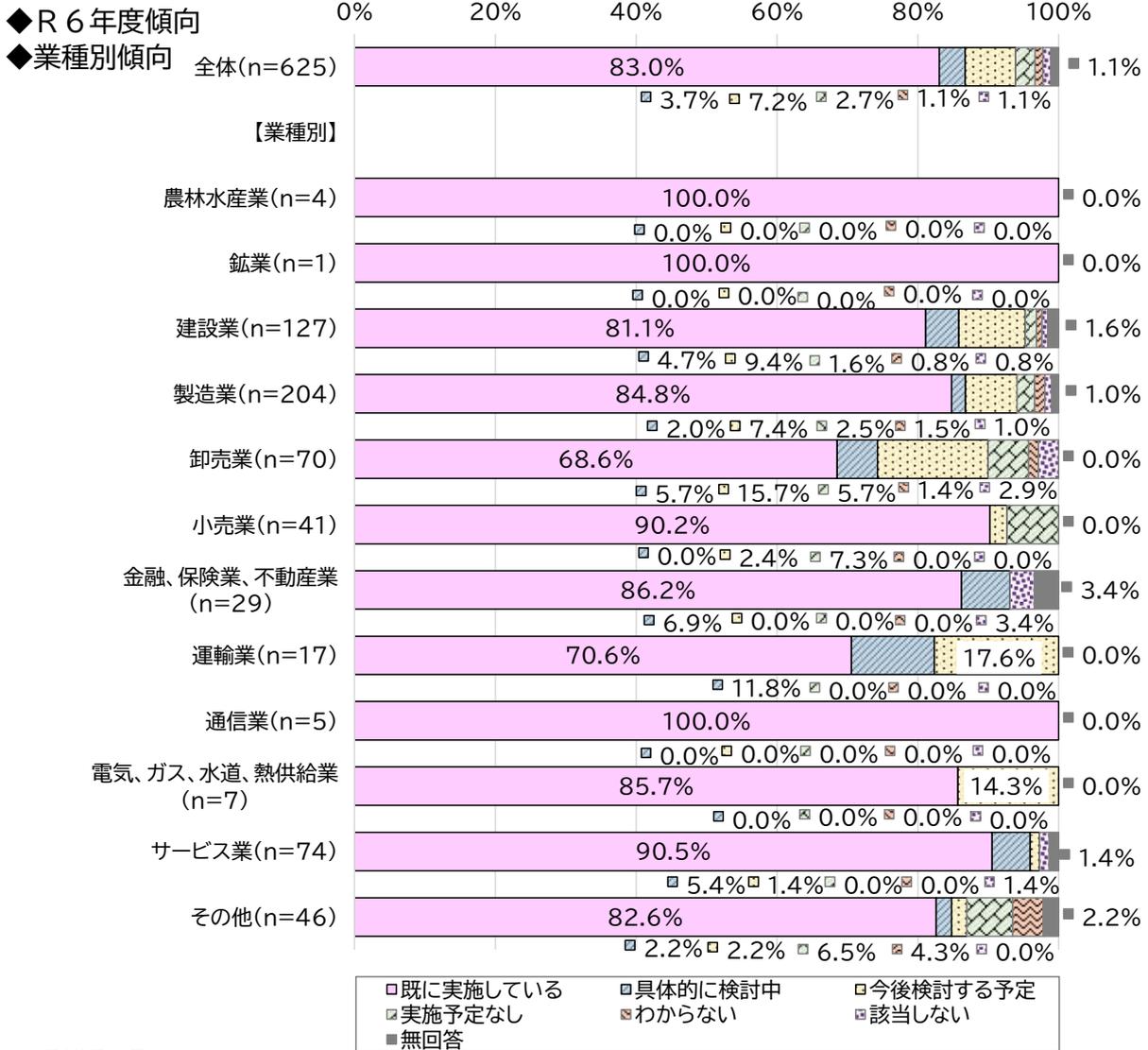
◆業種別傾向



◆規模別傾向

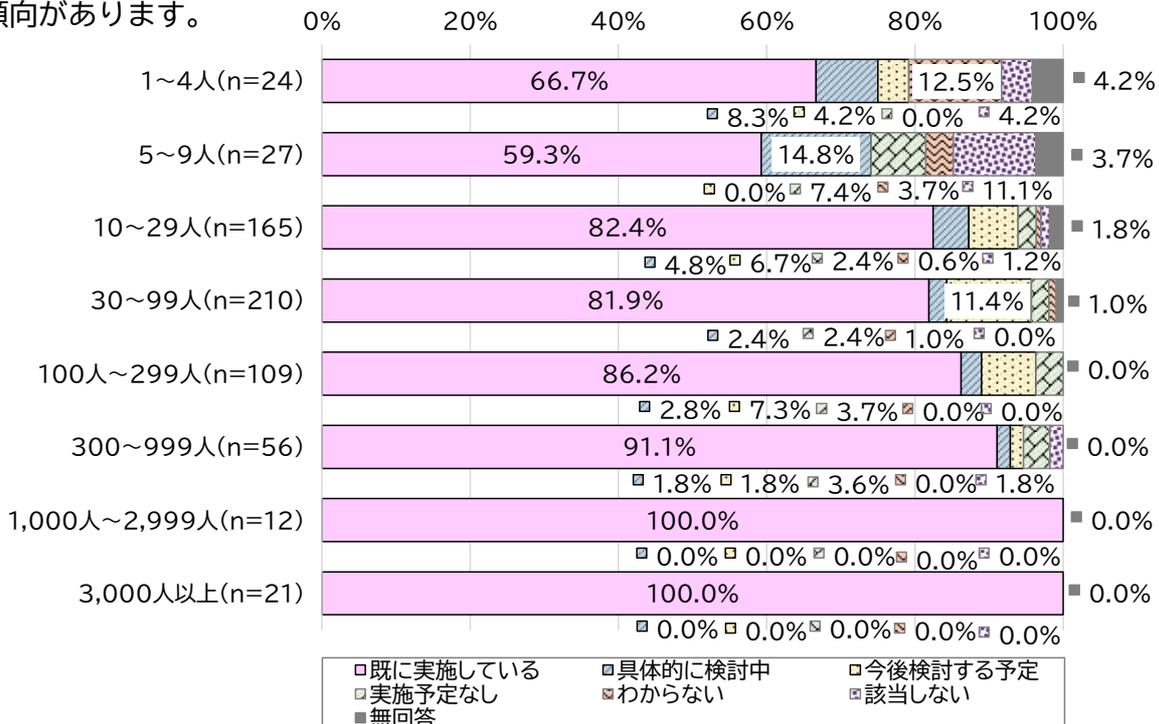


②資料等の作成枚数の最少化、両面コピーを指導



◆規模別傾向

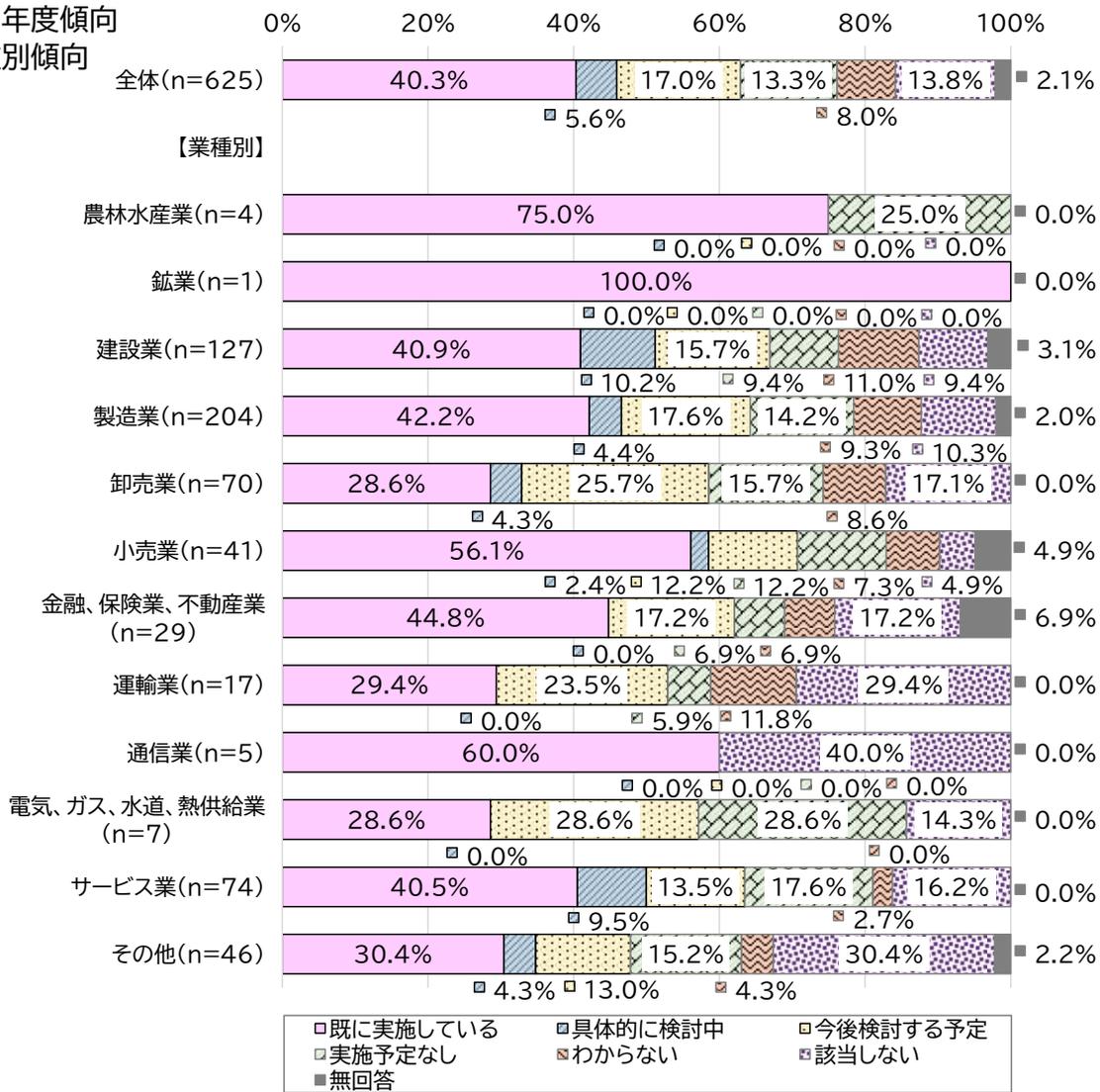
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



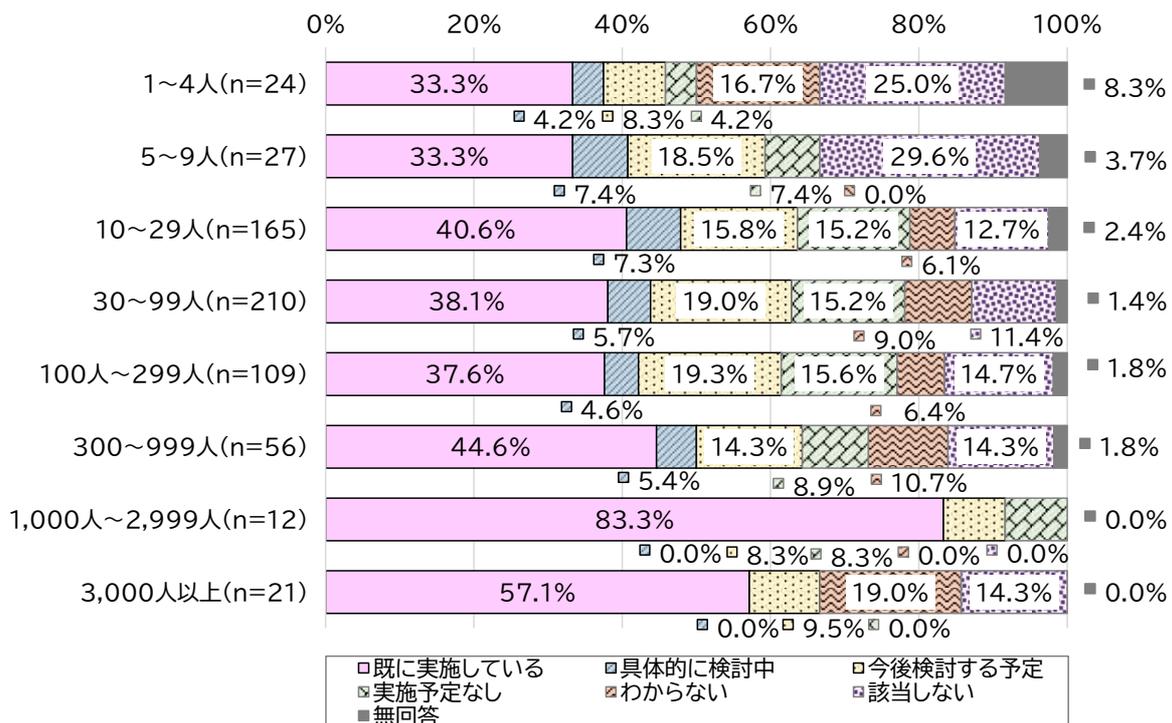
③リサイクルしやすい材料の使用の推進

◆R6年度傾向

◆業種別傾向



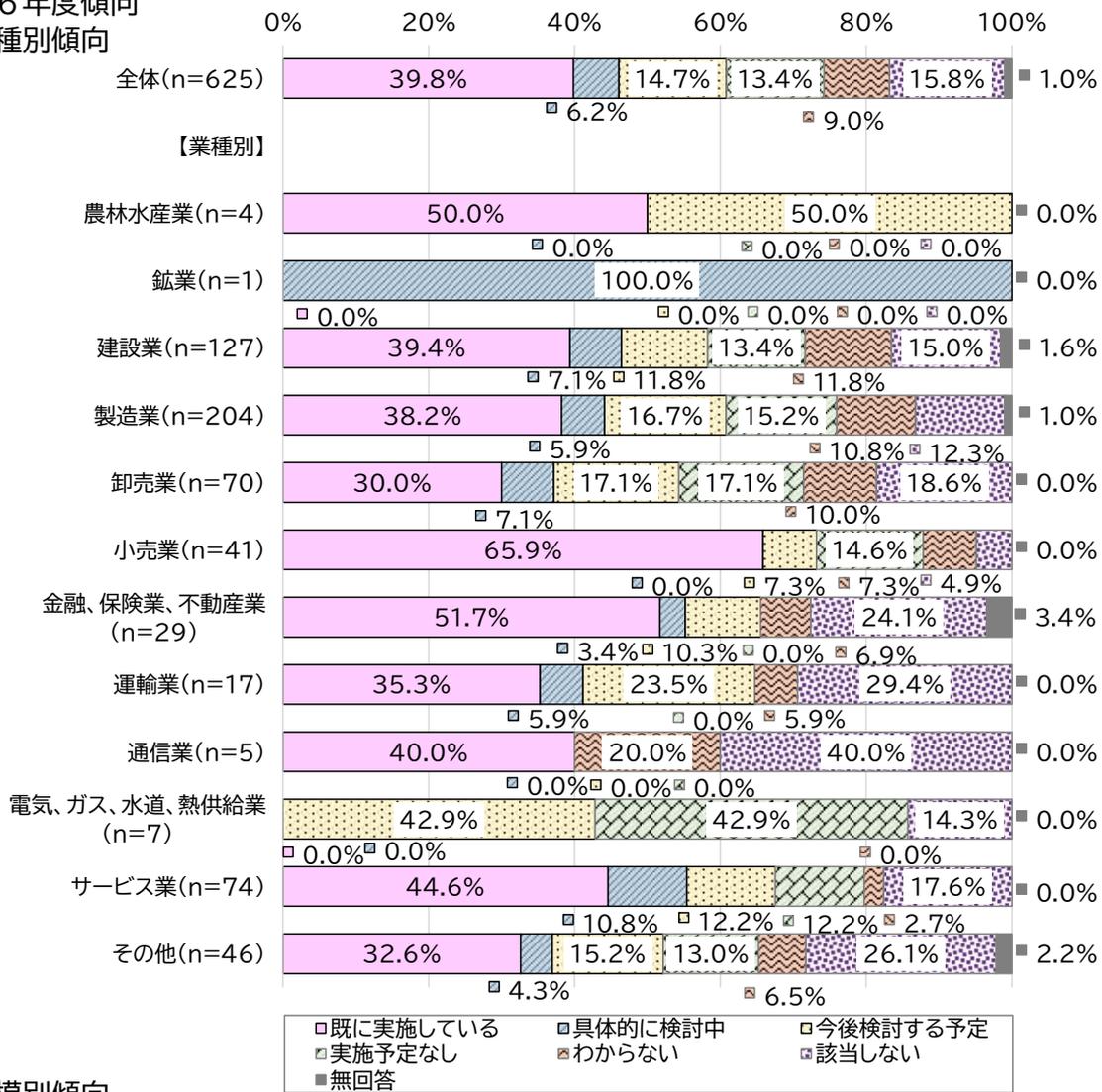
◆規模別傾向



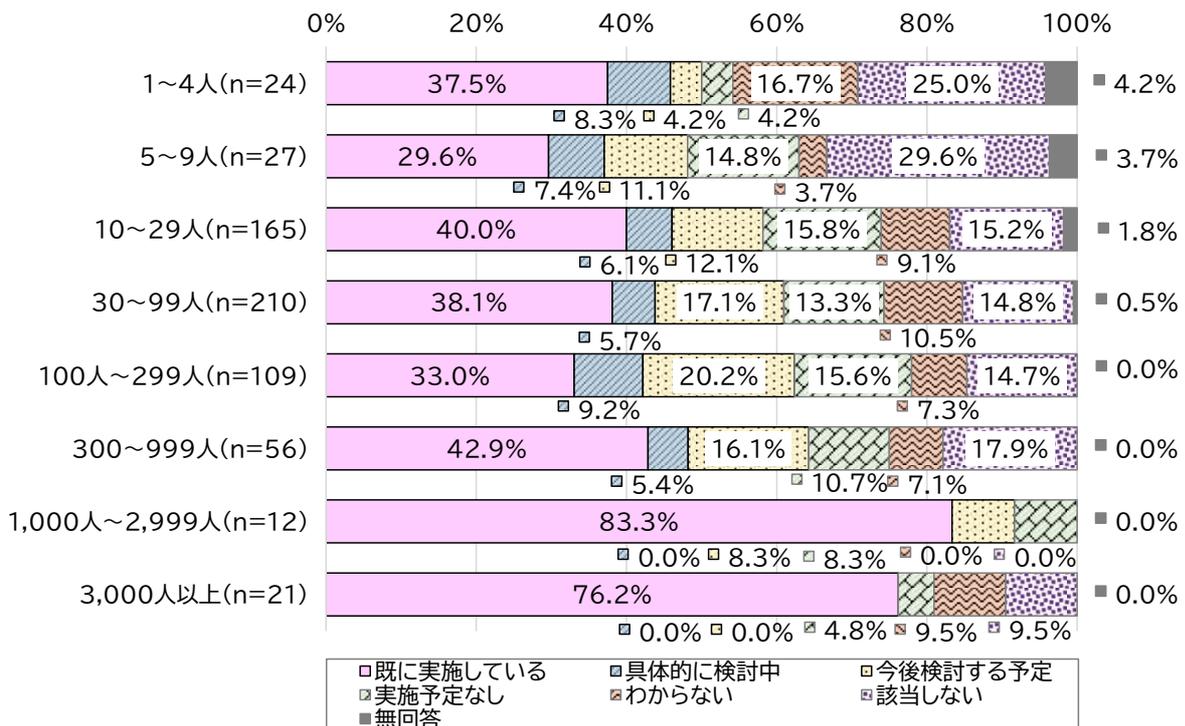
④再生材や再生可能資源（紙、木材、バイオマスプラスチック等）の使用の推進

◆R6年度傾向

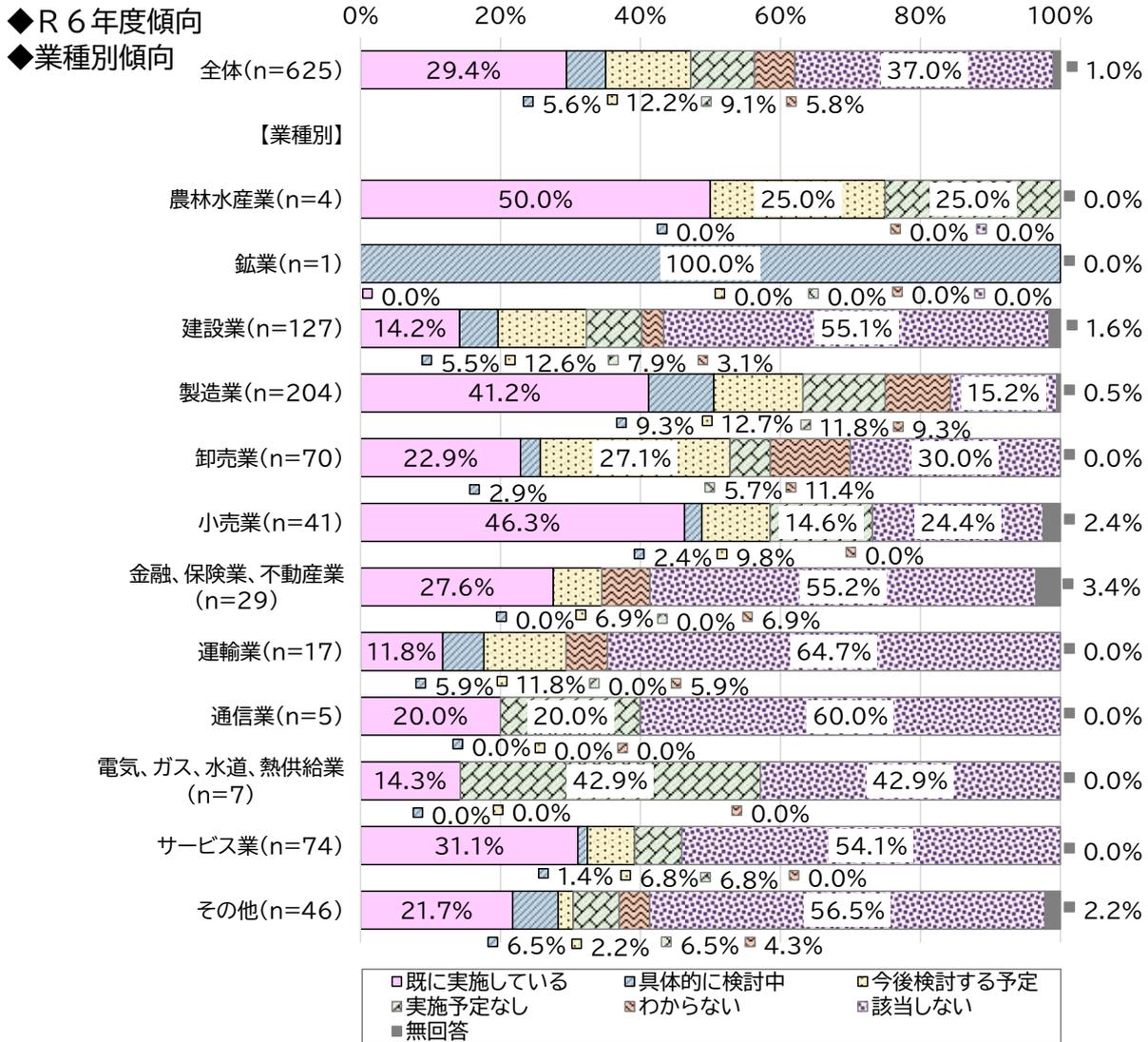
◆業種別傾向



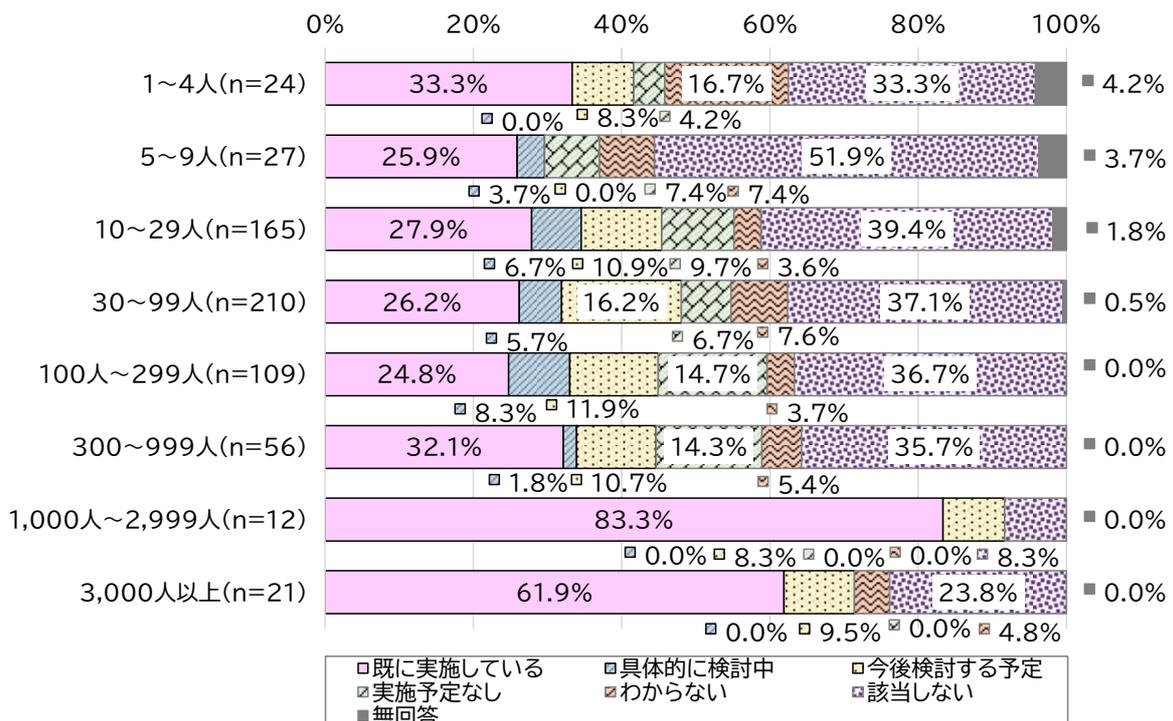
◆規模別傾向



⑤製品の包装や梱包の簡素化の実施



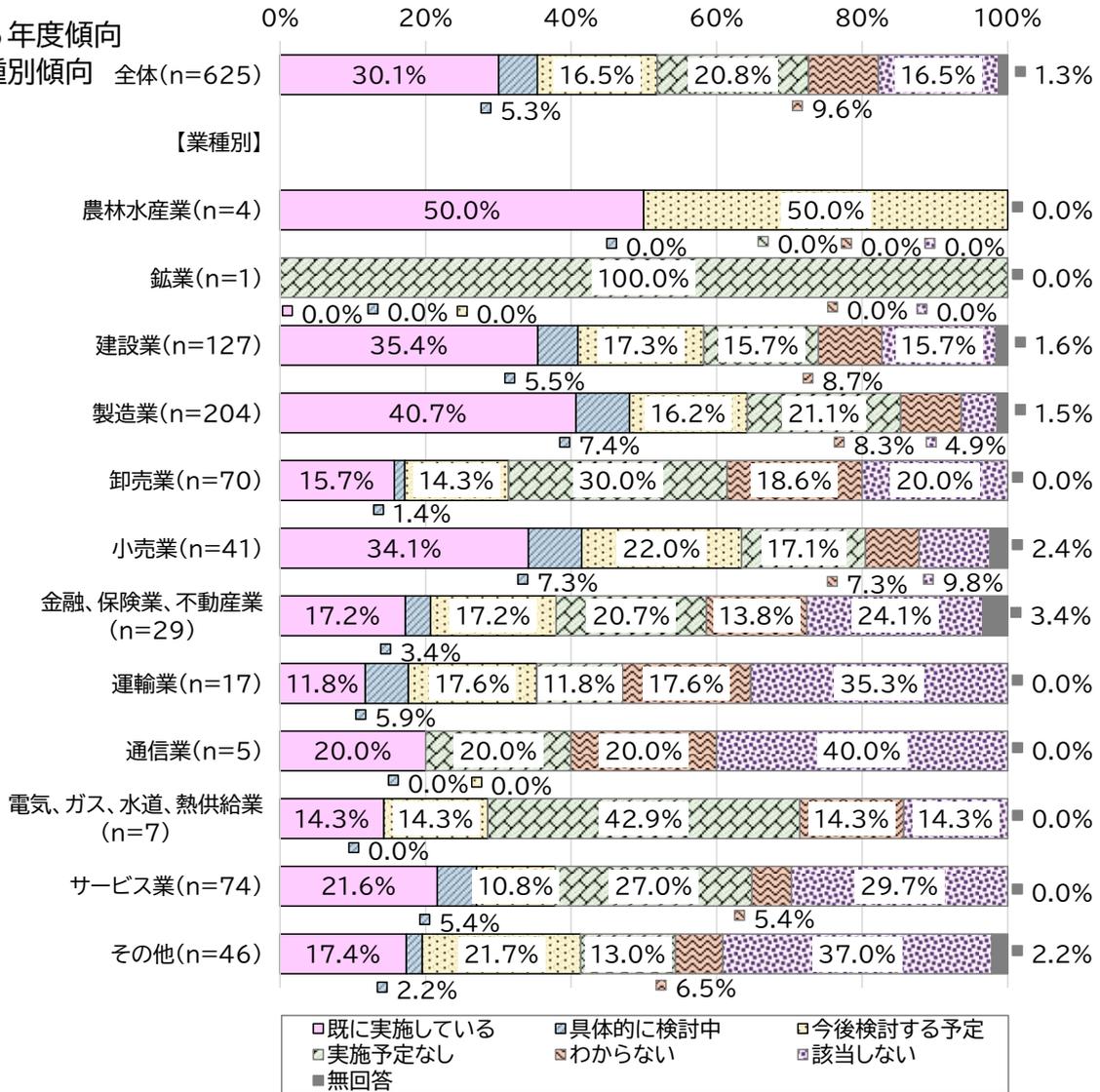
◆規模別傾向



⑥廃棄物排出量削減やリサイクル率に関する目標の設定

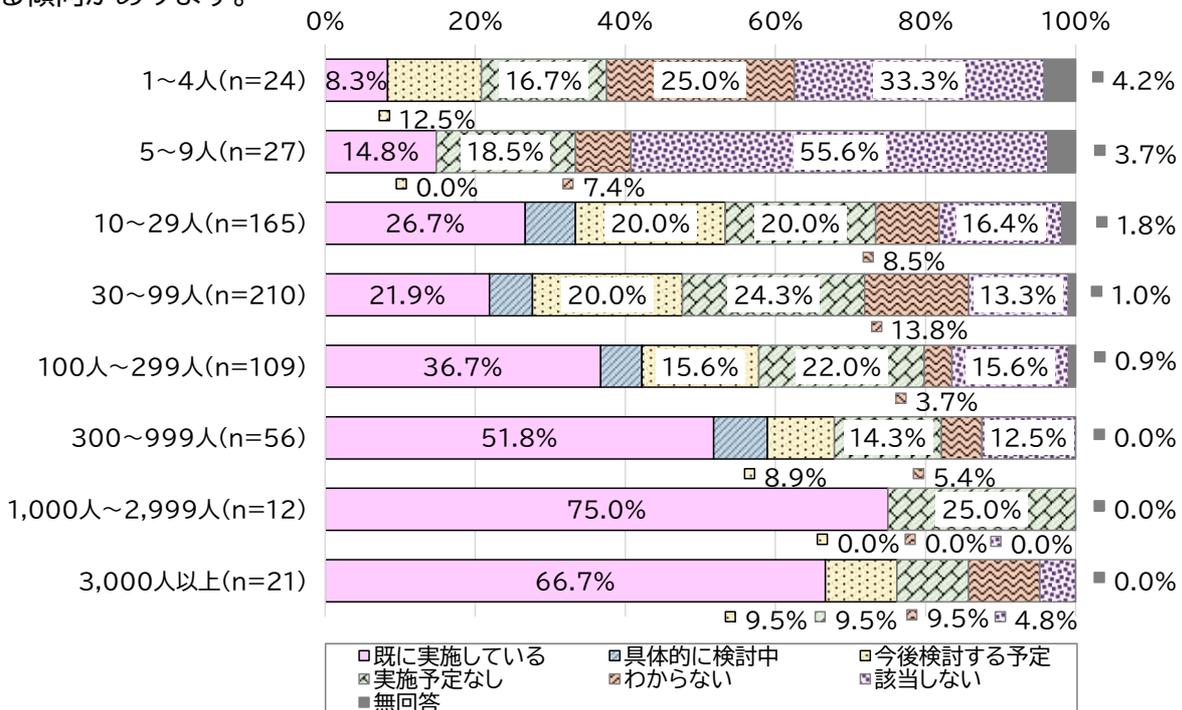
◆R6年度傾向

◆業種別傾向

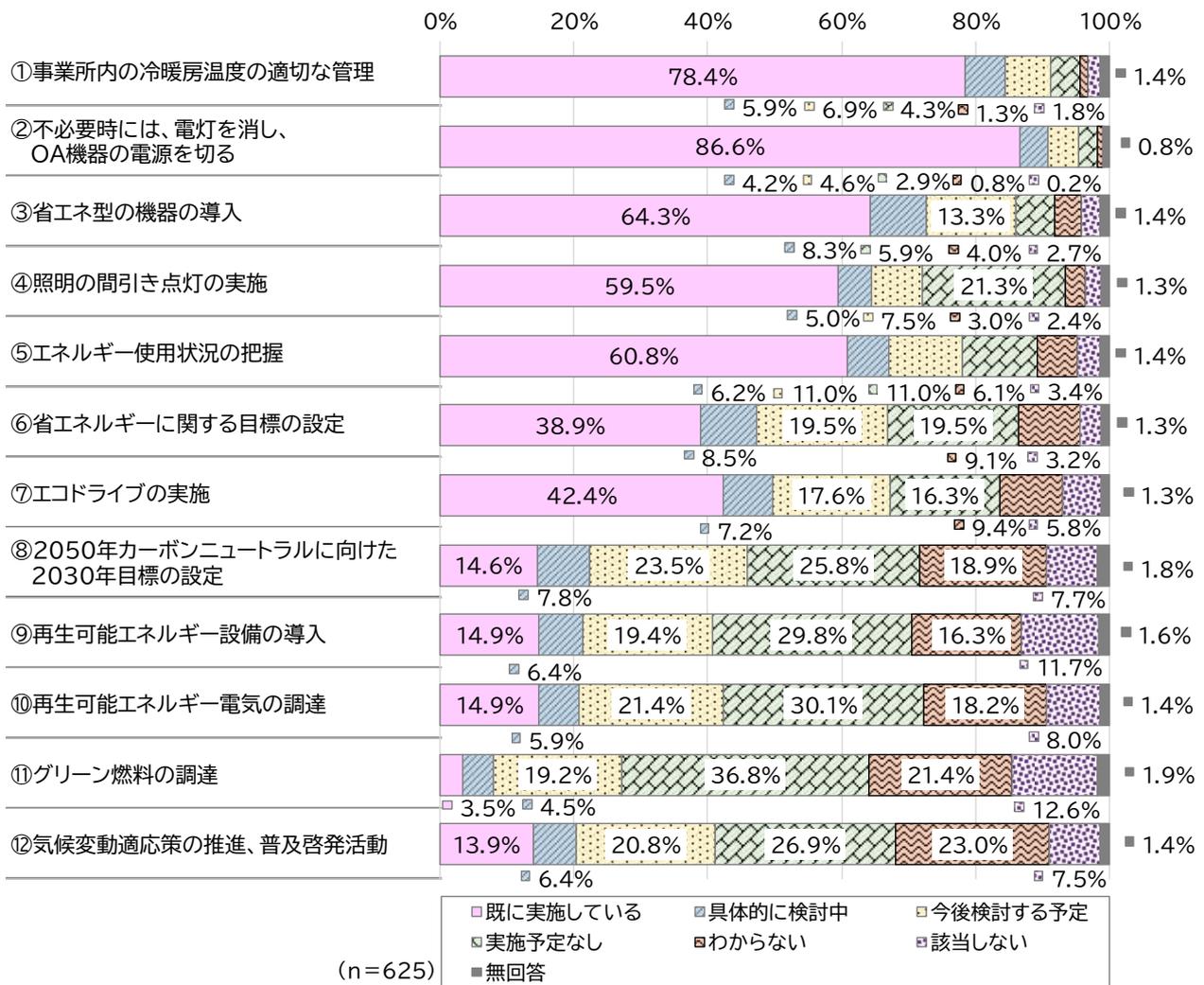


◆規模別傾向

回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



E. カーボンニュートラル

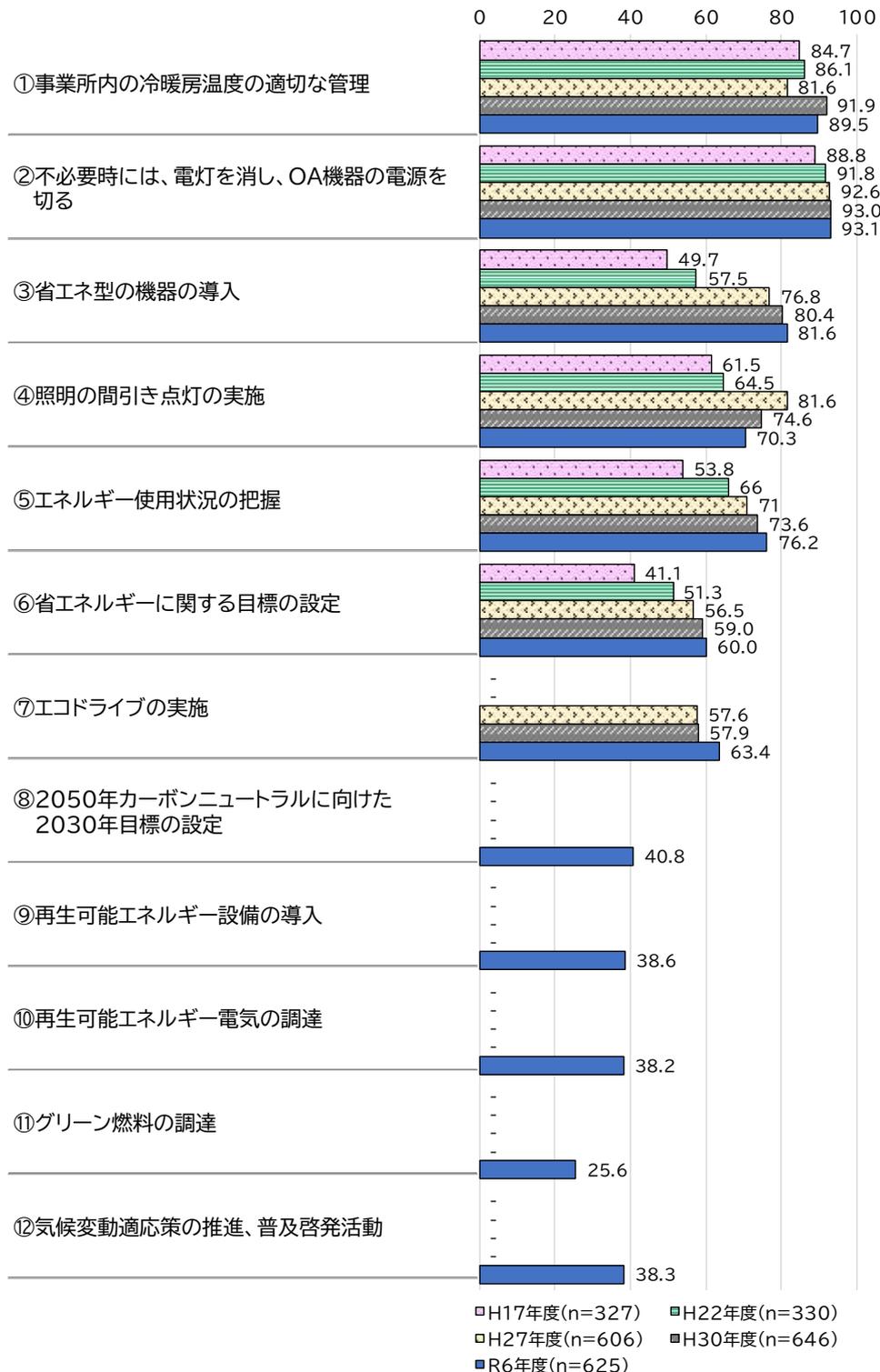


◆経年推移（加重平均）

加重平均の求め方

「既の実施している」=100点、「具体的に検討中」=75点、「今後検討する予定」=50点、「実施予定なし」=0点、「わからない」=25点とし加重を与え、指標化

経年比較すると、「⑦エコドライブの実施」は、H30年調査より今回調査で5.5ポイント高くなっています。また、「④照明の間引き点灯の実施」は今回調査で4.3ポイント低くなっています。



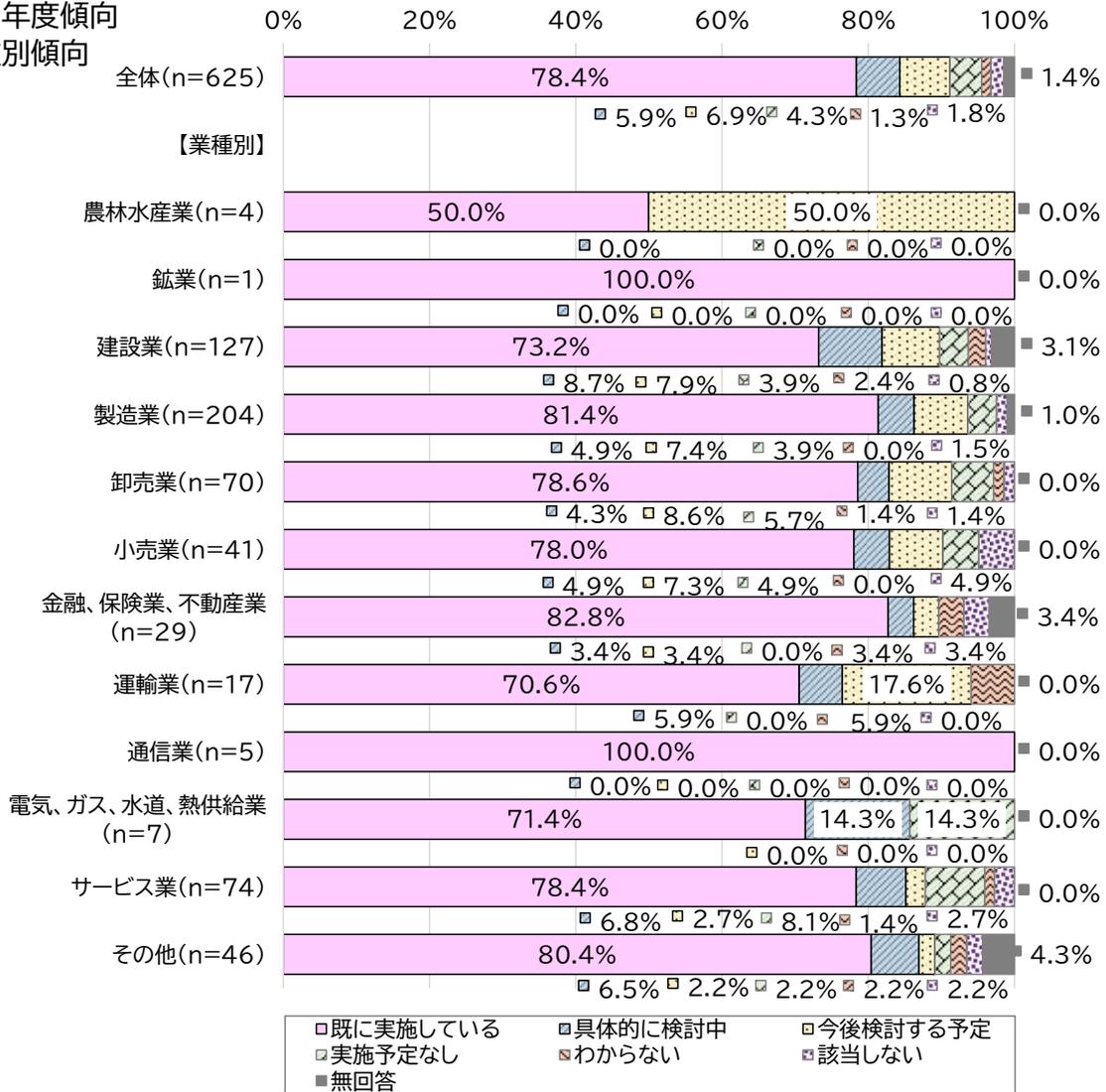
※グラフ内の「-」は前回調査なし

※H17年度、H22年度、H27年度調査については、「該当しない」を加重平均に含めている可能性があるため、比較対象としていません。

①事業所内の冷暖房温度の適切な管理

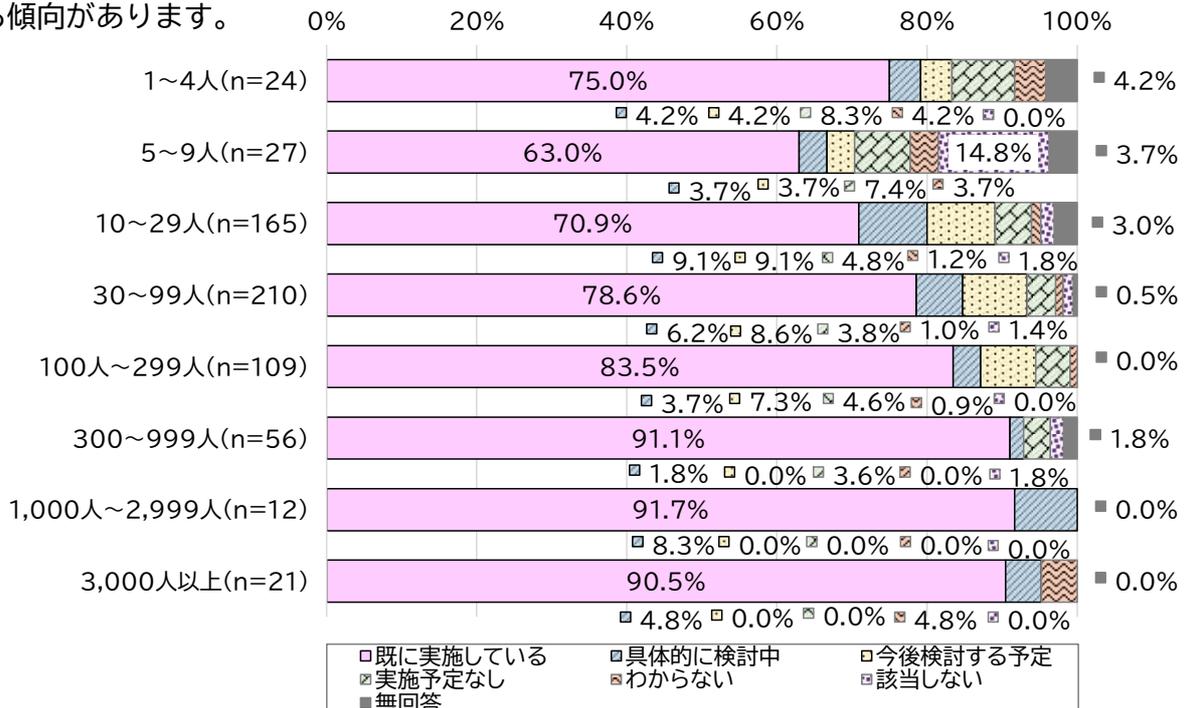
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

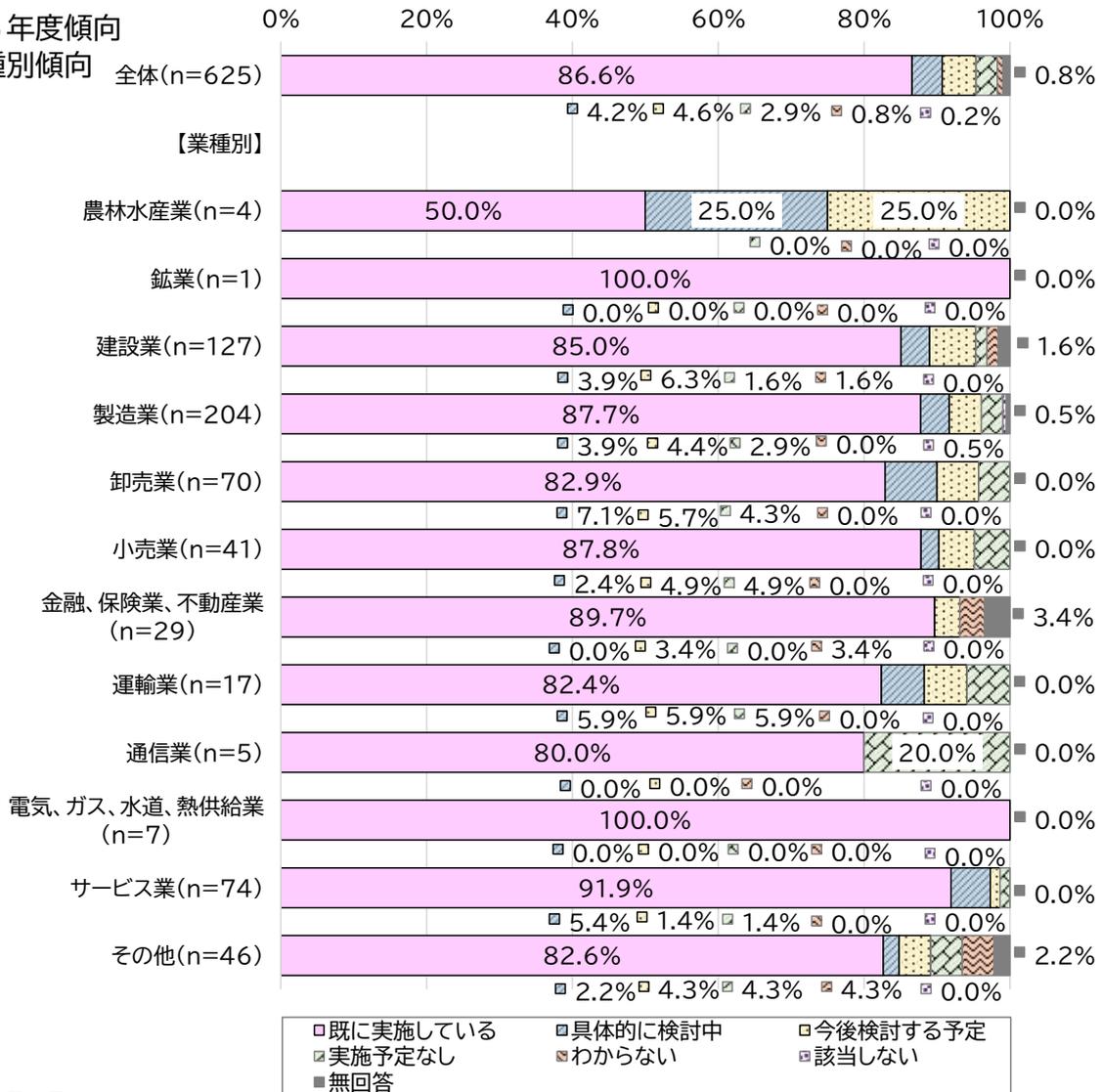
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



②不必要時には、電灯を消し、O A 機器の電源を切る

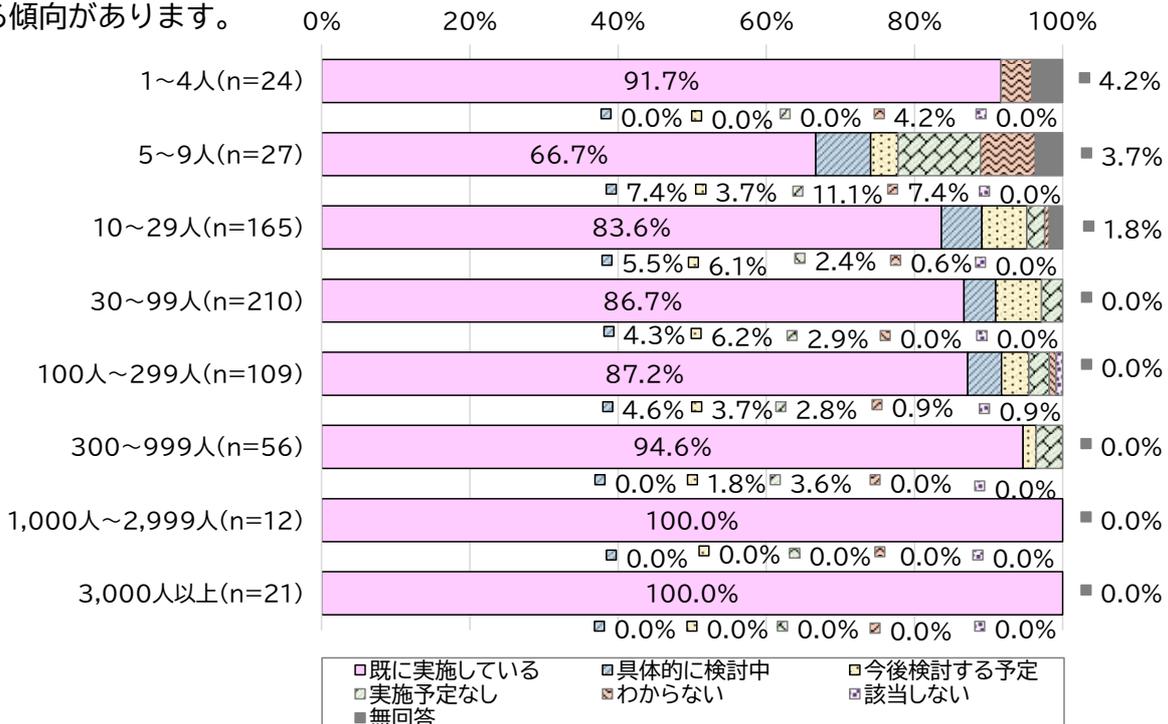
◆R 6 年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

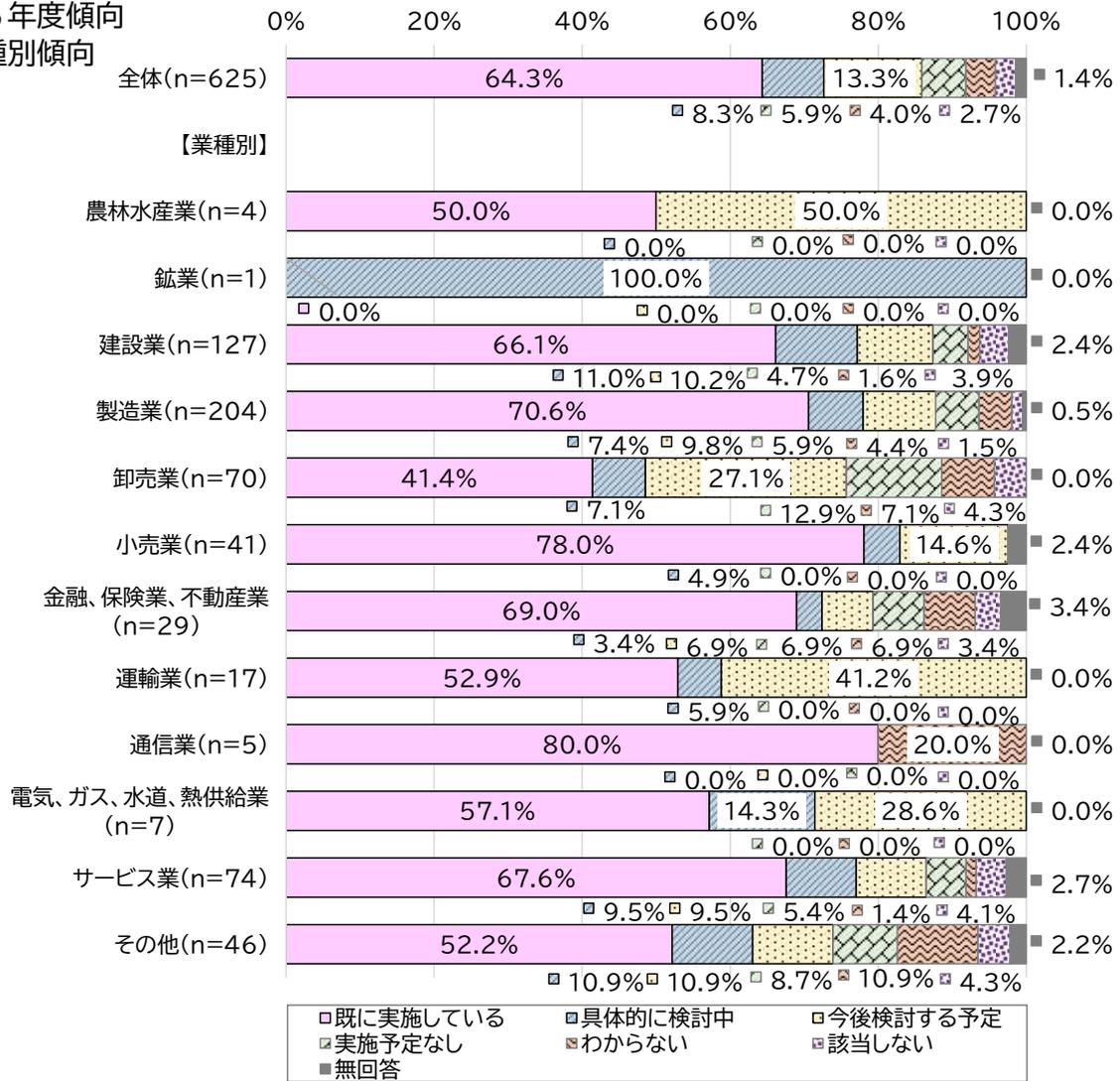
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



③省エネ型の機器の導入

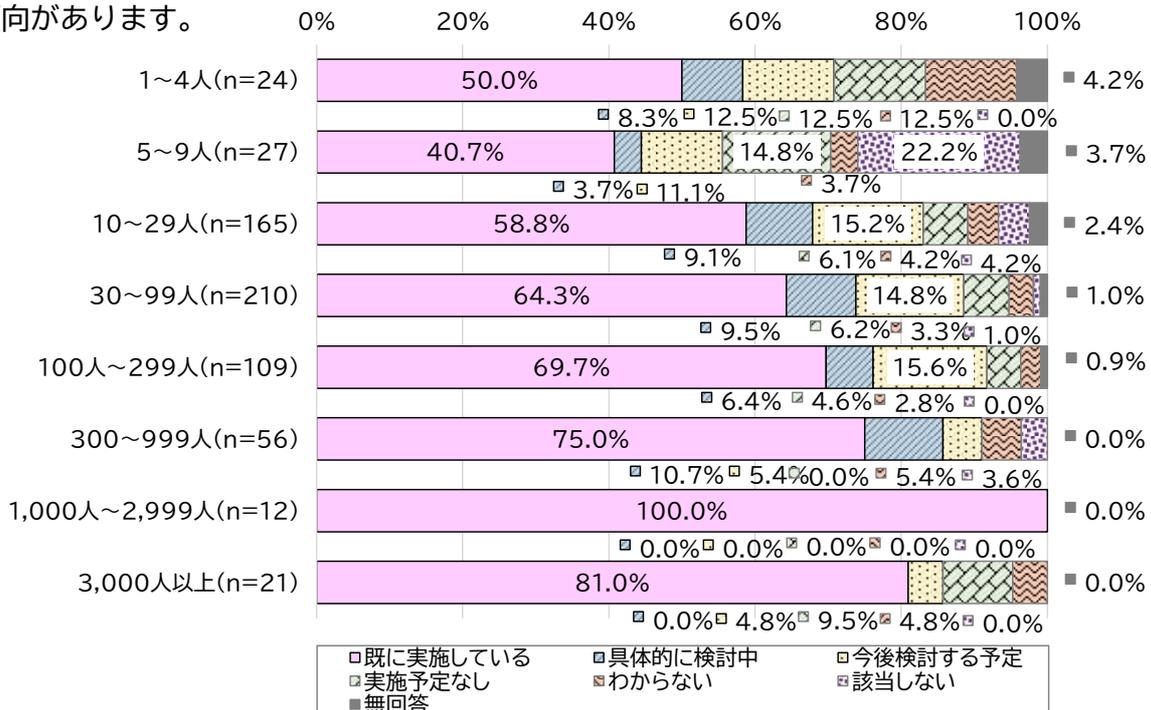
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

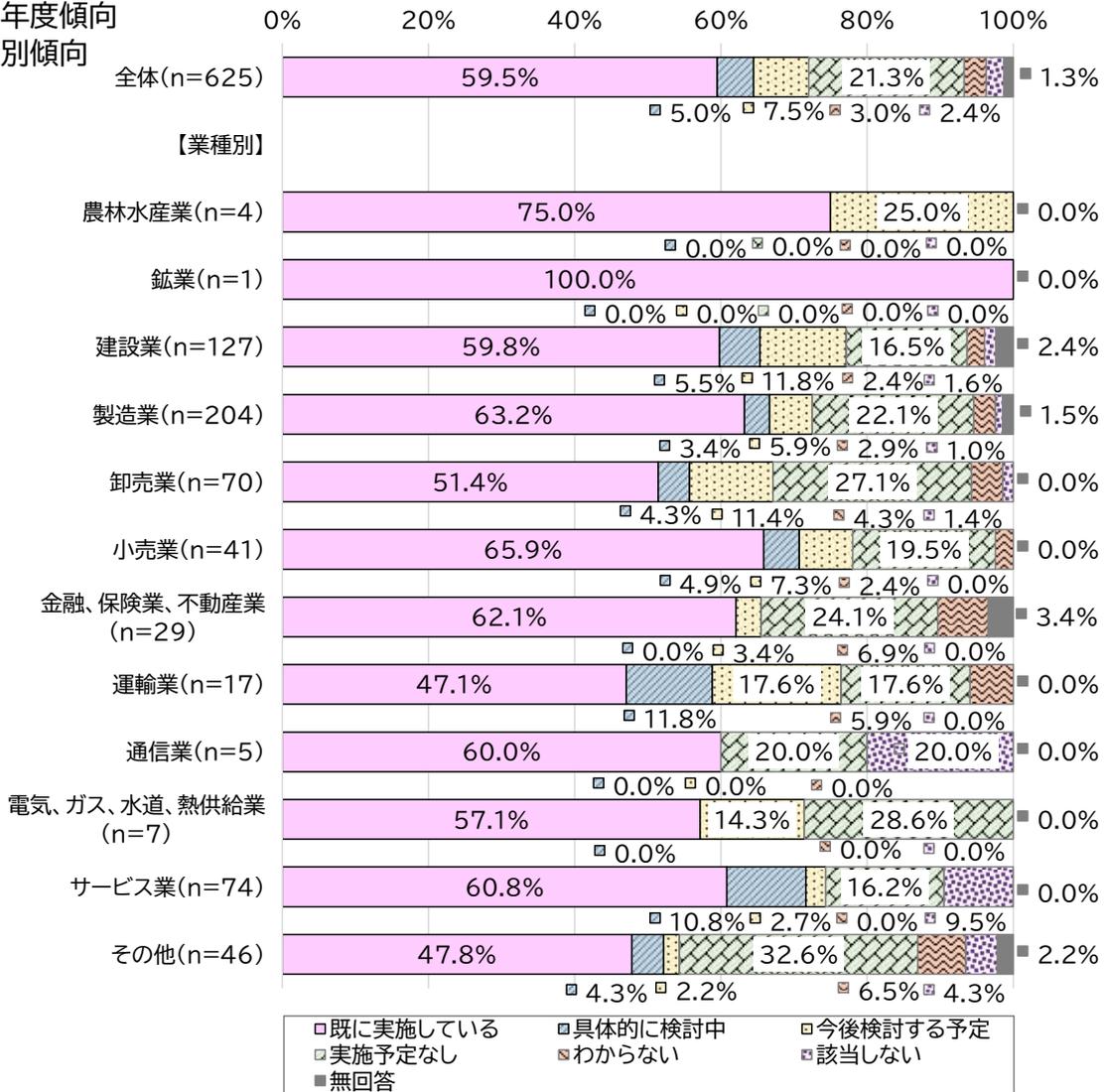
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既の実施している」が高くなる傾向があります。



④照明の間引き点灯の実施

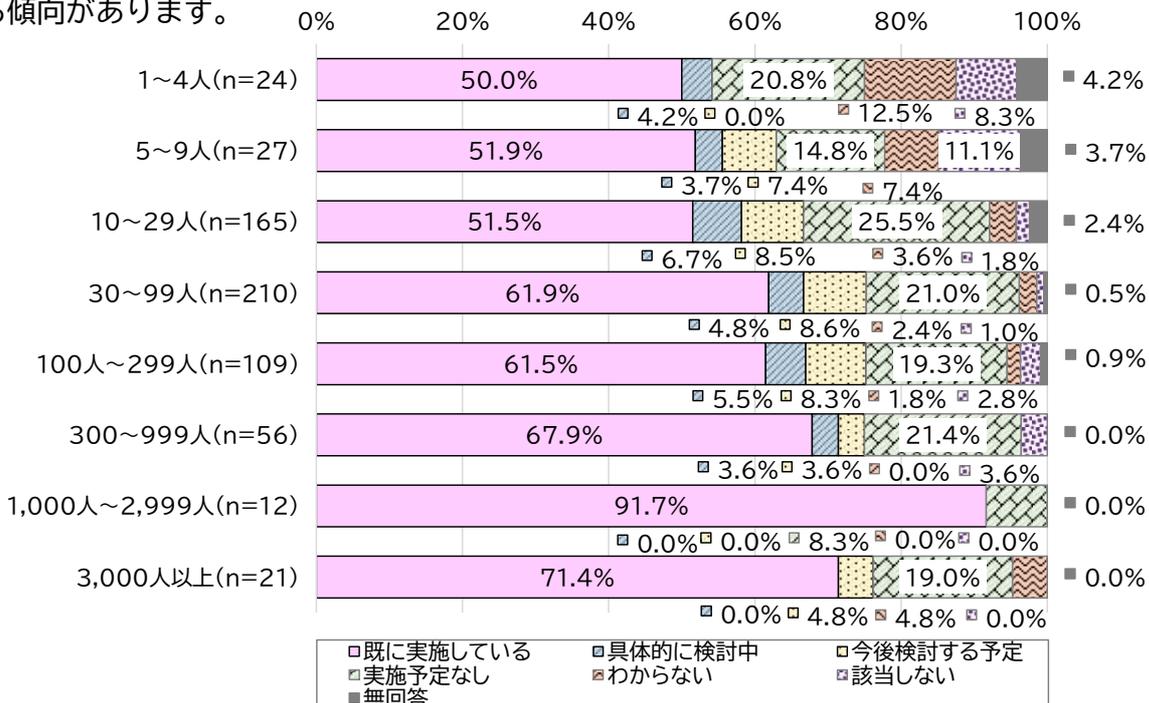
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

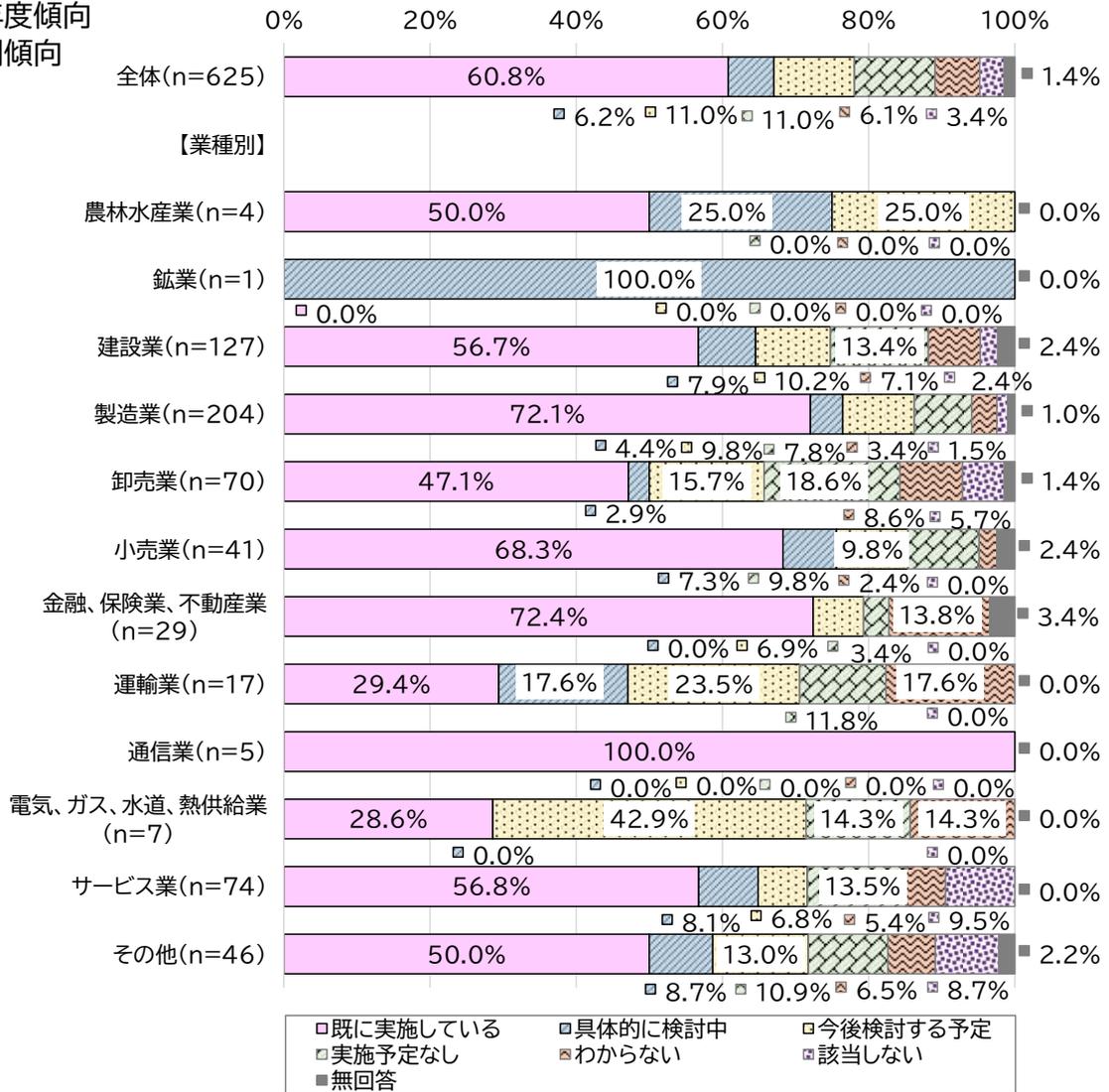
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既の実施している」が高くなる傾向があります。



⑤エネルギー使用状況の把握

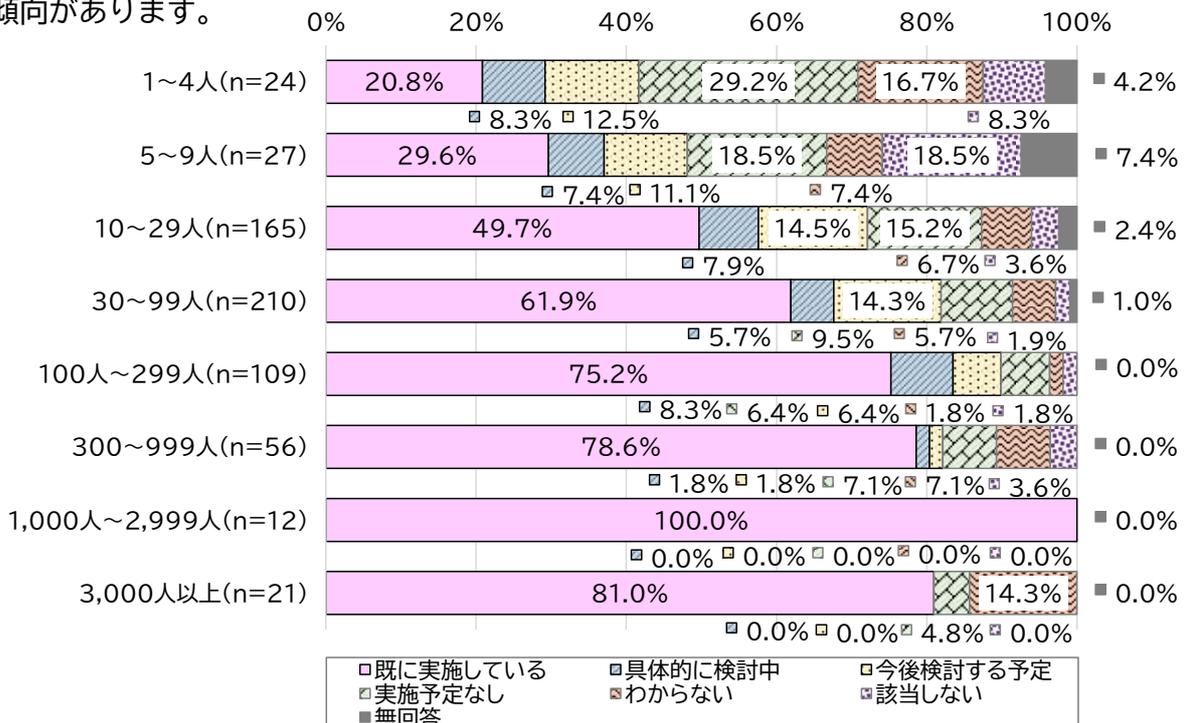
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

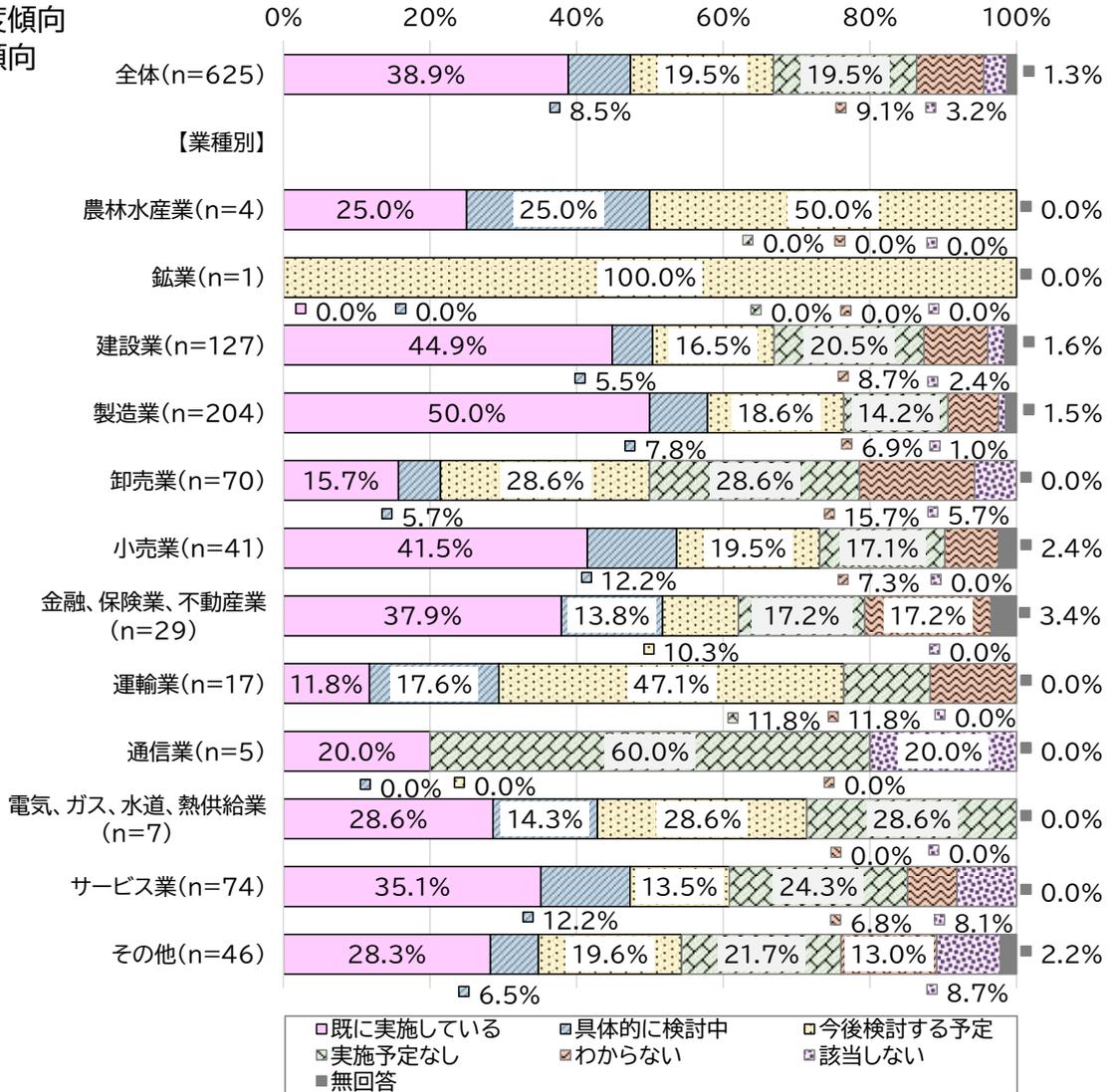
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既の実施している」が高くなる傾向があります。



⑥省エネルギーに関する目標の設定

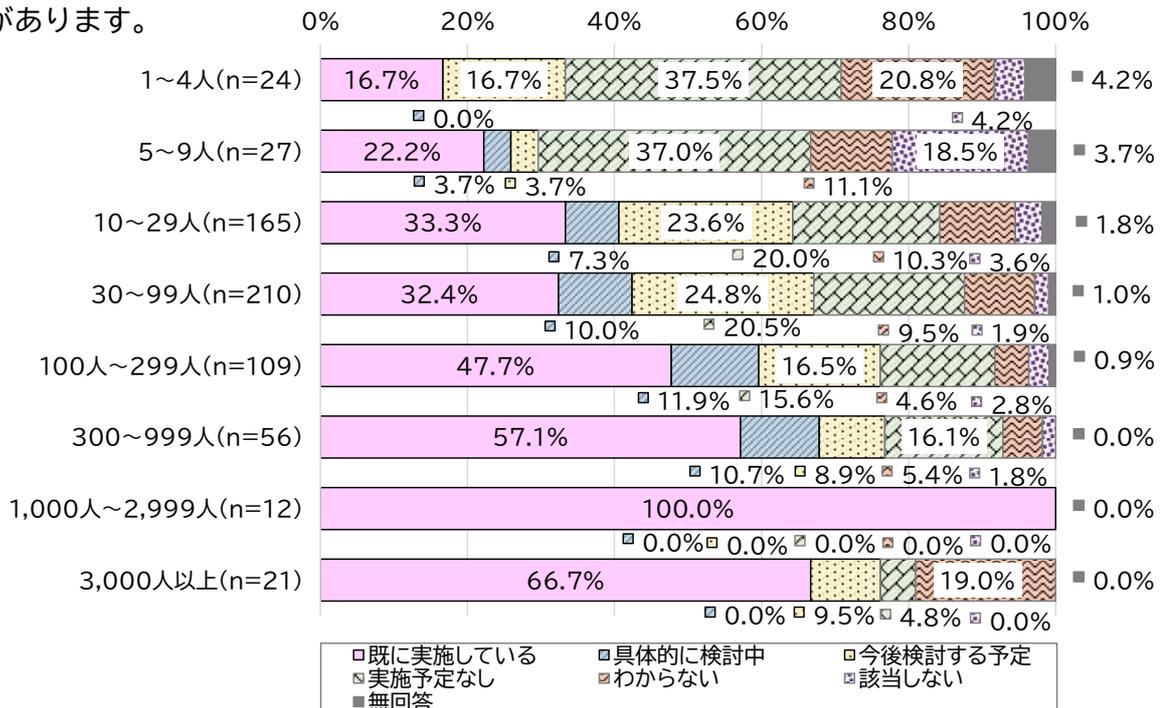
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

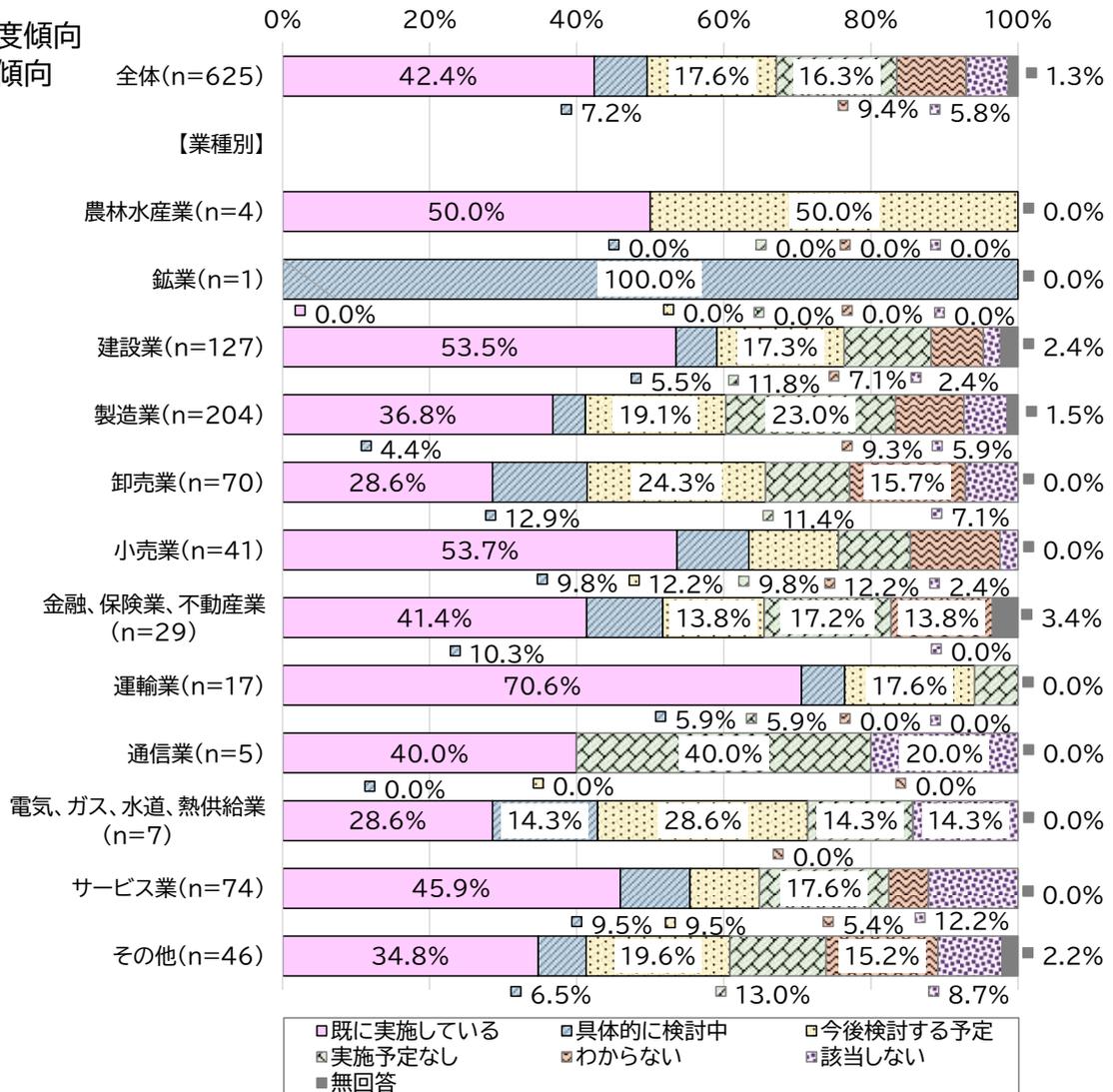
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



⑦エコドライブの実施

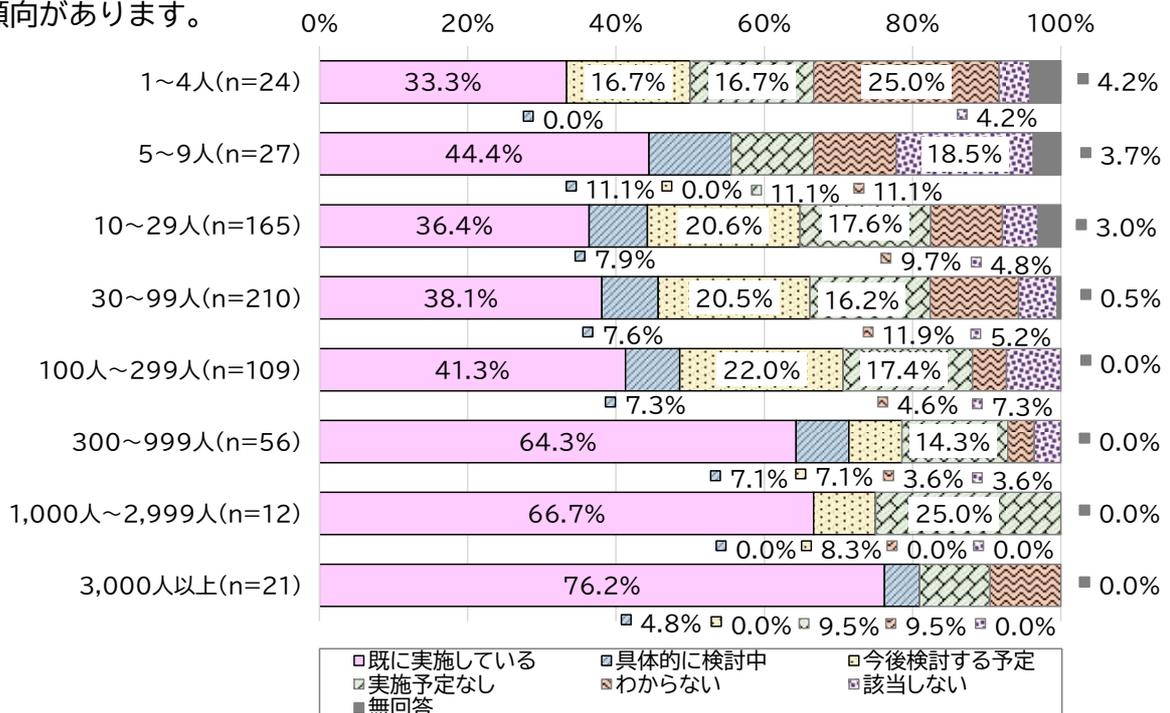
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

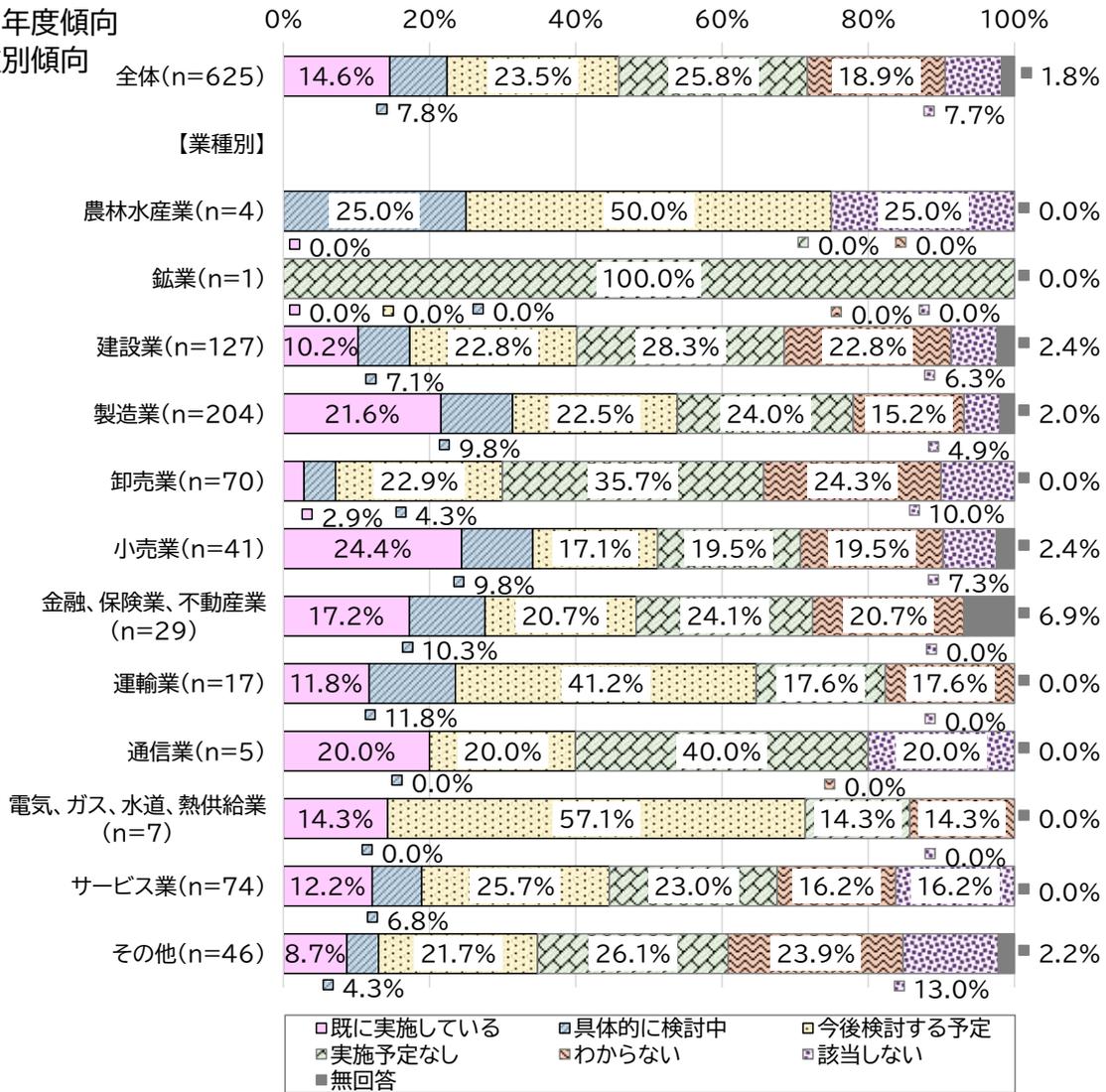
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



⑧2050年カーボンニュートラルに向けた2030年目標の設定

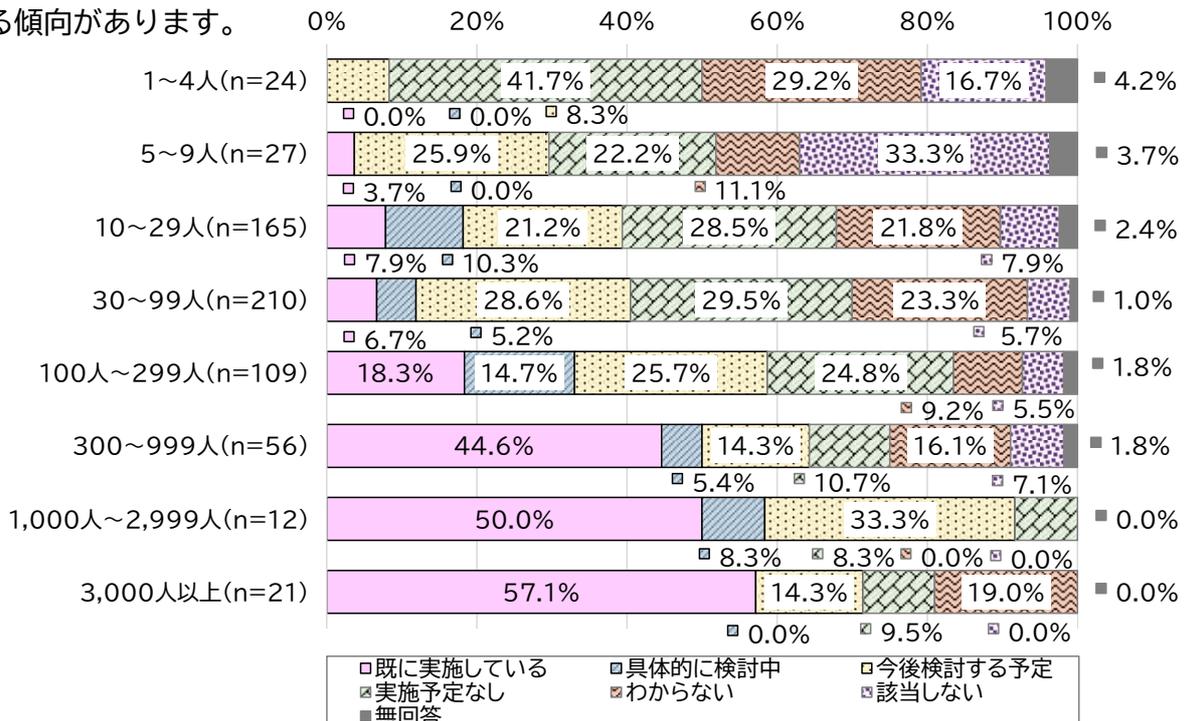
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

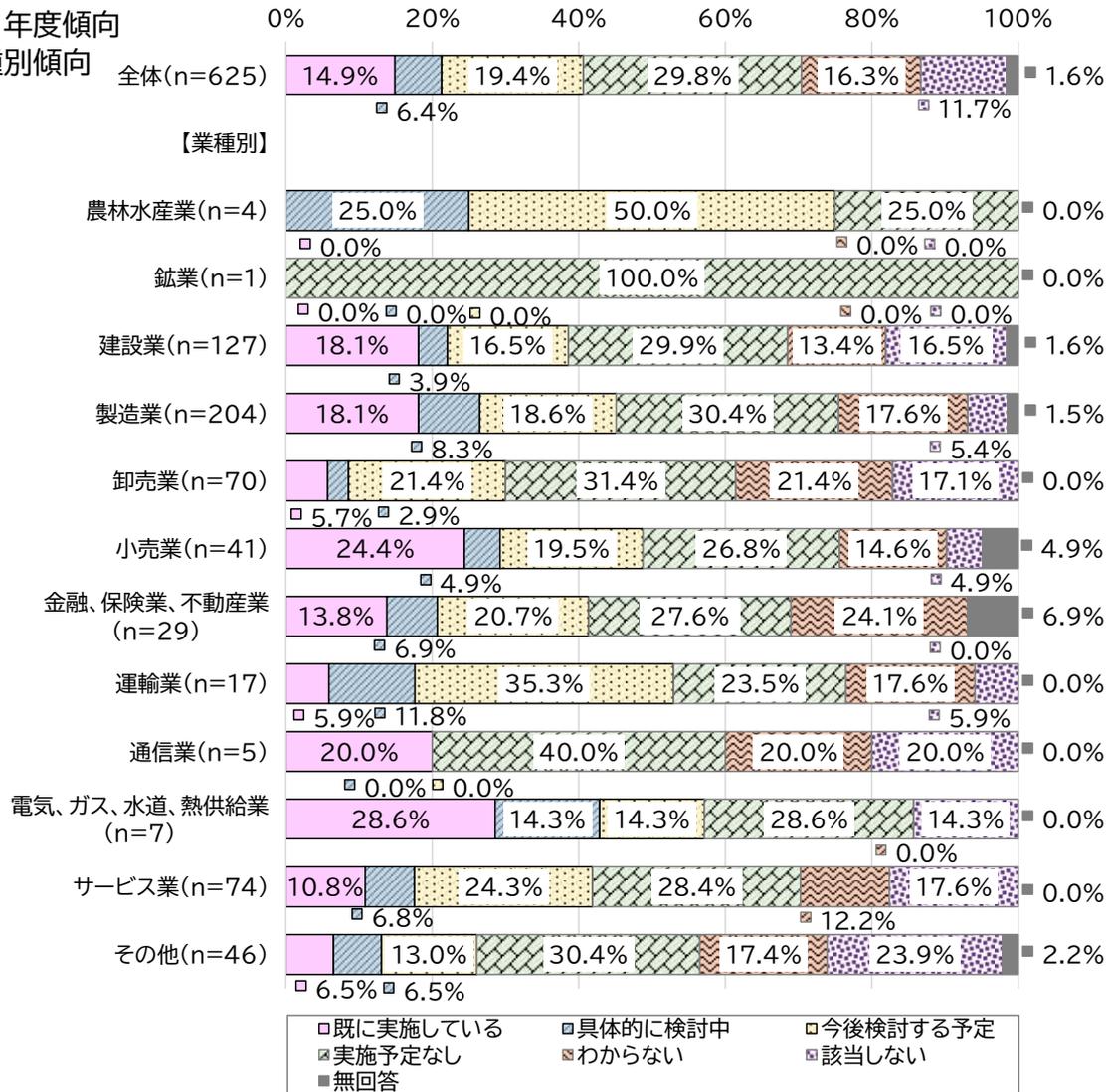
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



⑨再生可能エネルギー設備の導入

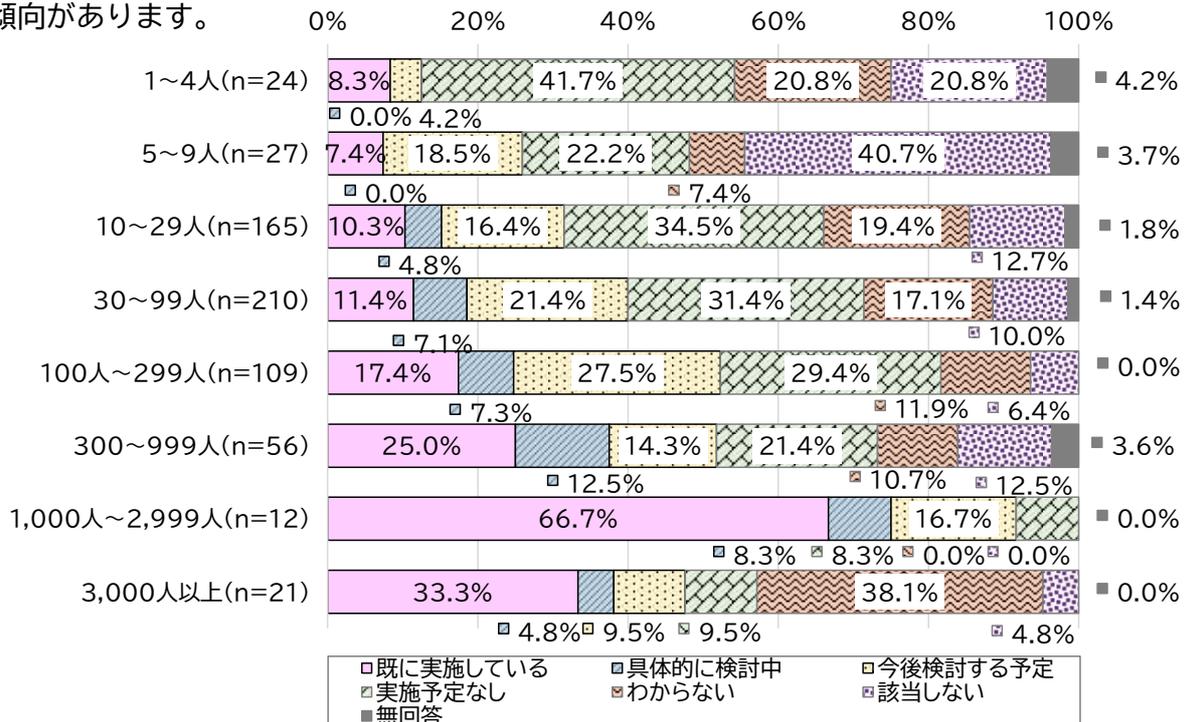
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



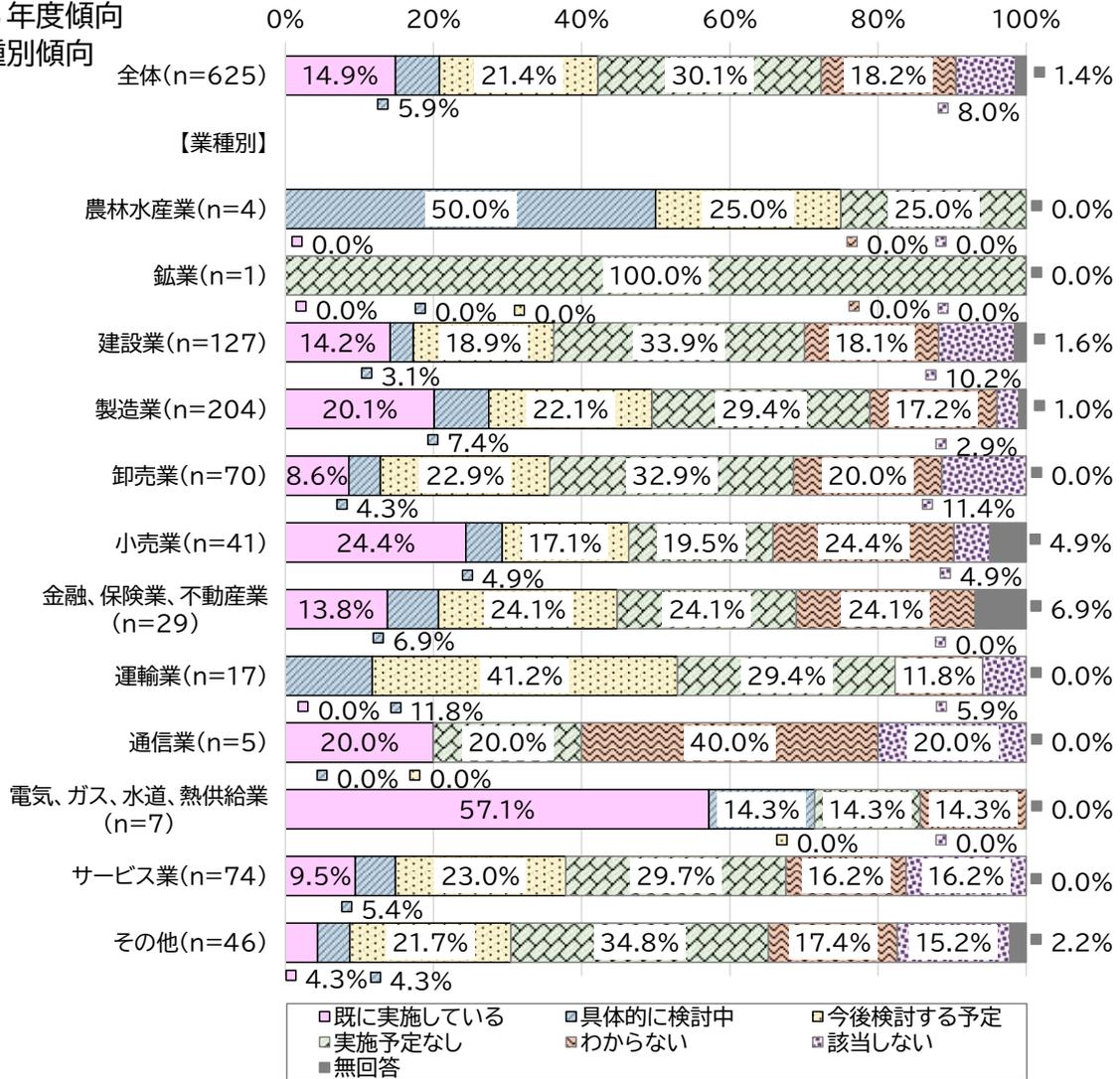
◆規模別傾向

回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既の実施している」が高くなる傾向があります。



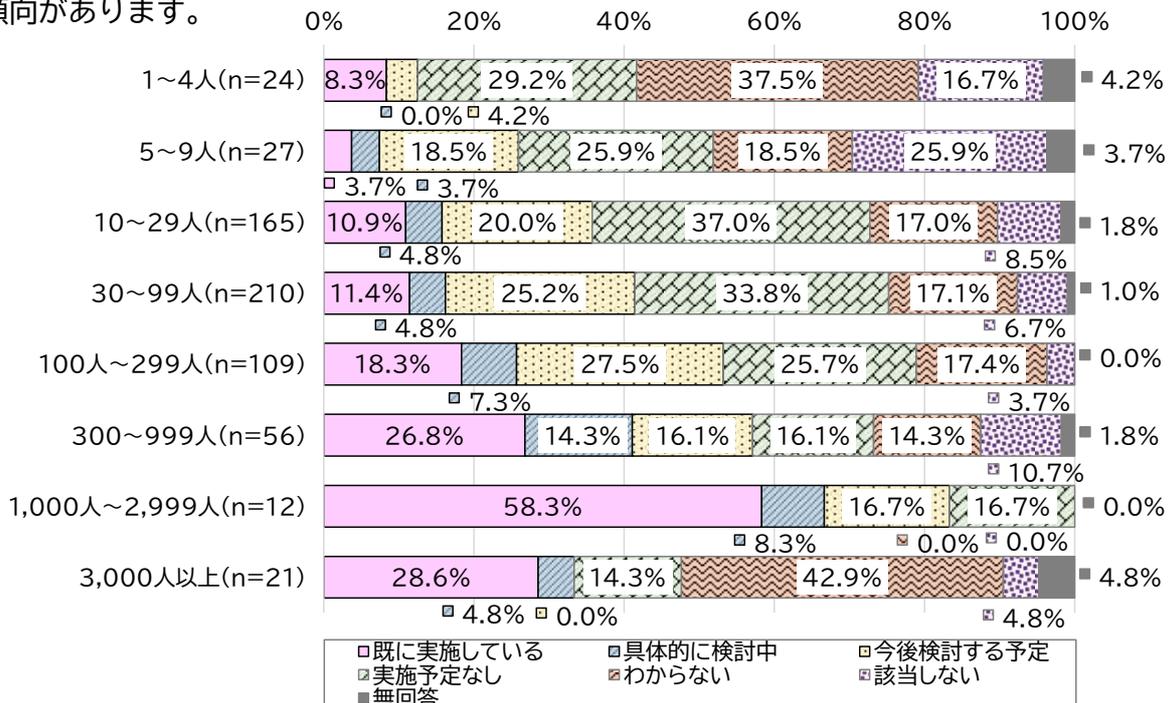
⑩再生可能エネルギー電気の調達

◆R6年度傾向
◆業種別傾向



◆規模別傾向

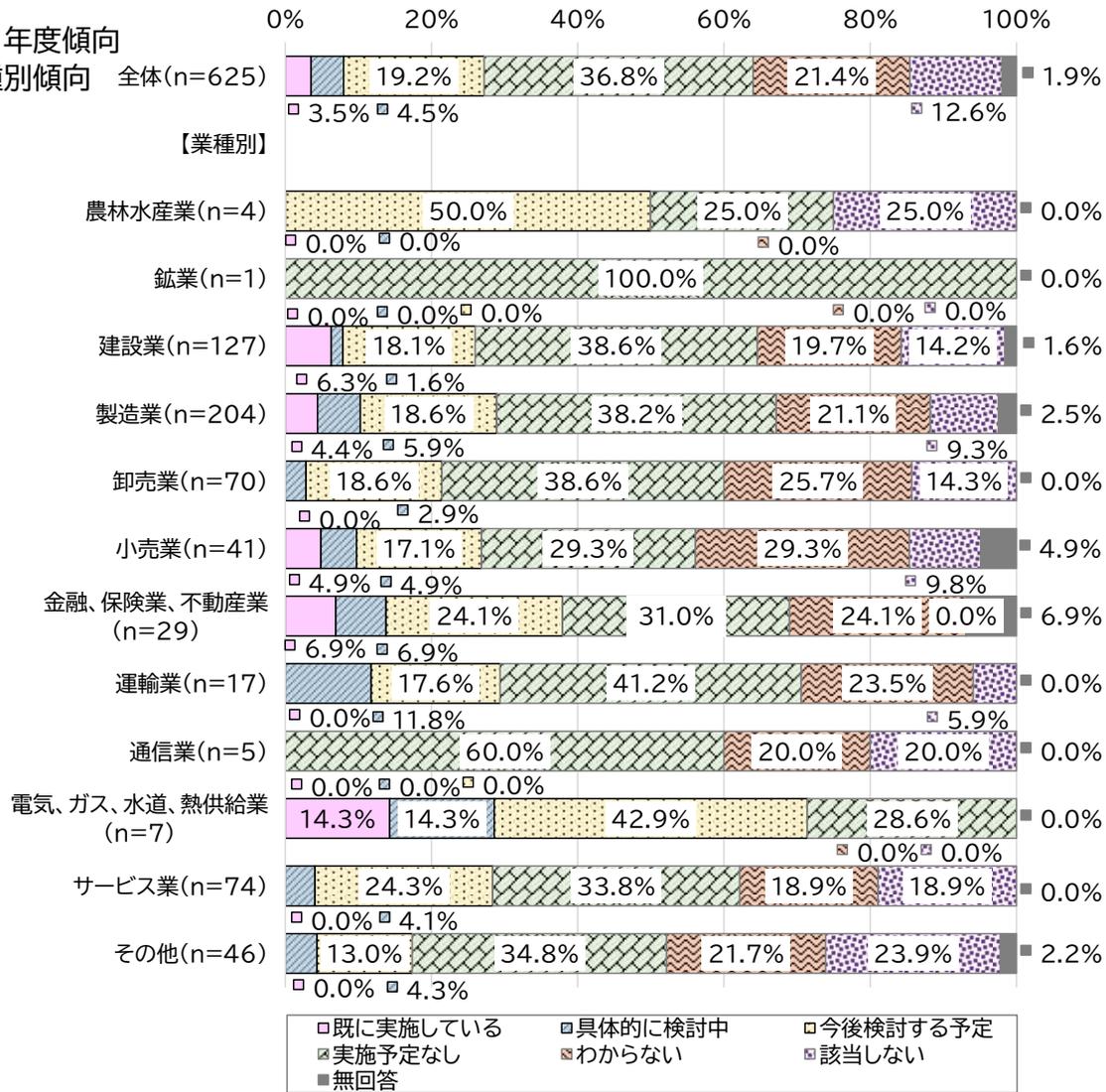
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



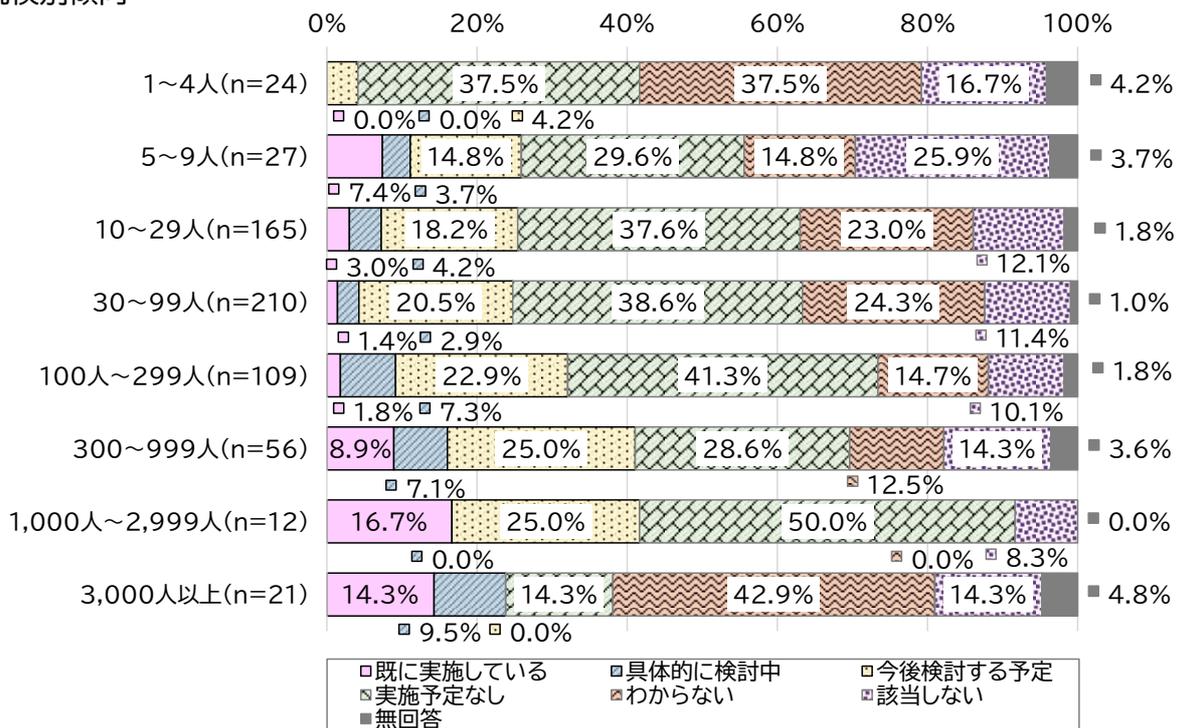
⑪グリーン燃料の調達

◆R6年度傾向

◆業種別傾向



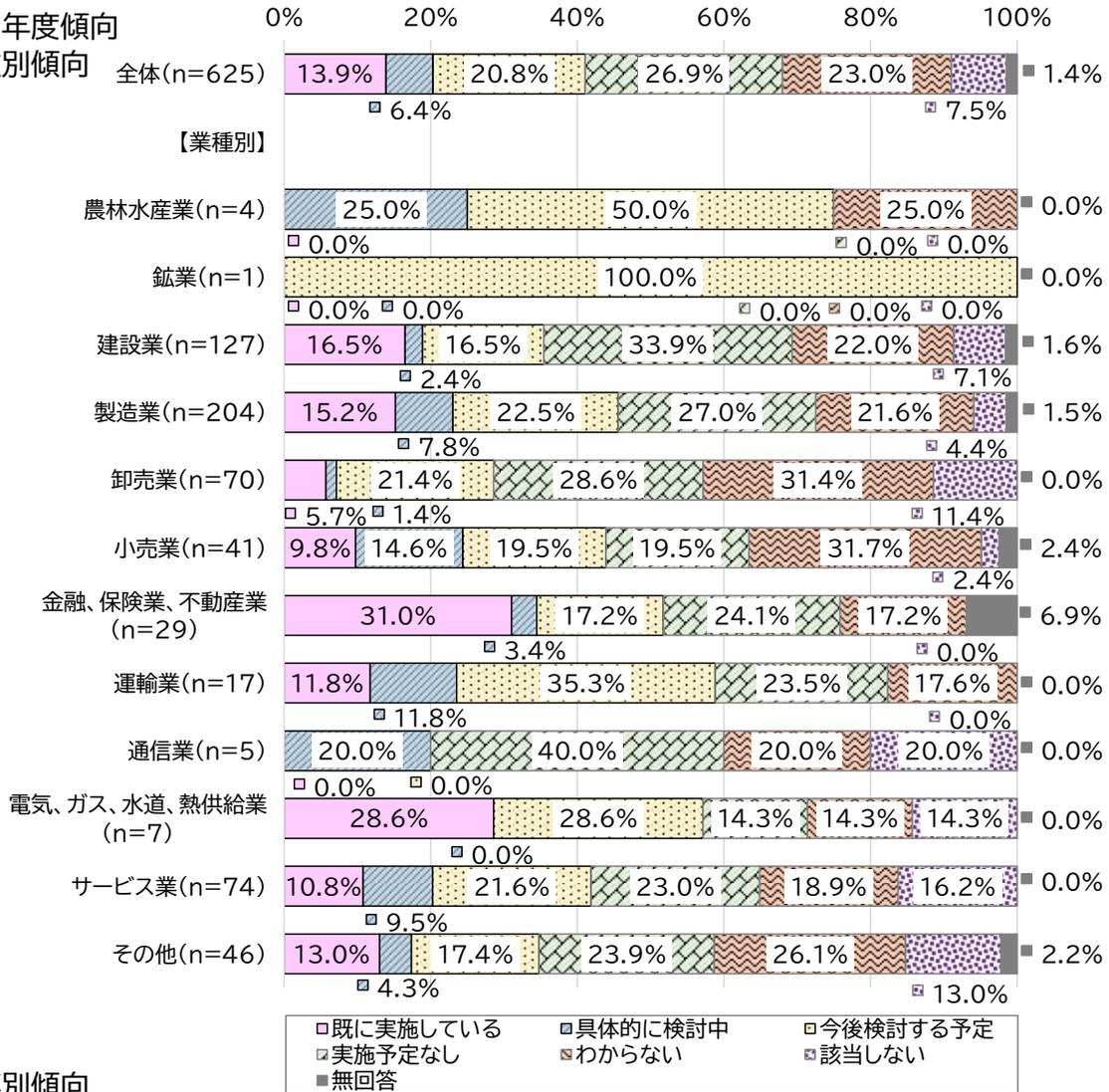
◆規模別傾向



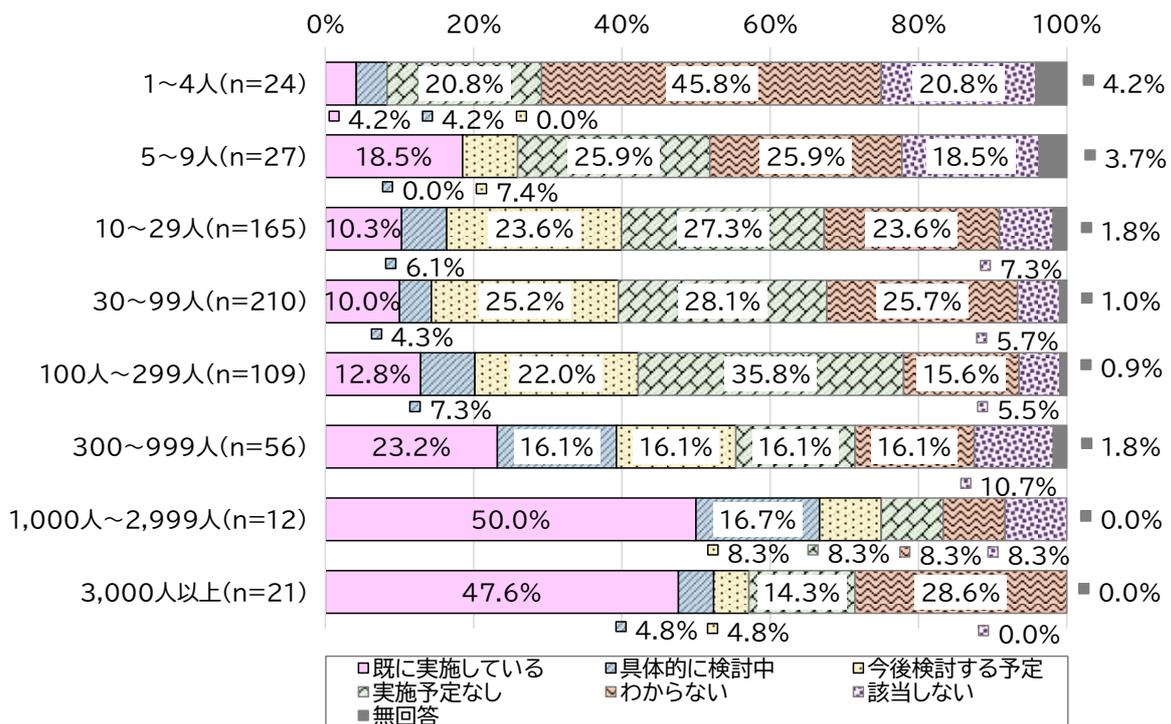
⑫気候変動適応策の推進、普及啓発活動

◆R6年度傾向

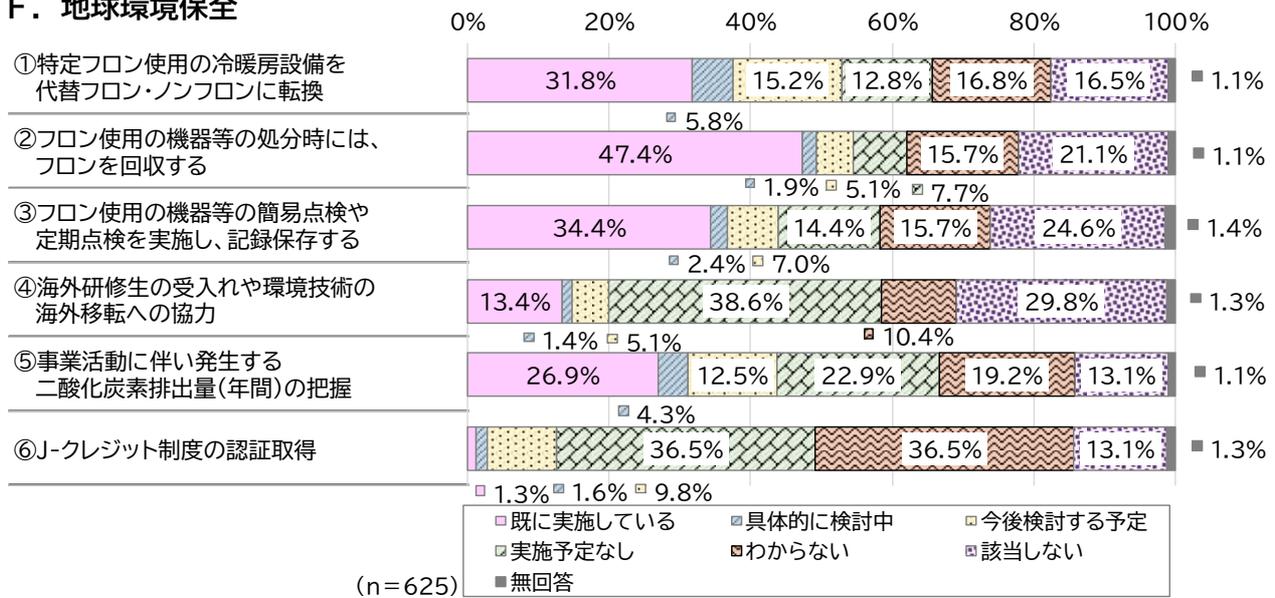
◆業種別傾向



◆規模別傾向



F. 地球環境保全

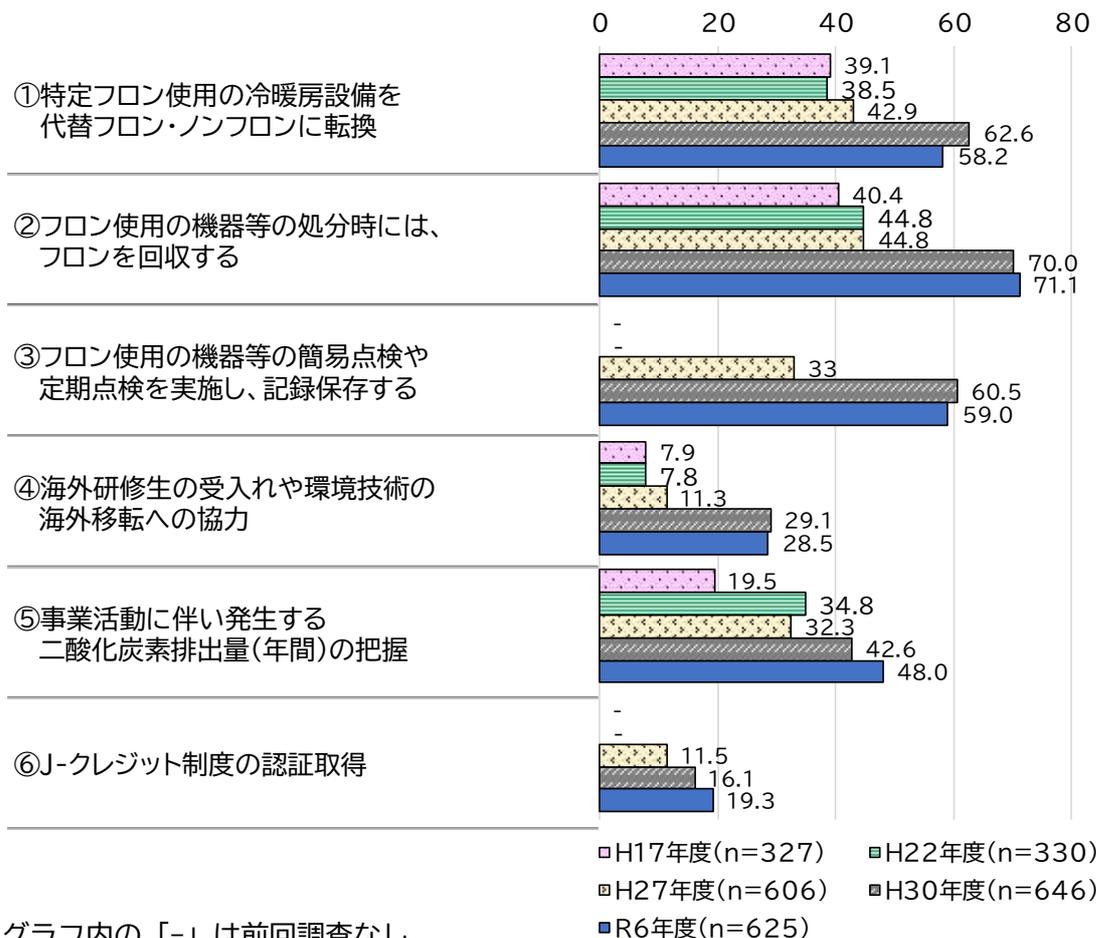


◆経年推移 (加重平均)

加重平均の求め方

「既に実施している」=100点、「具体的に検討中」=75点、「今後検討する予定」=50点、「実施予定なし」=0点、「わからない」=25点とし加重を与え、指標化

経年比較すると、「⑤事業活動に伴い発生する二酸化炭素排出量(年間)の把握」は、H30年調査より今回調査で5.4ポイント高くなっています。



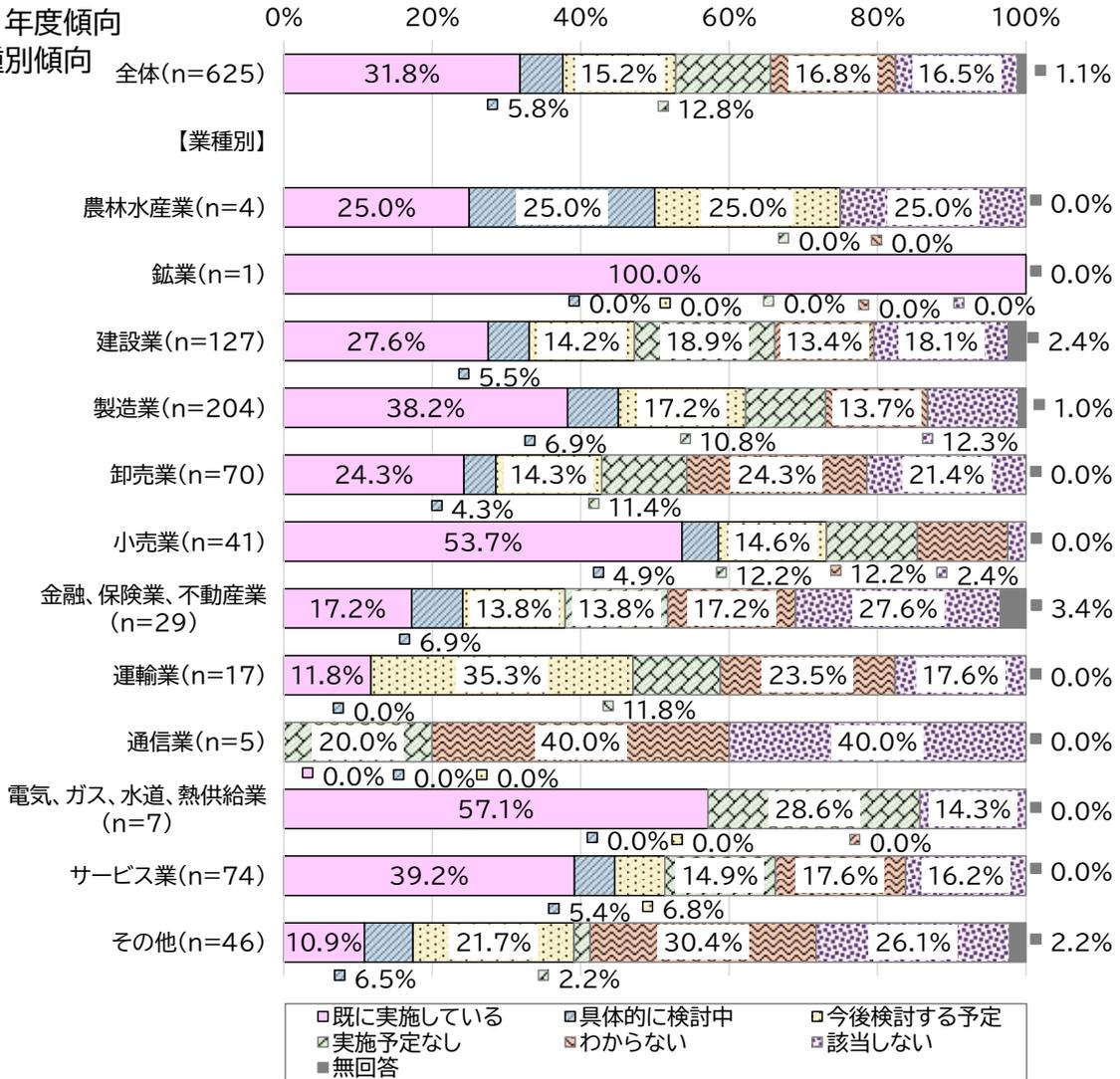
※グラフ内の「-」は前回調査なし

※H17年度、H22年度、H27年度調査については、「該当しない」を加重平均に含めている可能性があるため、比較対象としていません。

①特定フロン使用の冷暖房設備を代替フロン・ノンフロンに転換

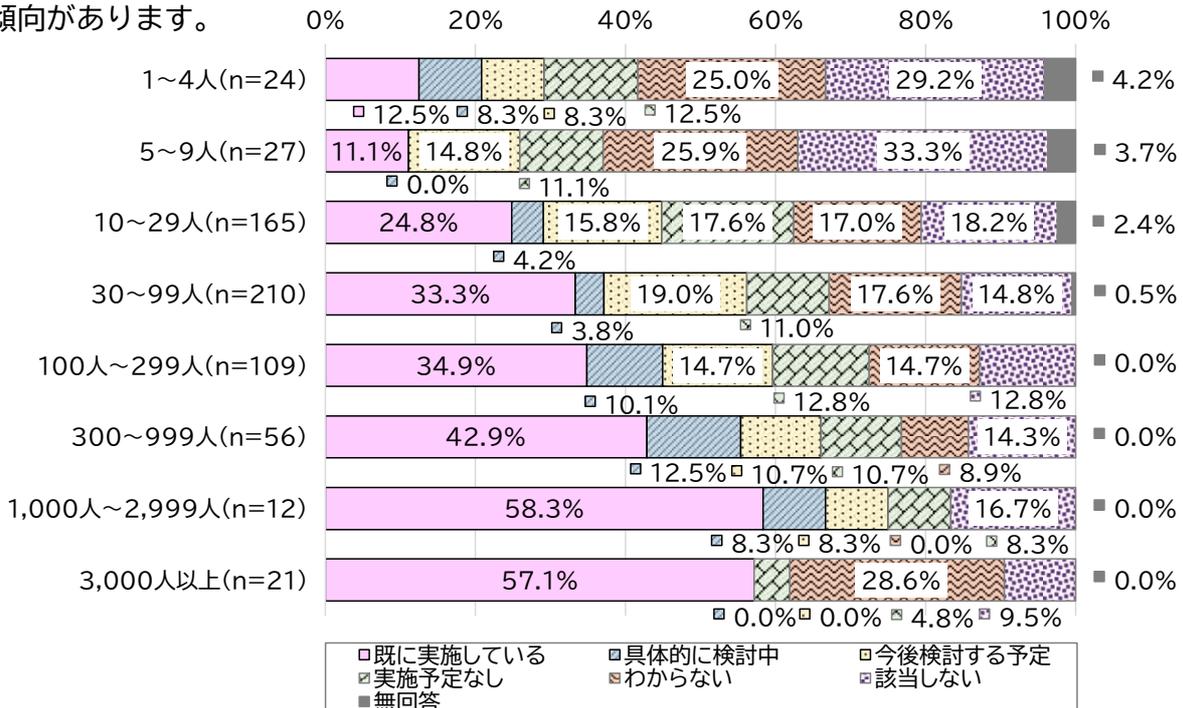
◆R6年度傾向

◆業種別傾向

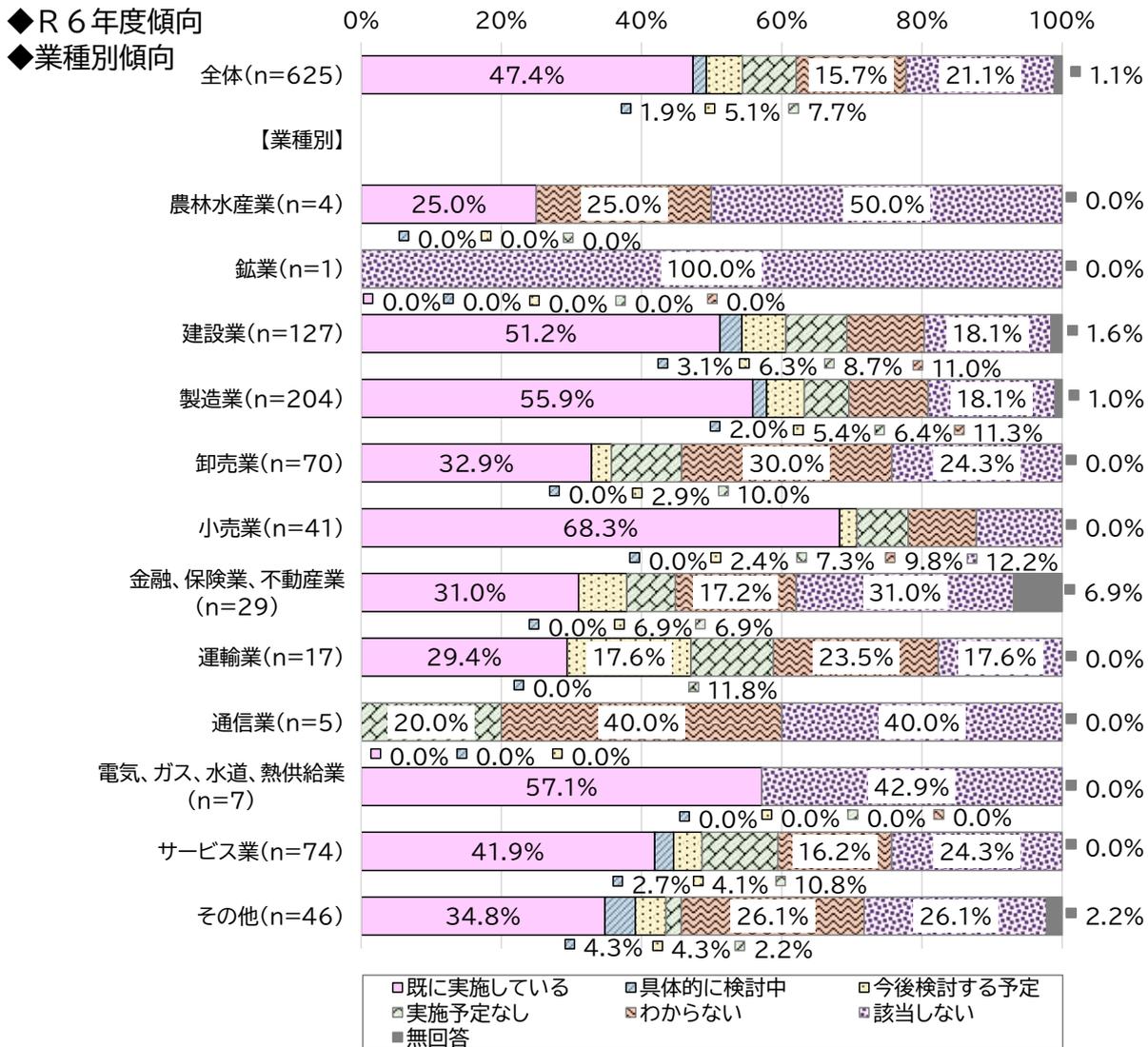


◆規模別傾向

回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既の実施している」が高くなる傾向があります。

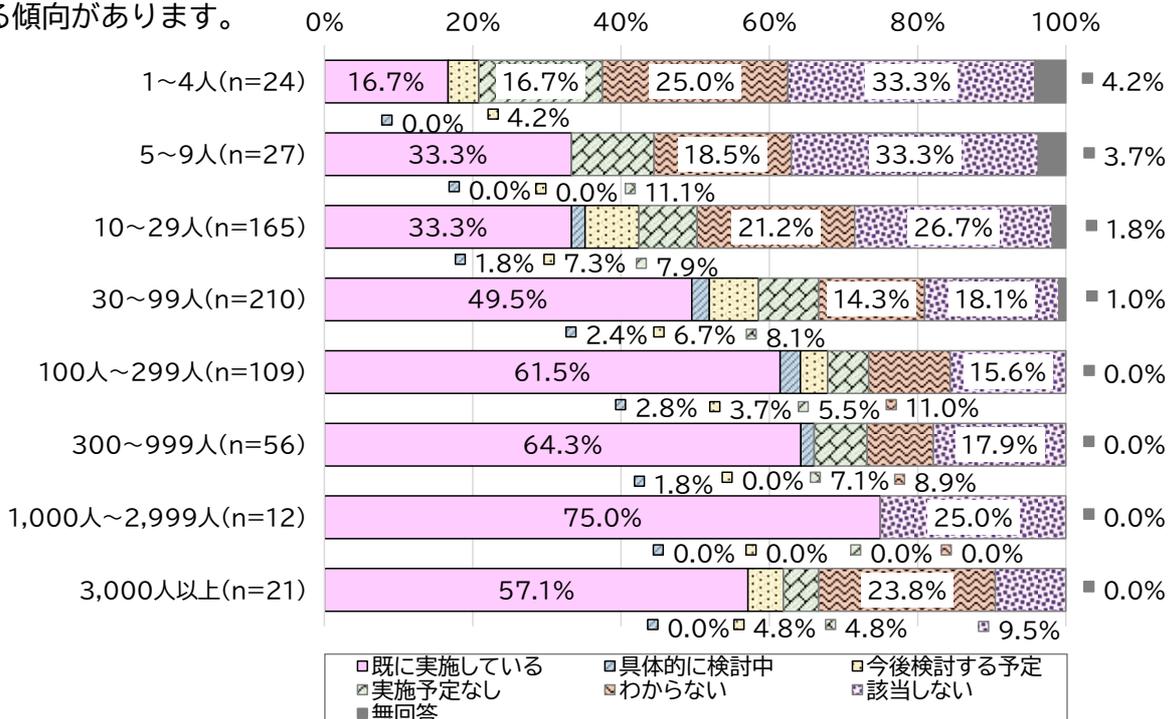


②フロン使用の機器等の処分時には、フロンを回収する



◆規模別傾向

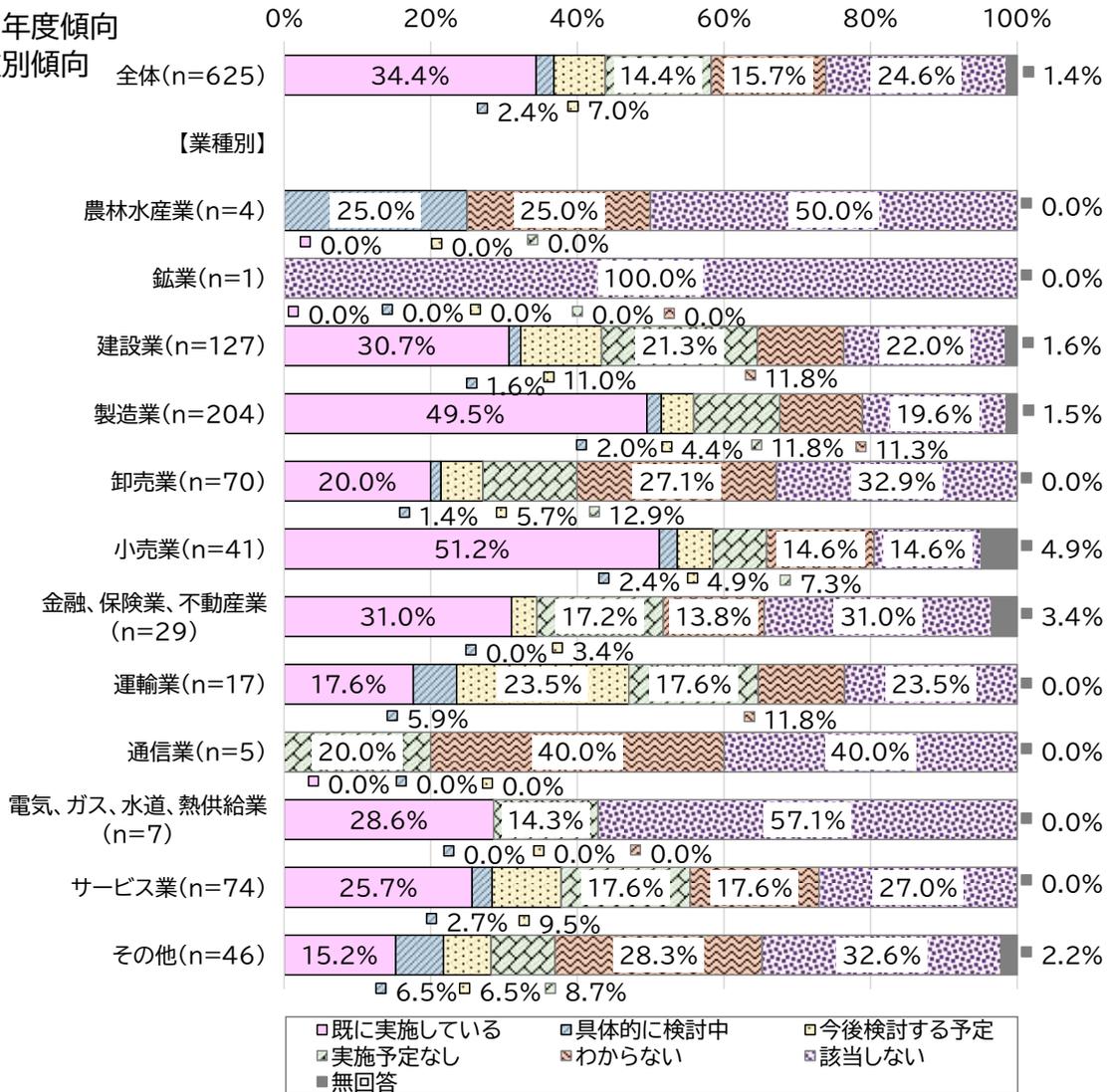
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



③フロン使用の機器等の簡易点検や定期点検を実施し、記録保存する

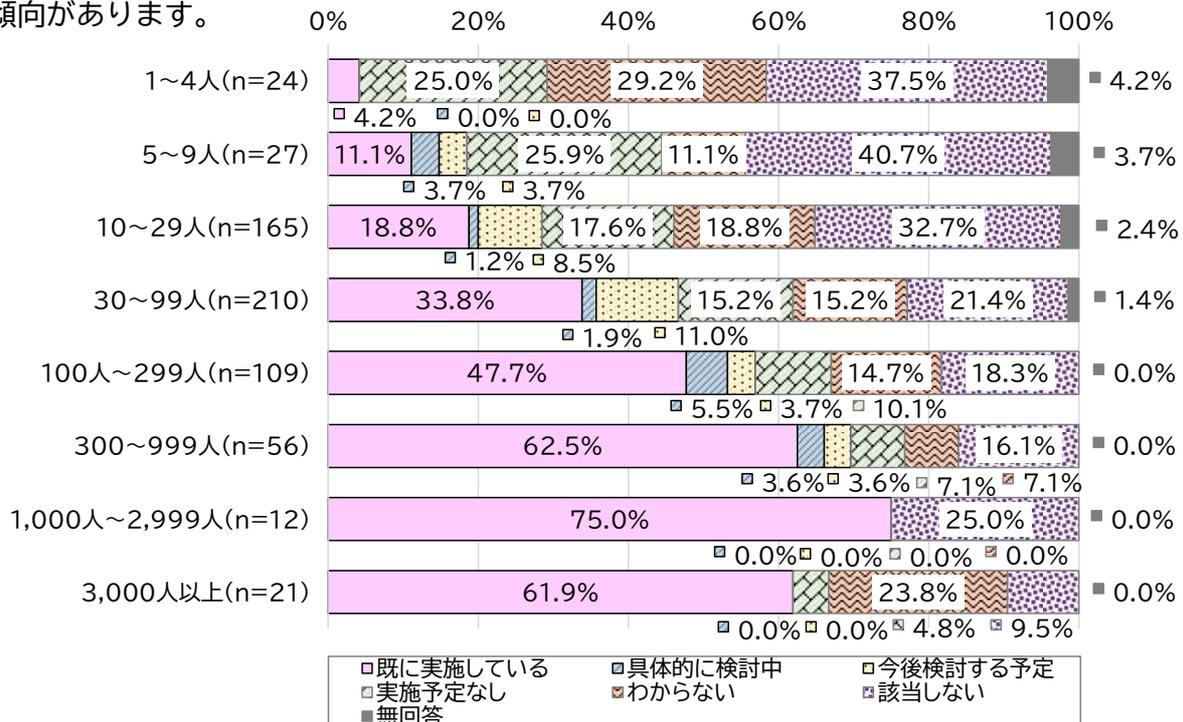
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

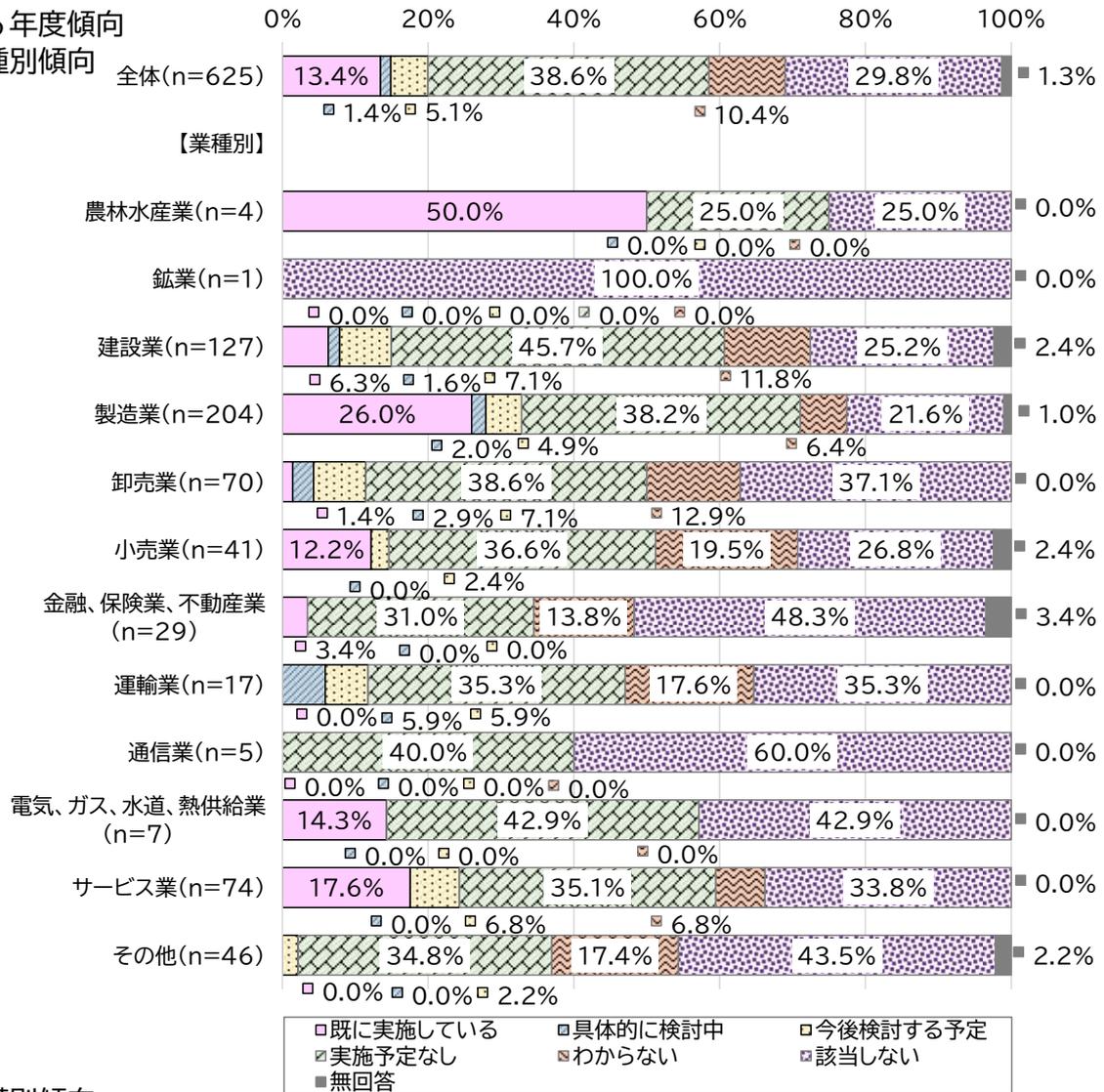
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



④海外研修生の受入れや環境技術の海外移転への協力

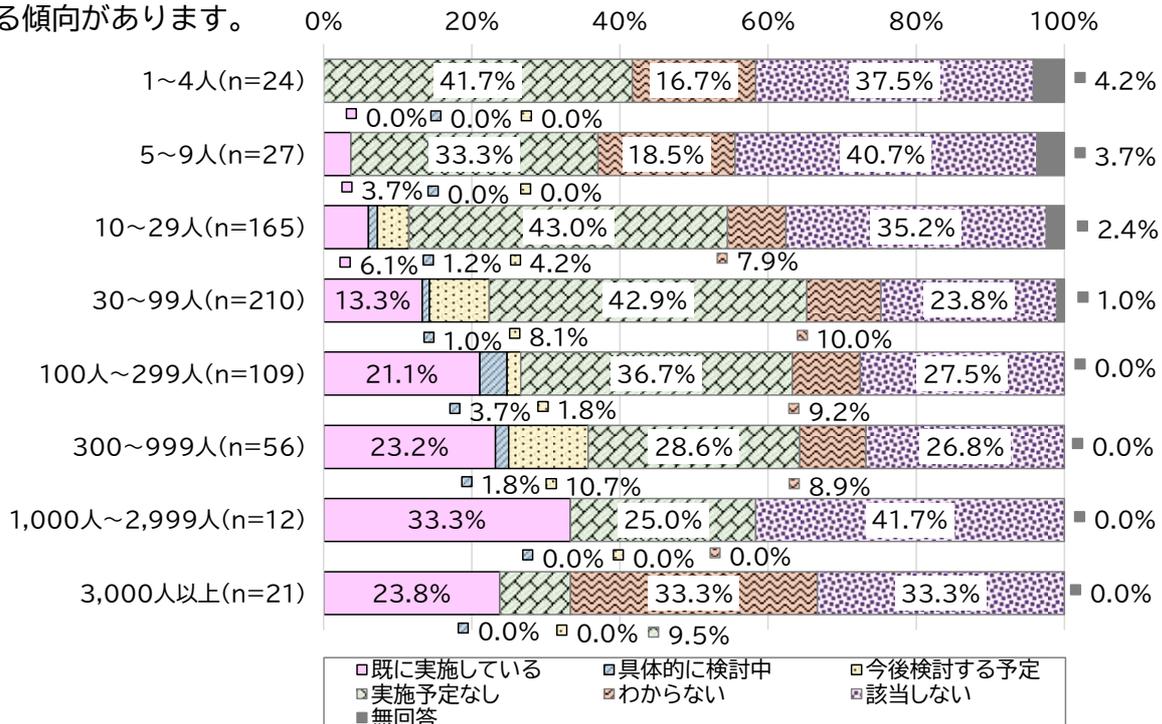
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

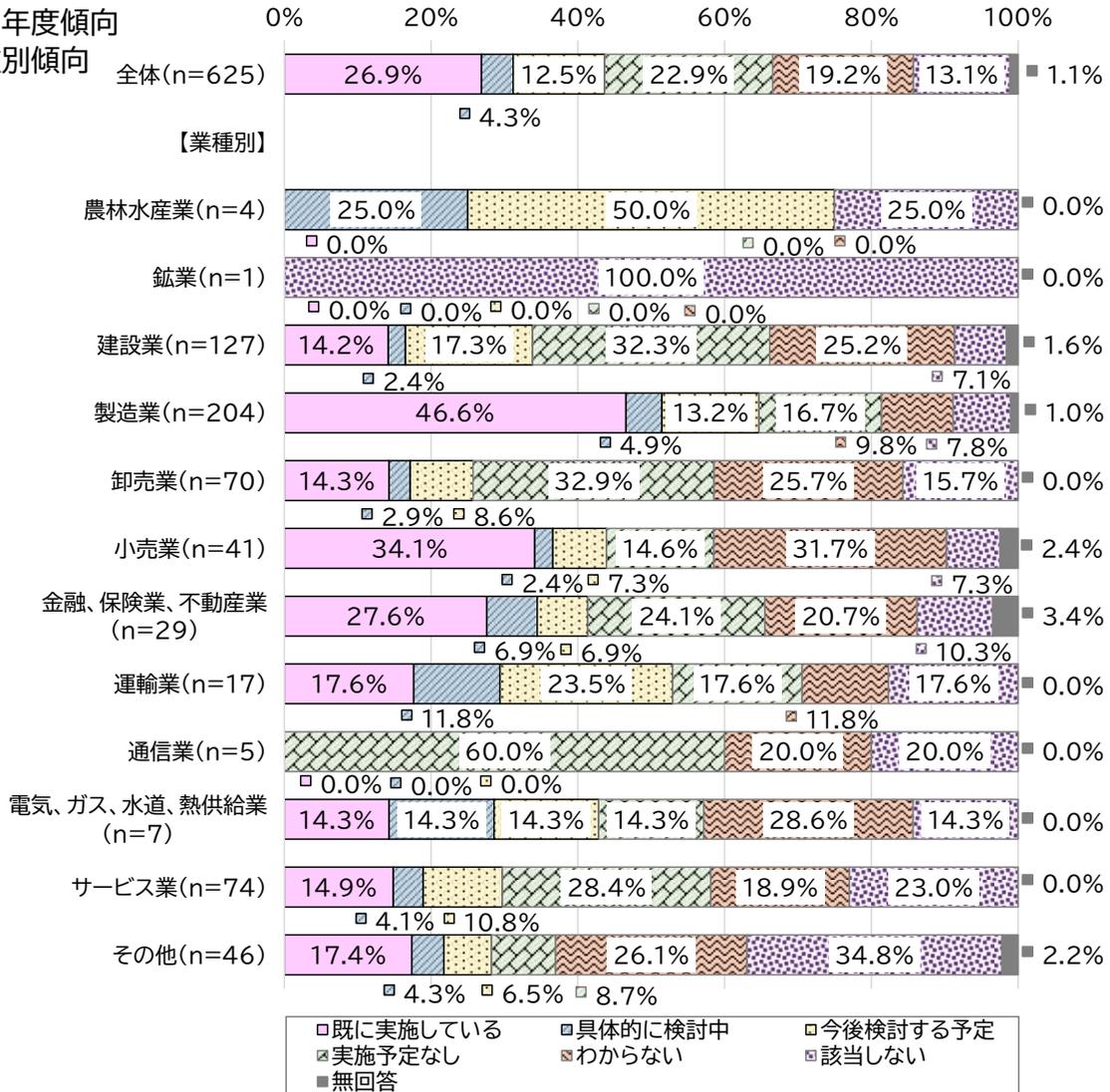
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



⑤事業活動に伴い発生する二酸化炭素排出量（年間）の把握

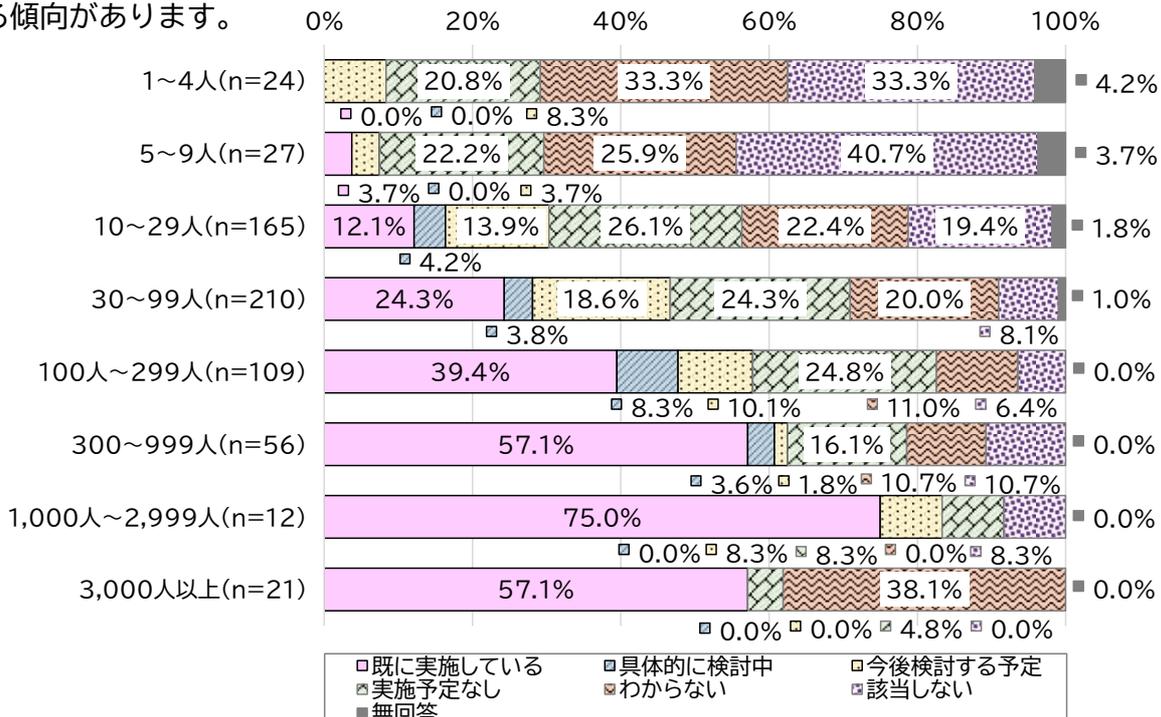
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

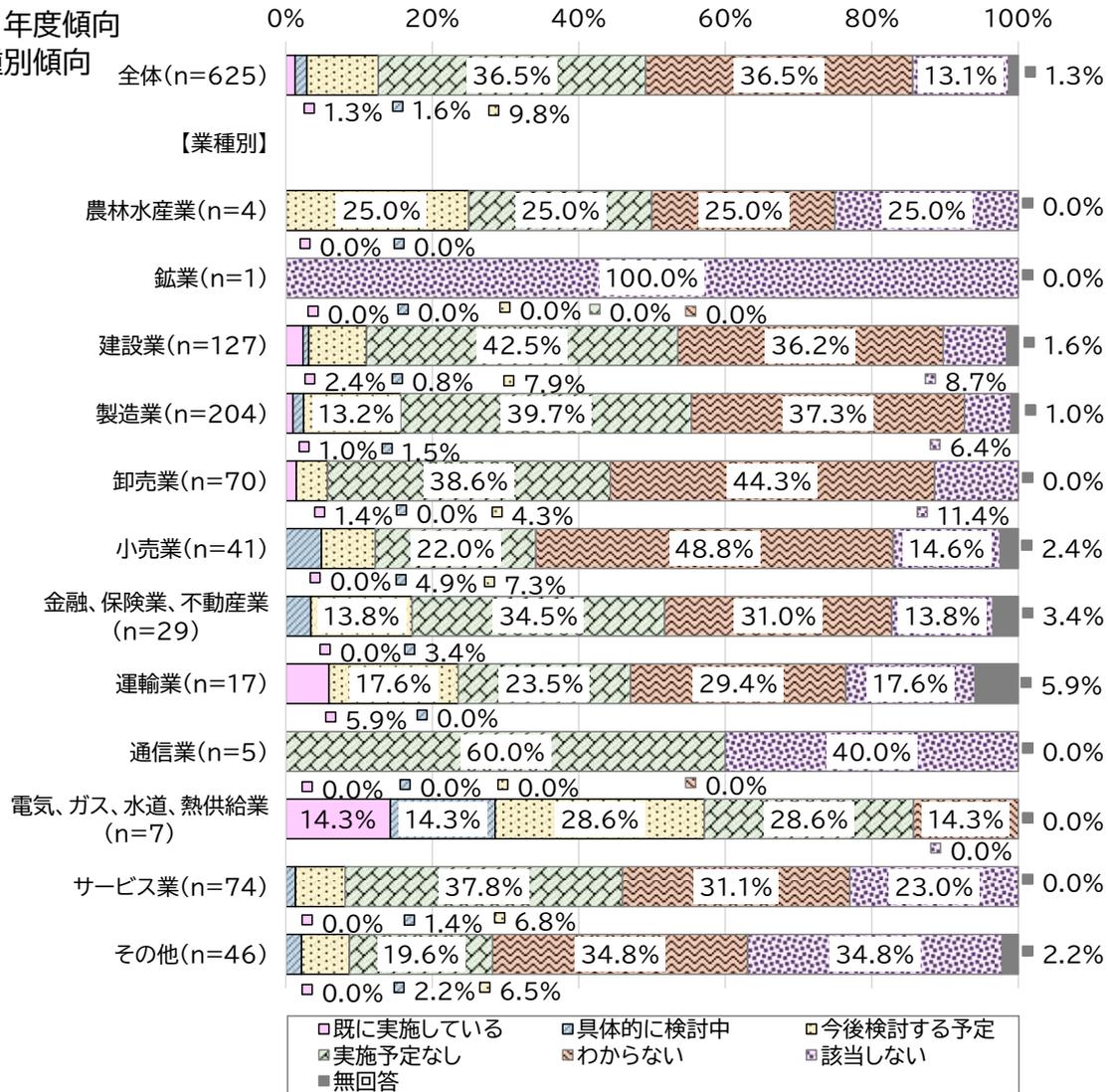
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既の実施している」が高くなる傾向があります。



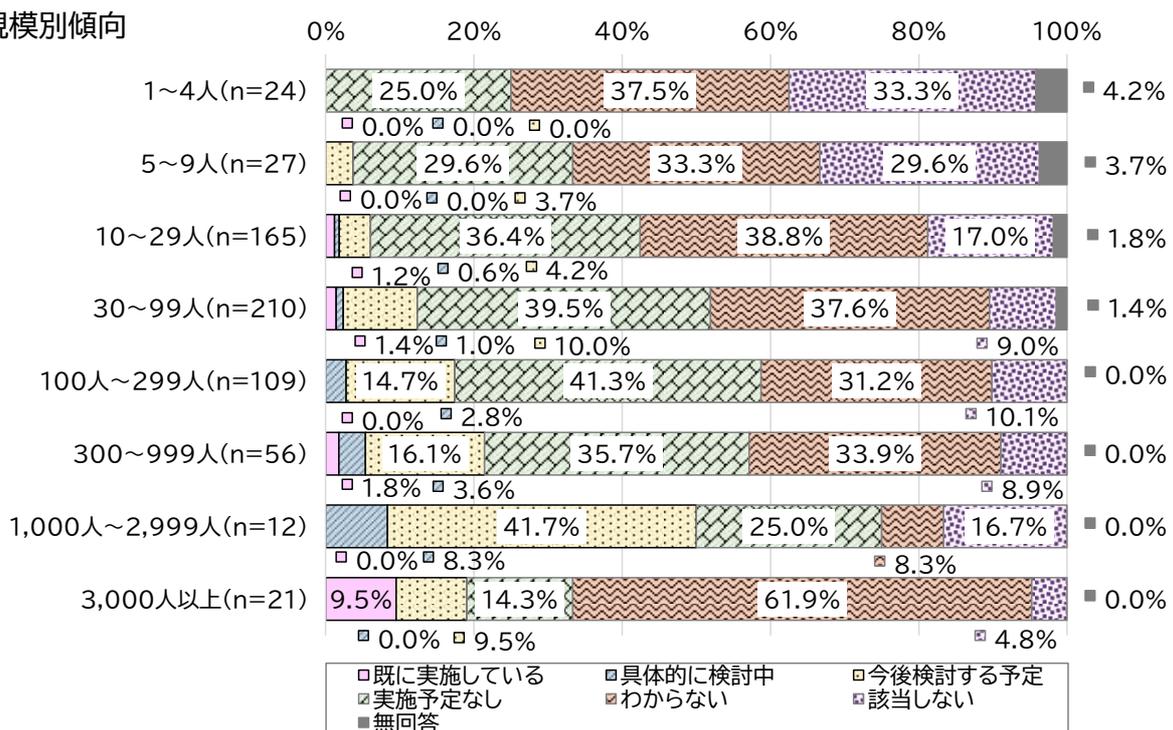
⑥J-クレジット制度の認証取得

◆R6年度傾向

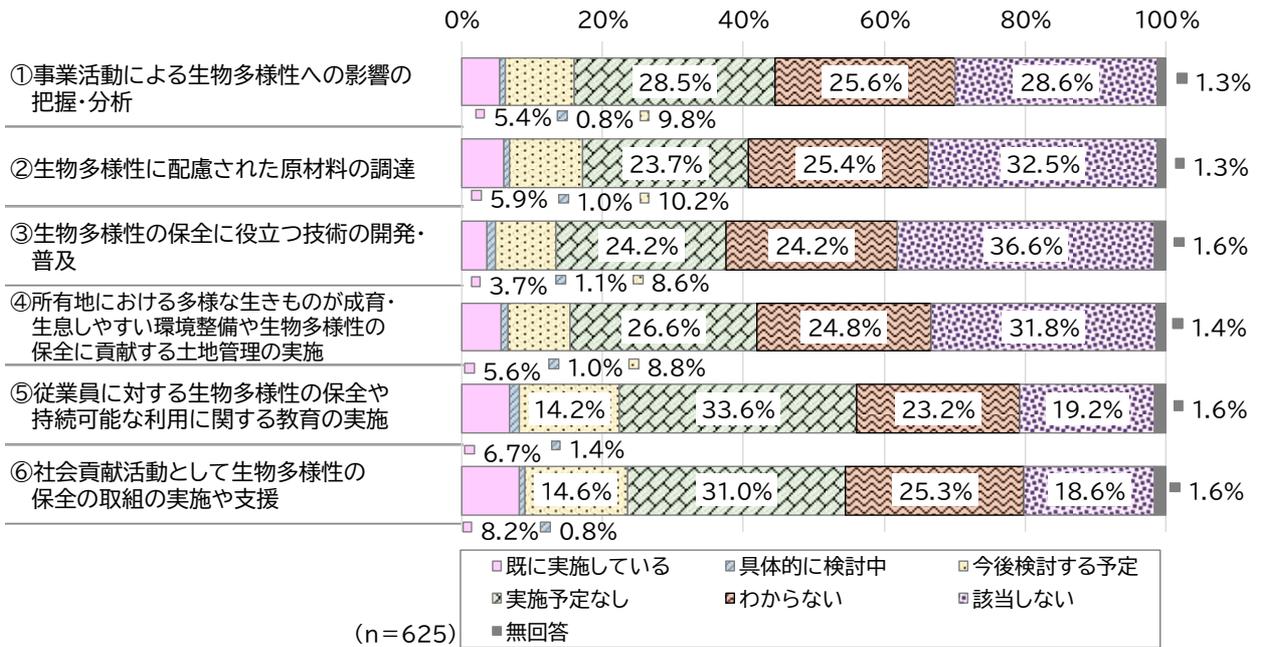
◆業種別傾向



◆規模別傾向



G. 自然環境の保全

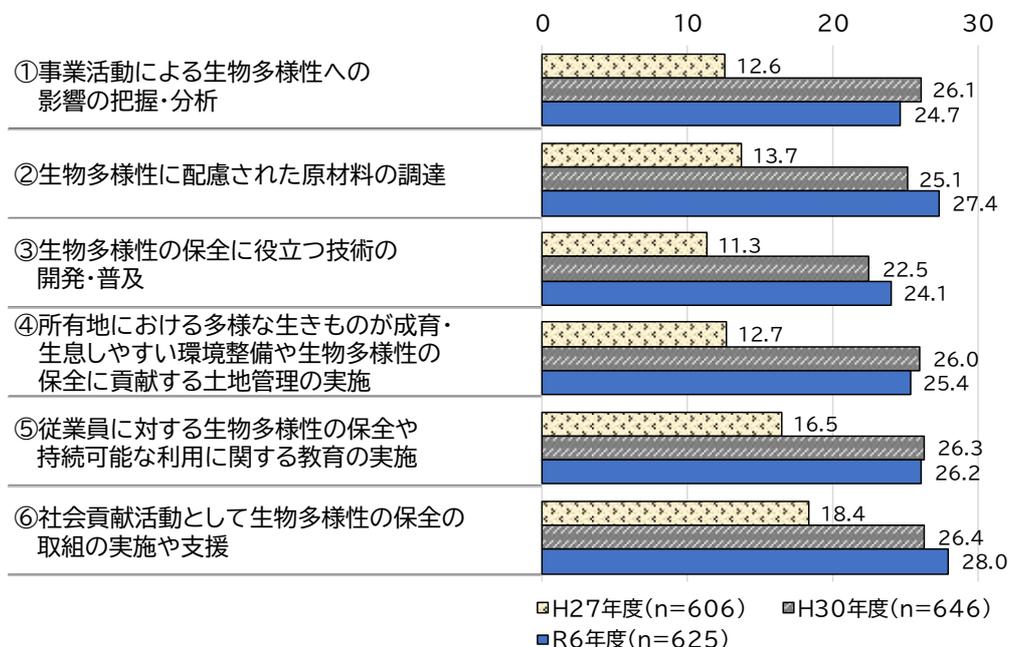


◆経年推移（加重平均）

加重平均の求め方

「既に実施している」=100点、「具体的に検討中」=75点、「今後検討する予定」=50点、「実施予定なし」=0点、「わからない」=25点とし加重を与え、指標化

経年比較すると、「②生物多様性に配慮された原材料の調達」「③生物多様性の保全に役立つ技術の開発・普及」「⑥社会貢献活動として生物多様性の保全の取組の実施や支援」は、それぞれH30年度調査より今回調査でやや増加となっています。



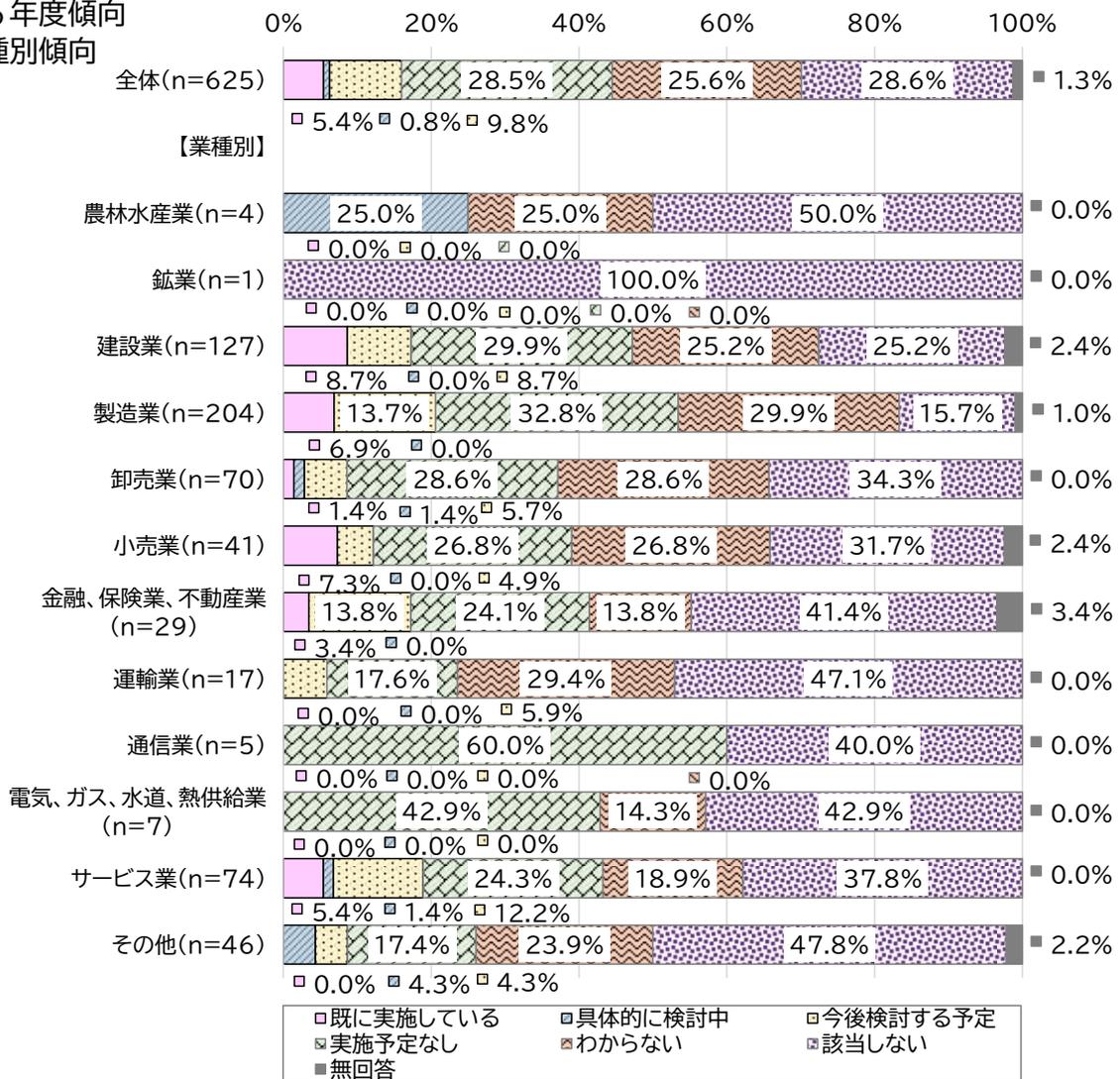
※H17年度、H22年度調査はなし

※H27年度調査については、「該当しない」を加重平均に含めている可能性があるため、比較対象としていません。

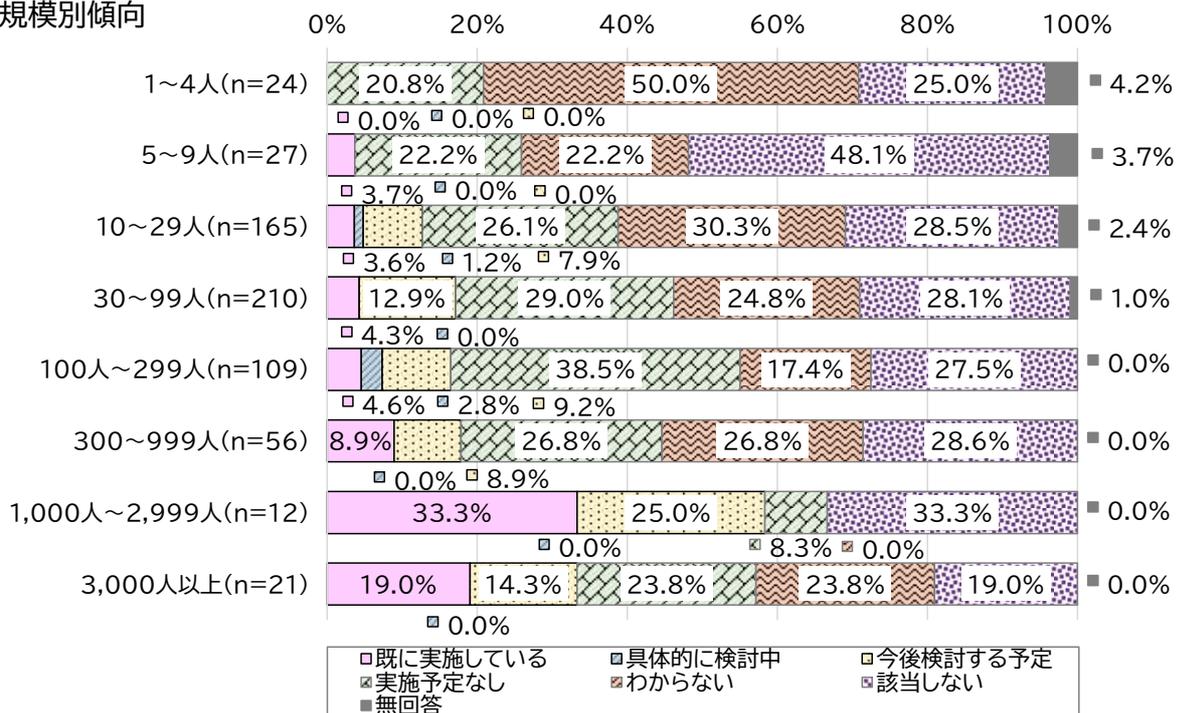
①事業活動による生物多様性への影響の把握・分析

◆R6年度傾向

◆業種別傾向



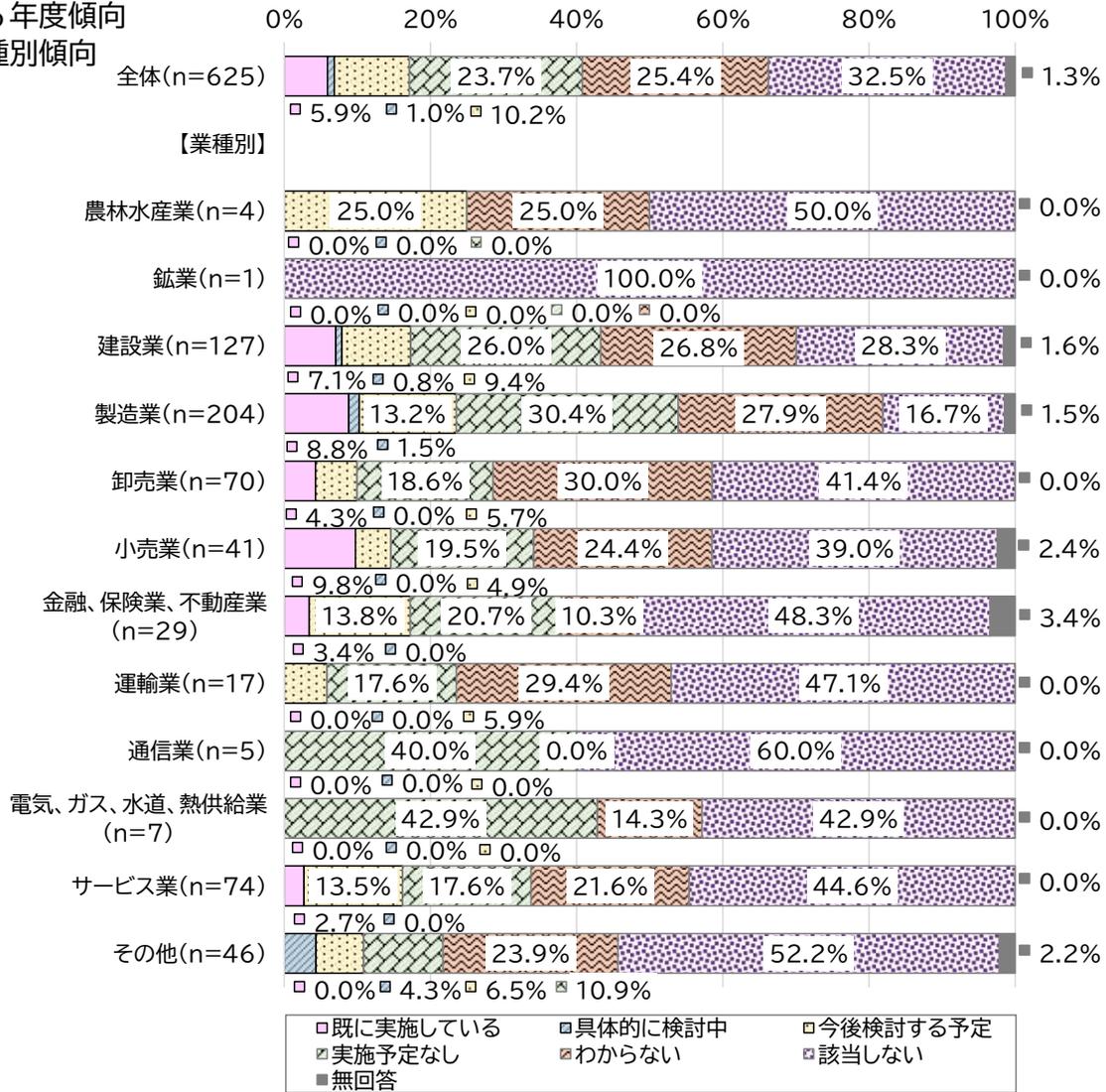
◆規模別傾向



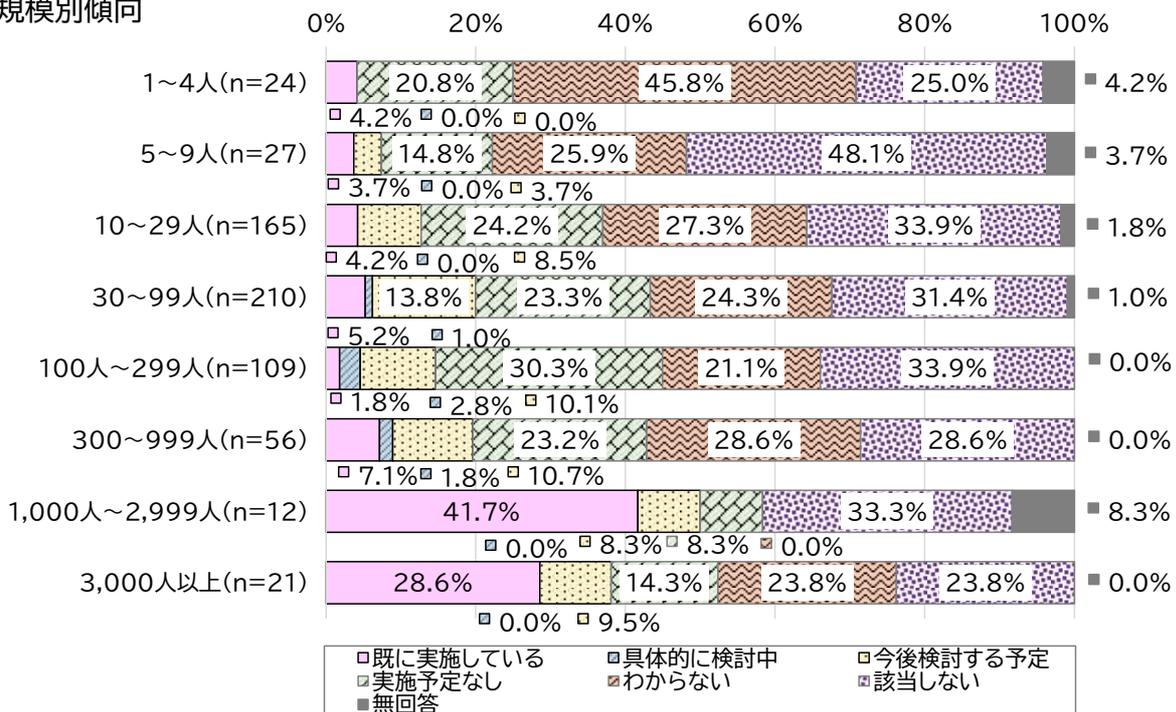
②生物多様性に配慮された原材料の調達

◆R6年度傾向

◆業種別傾向



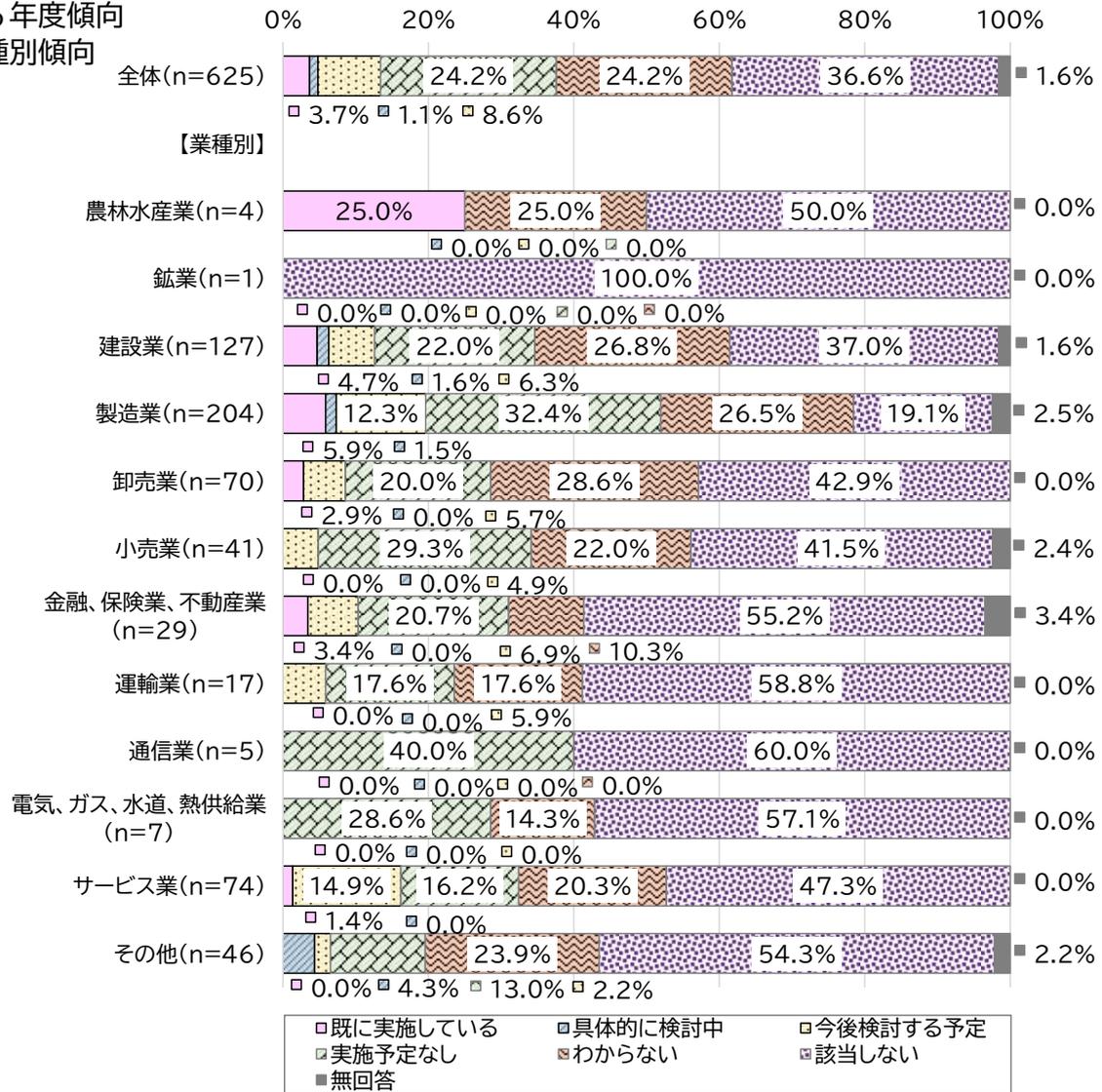
◆規模別傾向



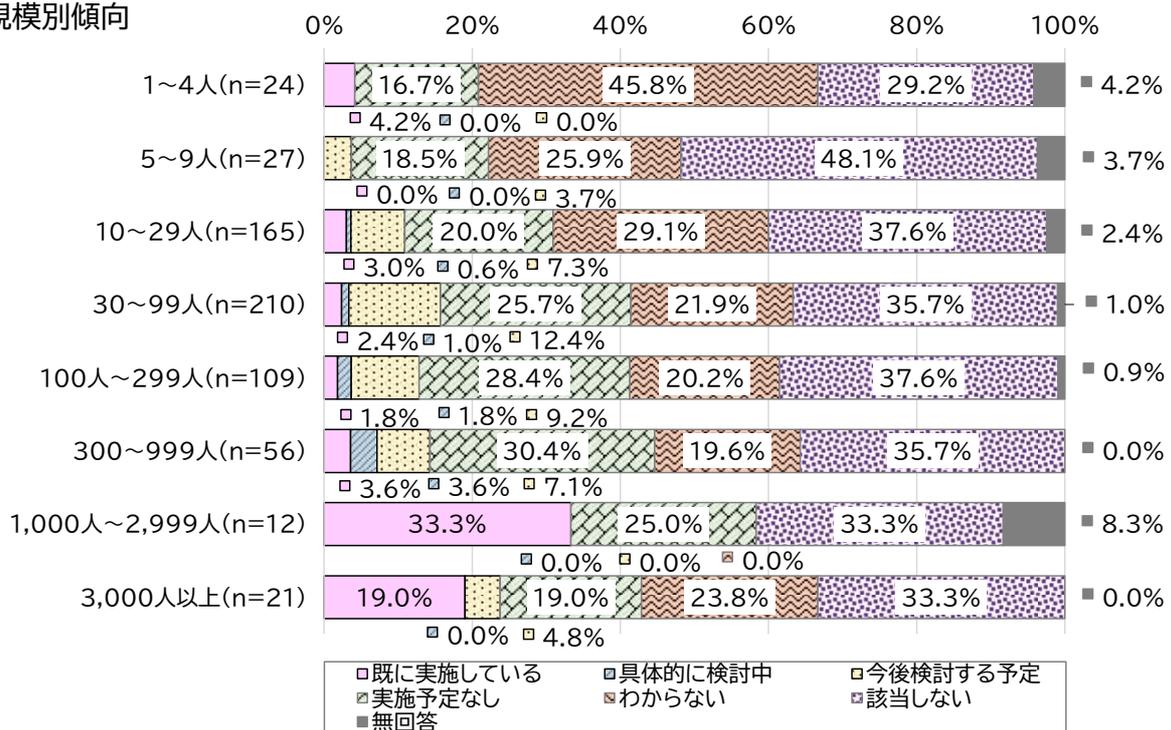
③生物多様性の保全に役立つ技術の開発・普及

◆R6年度傾向

◆業種別傾向



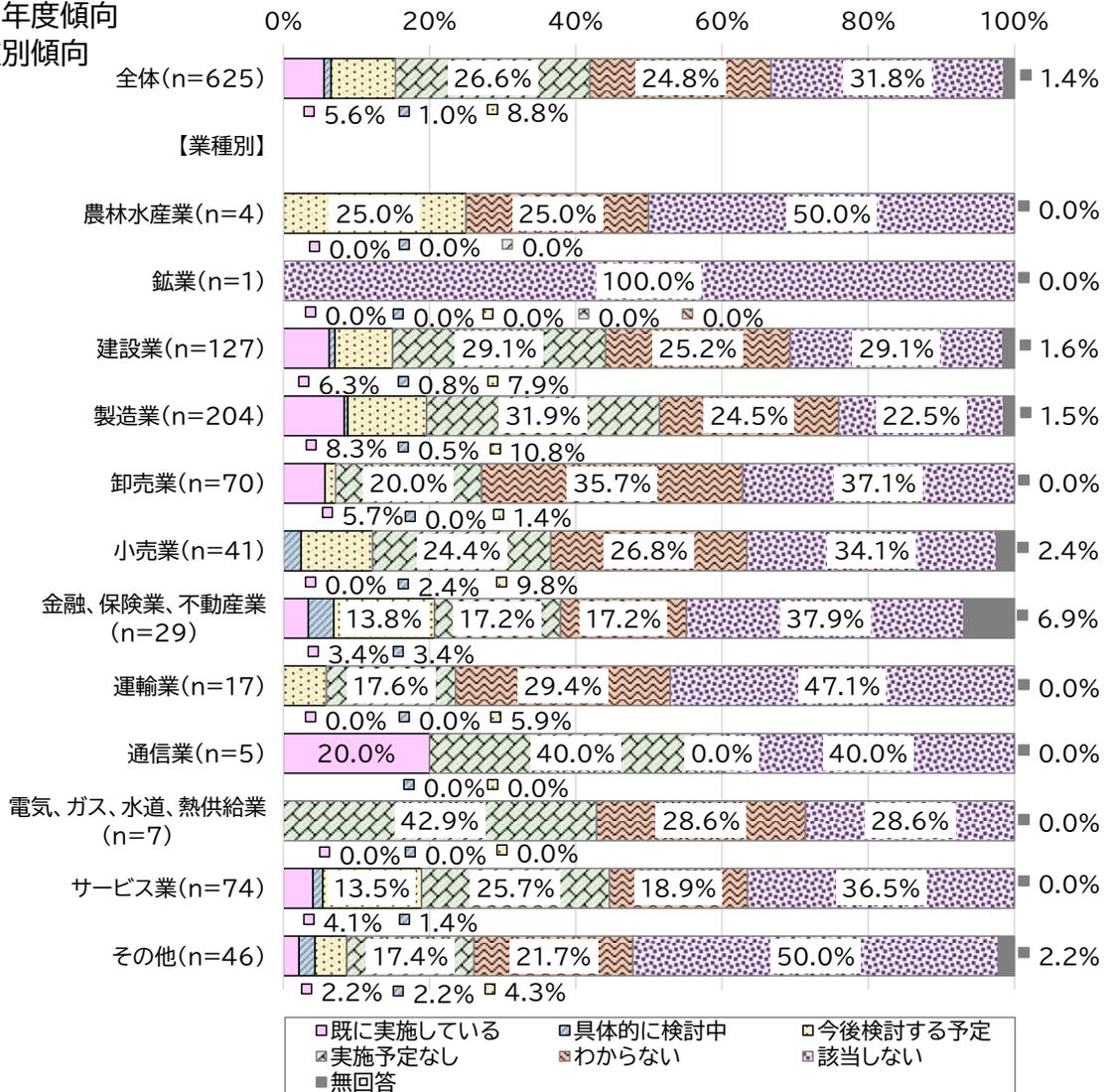
◆規模別傾向



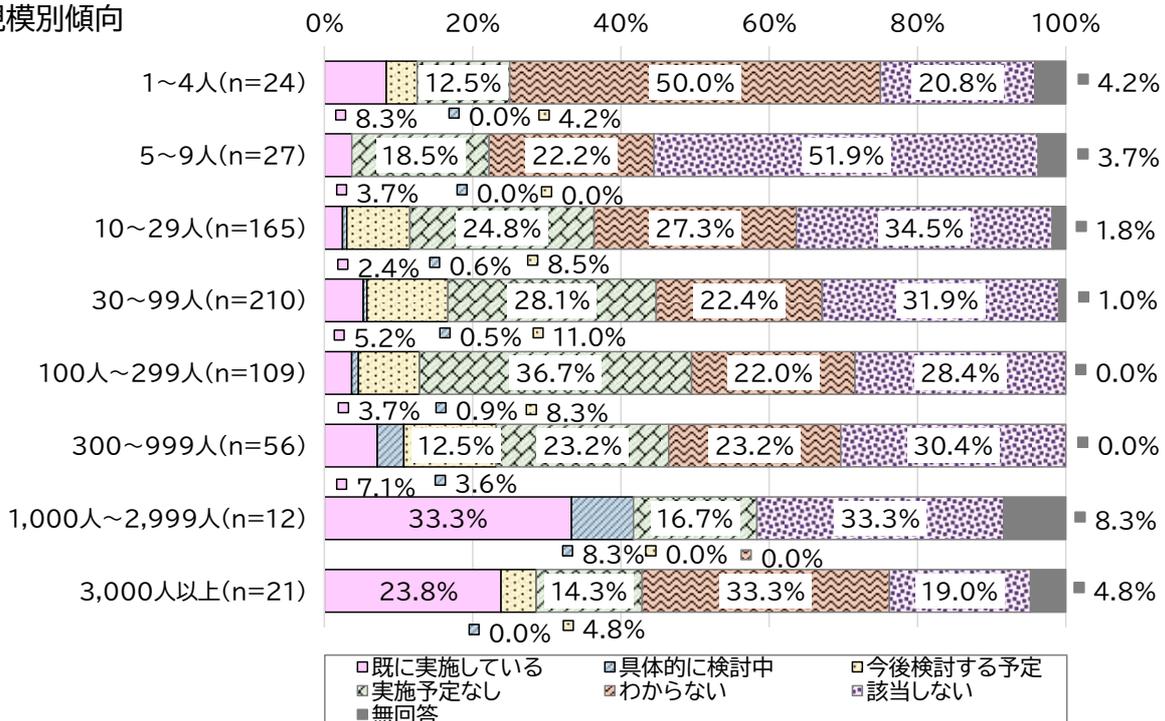
④所有地における多様な生きものが成育・生息しやすい環境整備や生物多様性の保全に貢献する土地管理の実施

◆R6年度傾向

◆業種別傾向



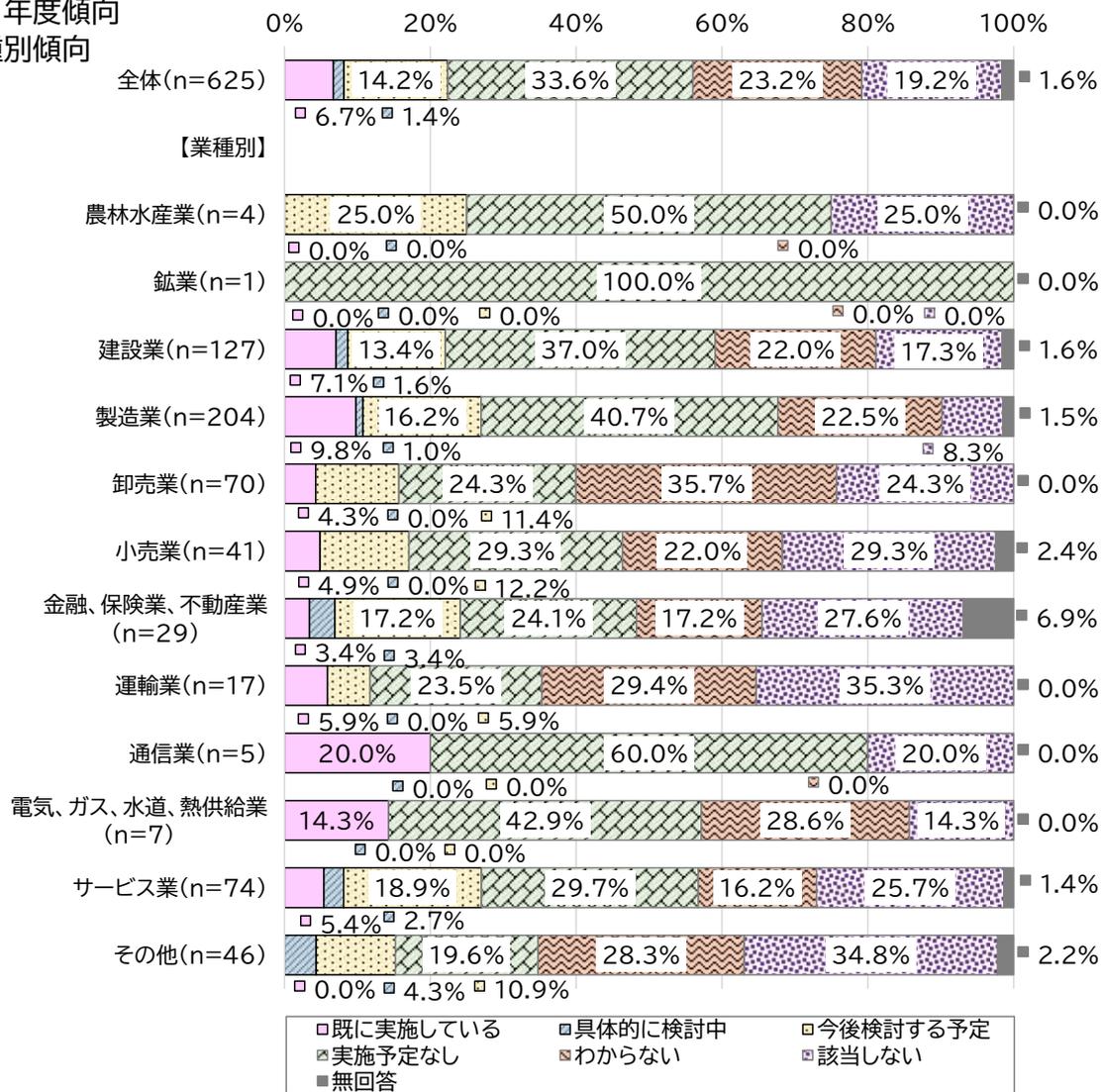
◆規模別傾向



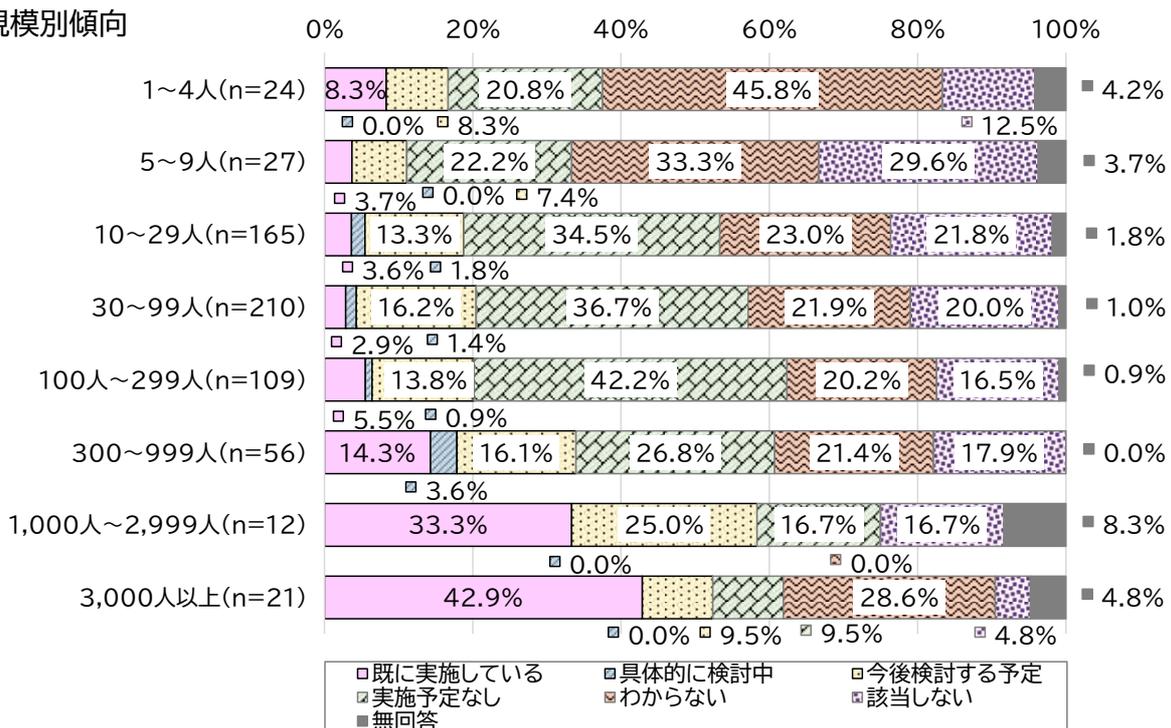
⑤従業員に対する生物多様性の保全や持続可能な利用に関する教育の実施

◆R6年度傾向

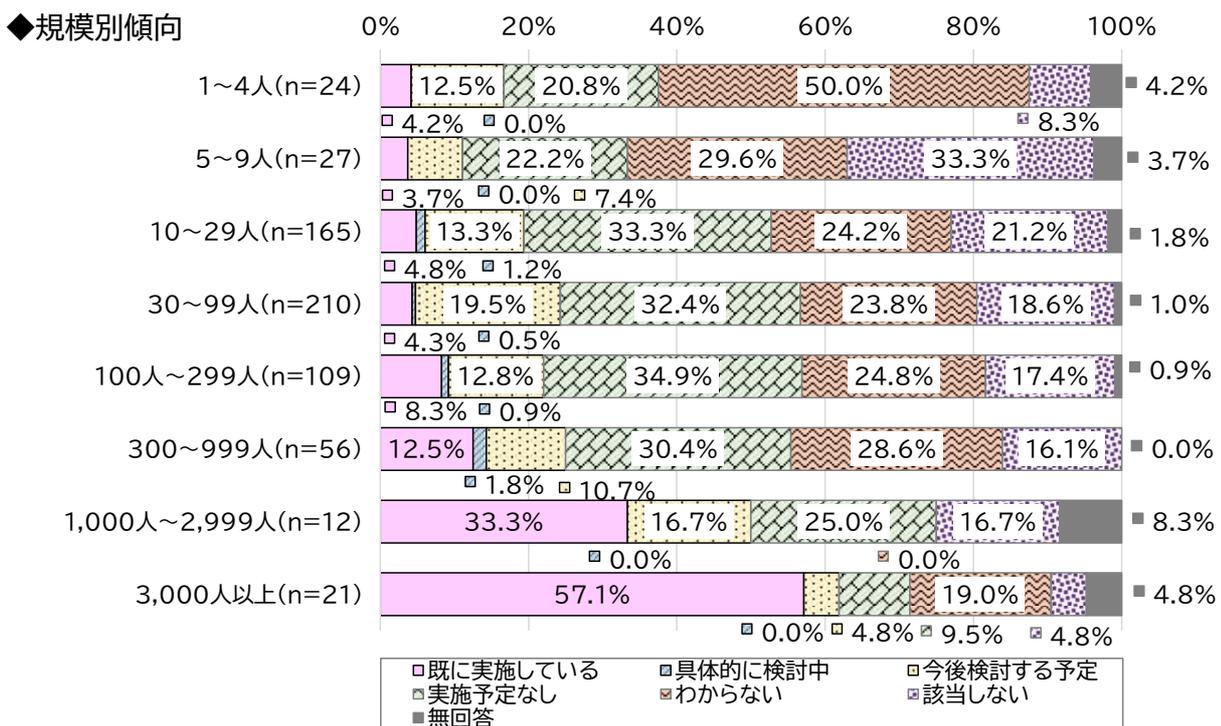
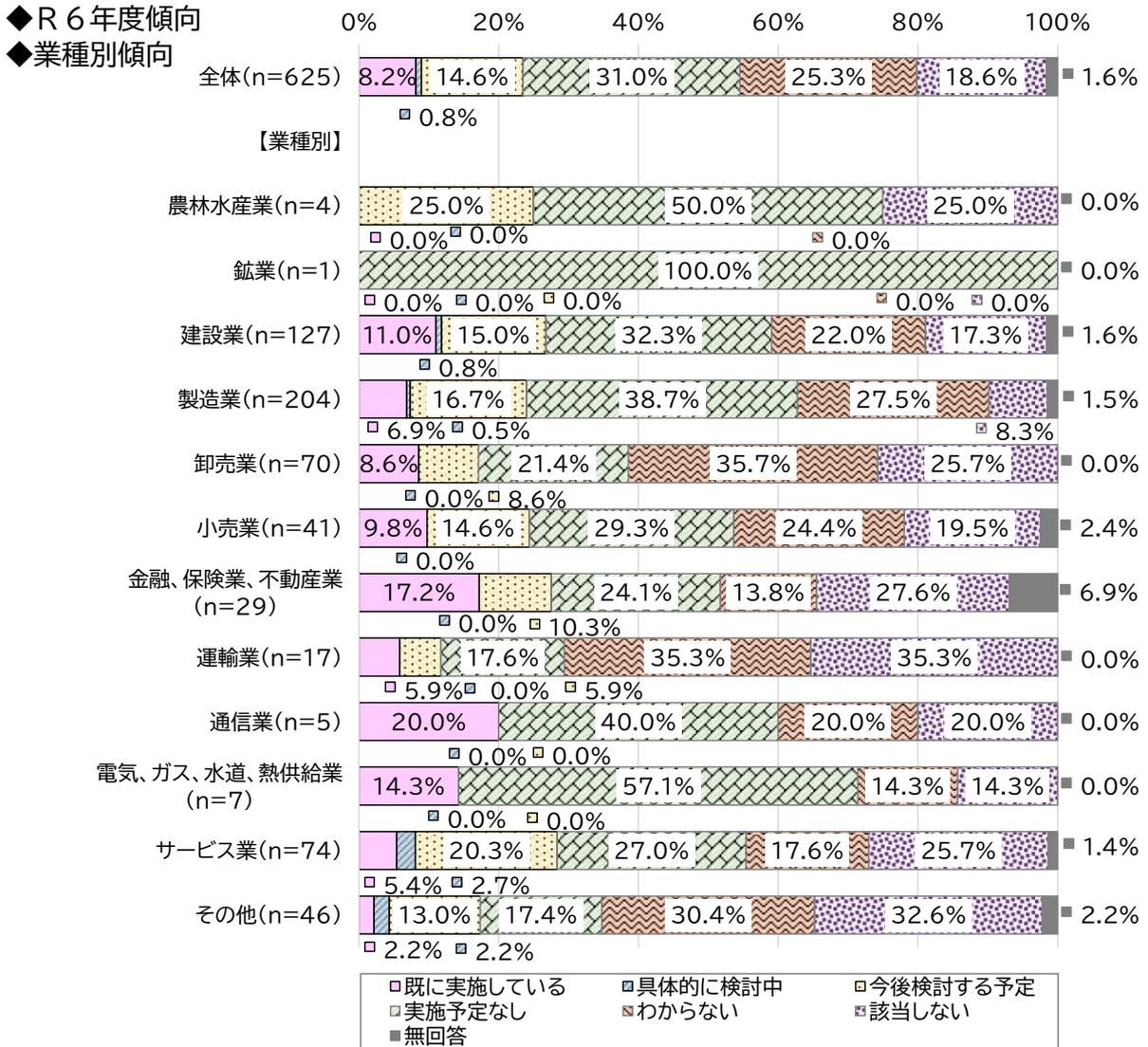
◆業種別傾向



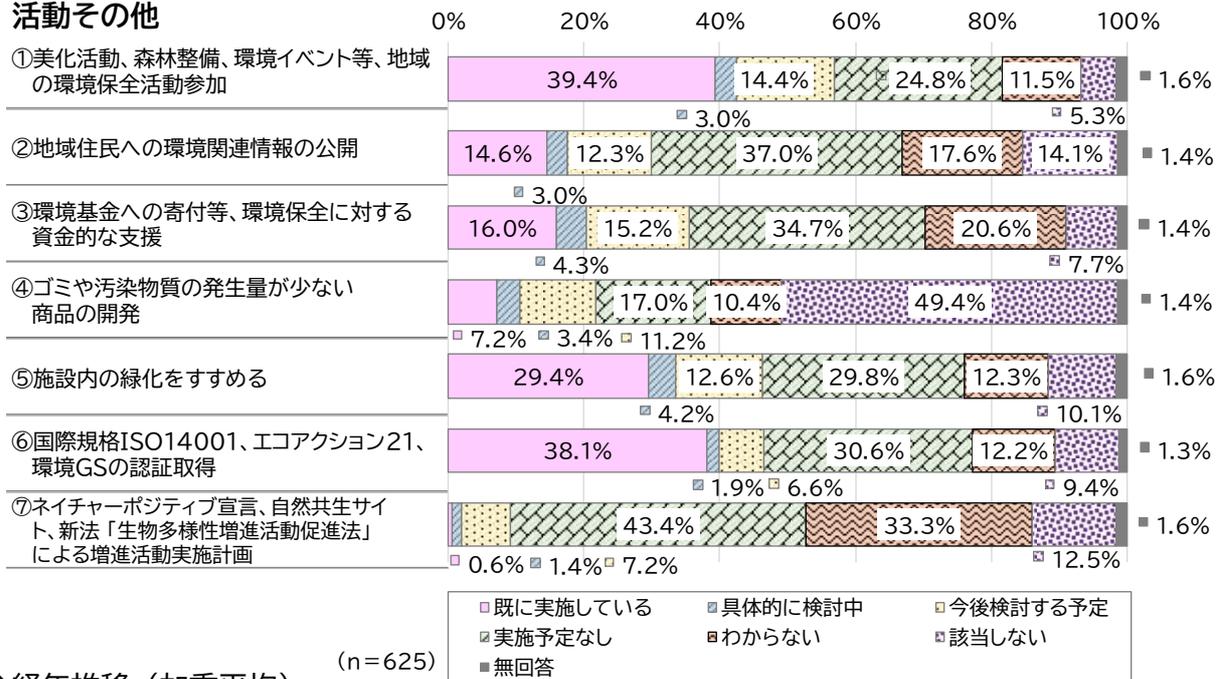
◆規模別傾向



⑥社会貢献活動として生物多様性の保全の取組の実施や支援



H. 活動その他

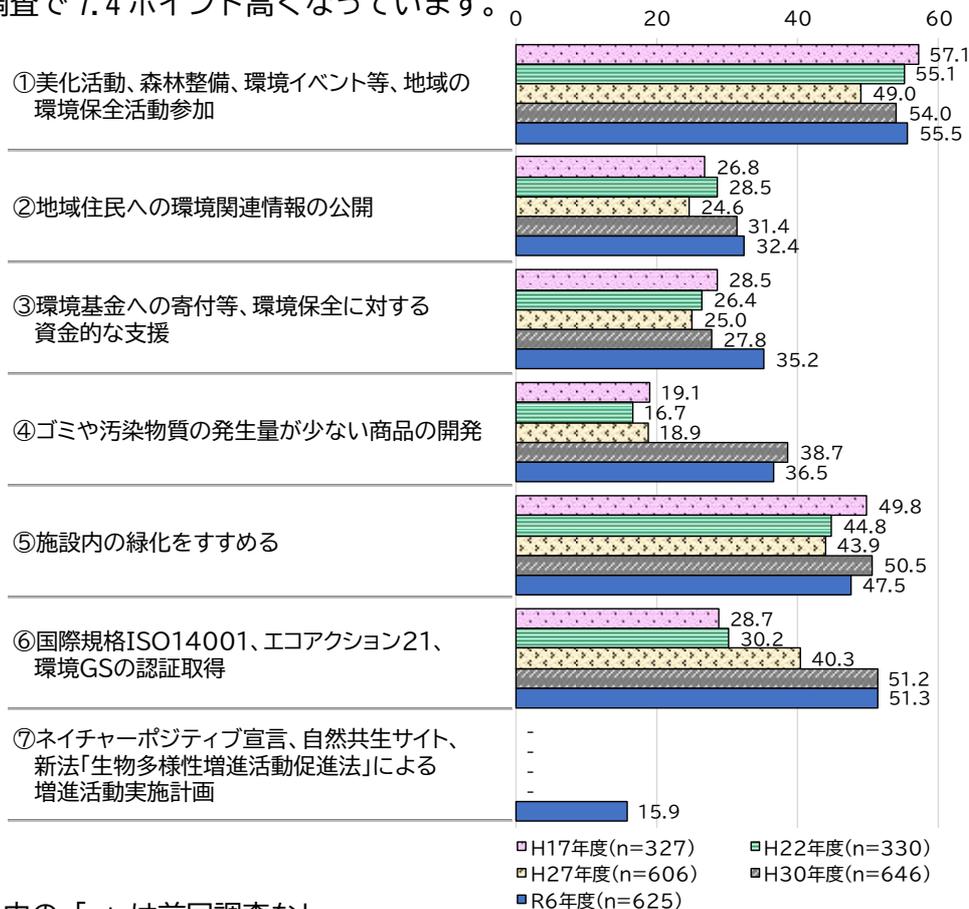


◆経年推移（加重平均）

加重平均の求め方

「既の実施している」=100点、「具体的に検討中」=75点、「今後検討する予定」=50点、「実施予定なし」=0点、「わからない」=25点とし加重を与え、指標化

経年比較すると、「③環境基金への寄付等、環境保全に対する資金的な支援」は、H30年度調査より今回調査で7.4ポイント高くなっています。



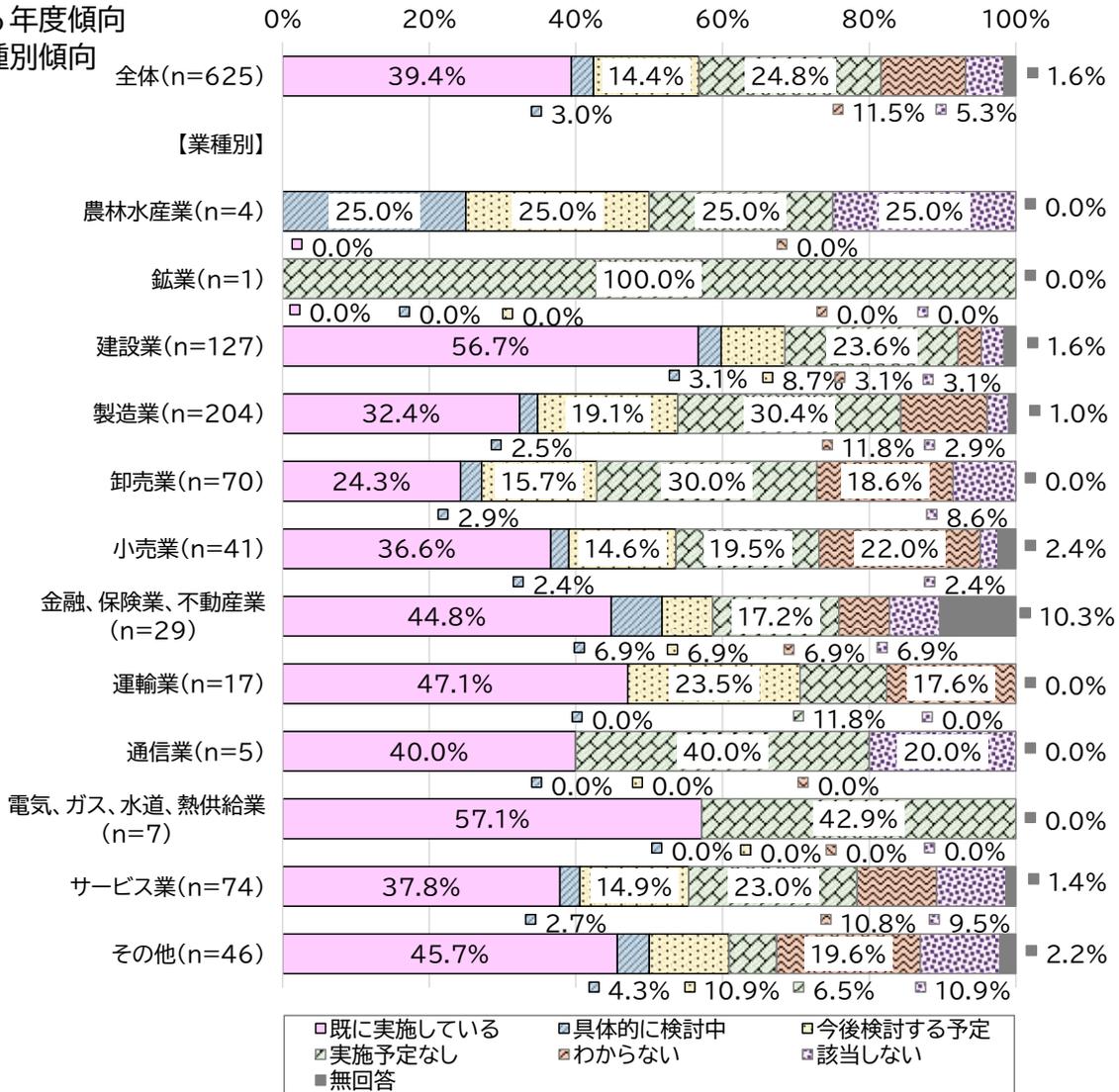
※グラフ内の「-」は前回調査なし

※H27年度調査については、「該当しない」を加重平均に含めている可能性があるため、比較対象としていません。

①美化活動、森林整備、環境イベント等、地域の環境保全活動参加

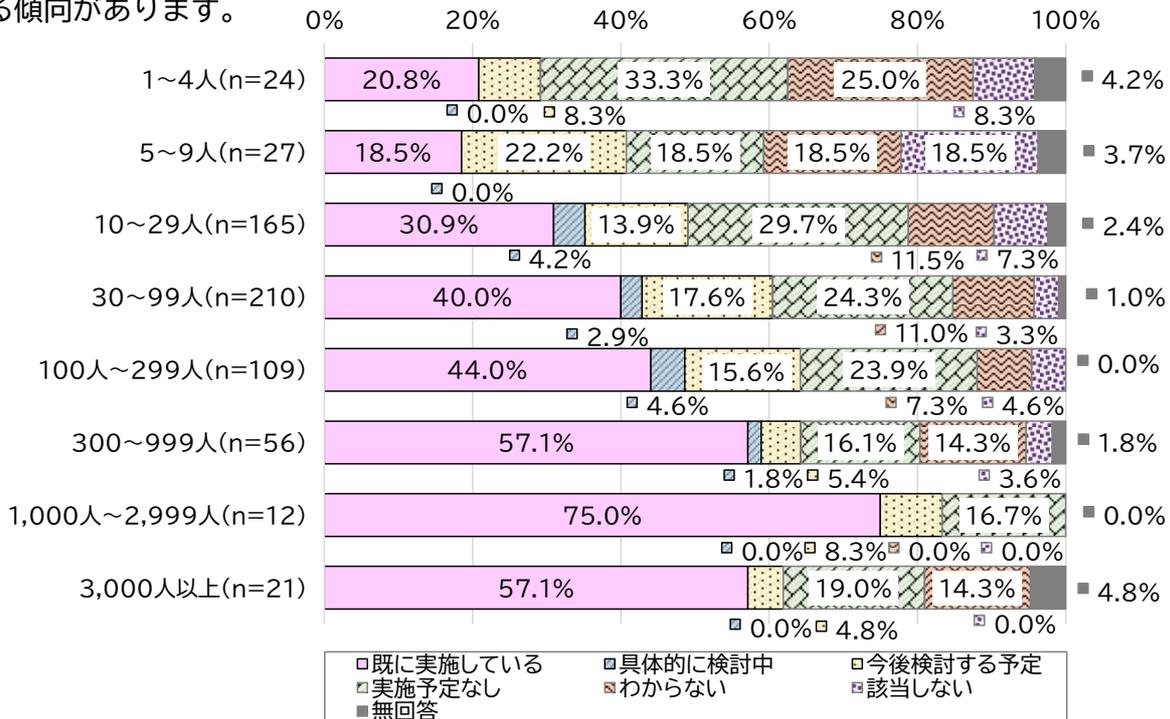
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

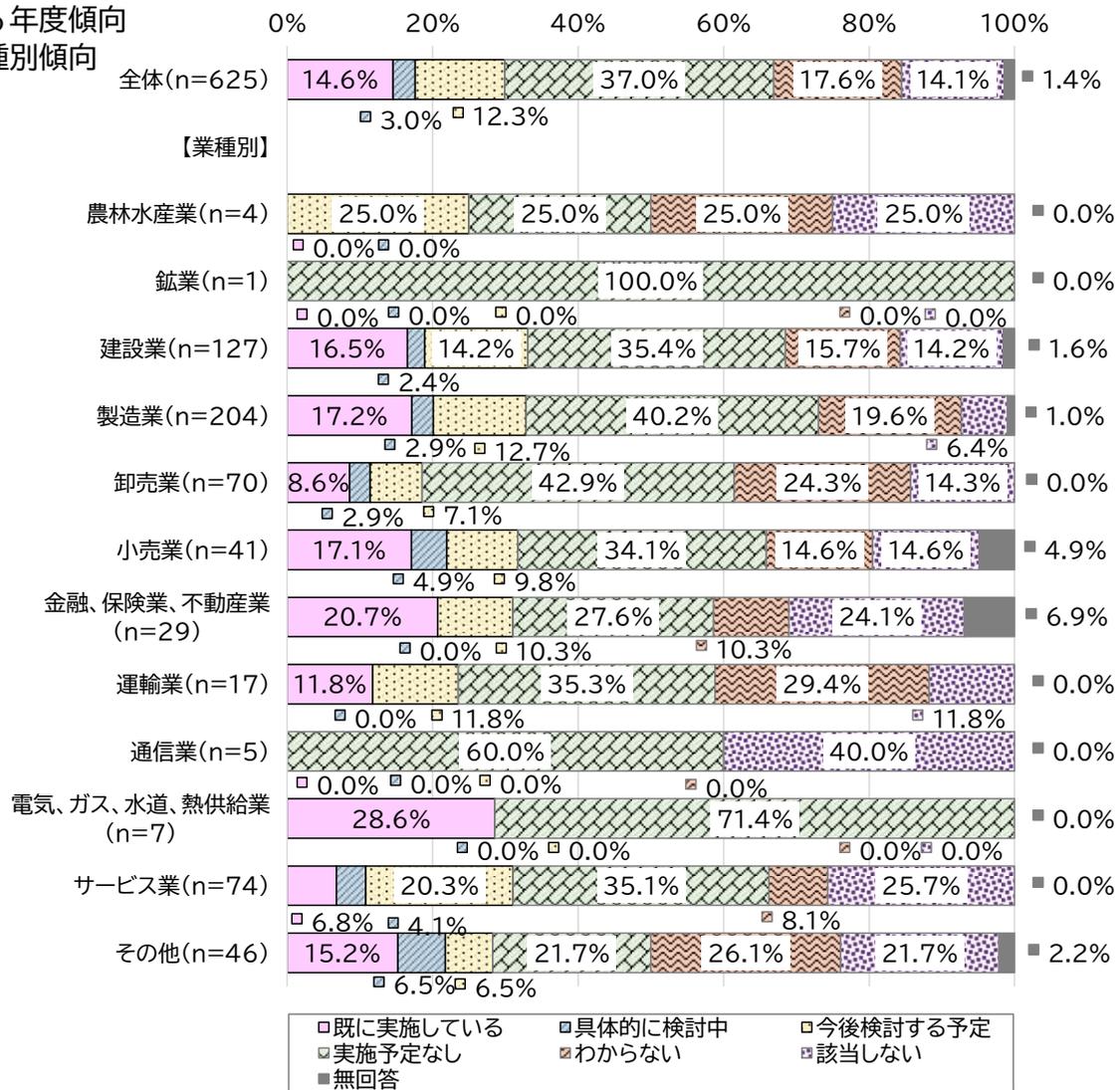
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既の実施している」が高くなる傾向があります。



②地域住民への環境関連情報の公開

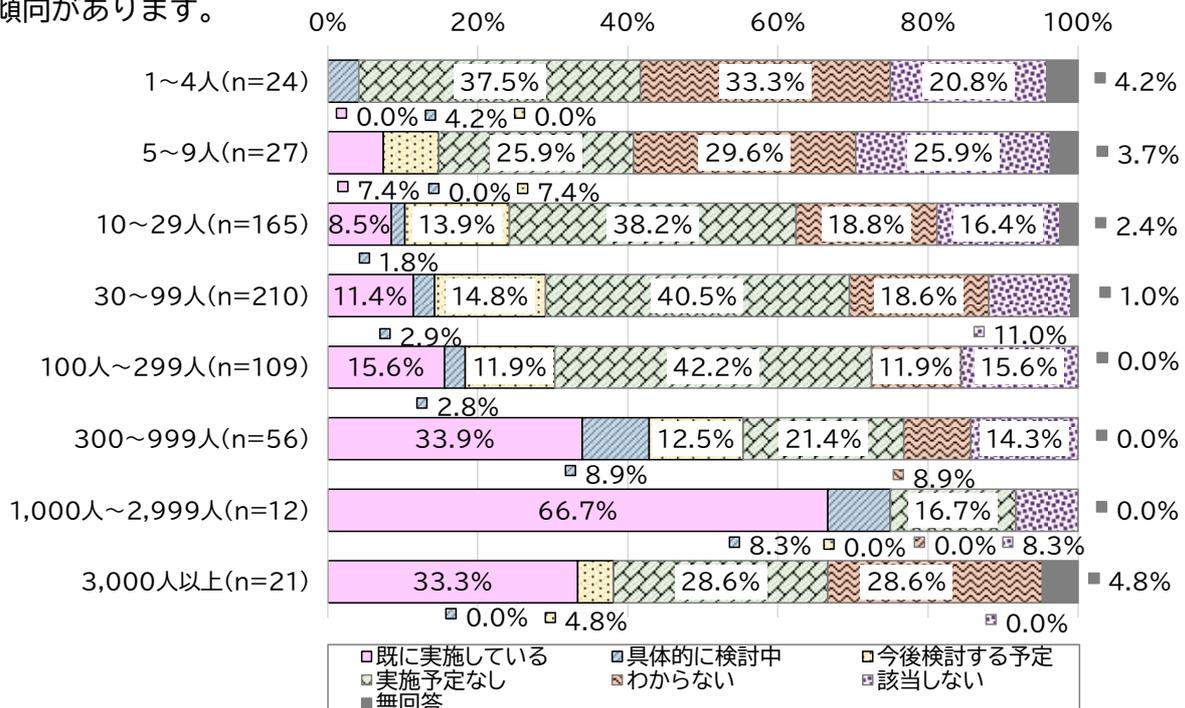
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

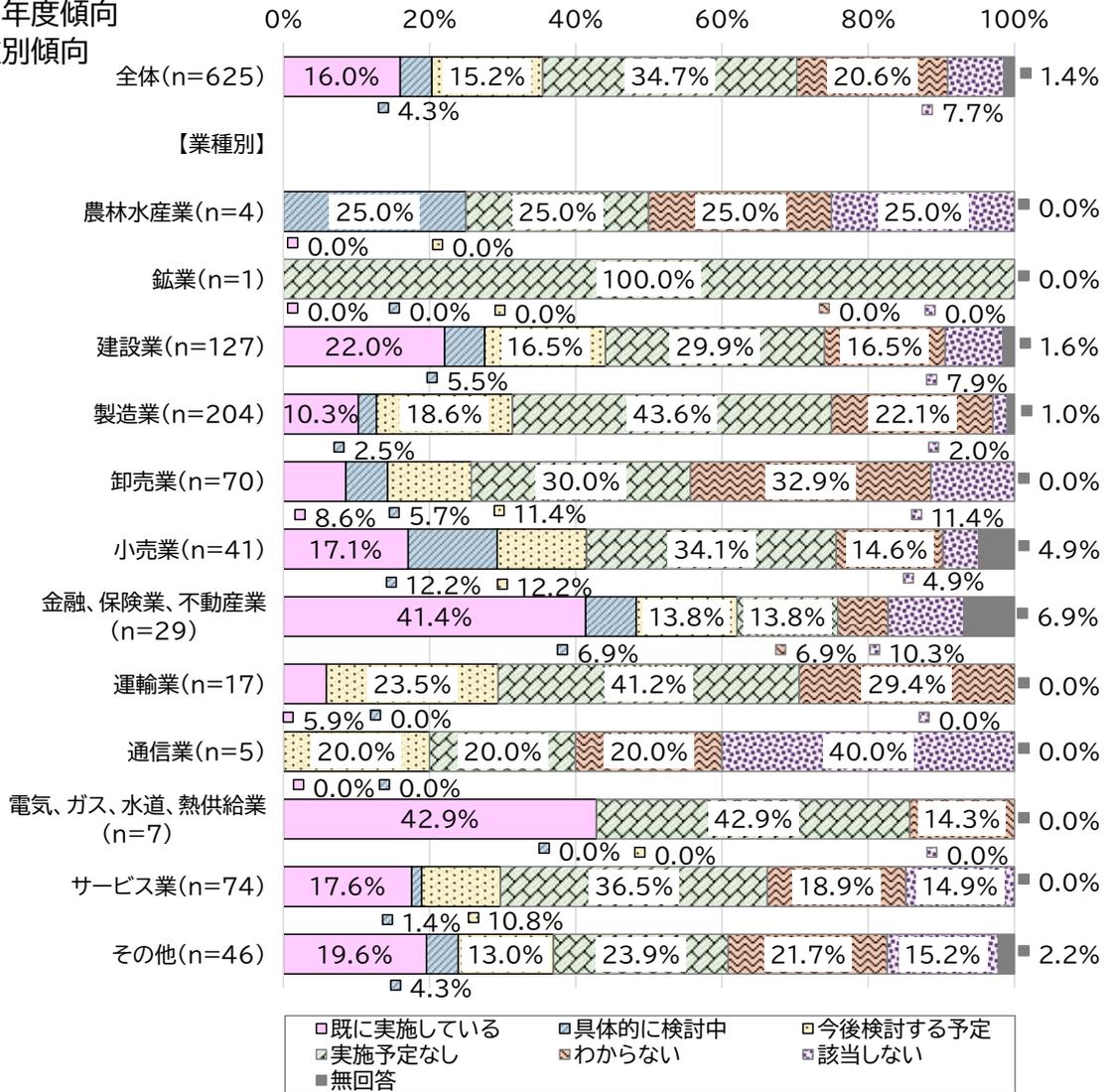
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



③環境基金への寄付等、環境保全に対する資金的な支援

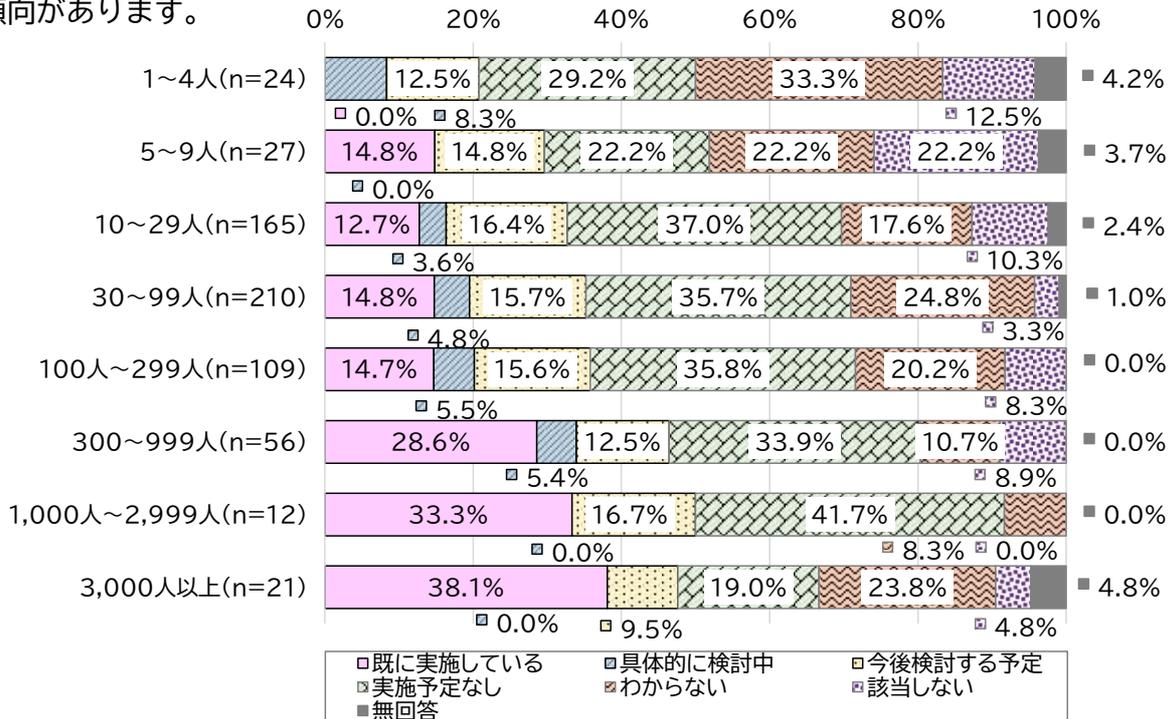
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

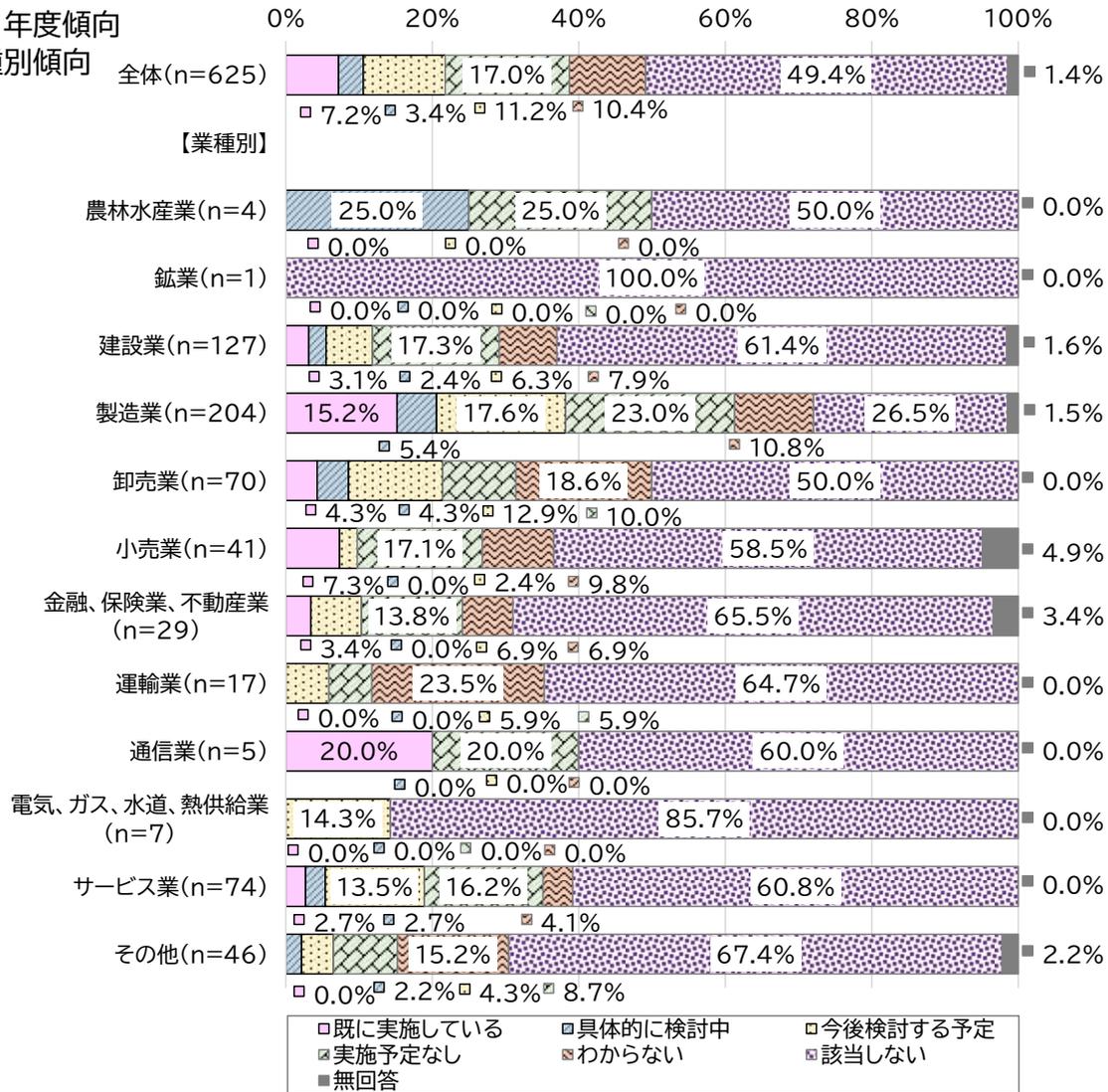
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既に実施している」が高くなる傾向があります。



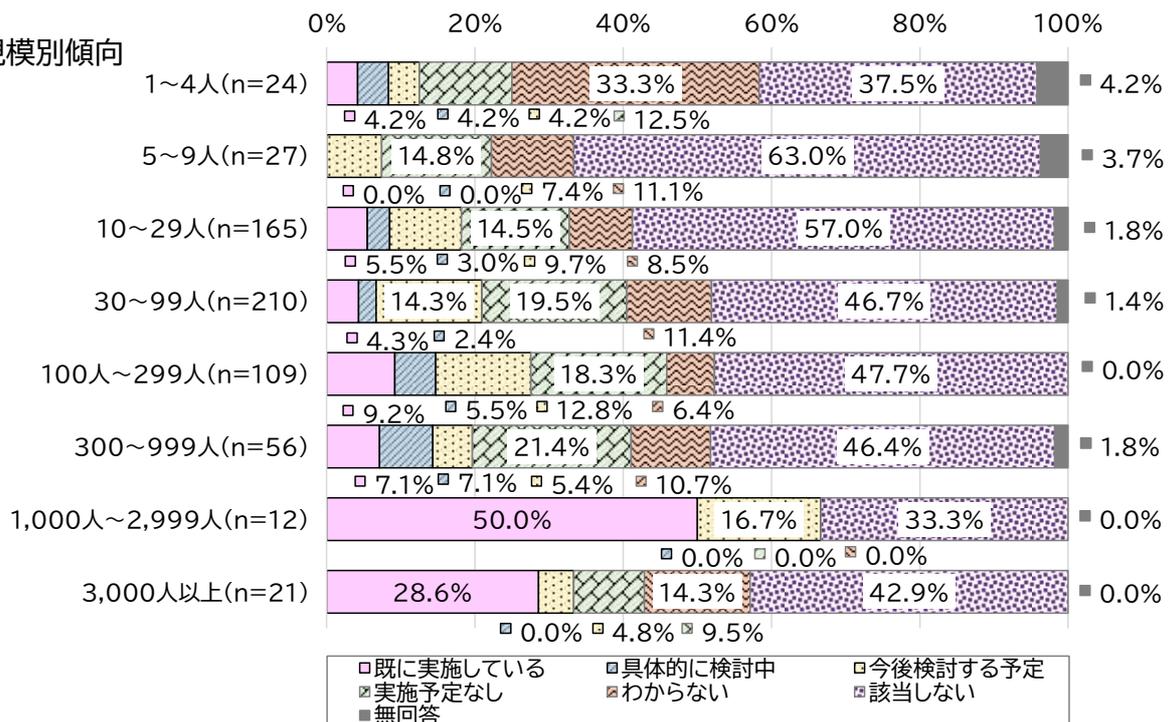
④ ゴミや汚染物質の発生量が少ない商品の開発

◆ R6年度傾向

◆ 業種別傾向



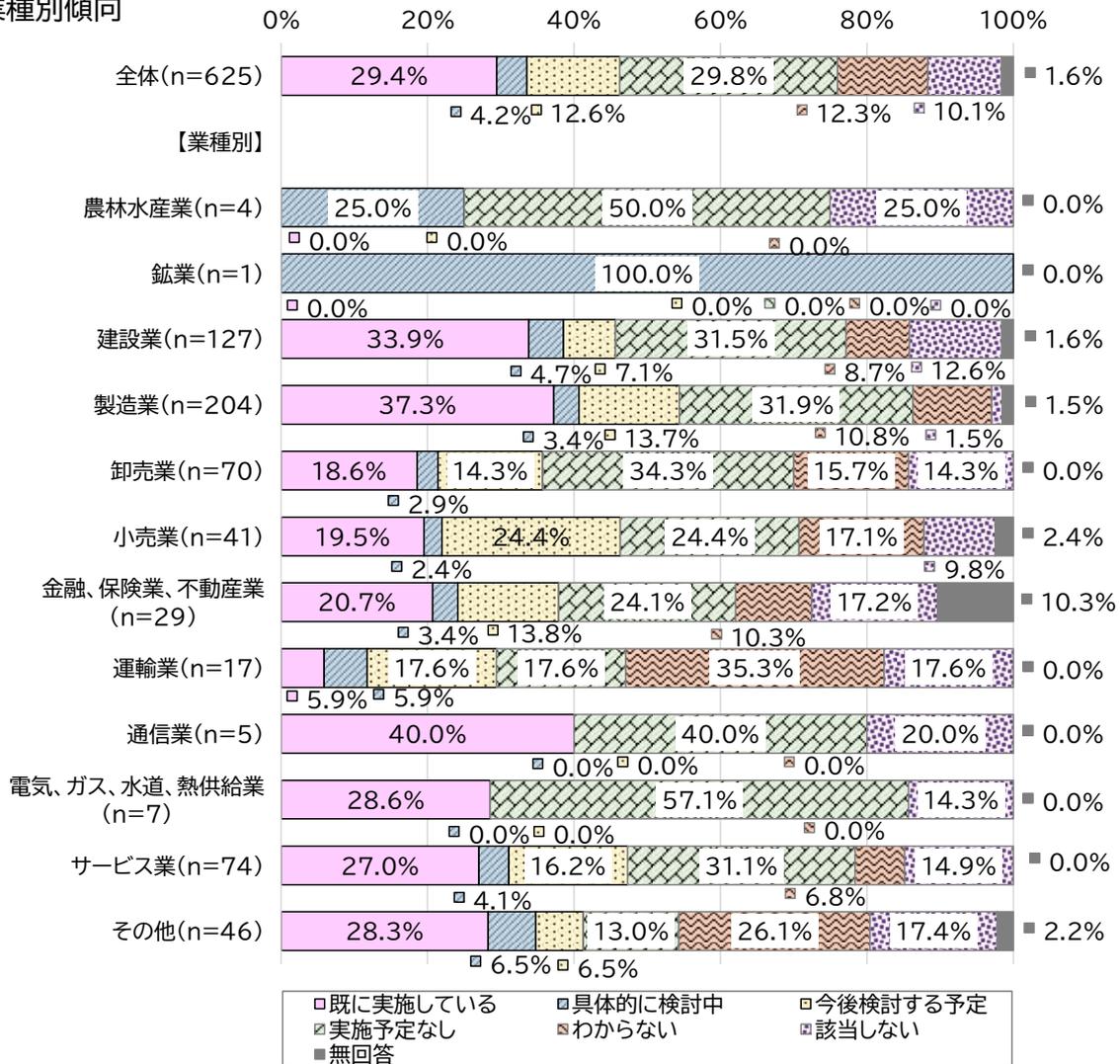
◆ 規模別傾向



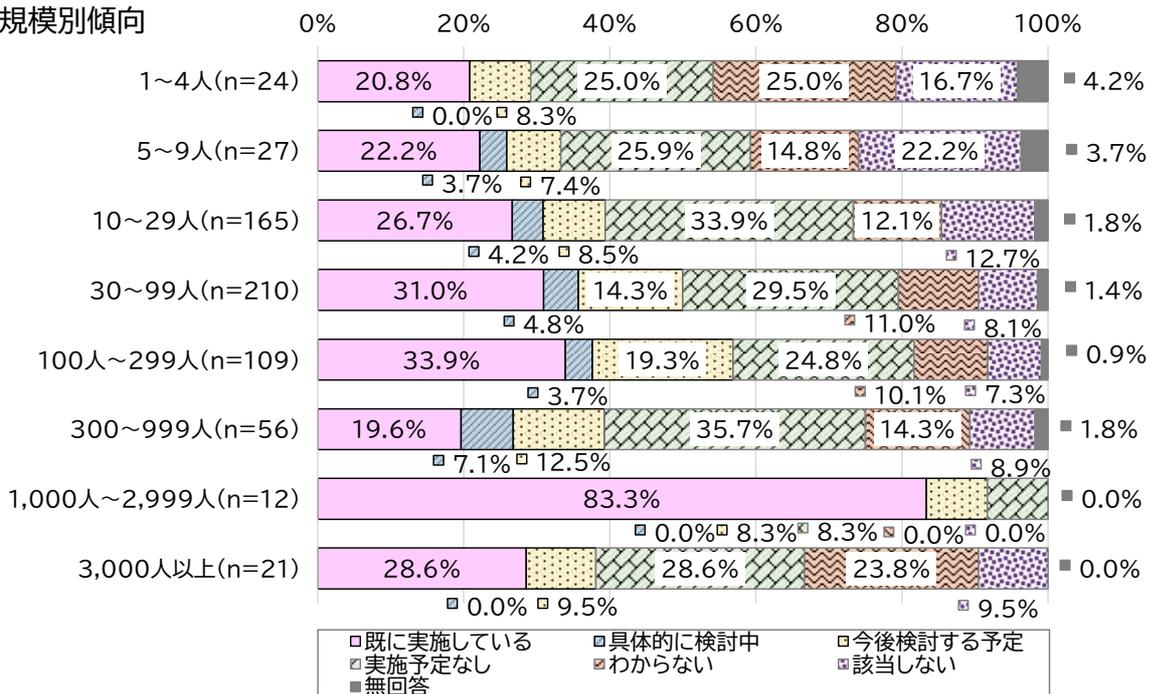
⑤施設内の緑化をすすめる

◆R6年度傾向

◆業種別傾向



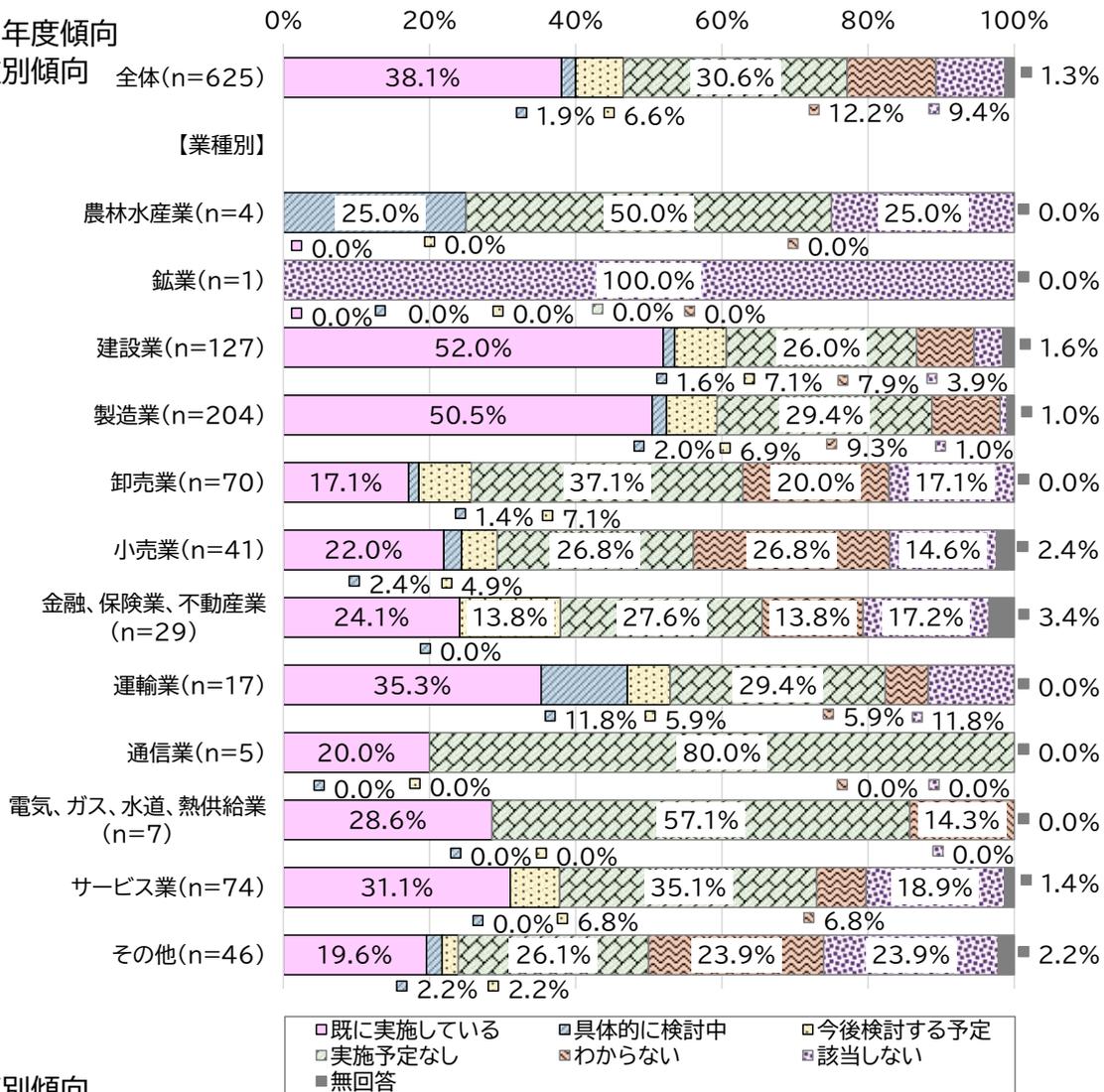
◆規模別傾向



⑥国際規格 ISO14001、エコアクション 21、環境 GS の認証取得

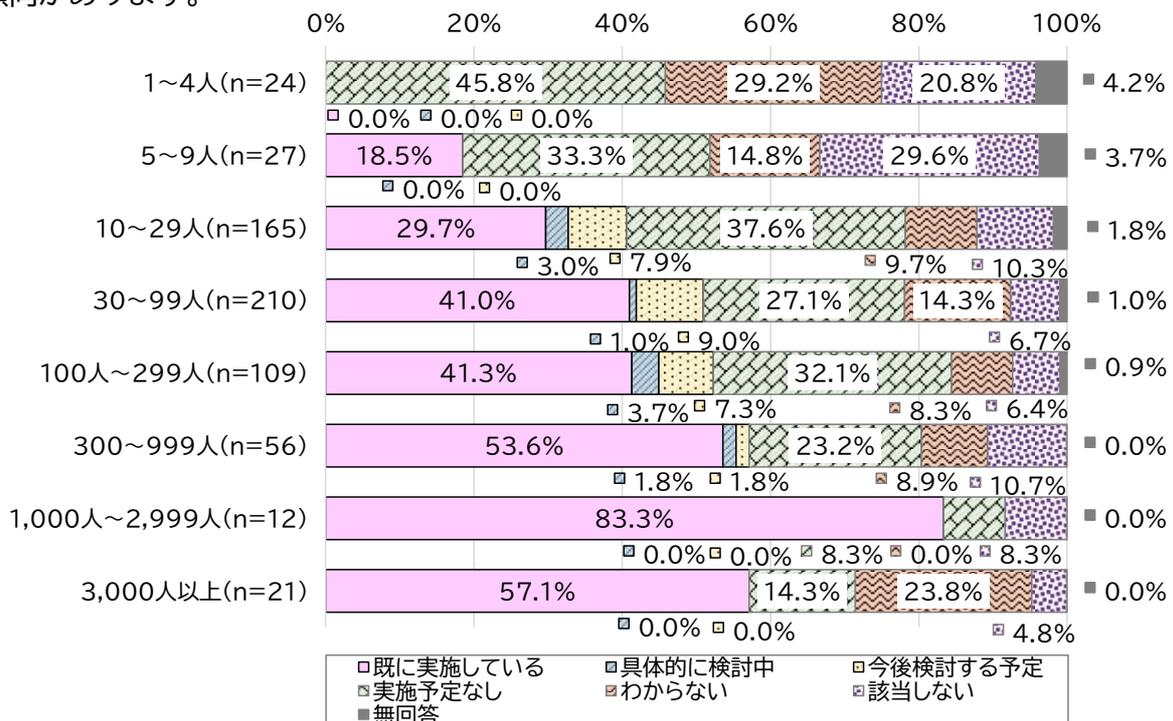
◆R 6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

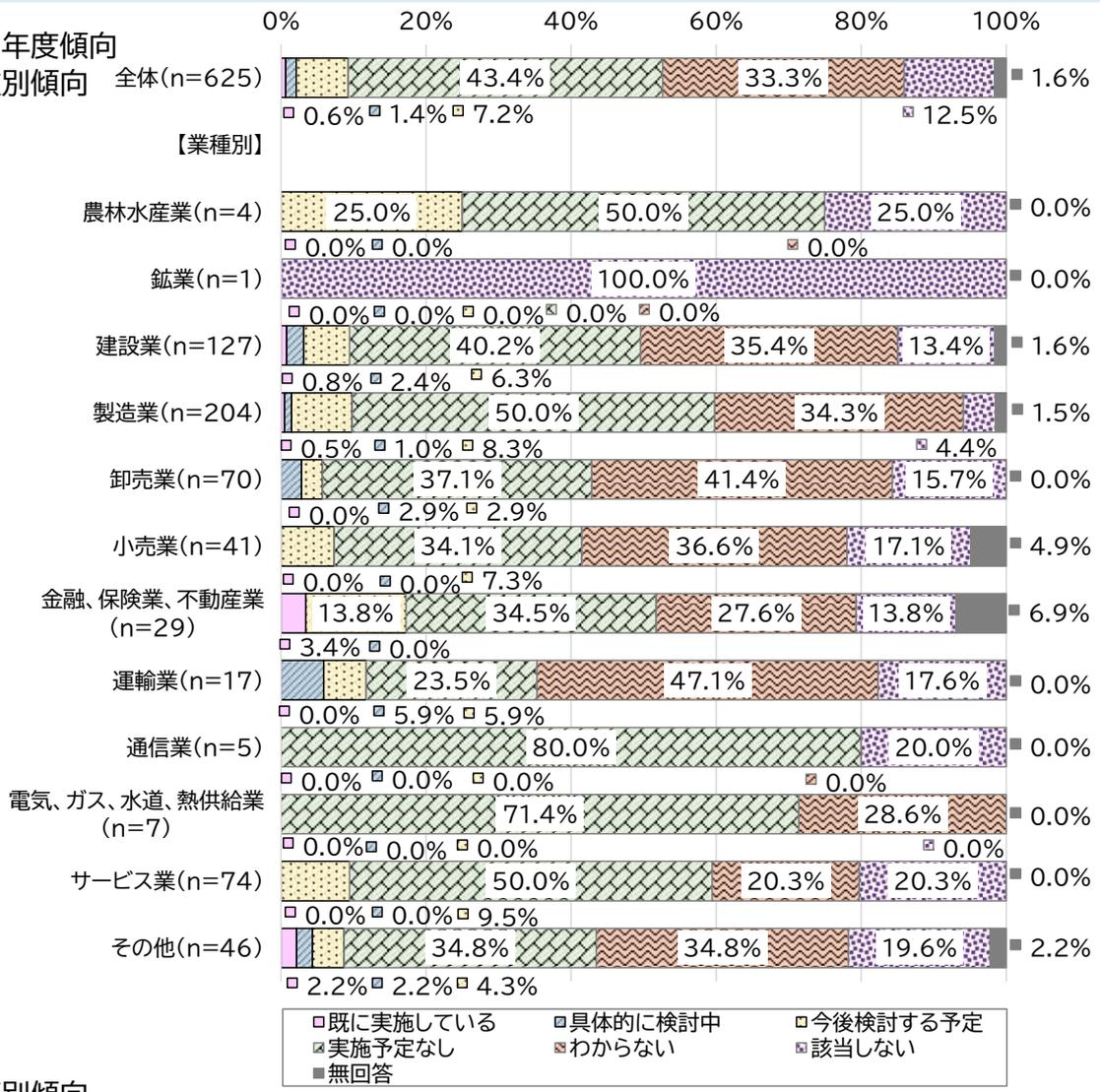
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「既の実施している」が高くなる傾向があります。



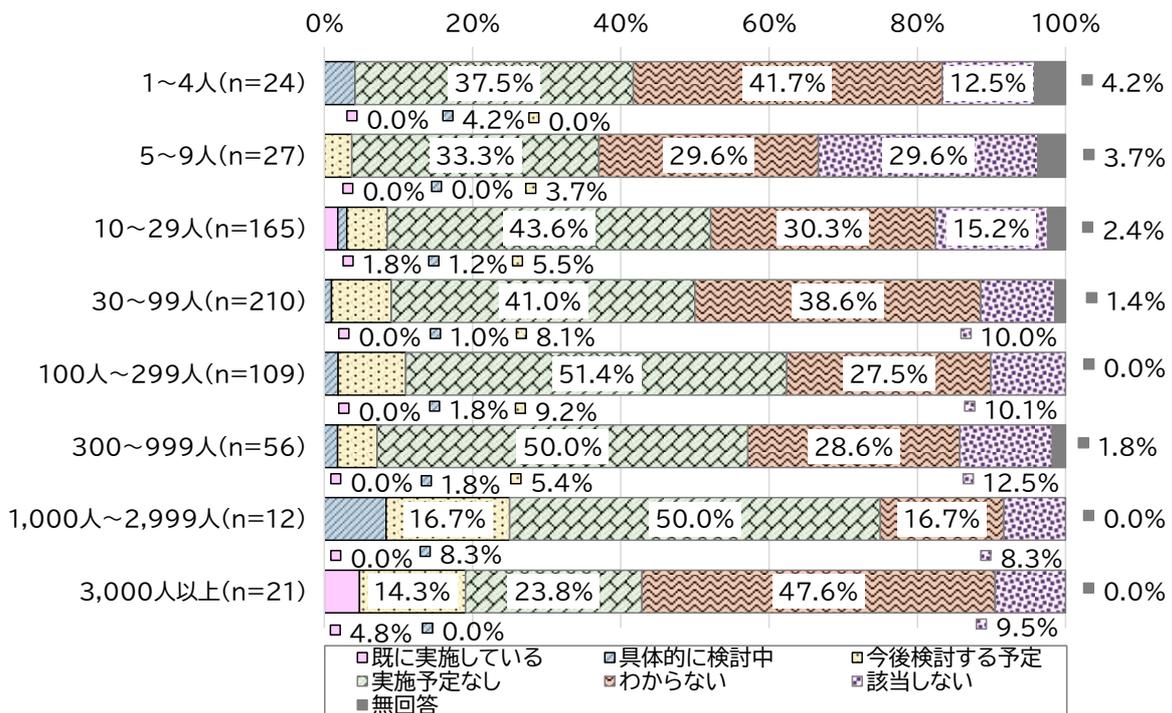
⑦ネイチャーポジティブ宣言、自然共生サイト、新法「生物多様性増進活動促進法」による増進活動実施計画

◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向



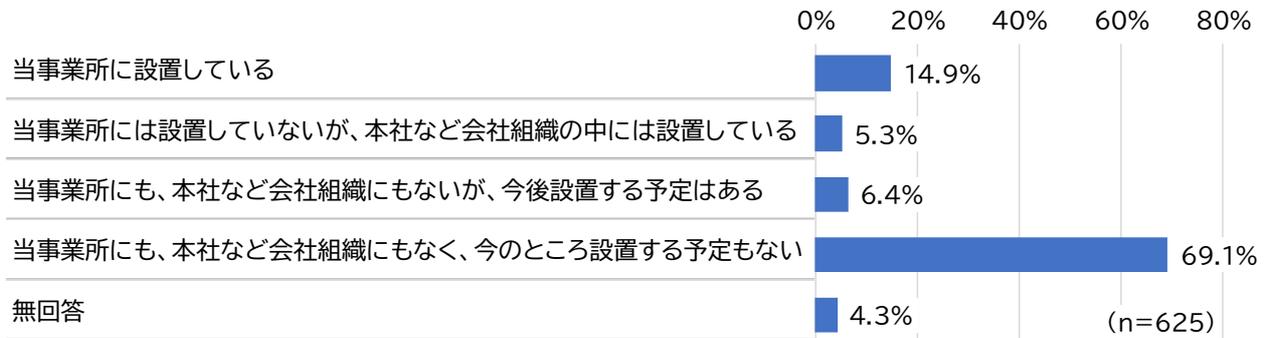
3-3 環境保全のための体制

3-3-1 環境保全担当部署の設置

問8

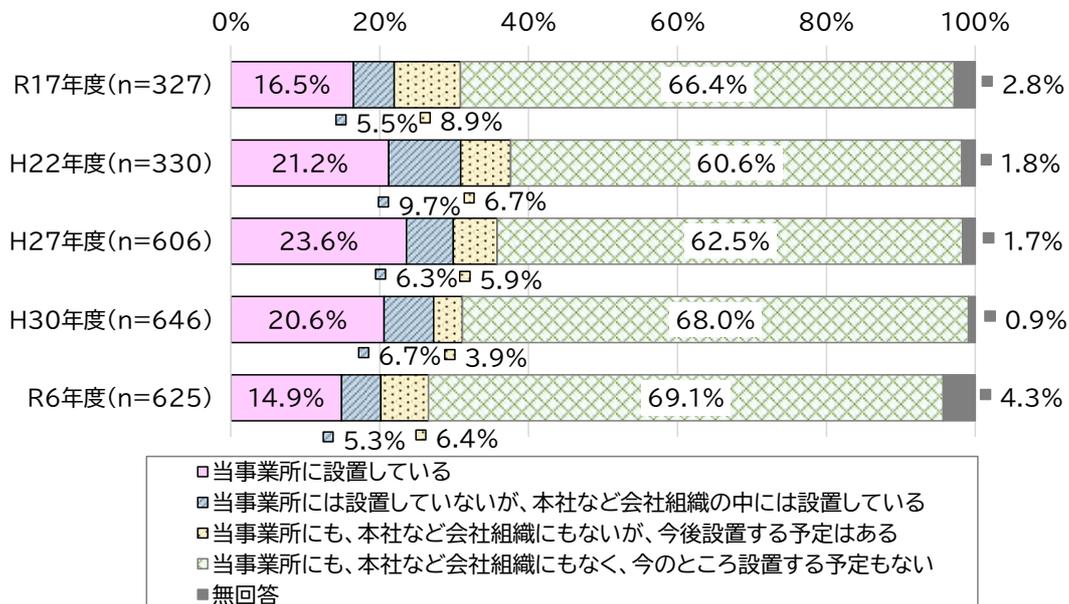
(1) 貴事業所では、企業(事業所)活動に伴う環境問題を専門に担当する部署を設置していますか。
次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。(○は1つ)

◆R6年度傾向

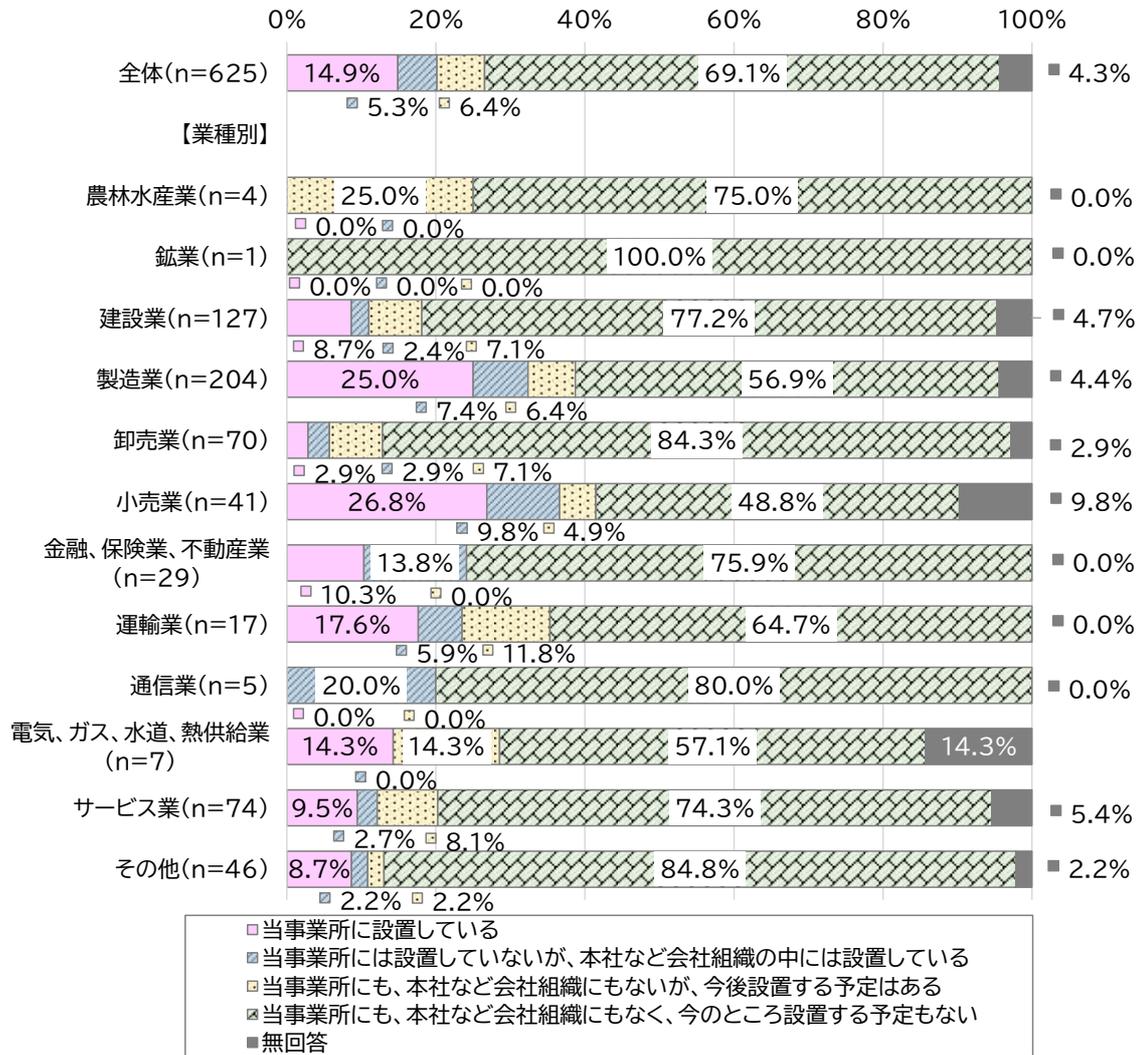


◆経年推移

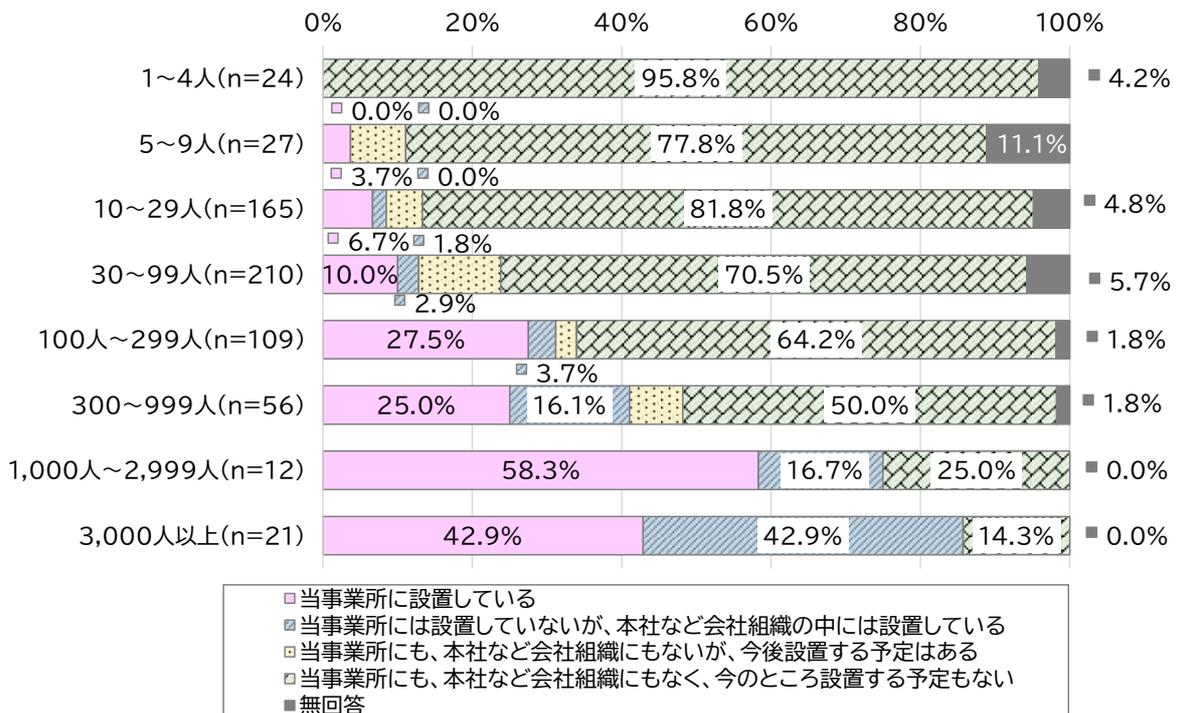
経年比較すると、「当事業所に設置している」は、H30年度調査より今回調査で5.7ポイント低く、H27年度調査以降減少傾向となっています。



◆業種別傾向



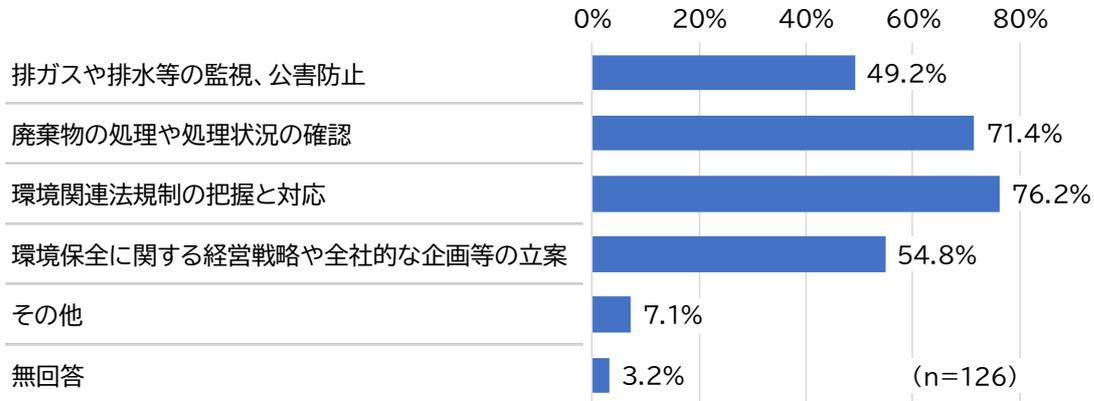
◆規模別傾向



(2)上記(1)で「設置している」と回答した方におうかがいします。
その部署の策定年と活動内容をお答えください。(〇はいくつでも)

活動内容

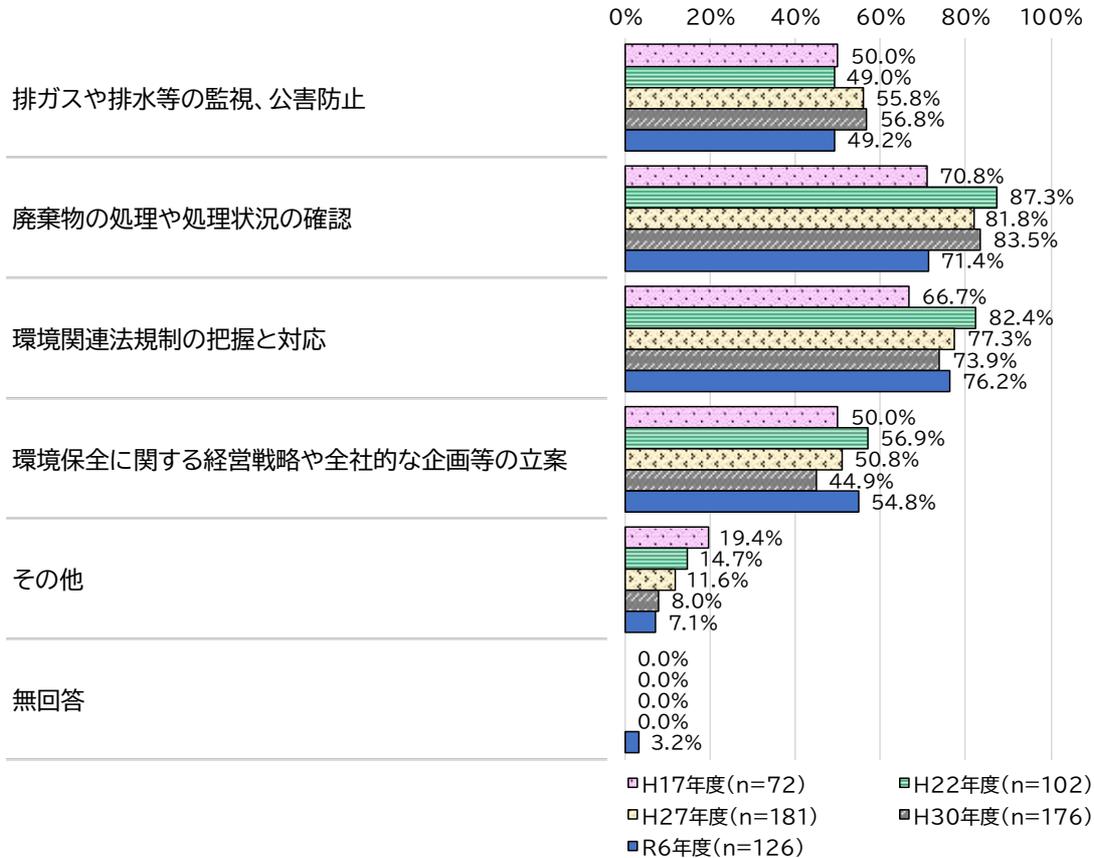
◆R6年度傾向



◆経年推移

経年比較すると、「環境保全に関する経営戦略や全社的な企画等の立案」は、H30年度調査より今回調査が9.9ポイント高くなっています。

一方、「廃棄物の処理や処理状況の確認」は、H30年度調査より今回調査が12.1ポイント低くなっています。



策定年

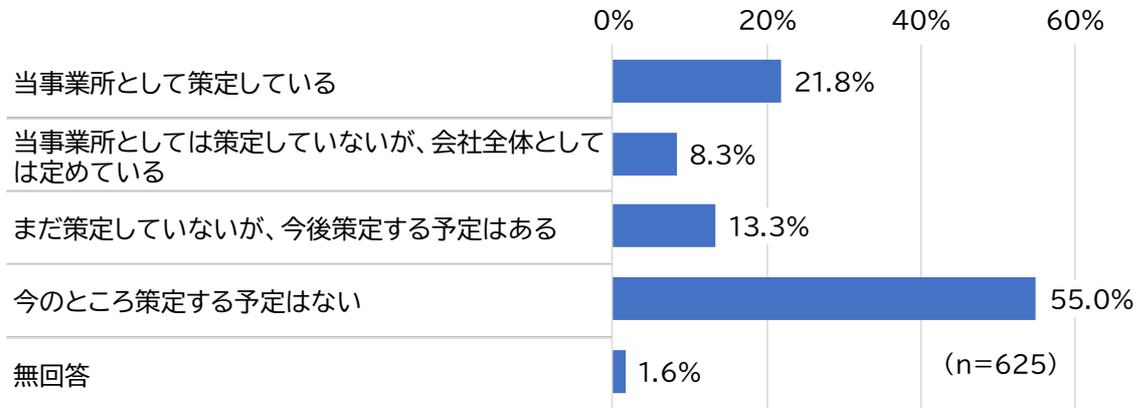
策定年は、2006～2010年が126件中22件と最も多くなっています。

項目	度数	比率
～1980年	3	2.4%
1981～1985年	1	0.8%
1986～1990年	3	2.4%
1991～1995年	1	0.8%
1996～2000年	7	5.6%
2001～2005年	19	15.1%
2006～2010年	22	17.5%
2011～2015年	17	13.5%
2016～2020年	17	13.5%
2021～2024年	11	8.7%
無回答	25	19.8%
回答者数	126	100.0%

3-3-2 環境方針や環境保全ガイドライン策定

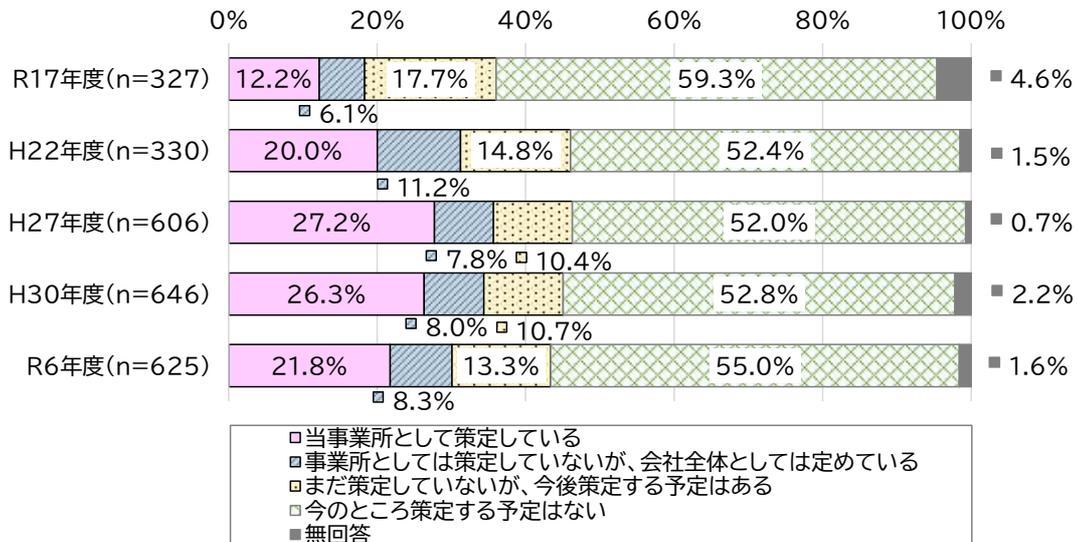
問9 貴事業所では、環境方針や環境保全ガイドラインなどを策定していますか。次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。(○は1つ)

◆R6年度傾向

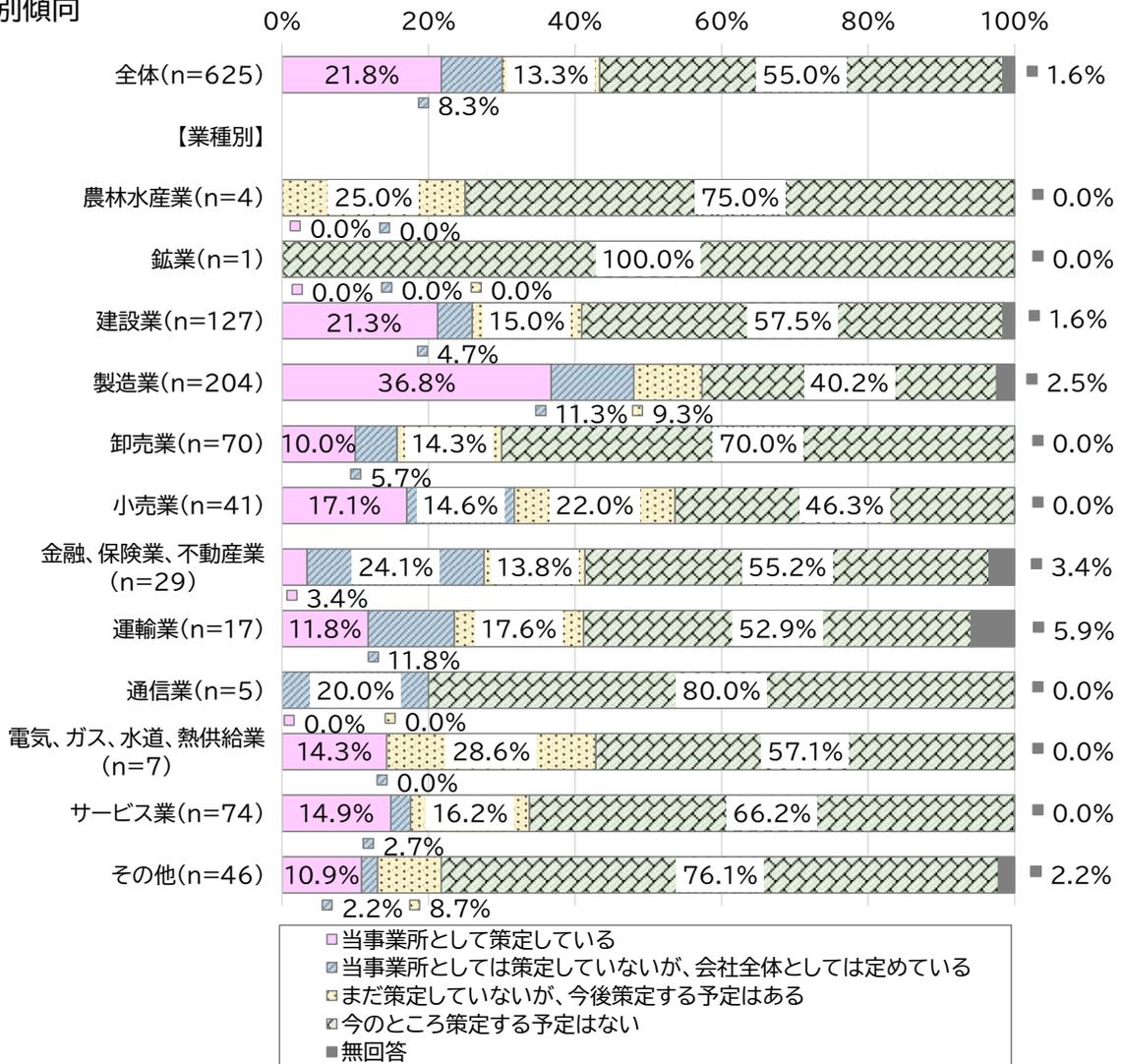


◆経年推移

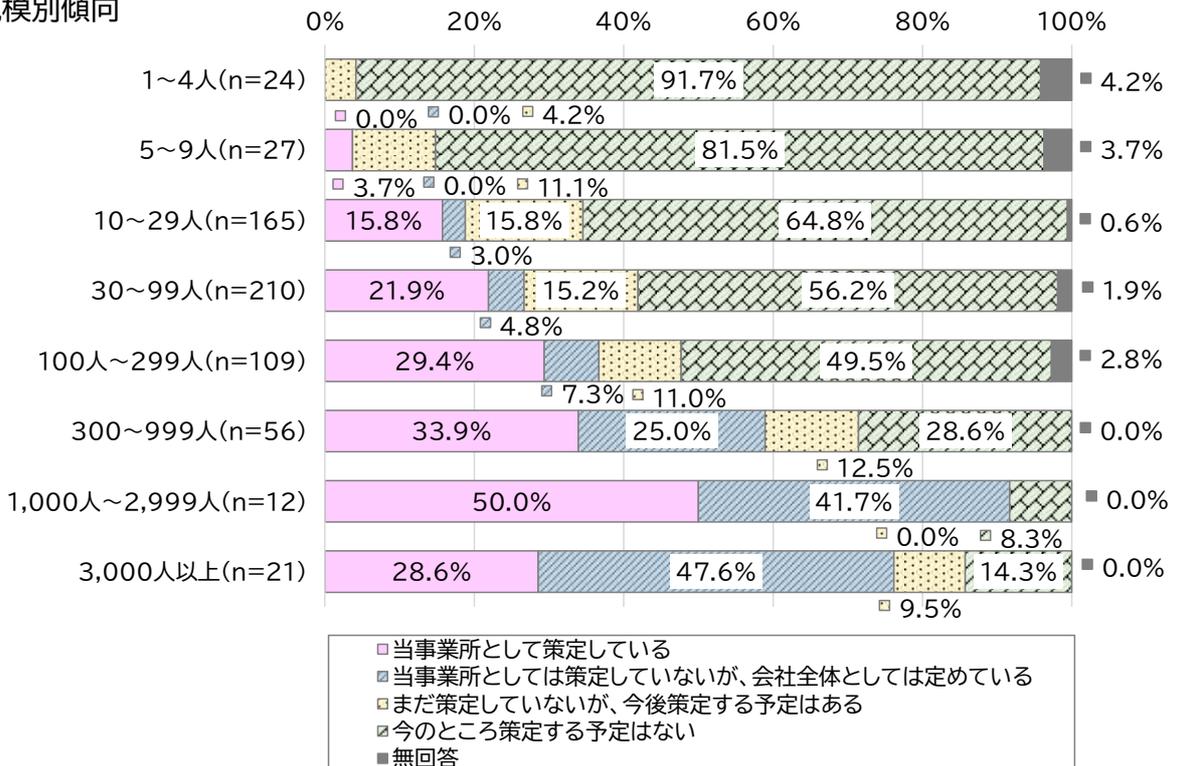
経年比較すると、「当事業所として策定している」は、H30年度調査より今回調査で4.5ポイント低く、H27年度以降減少傾向となっています。



◆業種別傾向



◆規模別傾向



3 調査結果

(2)上記(1)で「当事業所として策定している」「当事業所としては策定していないが、会社全体としては定めている」と回答した方におうかがいします。
策定年をお答えください。

策定年

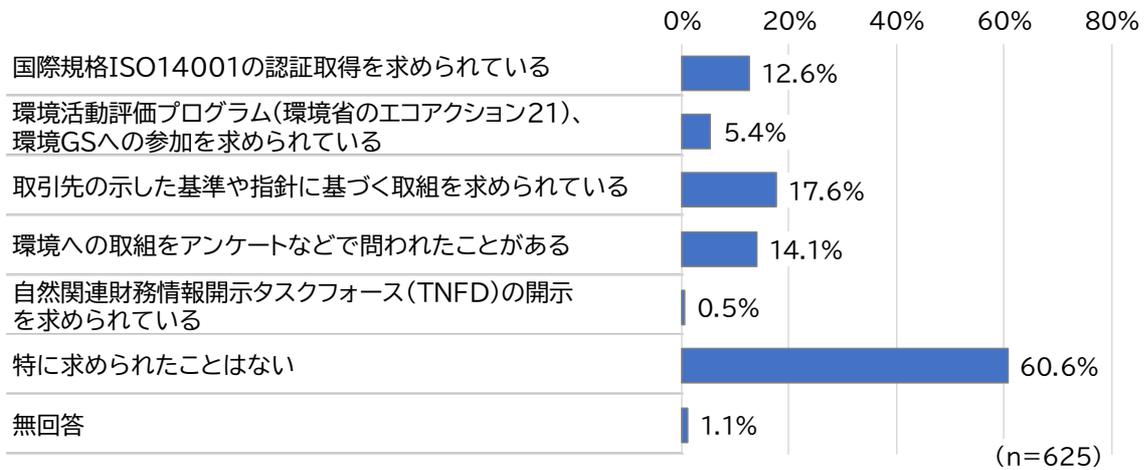
策定年は、2001～2005年が188件中37件と最も多くなっています。

項目	度数	比率
～1980年	2	1.1%
1981～1985年	0	0.0%
1986～1990年	1	0.5%
1991～1995年	0	0.0%
1996～2000年	8	4.3%
2001～2005年	37	19.7%
2006～2010年	31	16.5%
2011～2015年	24	12.8%
2016～2020年	21	11.2%
2021～2024年	33	17.6%
無回答	31	16.5%
回答者数	188	100.0%

3-3-3 取引先からの環境に関する取組の要求

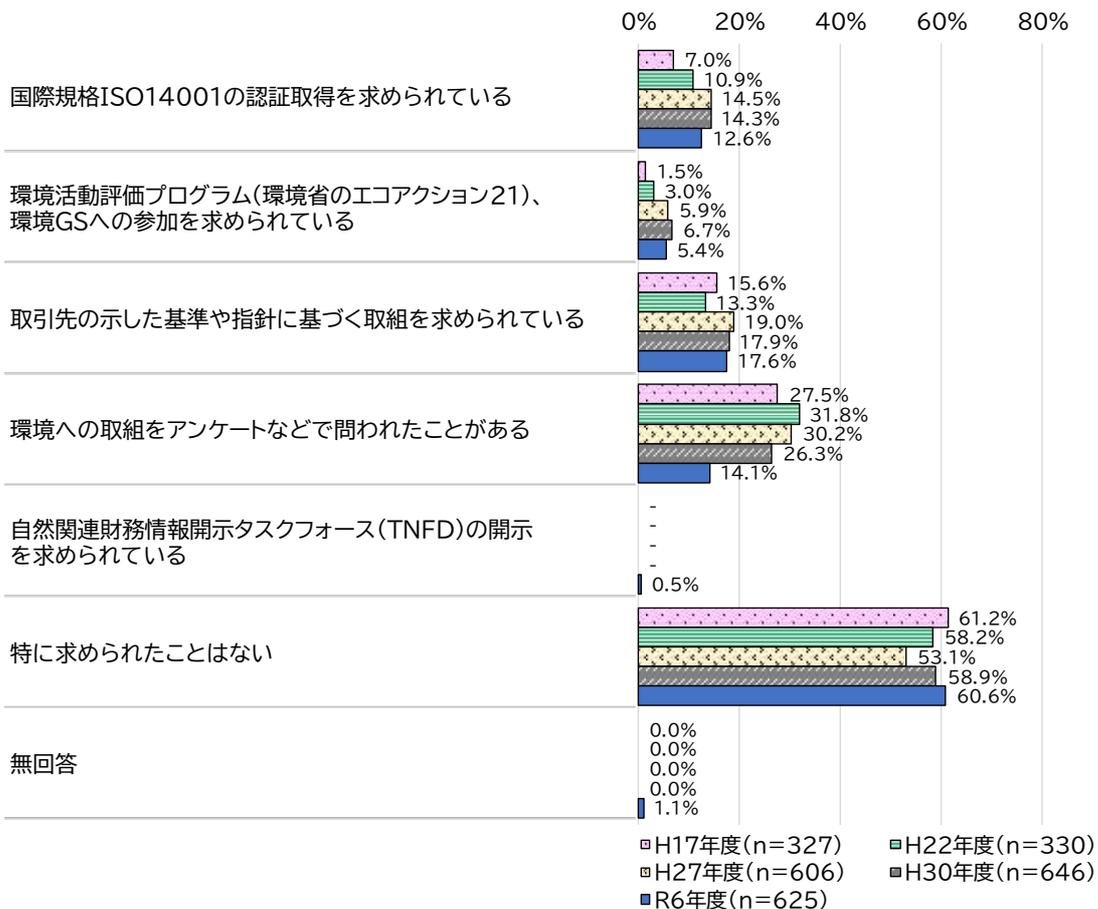
問10 貴事業所では、取引先から環境に関する取組を求められていますか。次の中から、あてはまる番号すべてに、○をつけてください。(○はいくつでも)

◆R6年度傾向



◆経年推移

経年比較すると、「環境への取組をアンケートなどで問われたことがある」は、H30年度調査より今回調査で12.2ポイント低くなっています。

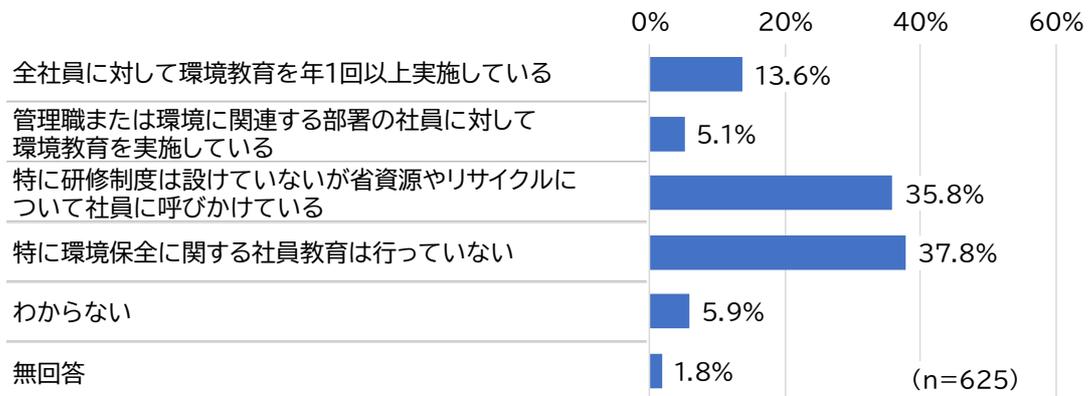


※グラフ内の「-」は、前回調査なし

3-3-4 環境保全に関する社員教育

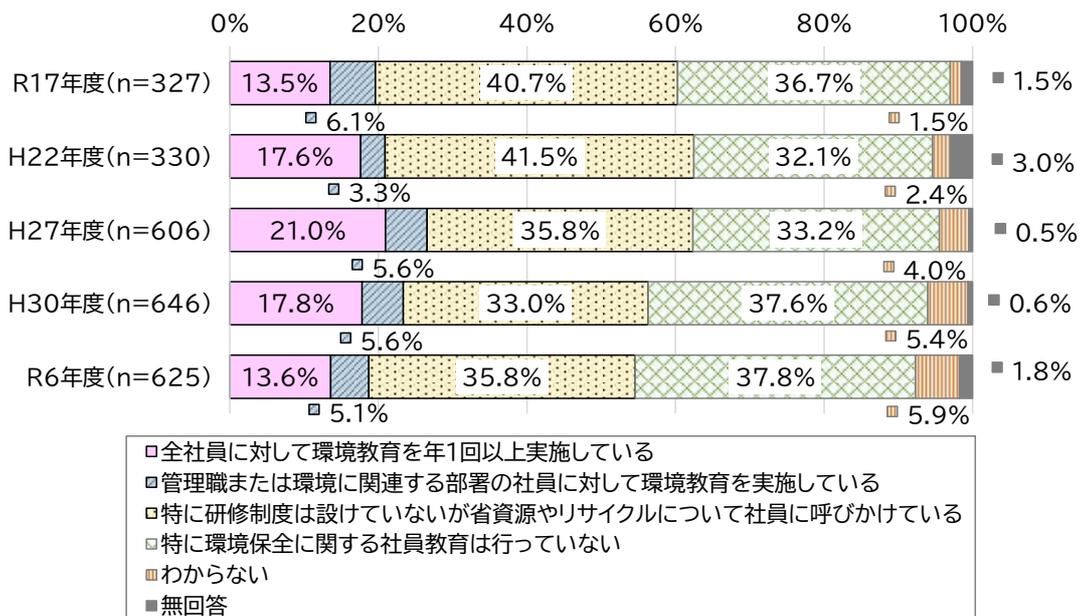
問11 貴事業所では、環境保全に関する社員教育をどのように実施していますか。次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。(○は1つ)

◆R6年度傾向

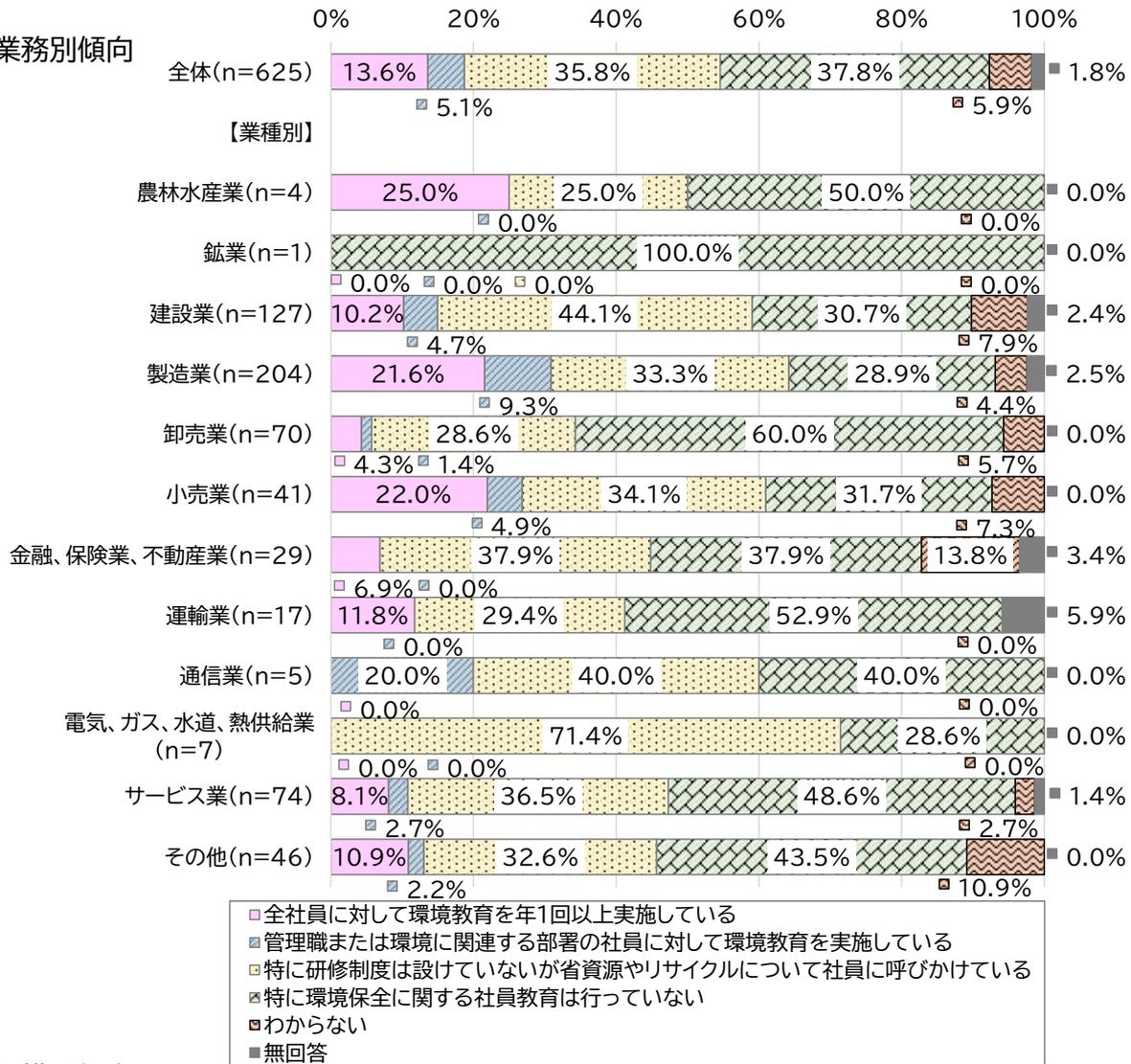


◆経年推移

経年比較すると、「全社員に対して環境教育を年1回以上実施している」は、H27年度調査より今回調査が7.4ポイント低く、減少傾向となっています。

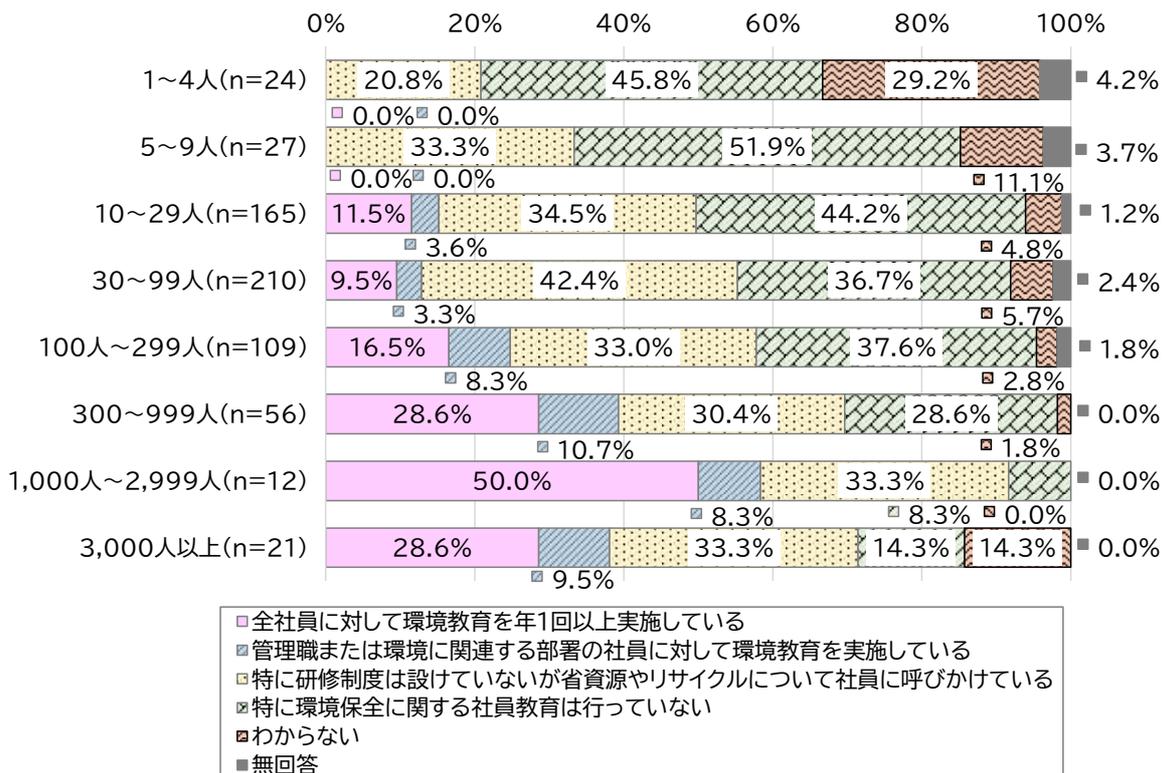


◆業務別傾向



◆規模別傾向

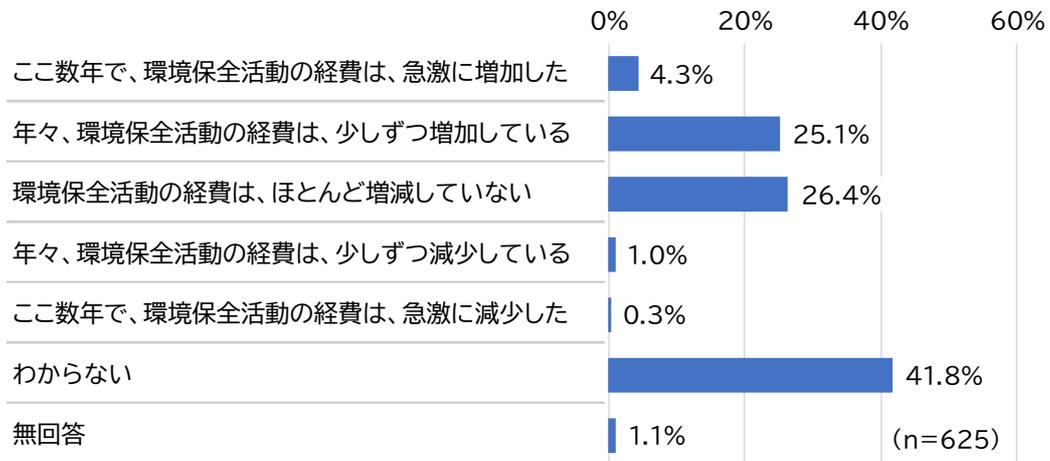
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「全社員に対して環境教育を年1回以上実施している」が高くなる傾向があります。



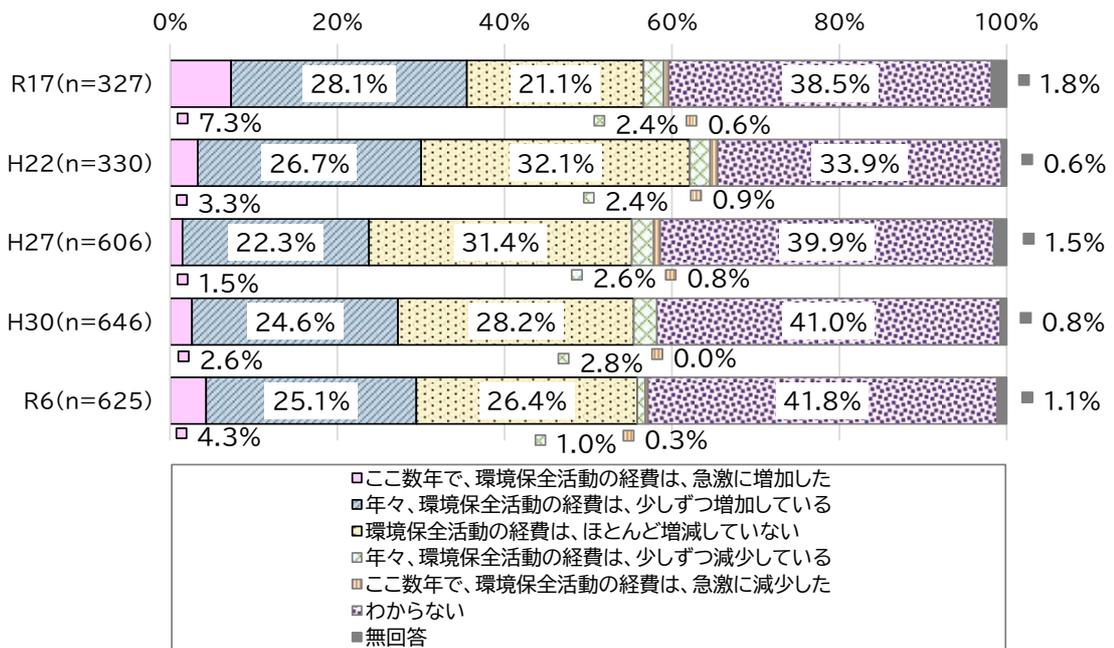
3-3-5 環境保全活動の経費の増減状況

問12 貴事業所における環境保全活動の経費の増減は、どのような状況ですか。次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。(○は1つ)

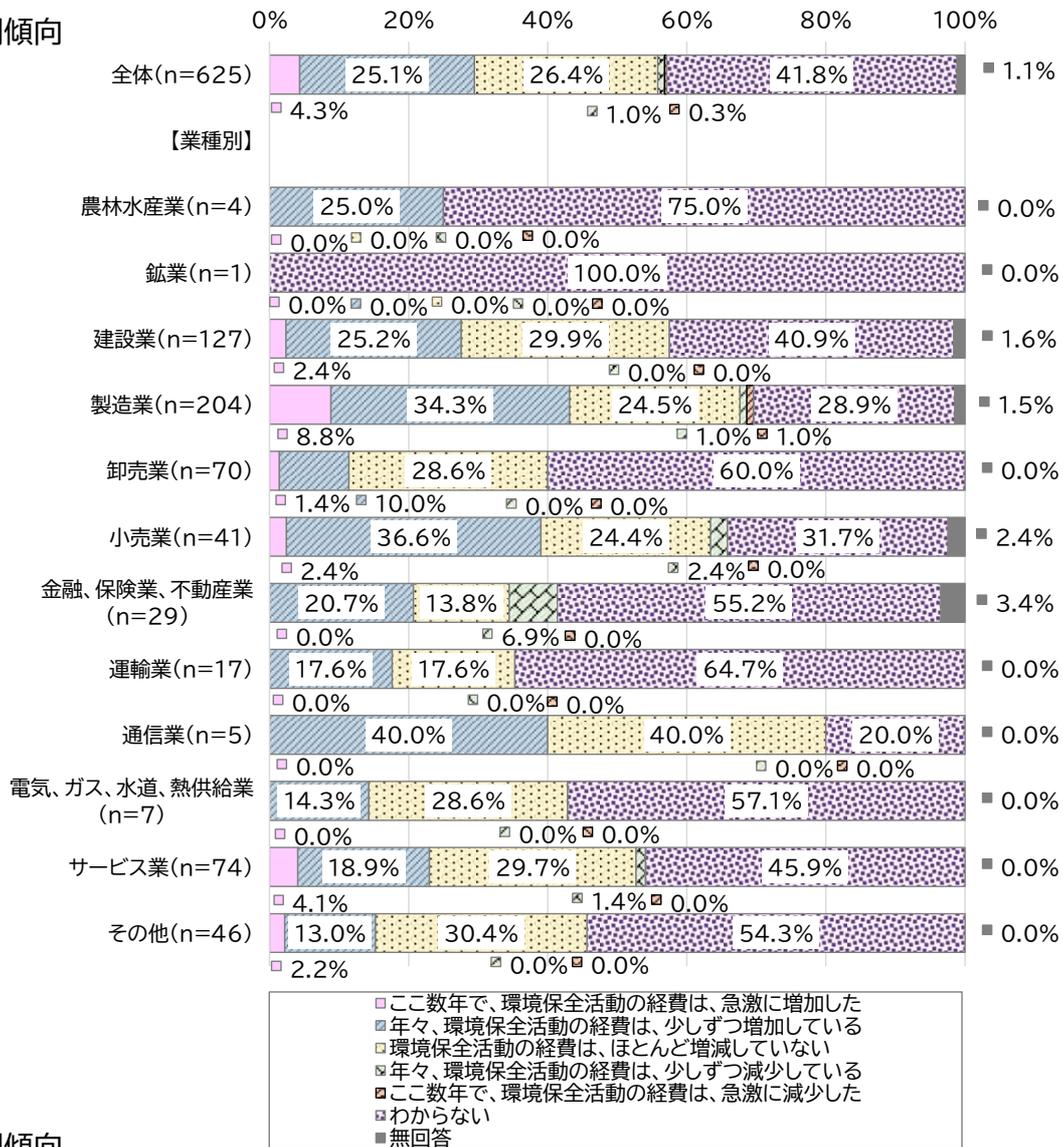
◆R6年度傾向



◆経年推移

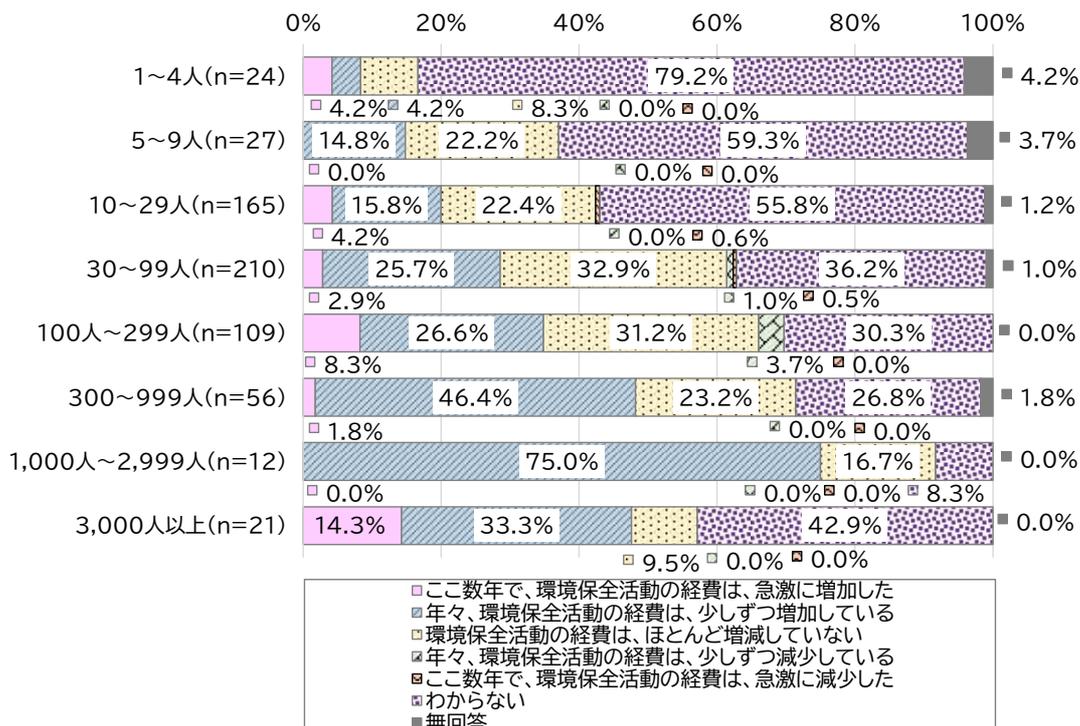


◆業務別傾向



◆規模別傾向

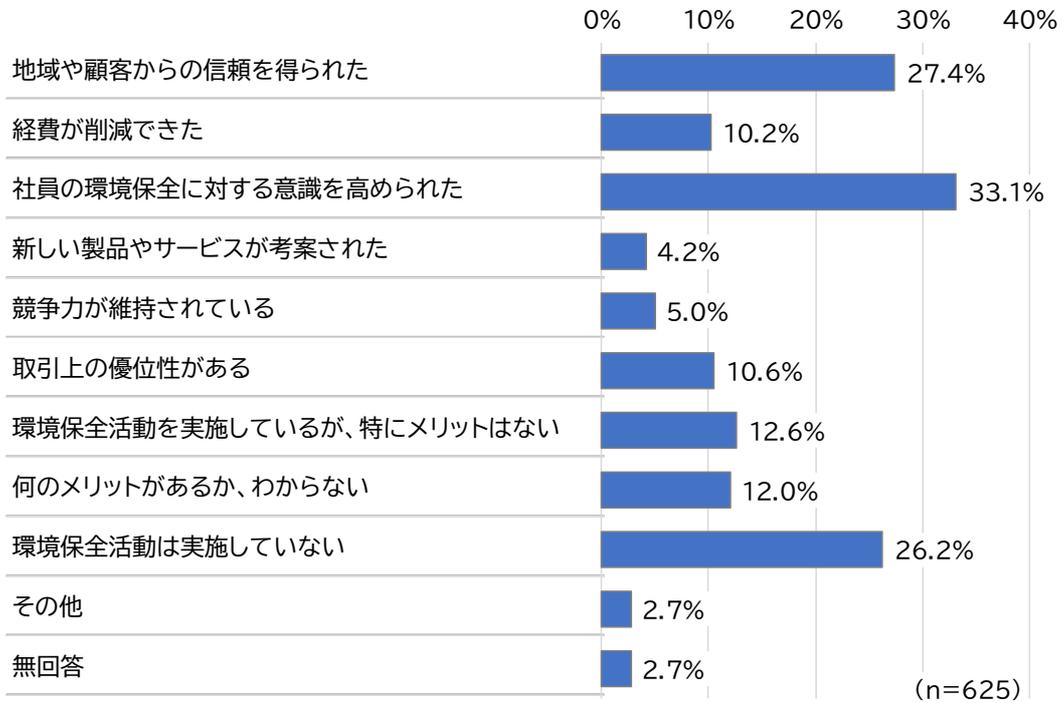
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「年々、環境保全活動の経費は、少しずつ増加している」が高くなる傾向があります。



3-3-6 環境保全活動を実施して得られているメリット

問13 環境保全活動を実施して、得られているメリットはどのようなことですか。次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

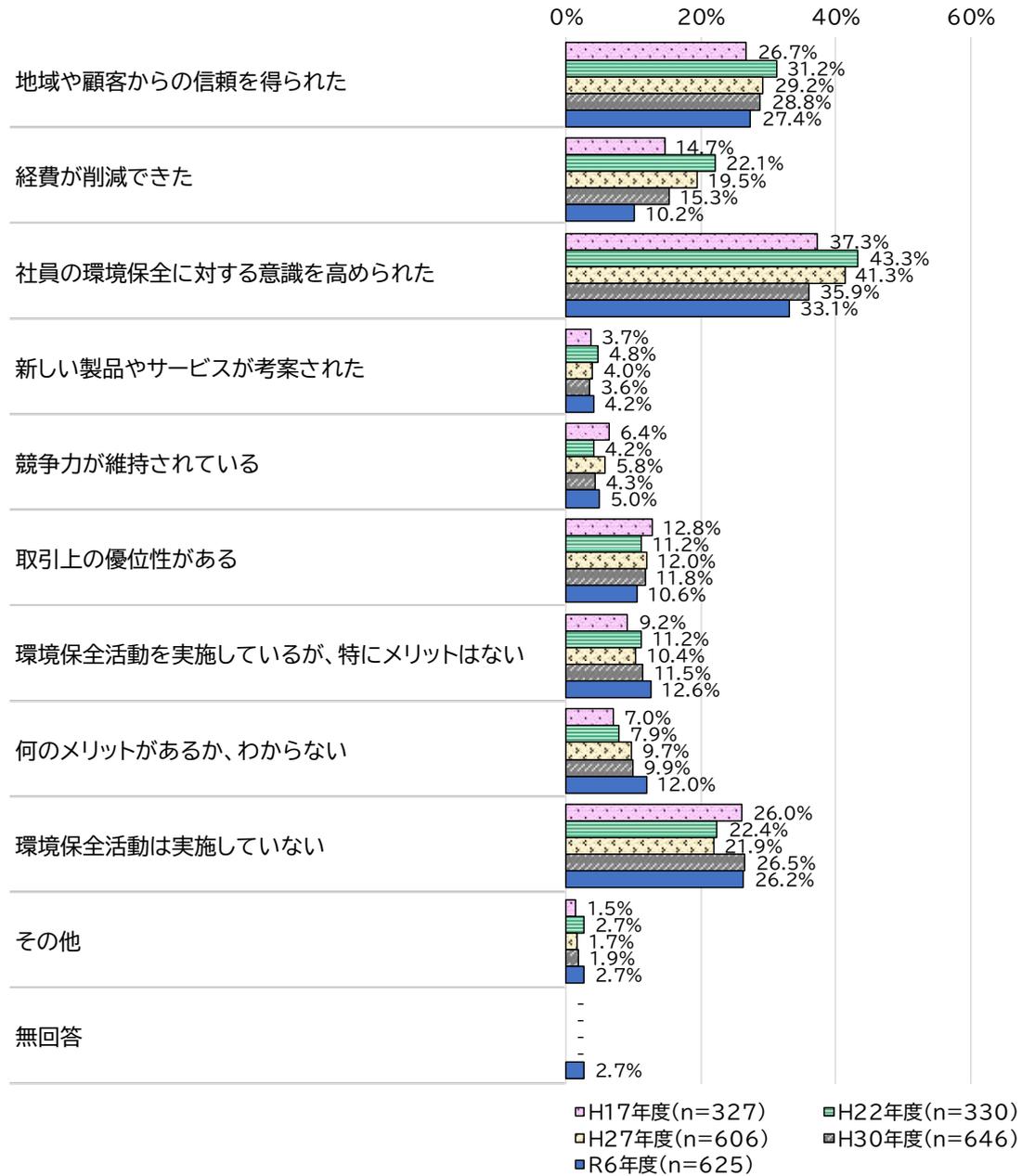
◆R6年度傾向



◆経年推移

経年比較すると、「地域や顧客からの信頼を得られた」「経費が削減できた」「社員の環境保全に対する意識を高められた」は減少傾向となっています。

一方、「環境保全活動を実施しているが、特にメリットはない」「何のメリットがあるか、わからない」がやや増加傾向となっています。



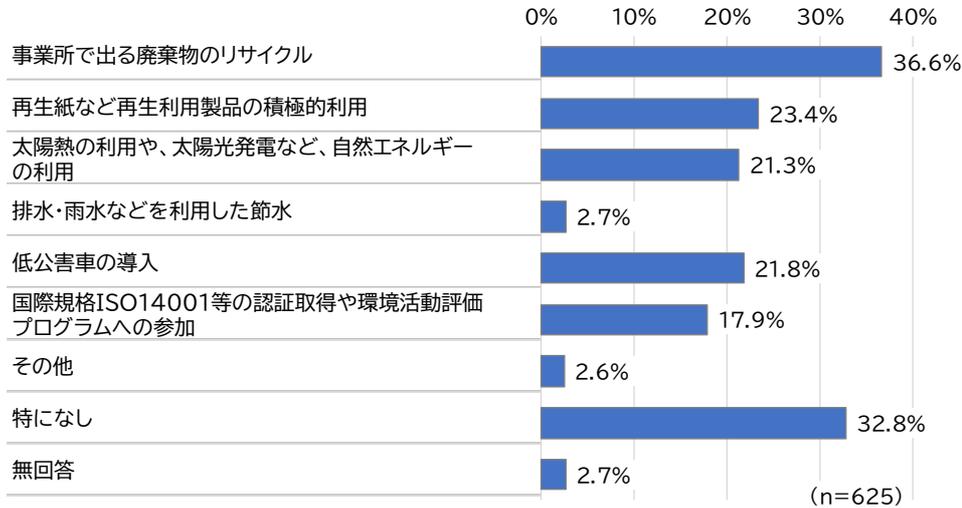
※グラフ内の「-」は、前回調査データなし

3-3-7 実施している環境保全活動に関して消費者等にPRしたいこと

問14 貴事業所が実施している環境保全活動で、消費者や取引先などにPRしたいものは何ですか。A・Bそれぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

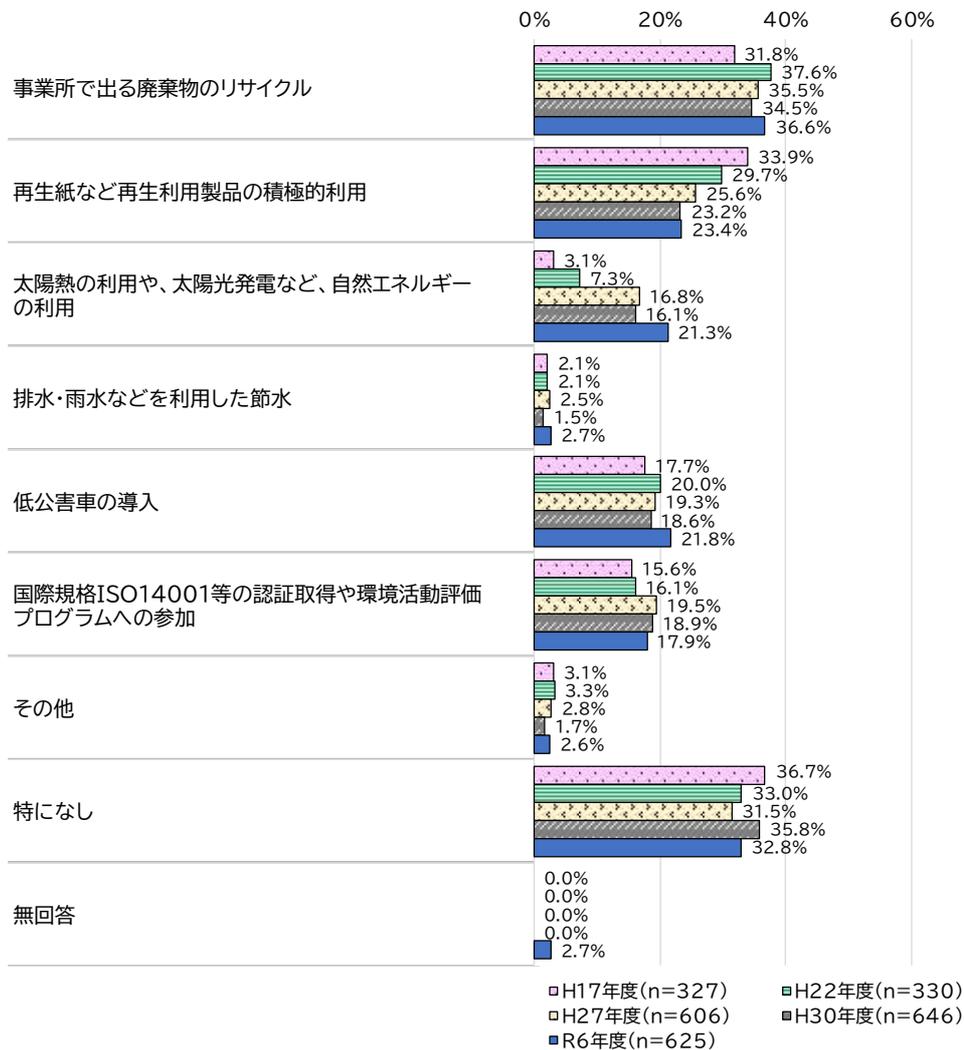
【A. 事業所の内部での活動(事業所内でのリサイクルや、省エネなど)】

◆R6年度傾向



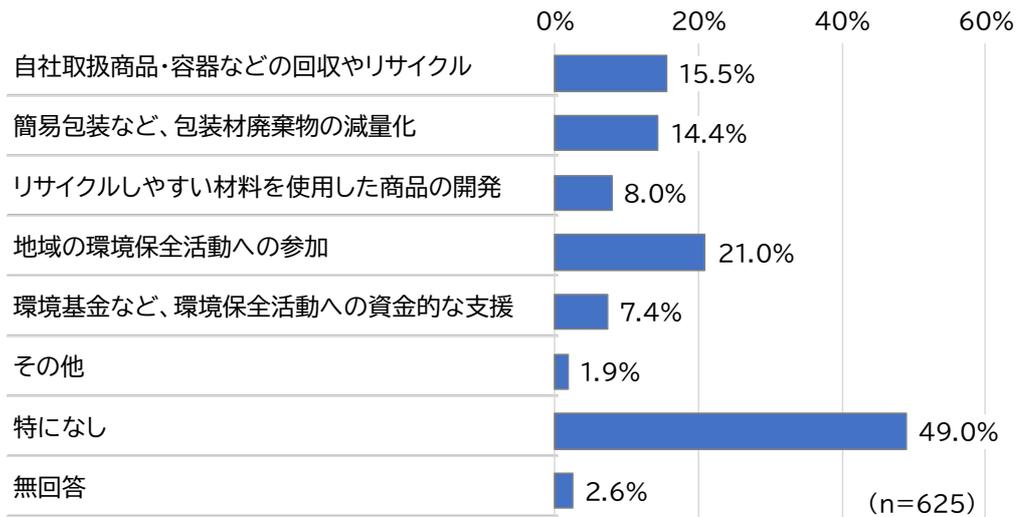
◆経年推移

経年比較すると、「太陽熱の利用や、太陽光発電など、自然エネルギーの利用」は増加傾向、「再生紙など再生利用製品の積極的利用」は減少傾向となっています。



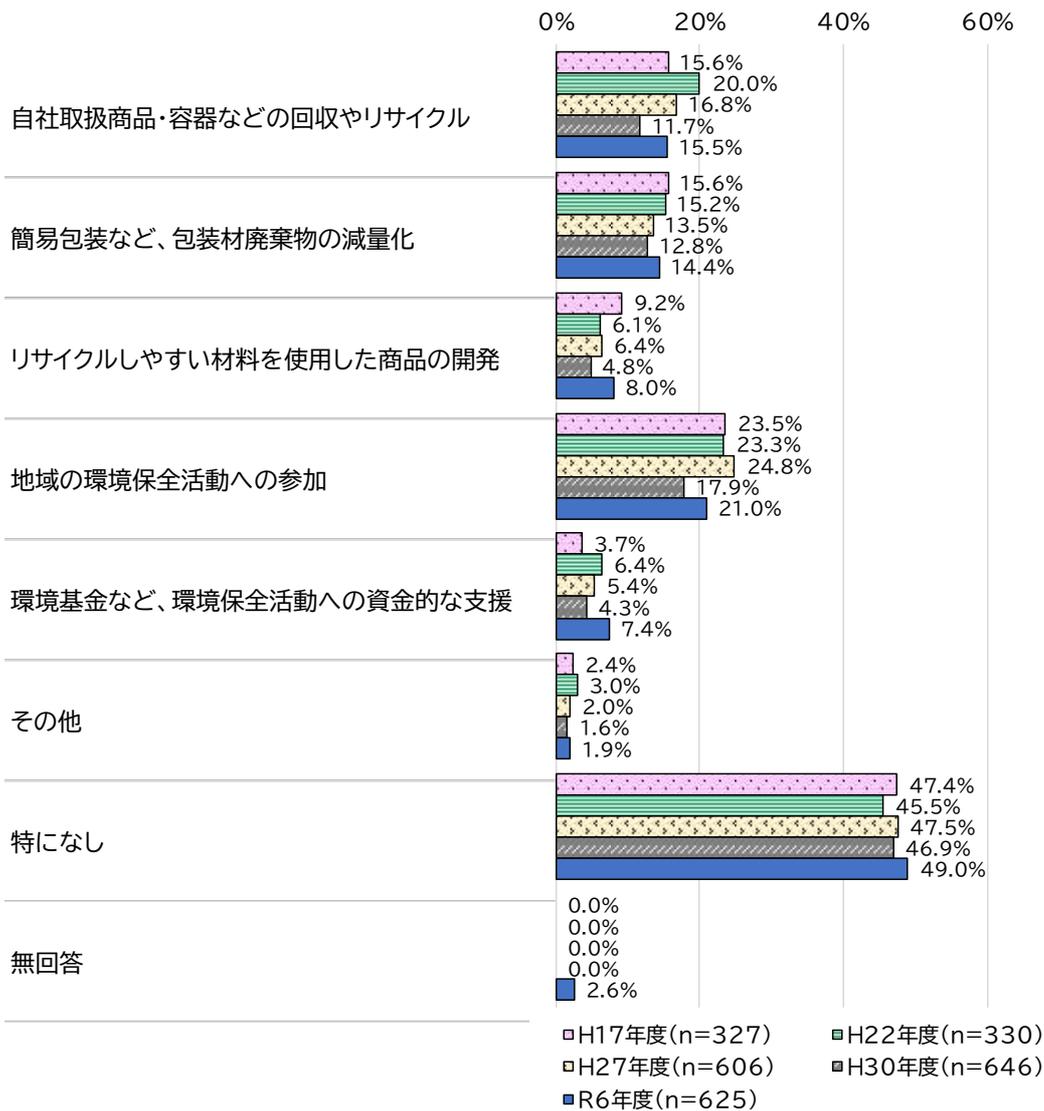
【B. 消費者や取引先などに対する活動】

◆R6年度傾向



◆経年推移

経年比較すると、「自社取扱商品・容器などの回収やリサイクル」、「簡易包装など、包装材廃棄物の減量化」、「リサイクルしやすい材料を使用した商品の開発」は減少傾向でしたが、今回調査でやや増加しています。

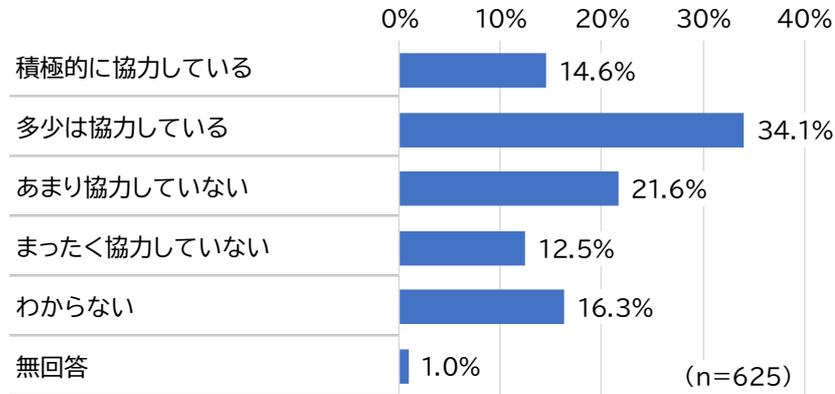


3-3-8 環境保全活動に関する社外団体や地域社会への協力

問15 環境保全活動に関する社外の団体や地域社会への協力について、おうかがいします。

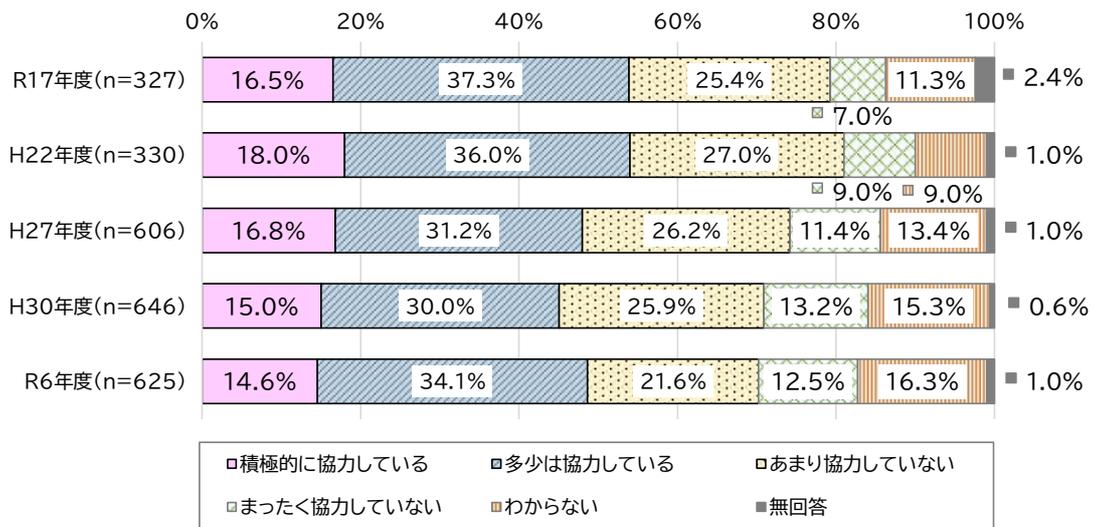
(1)貴事業所では、環境保全活動に関して、社外の団体や地域社会へ協力していますか。次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。(○は1つ)

◆R6年度傾向

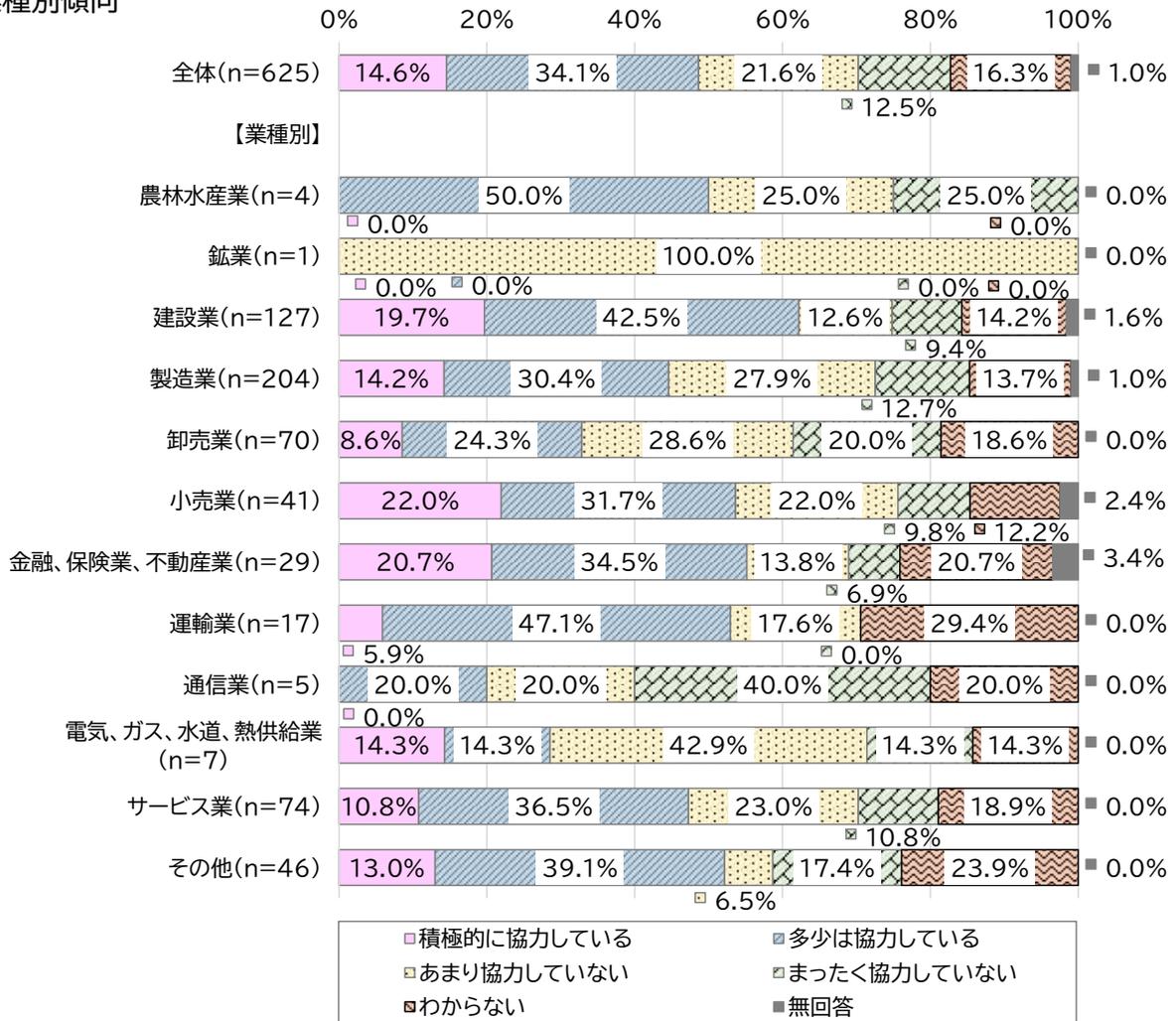


◆経年推移

経年比較すると、『協力している』はH30年度調査まで減少傾向でしたが、今回調査で3.7ポイント多くなっています。

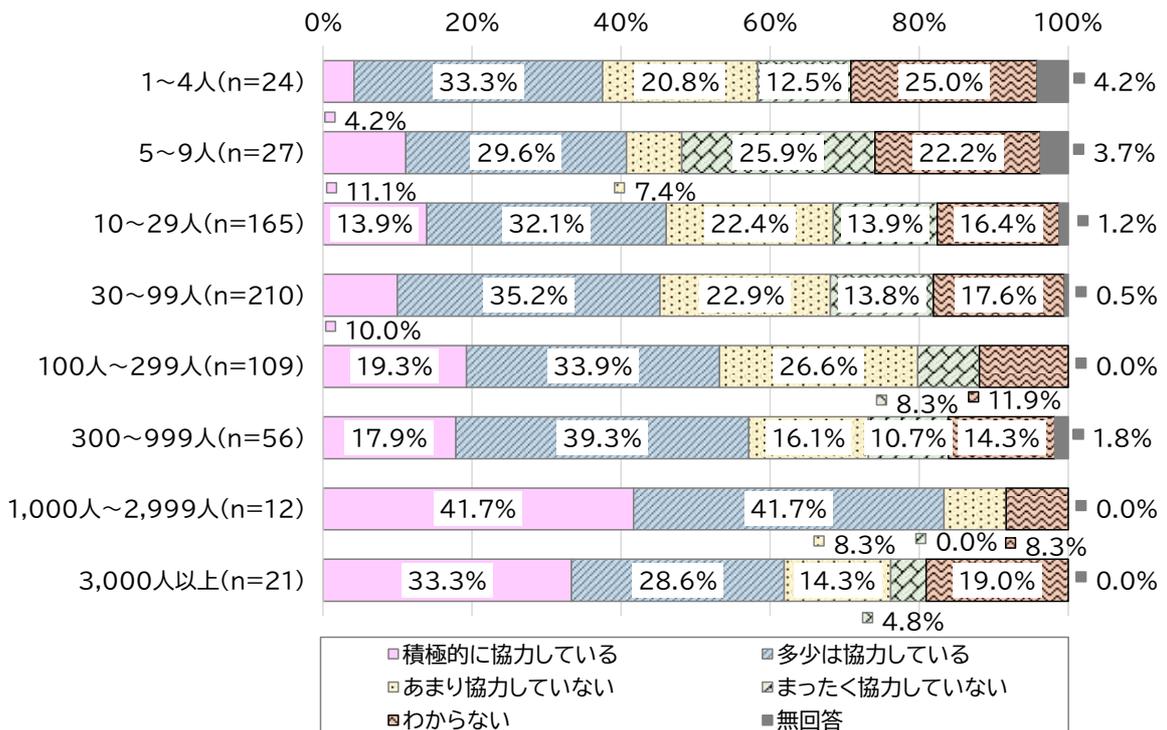


◆業種別傾向



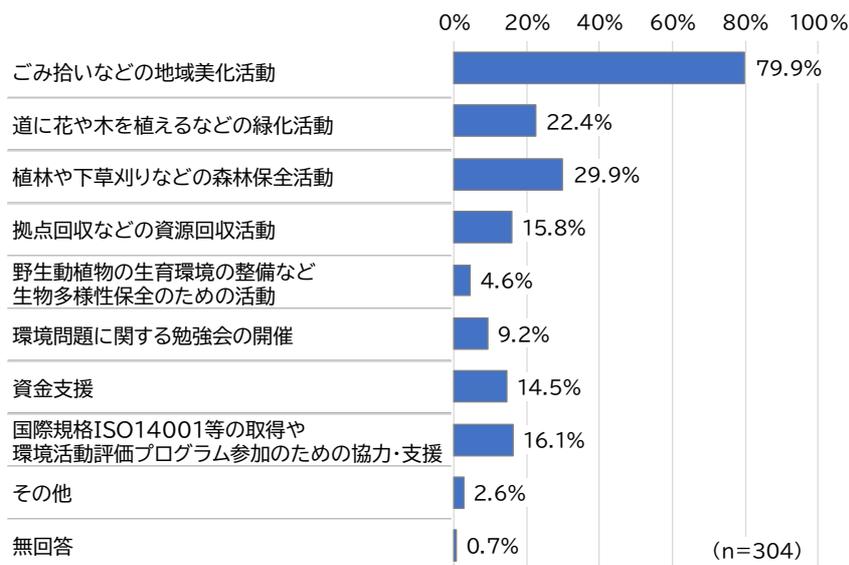
◆規模別傾向

回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて『協力している』が高くなる傾向があります。



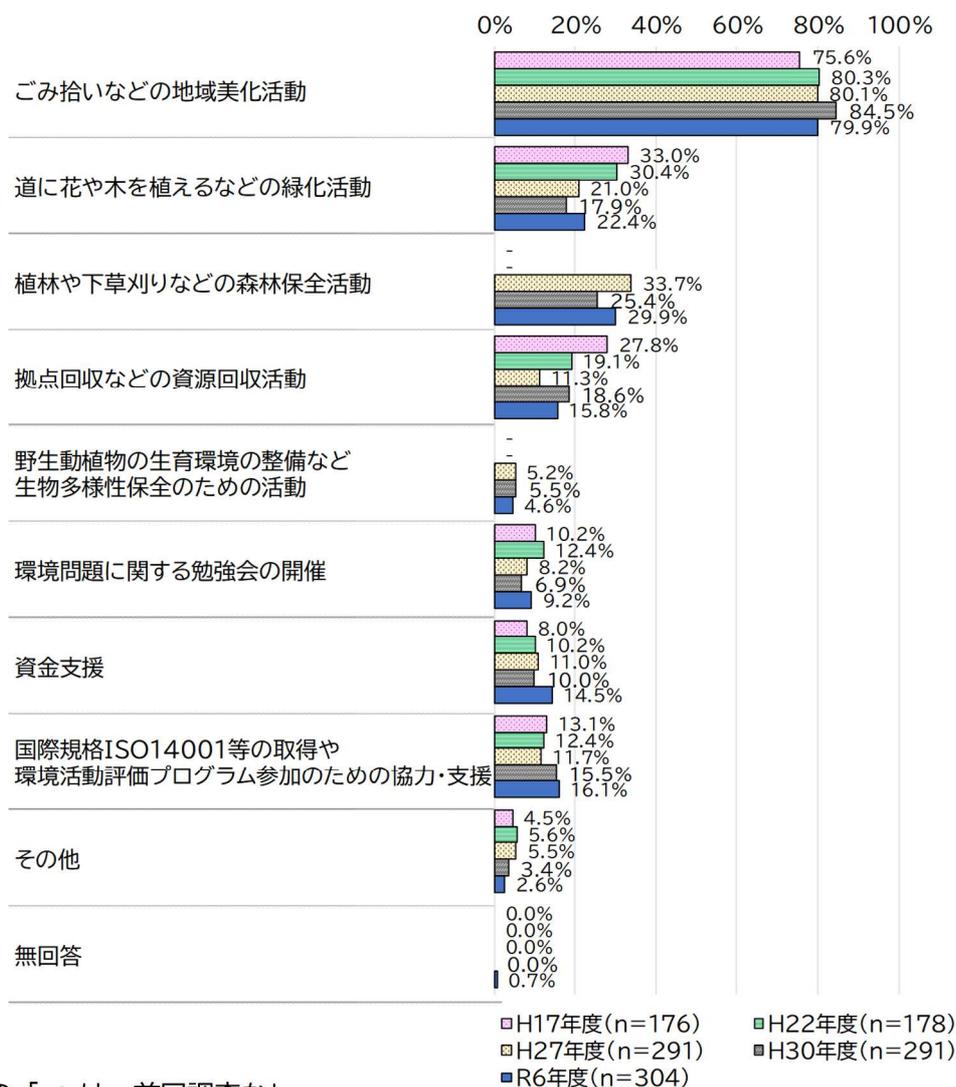
(2)上記の(1)で「協力している」とお答えした方に、おうかがいします。具体的な内容について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

◆R6年度傾向



◆経年推移

経年比較すると、「資金支援」はやや増加傾向にあります。また、「道に花や木を植えるなどの緑化活動」は減少傾向でしたが、今回調査でやや増加しています。



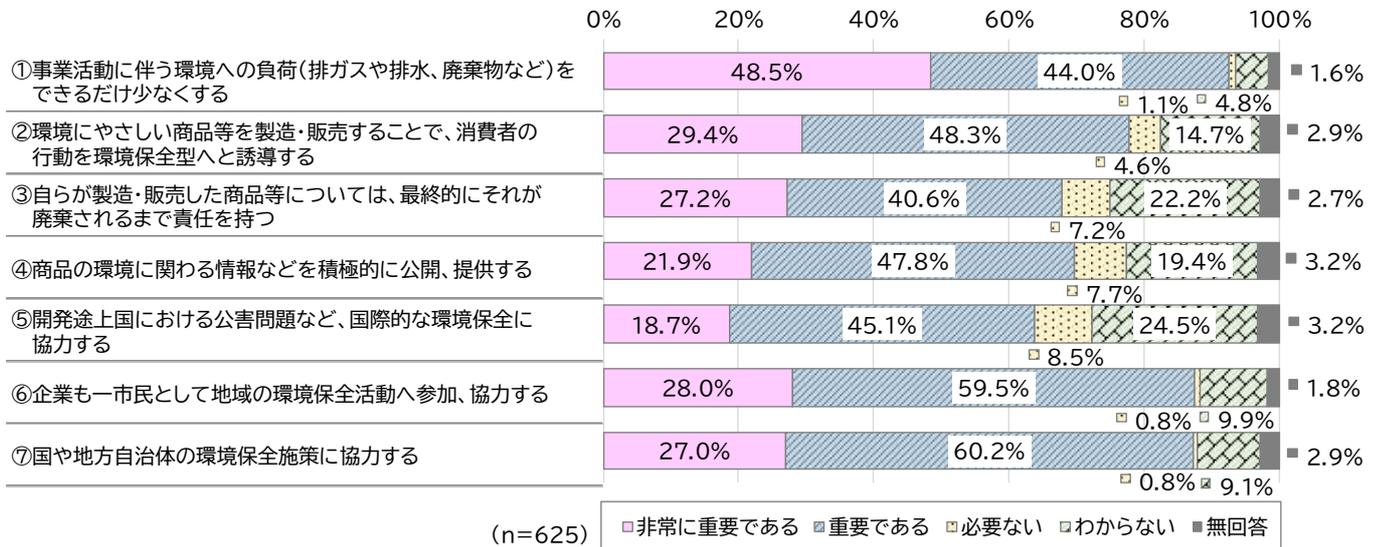
※グラフ内の「-」は、前回調査なし

3-4 環境保全に対する考え方

3-4-1 環境保全に対する企業の役割

問16 貴事業所では、環境保全に対する企業の役割について、どのようにお考えですか。以下それぞれの項目について、1～4のうち、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。(○は1つ)

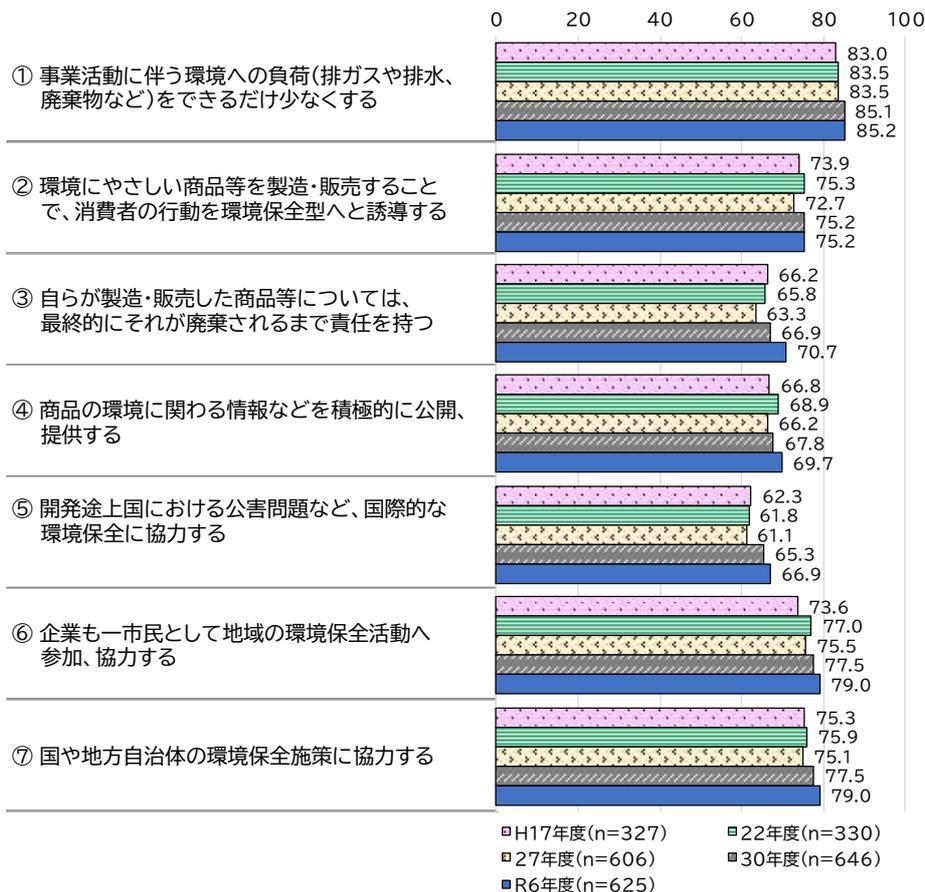
◆R6年度傾向



◆経年推移 (加重平均)

加重平均の求め方

「非常に重要である」=100点、「重要である」=75点、「必要ない」=0点、「わからない」=50点とし加重を与え、指標化

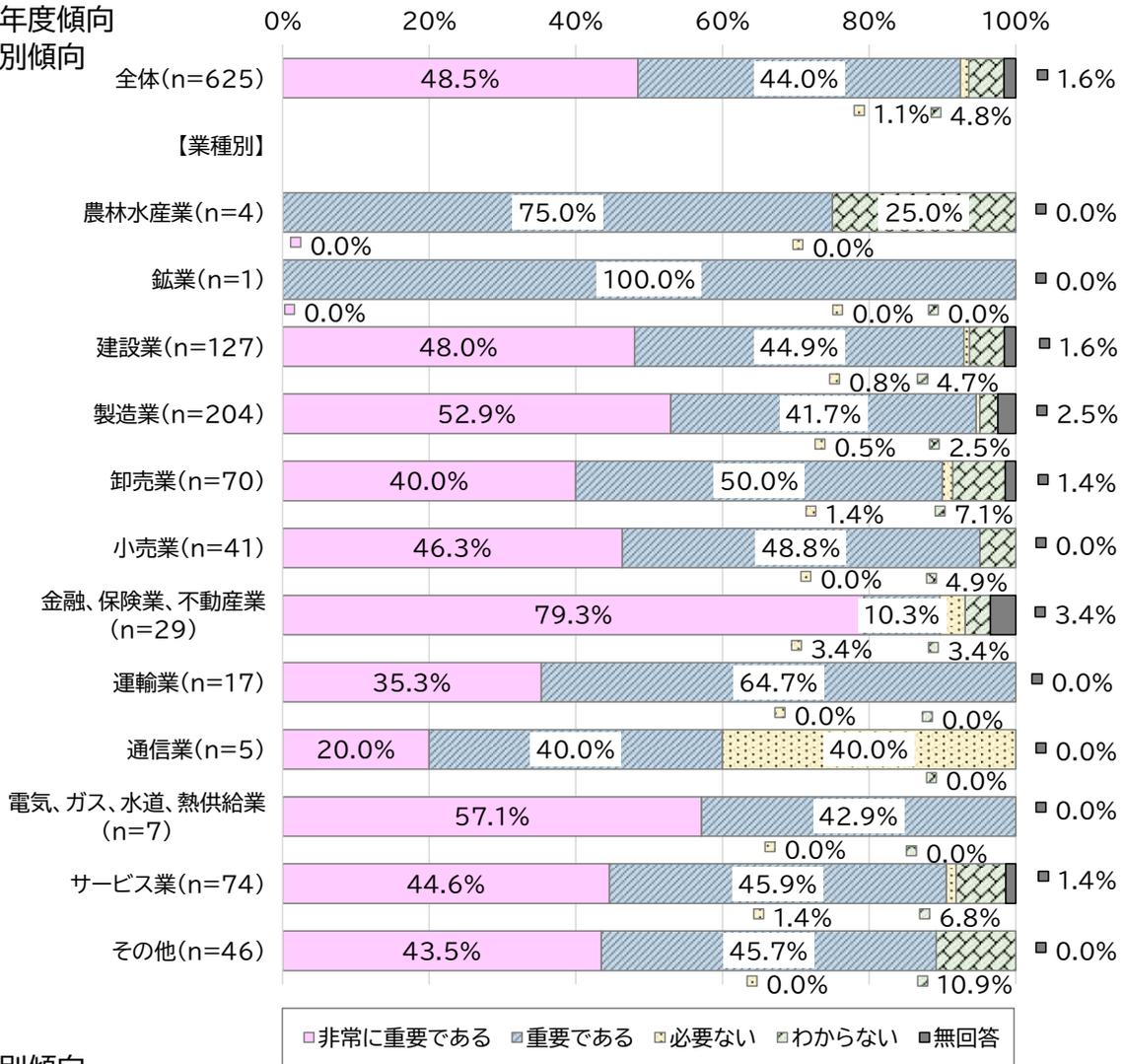


3 調査結果

①事業活動に伴う環境への負荷（排ガスや排水、廃棄物など）をできるだけ少なくする

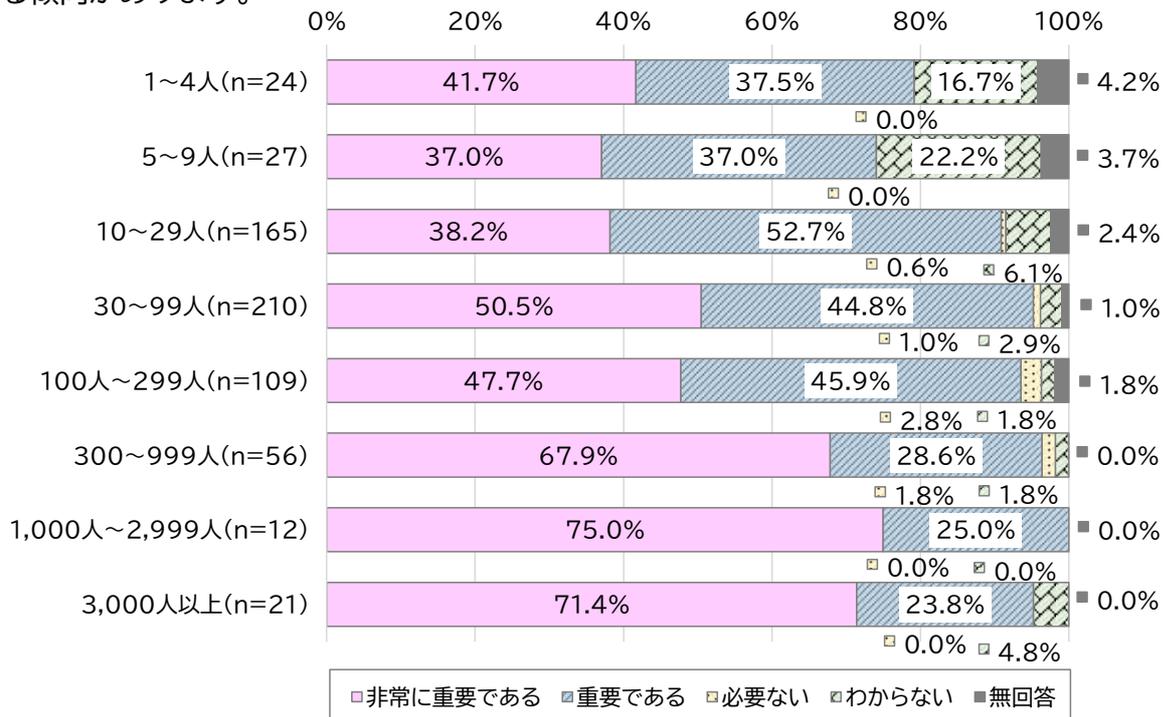
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

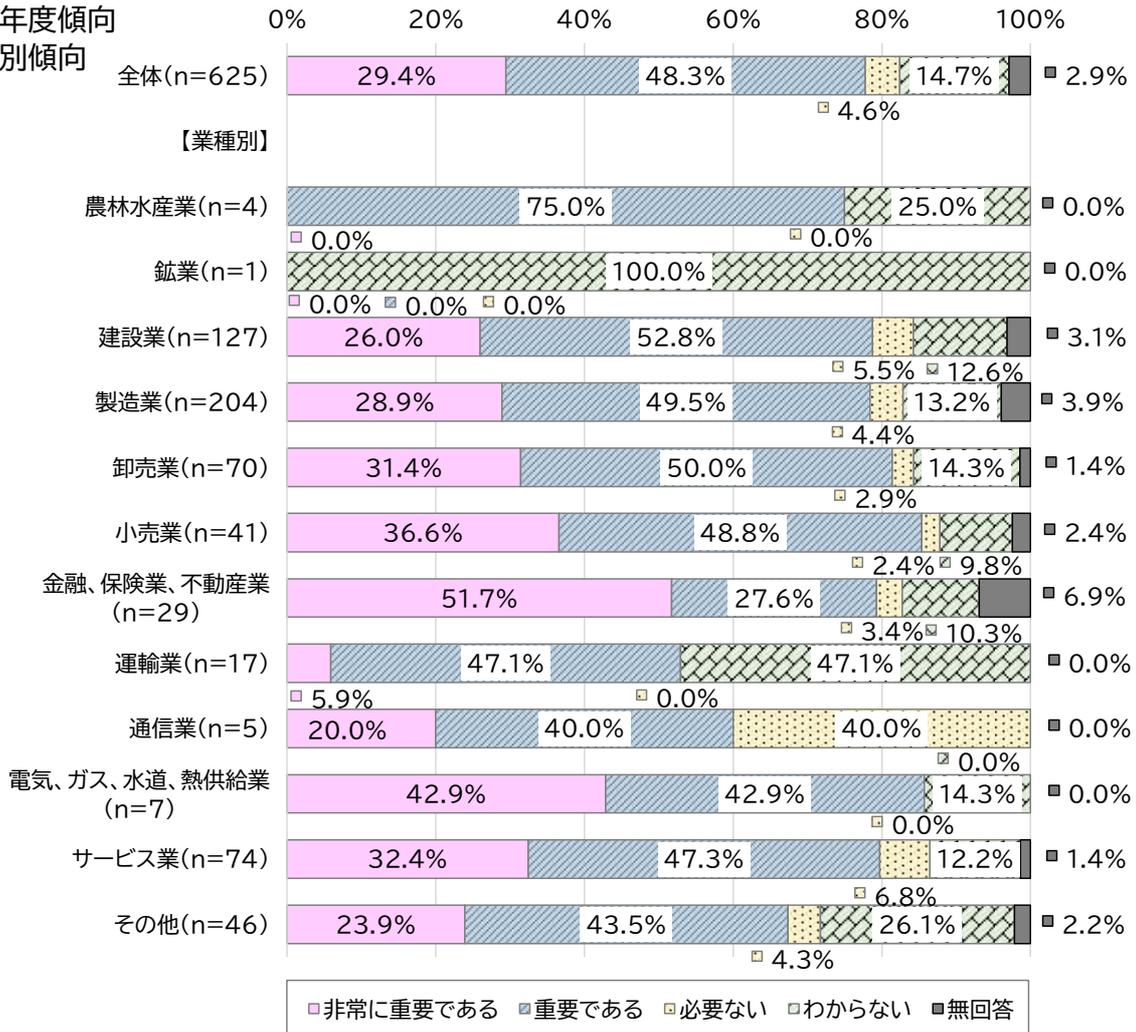
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「非常に重要である」が高くなる傾向があります。



②環境にやさしい商品等を製造・販売することで、消費者の行動を環境保全型へと誘導する

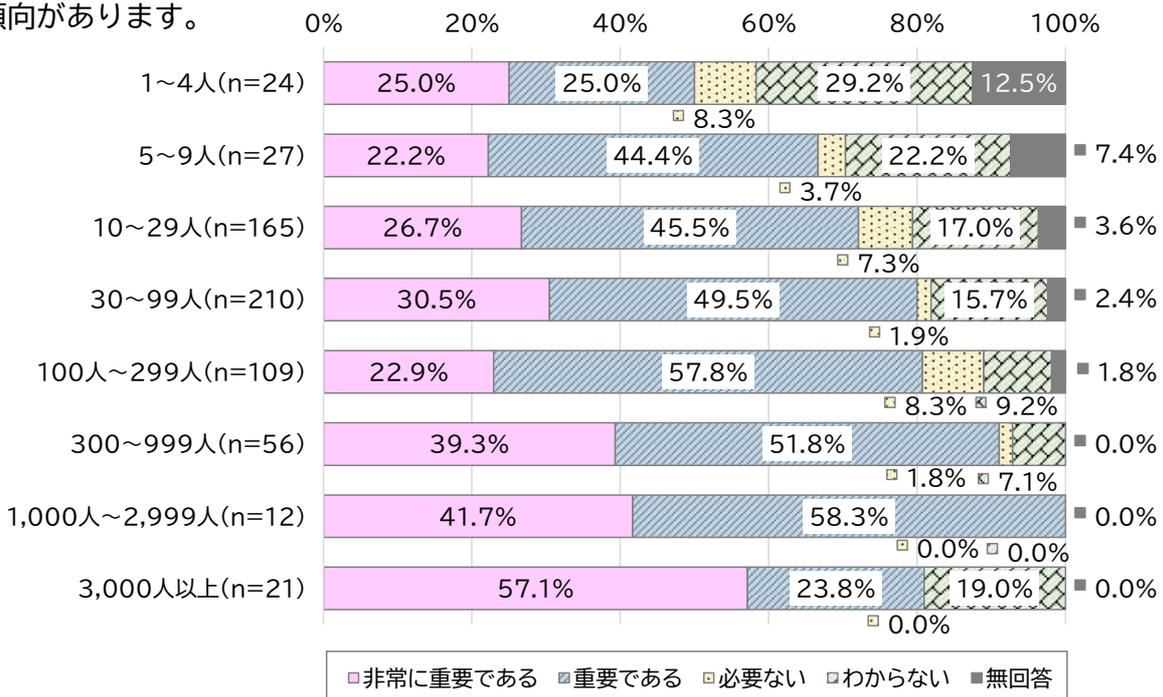
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「非常に重要である」が高くなる傾向があります。

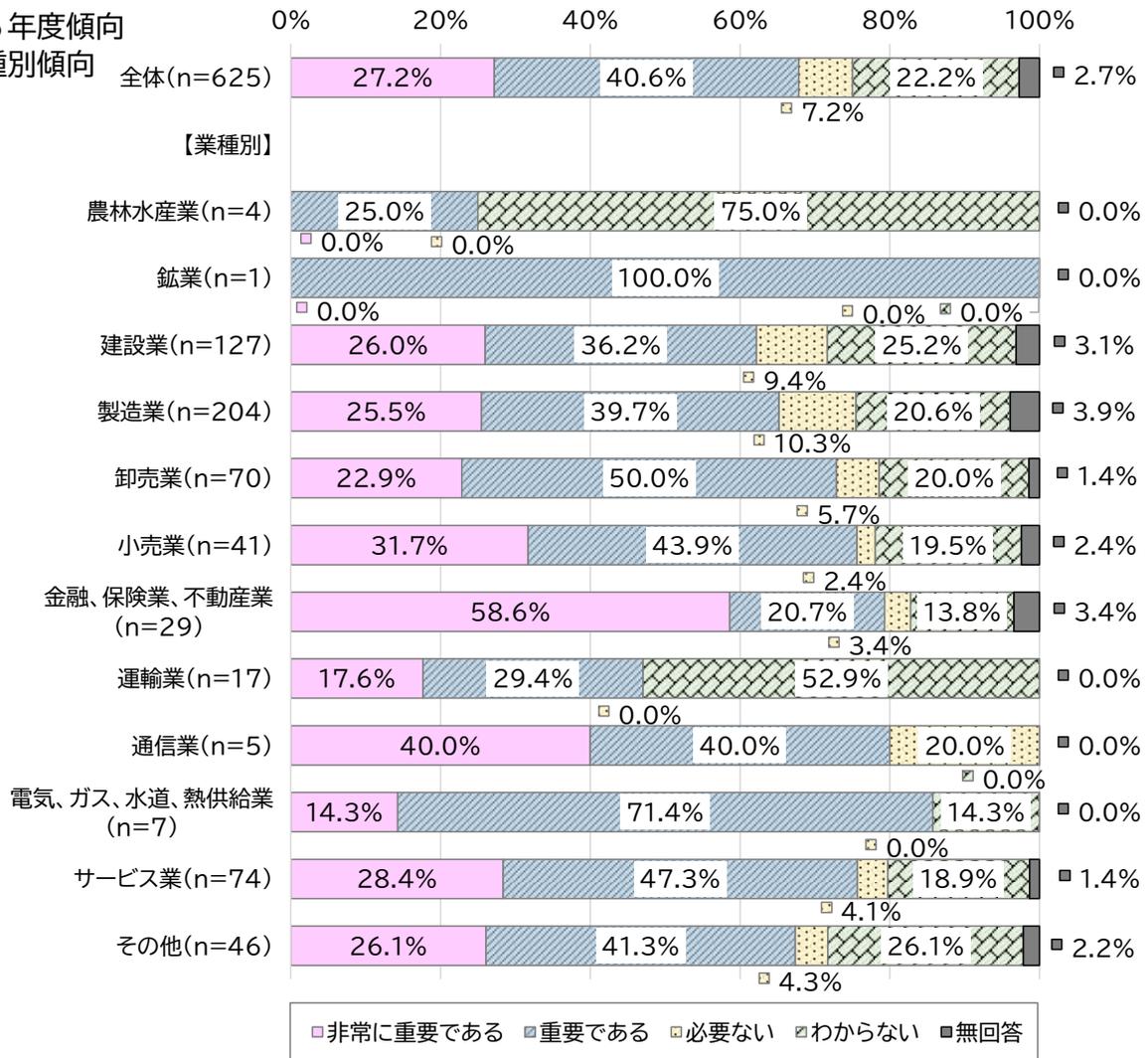


3 調査結果

③自らが製造・販売した商品等については、最終的にそれが廃棄されるまで責任を持つ

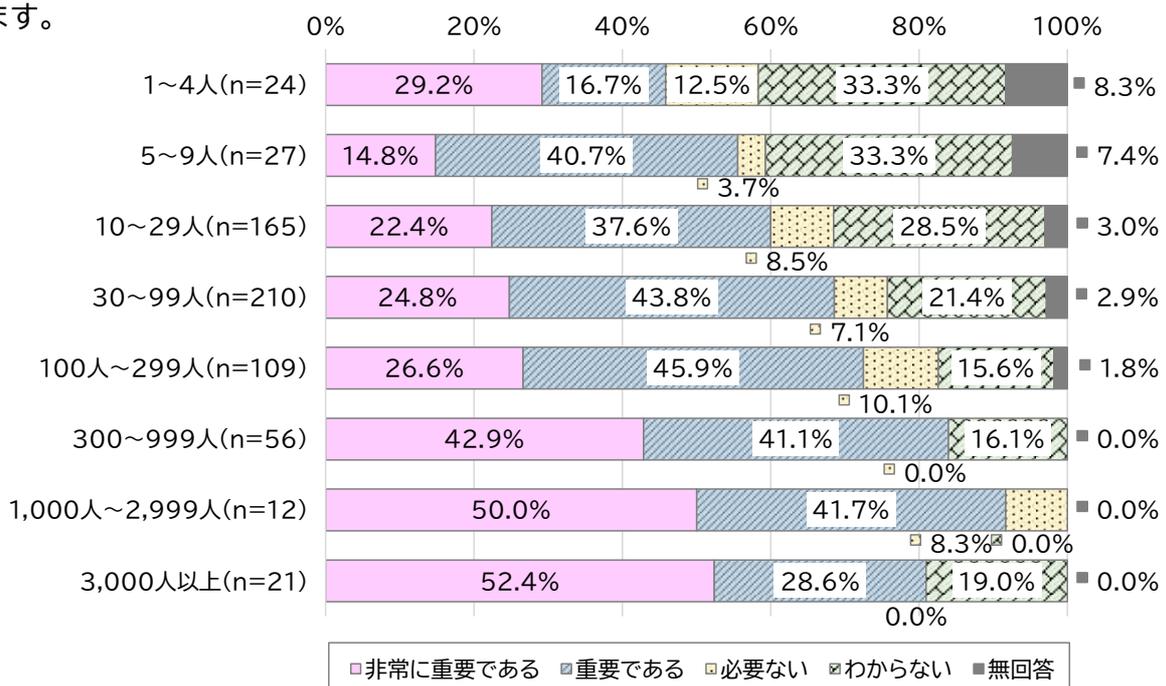
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

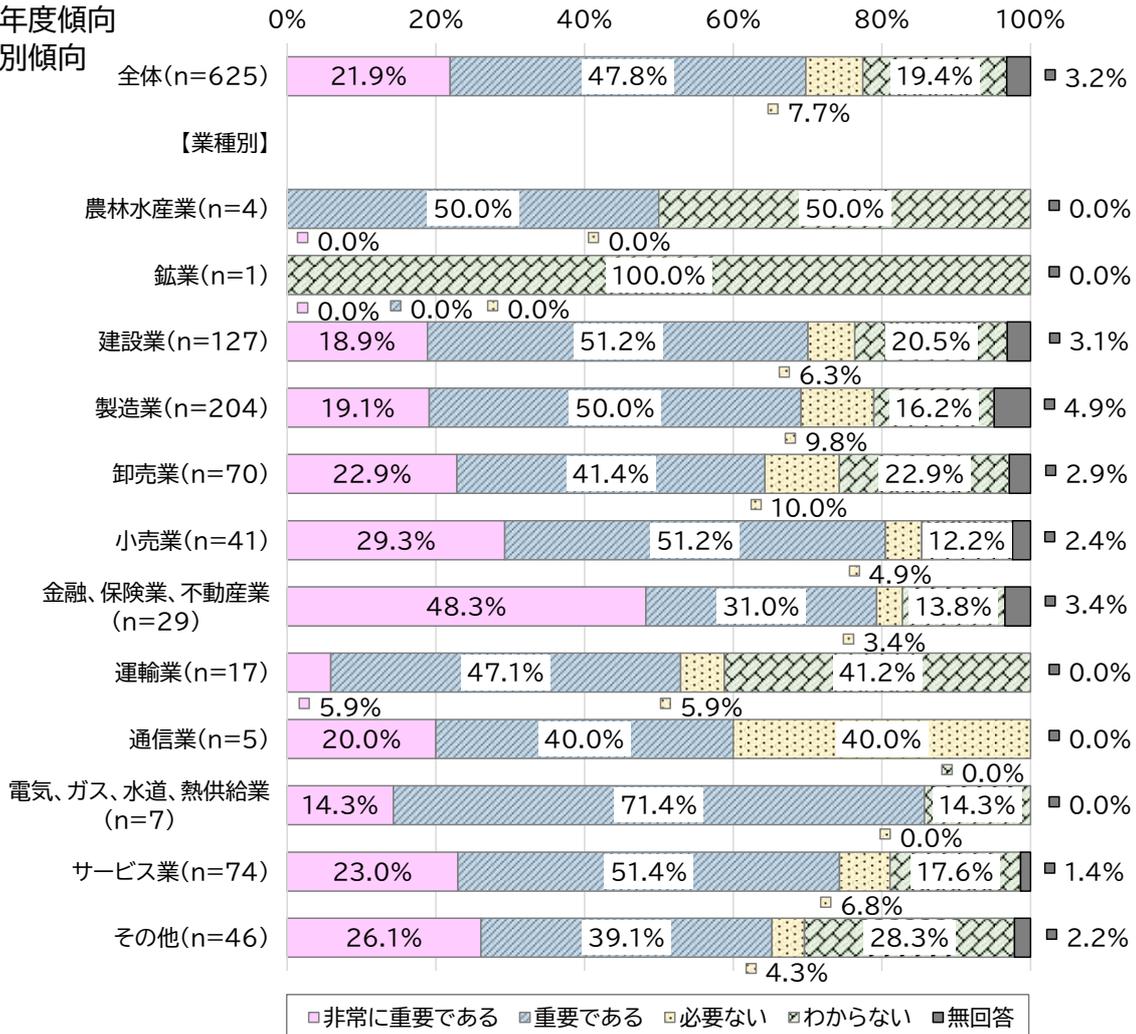
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて『重要』が高くなる傾向があります。



④商品の環境に関わる情報などを積極的に公開、提供する

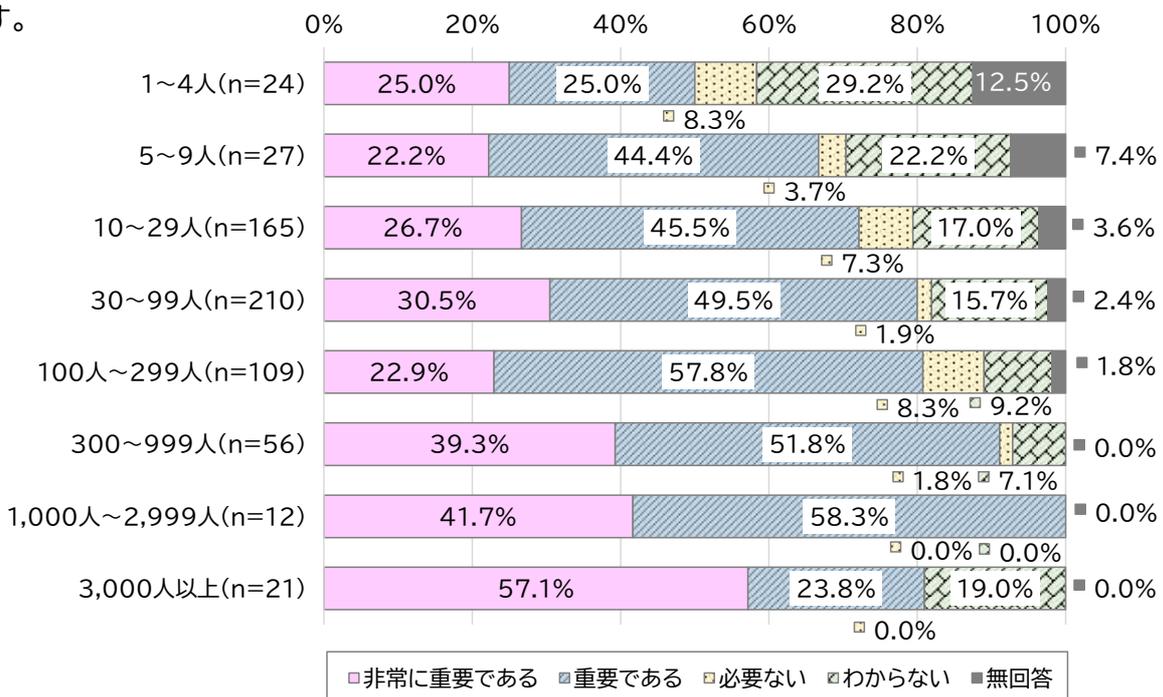
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

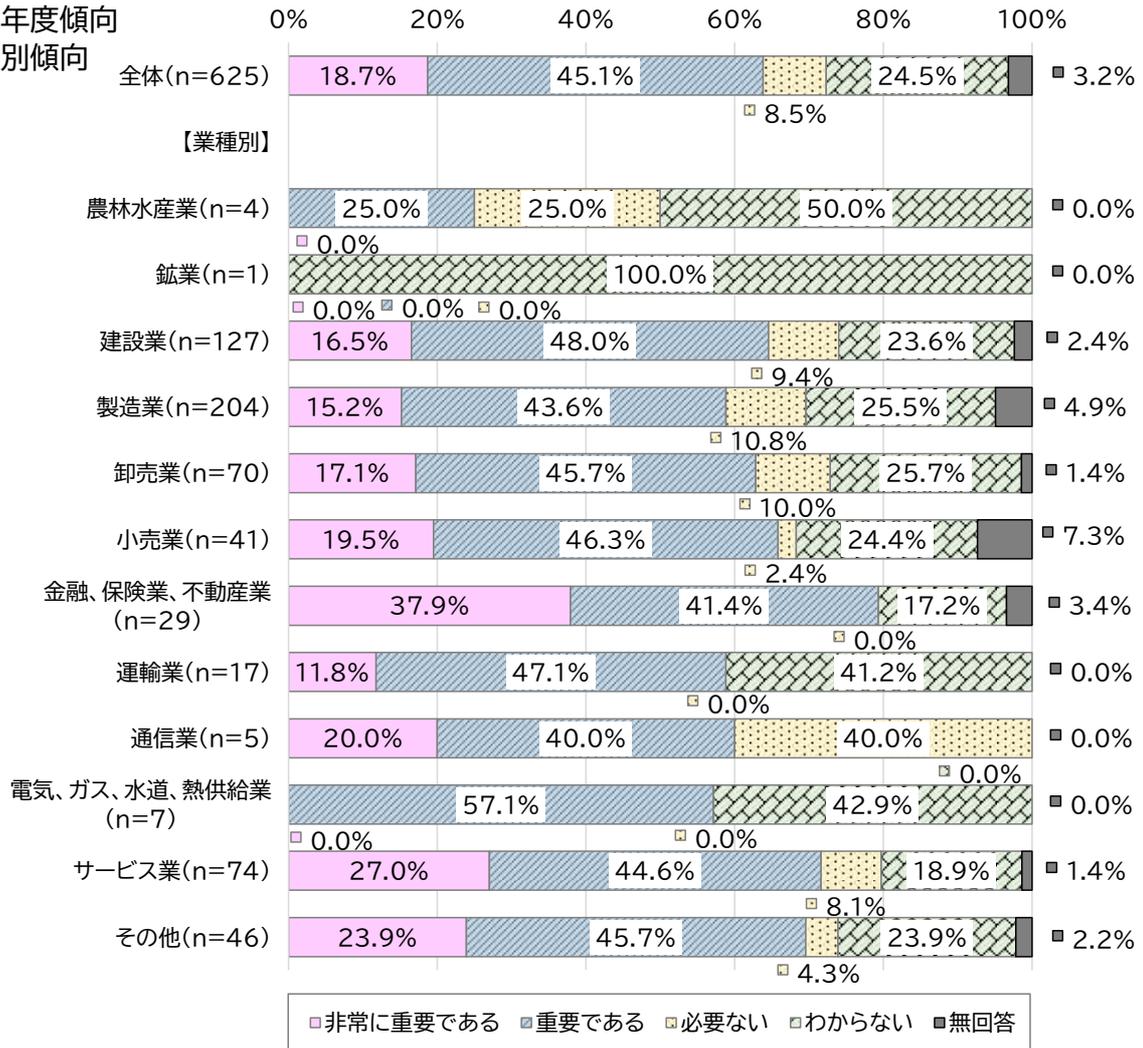
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて『重要』が高くなる傾向があります。



⑤開発途上国における公害問題など、国際的な環境保全に協力する

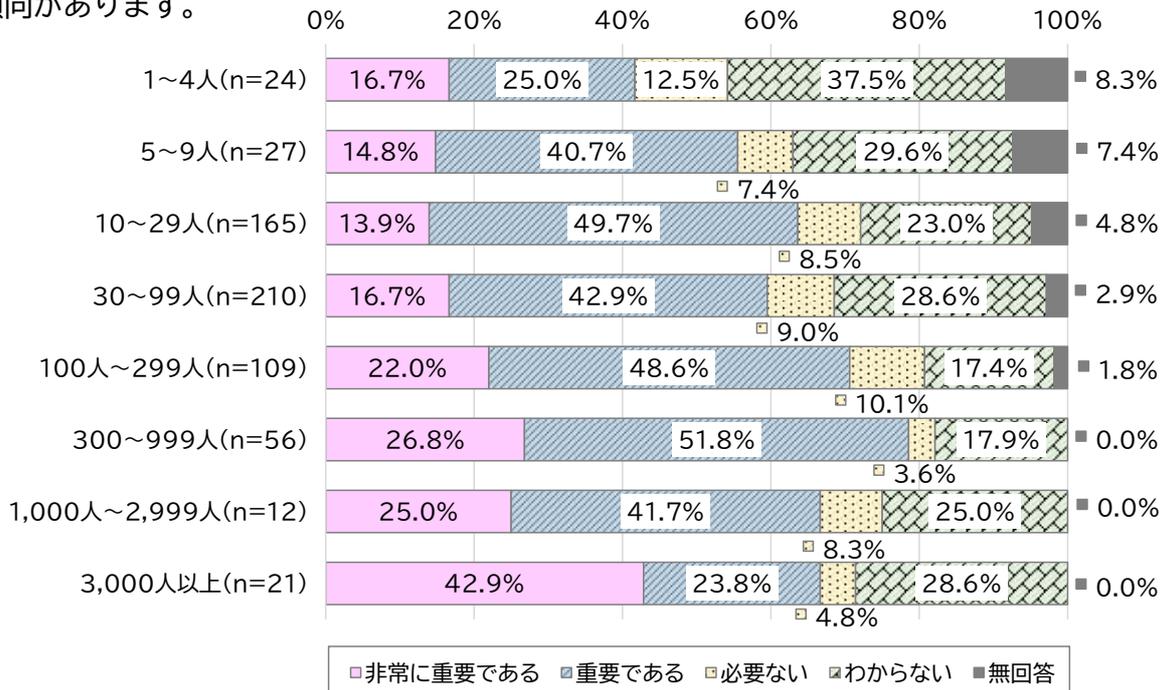
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

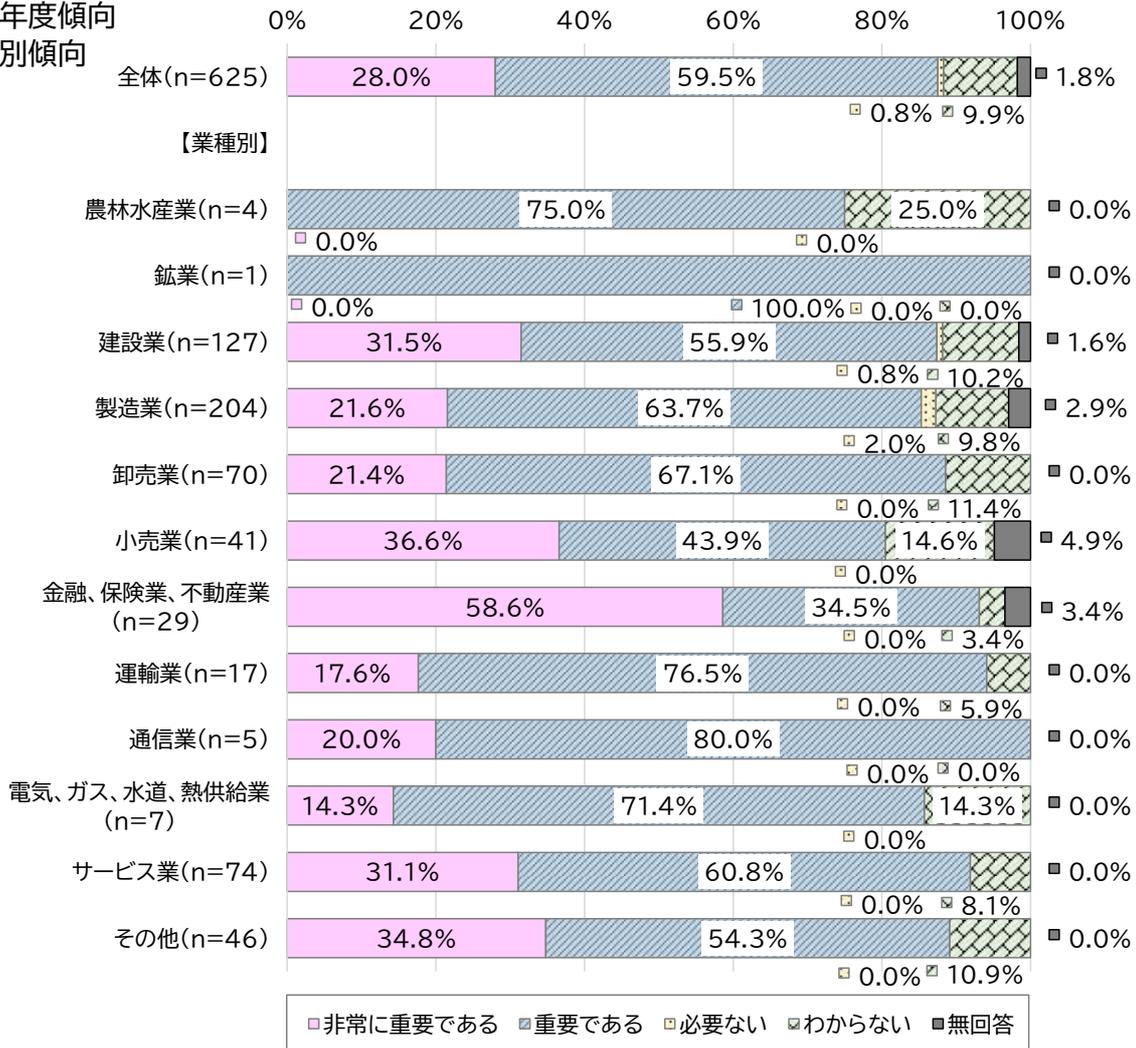
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「非常に重要である」が高くなる傾向があります。



⑥企業も一市民として地域の環境保全活動へ参加、協力する

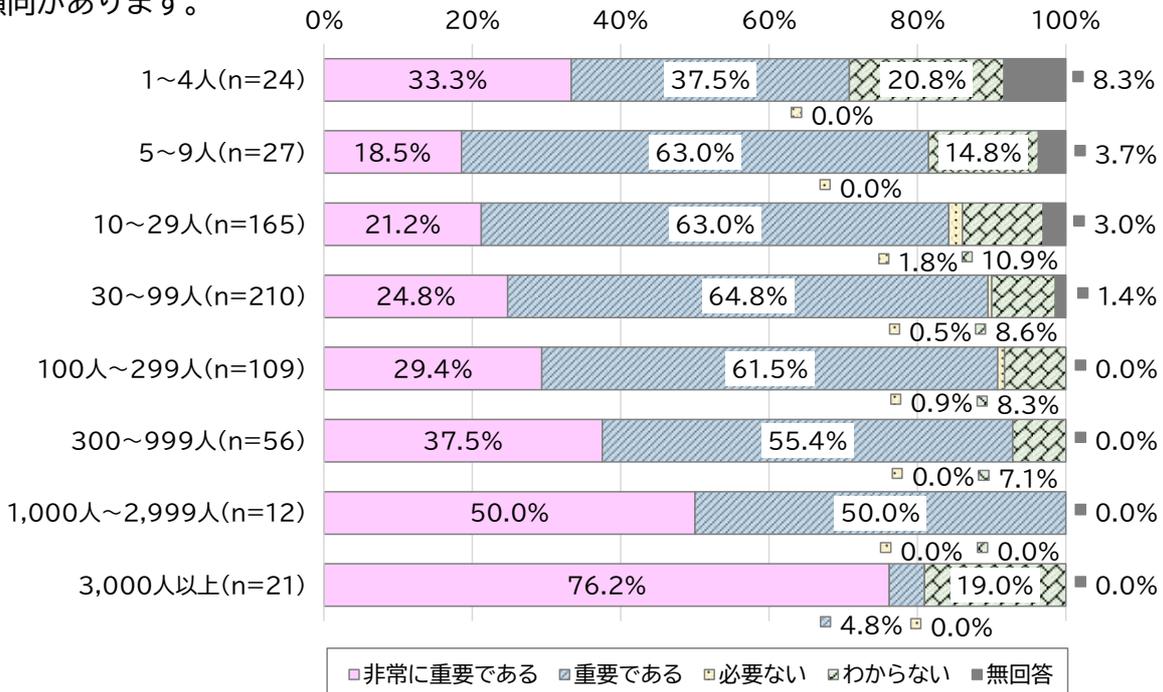
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

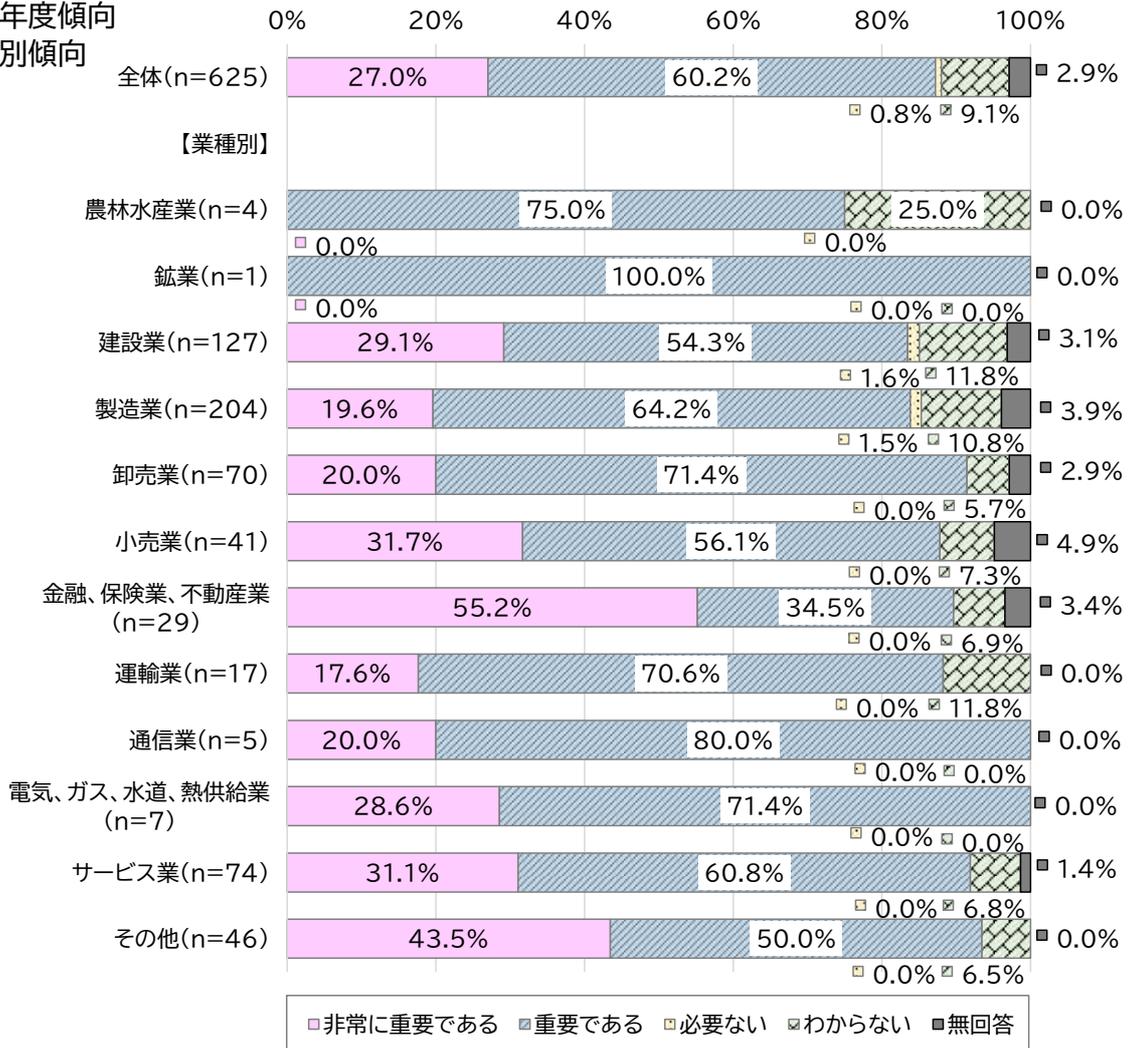
回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「非常に重要である」が高くなる傾向があります。



⑦国や地方自治体の環境保全施策に協力する

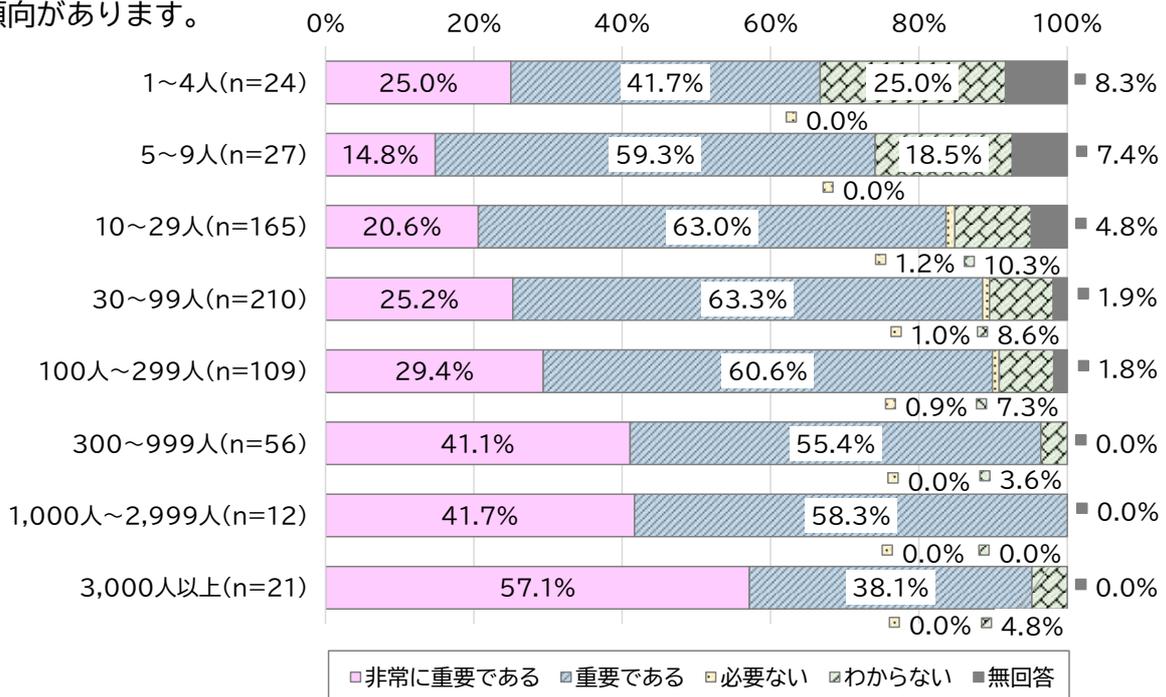
◆R6年度傾向

◆業種別傾向



◆規模別傾向

回答者数の少ない項目もありますが、規模が大きくなるにつれて「非常に重要である」が高くなる傾向があります。



3-5 行政への要望

問17 貴事業所では、今後、環境保全に対し、国や県などの行政にどのような対応を望みますか。下欄にお書きください。(自由記述)

自由記述が 97 件あり 6 のカテゴリーに分け集計しました。

カテゴリー	件数
情報提供・指導・啓発	34
補助金や人的な支援	39
ルール・制度の見直し・簡素化・効率化	15
事務・事業の強化	3
研究・開発の推進	1
その他	5
計	97

主な意見の抜粋(業種)

情報提供・指導・啓発

- 環境保全に対し、国、県などから色々と参考資料があれば送っていただきたい。(製造業)
- より積極的な環境保全活動に関する情報提供や勉強会及びセミナー等の開催をお願いします。(サービス業)
- 行政が行った対応について「みえる化」を望む。(建設業)
- フードロス削減のため出来る事を国や県として考えていただきたい。(建設業)
- 小規模企業でも負担とならないような環境保全活動への取組方の紹介など環境保全への取組のハードルを下げるような施策をお願いしたい。マンパワーの乏しい、中小、零細企業では、色々な施策に協力したくても人手間のかかる又、費用のかかる取組には、参加しづらいのが現状です。(製造業)
- 中小企業が大きな負担感なく取り組める活動の提示・推進。(サービス業)

補助金や人的な支援

- 環境保全に対する取組へ補助金の拡充。(製造業)
- ISO14001 等の取得に対し補助金等の補助。(小売業)
- 環境に配慮した設備投資への補助金。融資で環境に配慮した設備投資への利子補給や補助金。(金融、保険業、不動産業)
- ガソリン車から EV 車に切り替えた場合は補助金がほしい。(その他)
- 太陽光発電システムの導入を検討しているが、次年度以降も太陽光発電システムへの補助金の推進をしてほしい。太陽光発電システムの敷居を下げてもらえるとより導入企業が増える。(製造業)

ルール・制度の見直し・簡素化・効率化

- 一般個人、企業組織体問わず、廃棄物処理に於いて、全ての廃棄物に対し、種類別に区分処理できるようシステム構築されると良い。(負担がなく逆に個人にメリットある方法)しかも手軽に活動・取り組みできる。一般市民・個人から捨てるものがなくなるシステム作り、また仮に捨てられたものが拾われて結果的にメリットあるシステム作りの構築。(卸売業)
- エコアクション 21 に参加していましたが、数値の取まとめが大変なのと行政からの補助が

3 調査結果

市によってバラバラで当社はメリットが無かった。数年前から数値取りまとめ方法が難しくなり撤退したがCO₂削減活動は続けています。(サービス業)

- 環境活動に取り組み易い国政づくりをより強く。(製造業)
- 廃棄物を原料としたリサイクル製品の積極的な利用及び、リサイクル製品認定制度の導入の促進。(その他)
- こういったアンケート・調査用紙を紙郵送しないで、WEB化して欲しい。(サービス業)
- 入札の加点や優遇措置などメリットを前面に出して頂けると取り組みに舵を切りやすいと思います。(その他)

事務・事業の強化

- 国道353沿いの歩道や、上武国道の側道では、草刈りの頻度が低いために雑草が車道まで侵出していることが多く、交通安全問題だけでなく、景観上も問題です。(農林水産業)
- 舗装整備：車両の燃費改善がおこなわれることによるCO₂排出量の低減。(製造業)
- 山の伐採・動物が生きられるような環境づくり。(建設業)

研究・開発の推進

- 昨今の異常気象は人類の環境破壊によるものなのか地球規模の周期のようなものなのか、そのあたりの研究を進めていただきたい。人々の営みの中で何かできることがあれば具体例を出して、強力に押し進めていただきたい。(運輸業)

その他

- そんなことより税金が高い。(建設業)
- 回答できない項目が多く申し訳ありません。東京に本社を置く金融機関の支店のため全社的には全ての内容に取り組み、HP上でも公表しております。支店としての行政への要望は特にありません。(金融、保険業、不動産業)
- 天下り組織の排除。(製造業)
- 本末転倒にならないようお願いします。(卸売業)

貴事業所の声をお聞かせください
～ 環境に関する事業所意識アンケート ～

令和6年9月

< ご記入前にお読みください >

- 1 環境保全担当者または環境保全担当部署（該当者がいない場合は総務部）の方がお答えください。
- 2 次のいずれかの方法でお答えください。

> 調査票に記入して回答する場合（郵送による回答）

- ・ 回答は、貴事業所のお考えに最も近い番号に○をつけてください。
- ・ ○をつける回答数は、各設問で指定された個数としてください。
- ・ 「その他」の項目を選択された場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 自由回答も重要ですので、お手数ですが、ぜひご記入ください。
- ・ 同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストへ投函してください。

> WEBから回答する場合（WEBによる回答）

- ・ パソコン、スマートフォン、タブレットで右の二次元コードまたは下記の URL にアクセスして回答してください。
URL : <https://forms.gle/M31meQJY1fk4RDTDA>

※WEBで回答された方は、調査票の返信は不要です。



3 回答期限

- ・ 郵送による回答・WEBによる回答ともに、**令和6年10月4日（金）**までにお願います。

4 調査委託

- ・ 本調査の発送・回収・集計は、群馬県が株式会社環境総合研究所北関東支社に委託しています。

5 お問い合わせ先

- ・ この調査についてご質問がありましたら、下記までお問い合わせください。

群馬県 環境森林部 環境政策課 環境政策係 石坂、板倉
電話：027-226-2821（直通）

I まず、貴事業所に関して簡単な質問をさせていただきます

問1 貴社の業種をお答えください。回答は、次の中からあてはまる番号を1つだけ選び、その番号に○をつけてください。（兼業の場合は、売上の最も多いものをお答えください）

- | | |
|----------|-------------------|
| 1. 農林水産業 | 7. 金融、保険業、不動産業 |
| 2. 鉱業 | 8. 運輸業 |
| 3. 建設業 | 9. 通信業 |
| 4. 製造業 | 10. 電気、ガス、水道、熱供給業 |
| 5. 卸売業 | 11. サービス業 |
| 6. 小売業 | 12. その他（具体的に |

問2 貴事業所の事業形態をお答えください。あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。（複合している場合は、主たる事業形態をお答えください）

1. 工場
2. 事務所（オフィス）
3. 研究所
4. 店舗
5. その他 → 具体的に（

問3 貴事業所の本社はどこにありますか。あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。

1. 貴事業所が本社である（または、貴事業所は本社に併設されている）
2. 本社は、群馬県内の別の場所にある
3. 本社は東京にある
4. 本社はその他の地域にある → 具体的な道府県名（

問4 貴社の従業員数（常勤および長期のアルバイト、パートタイマーを含む）をお答えください。

① 貴社の他事業所を含めた全体の従業員数をお答えください。

- | | | |
|-----------|--------------|------------------|
| 1. 1～4人 | 4. 30～99人 | 7. 1,000人～2,999人 |
| 2. 5～9人 | 5. 100人～299人 | 8. 3,000人以上 |
| 3. 10～29人 | 6. 300～999人 | |

② 本アンケートが送られた事業所みの従業員数をお答えください。

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1. 1～4人 | 4. 20～29人 | 7. 100～299人 |
| 2. 5～9人 | 5. 30～49人 | 8. 300人以上 |
| 3. 10～19人 | 6. 50～99人 | |

問5 貴社の年間売上高、あるいは出荷額をお答えください。

- | | | |
|----------------|---------------|------------------|
| 1. 5,000万円未満 | 4. 5億円～10億円 | 7. 100億円～500億円 |
| 2. 5,000万円～1億円 | 5. 10億円～50億円 | 8. 500億円～1,000億円 |
| 3. 1億円～5億円 | 6. 50億円～100億円 | 9. 1,000億円以上 |

Ⅱ 取組

貴事業所における環境保全の取組について、おうかがいします。

問6 貴事業所では、どのような環境保全の取組を実施していますか。次の（1）から（7）までの取組について、それぞれ、あてはまる番号を1つだけ選び○をつけてください。

さらに、「概ね実施している」、「一部実施している」に○をした場合は、その際の問題点を、「検討中・行っていない」に○をした場合は、その理由について、あてはまるアルファベットのすべてに○をつけてください。

（1）事業所での廃棄物のリサイクル

1. 概ね実施している	2. 一部実施している	3. 検討中・行っていない												
↓	↓	↓												
<p><問題点・理由> (○はいくつでも)</p> <table><tr><td>a. 費用がかかる</td><td>g. 一緒に協力して実施する事業所がない</td></tr><tr><td>b. 手間や時間がかかる</td><td>h. 方法がわからない</td></tr><tr><td>c. 場所を取る</td><td>i. その他 ()</td></tr><tr><td>d. 効率が上がらない(期待できない)</td><td>j. 当事業所には関連しない</td></tr><tr><td>e. 社員の協力が得られない</td><td>k. 特に問題はない</td></tr><tr><td>f. 引き取ってくれる業者が確保できない</td><td></td></tr></table>			a. 費用がかかる	g. 一緒に協力して実施する事業所がない	b. 手間や時間がかかる	h. 方法がわからない	c. 場所を取る	i. その他 ()	d. 効率が上がらない(期待できない)	j. 当事業所には関連しない	e. 社員の協力が得られない	k. 特に問題はない	f. 引き取ってくれる業者が確保できない	
a. 費用がかかる	g. 一緒に協力して実施する事業所がない													
b. 手間や時間がかかる	h. 方法がわからない													
c. 場所を取る	i. その他 ()													
d. 効率が上がらない(期待できない)	j. 当事業所には関連しない													
e. 社員の協力が得られない	k. 特に問題はない													
f. 引き取ってくれる業者が確保できない														

（2）自社取扱商品・容器などの回収やリサイクル

1. 概ね実施している	2. 一部実施している	3. 検討中・行っていない												
↓	↓	↓												
<p><問題点・理由> (○はいくつでも)</p> <table><tr><td>a. 費用がかかる</td><td>g. 一緒に協力して実施する事業所がない</td></tr><tr><td>b. 手間や時間がかかる</td><td>h. 方法がわからない</td></tr><tr><td>c. 場所を取る</td><td>i. その他 ()</td></tr><tr><td>d. 効率が上がらない(期待できない)</td><td>j. 当事業所には関連しない</td></tr><tr><td>e. 消費者や納入先の協力が得られない</td><td>k. 特に問題はない</td></tr><tr><td>f. 引き取ってくれる業者が確保できない</td><td></td></tr></table>			a. 費用がかかる	g. 一緒に協力して実施する事業所がない	b. 手間や時間がかかる	h. 方法がわからない	c. 場所を取る	i. その他 ()	d. 効率が上がらない(期待できない)	j. 当事業所には関連しない	e. 消費者や納入先の協力が得られない	k. 特に問題はない	f. 引き取ってくれる業者が確保できない	
a. 費用がかかる	g. 一緒に協力して実施する事業所がない													
b. 手間や時間がかかる	h. 方法がわからない													
c. 場所を取る	i. その他 ()													
d. 効率が上がらない(期待できない)	j. 当事業所には関連しない													
e. 消費者や納入先の協力が得られない	k. 特に問題はない													
f. 引き取ってくれる業者が確保できない														

問7 問6でおうかがいした取組のほかに、貴事業所では、どのような環境保全の取組を実施していますか。
以下のそれぞれの項目について、1～6のうち、あてはまる番号を1つだけ選び○をつけてください。

A. 大気環境保全	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 通常業務における自動車使用の抑制	1	2	3	4	5	6
② 低公害車の導入の推進	1	2	3	4	5	6
③ 停車時のアイドリングを控えるように指導	1	2	3	4	5	6
④ 大気汚染物質の排出抑制	1	2	3	4	5	6

B. 水・土壌環境保全	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 汚水発生量を減少させるための製造工程の改善	1	2	3	4	5	6
② 製造工程で発生した冷却水や処理水の再利用	1	2	3	4	5	6
③ 用水使用量の把握と削減目標の設定	1	2	3	4	5	6
④ 雨水を貯水して利用	1	2	3	4	5	6
⑤ 節水器具の設置	1	2	3	4	5	6
⑥ 土壌・地下水汚染を防止するための有害物質の適正な管理	1	2	3	4	5	6

C. 騒音・振動・悪臭	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 防音壁や防音ダクトなどの設備の配置	1	2	3	4	5	6
② 低騒音・振動型の機器・機材の導入	1	2	3	4	5	6
③ 脱臭装置の設置	1	2	3	4	5	6
④ 騒音・振動・悪臭を防止するための製造工程の改善	1	2	3	4	5	6

D. 廃棄物の減量・リサイクル	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 空き瓶・空き缶、古紙等の分別排出の実施	1	2	3	4	5	6
② 資料等の作成枚数の最少化、両面コピーを指導	1	2	3	4	5	6
③ リサイクルしやすい材料の使用の推進	1	2	3	4	5	6
④ 再生材や再生可能資源（紙、木材、バイオマスプラスチック等）の使用の推進	1	2	3	4	5	6
⑤ 製品の包装や梱包の簡素化の実施	1	2	3	4	5	6
⑥ 廃棄物排出量削減やリサイクル率に関する目標の設定	1	2	3	4	5	6

E. カーボンニュートラル	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 事業所内の冷暖房温度の適切な管理	1	2	3	4	5	6
② 不必要時には、電灯を消し、O A 機器の電源を切る	1	2	3	4	5	6
③ 省エネ型の機器の導入	1	2	3	4	5	6
④ 照明の間引き点灯の実施	1	2	3	4	5	6
⑤ エネルギー使用状況の把握	1	2	3	4	5	6
⑥ 省エネルギーに関する目標の設定	1	2	3	4	5	6
⑦ エコドライブの実施	1	2	3	4	5	6
⑧ 2050年カーボンニュートラルに向けた2030年目標の設定	1	2	3	4	5	6
⑨ 再生可能エネルギー設備の導入	1	2	3	4	5	6
⑩ 再生可能エネルギー電気の調達	1	2	3	4	5	6
⑪ グリーン燃料の調達	1	2	3	4	5	6
⑫ 気候変動適応策の推進、普及啓発活動	1	2	3	4	5	6

F. 地球環境保全	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 特定フロン使用の冷暖房設備を代替フロン・ノンフロンに転換	1	2	3	4	5	6
② フロン使用の機器等の処分時には、フロンを回収する	1	2	3	4	5	6
③ フロン使用の機器等の簡易点検や定期点検を実施し、記録保存する	1	2	3	4	5	6
④ 海外研修生の受入れや環境技術の海外移転への協力	1	2	3	4	5	6
⑤ 事業活動に伴い発生する二酸化炭素排出量（年間）の把握	1	2	3	4	5	6
⑥ J-クレジット制度の認証取得	1	2	3	4	5	6

G. 自然環境の保全	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 事業活動による生物多様性への影響の把握・分析	1	2	3	4	5	6
② 生物多様性に配慮された原材料の調達	1	2	3	4	5	6
③ 生物多様性の保全に役立つ技術の開発・普及	1	2	3	4	5	6
④ 所有地における多様な生きものが成育・生息しやすい環境整備や生物多様性の保全に貢献する土地管理の実施	1	2	3	4	5	6
⑤ 従業員に対する生物多様性の保全や持続可能な利用に関する教育の実施	1	2	3	4	5	6
⑥ 社会貢献活動として生物多様性の保全の取組の実施や支援	1	2	3	4	5	6

H. 活動その他	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 美化活動、森林整備、環境イベント等、地域の環境保全活動参加	1	2	3	4	5	6
② 地域住民への環境関連情報の公開	1	2	3	4	5	6
③ 環境基金への寄付等、環境保全に対する資金的な支援	1	2	3	4	5	6
④ ゴミや汚染物質の発生量が少ない商品の開発	1	2	3	4	5	6
⑤ 施設内の緑化をすすめる	1	2	3	4	5	6
⑥ 国際規格 ISO14001、エコアクション 21、環境 GS の認証取得	1	2	3	4	5	6
⑦ ネイチャーポジティブ宣言、自然共生サイト、新法「生物多様性増進活動促進法」による増進活動実施計画	1	2	3	4	5	6

Ⅲ 環境保全のための体制

貴事業所における環境保全のための体制について、おうかがいします。

問 8 (1) 貴事業所では、企業（事業所）活動に伴う環境問題を専門に担当する部署を設置していますか。
次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。（○は1つ）

1. 当事業所に設置している
 2. 当事業所には設置していないが、本社など会社組織の中には設置している
 3. 当事業所にも、本社など会社組織にもないが、今後設置する予定はある
 4. 当事業所にも、本社など会社組織にもなく、今のところ設置する予定もない
1. 当事業所に設置している → 問8(2)へ
 2. 当事業所には設置していないが、本社など会社組織の中には設置している → 問8(2)へ
 3. 当事業所にも、本社など会社組織にもないが、今後設置する予定はある → 問9へ
 4. 当事業所にも、本社など会社組織にもなく、今のところ設置する予定もない → 問9へ

- (2) 上記(1)で「設置している」と回答した方におうかがいします。
その部署の策定年と活動内容をお答えください。(〇はいくつでも)

策定年(西暦) _____ 年

活動内容

1. 排ガスや排水等の監視、公害防止
2. 廃棄物の処理や処理状況の確認
3. 環境関連法規制の把握と対応
4. 環境保全に関する経営戦略や全社的な企画等の立案
5. その他 → 具体的に(_____)

問9 貴事業所では、環境方針や環境保全ガイドラインなどを策定していますか。

次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。(〇は1つ)

1. 当事業所として策定している _____
 2. 当事業所としては策定していないが、会社全体としては定めている _____
 3. まだ策定していないが、今後策定する予定はある
 4. 今のところ策定する予定はない
- 策定年(西暦) _____ 年

問10 貴事業所では、取引先から環境に関する取組を求められていますか。

次の中から、あてはまる番号すべてに、○をつけてください。(〇はいくつでも)

1. 国際規格 ISO14001 の認証取得を求められている
2. 環境活動評価プログラム(環境省のエコアクション21)、環境GSへの参加を求められている
3. 取引先の示した基準や指針に基づく取組を求められている
4. 環境への取組をアンケートなどで問われたことがある
5. 自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)の開示を求められている
6. 特に求められたことはない

問11 貴事業所では、環境保全に関する社員教育をどのように実施していますか。

次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。(〇は1つ)

1. 全社員に対して環境教育を年1回以上実施している
2. 管理職または環境に関連する部署の社員に対して環境教育を実施している
3. 特に研修制度は設けていないが省資源やリサイクルについて社員に呼びかけている
4. 特に環境保全に関する社員教育は行っていない
5. わからない

問 1 2 貴事業所における環境保全活動の経費の増減は、どのような状況ですか。

次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。（○は1つ）

1. ここ数年で、環境保全活動の経費は、急激に増加した
2. 年々、環境保全活動の経費は、少しずつ増加している
3. 環境保全活動の経費は、ほとんど増減していない
4. 年々、環境保全活動の経費は、少しずつ減少している
5. ここ数年で、環境保全活動の経費は、急激に減少した
6. わからない

問 1 3 環境保全活動を実施して、得られているメリットはどのようなことですか。

次の中から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 地域や顧客からの信頼を得られた
2. 経費が削減できた
3. 社員の環境保全に対する意識を高められた
4. 新しい製品やサービスが考案された
5. 競争力が維持されている
6. 取引上の優位性がある
7. 環境保全活動を実施しているが、特にメリットはない
8. 何のメリットがあるか、わからない
9. 環境保全活動は実施していない
10. その他（ ）

問 1 4 貴事業所が実施している環境保全活動で、消費者や取引先などに PR したいものは何ですか。

A・Bそれぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

A. 事業所の内部での活動（事業所内でのリサイクルや、省エネなど）

1. 事業所を出る廃棄物のリサイクル
2. 再生紙など再生利用製品の積極的利用
3. 太陽熱の利用や、太陽光発電など、自然エネルギーの利用
4. 排水・雨水などを利用した節水
5. 低公害車の導入
6. 国際規格 ISO14001 等の認証取得や環境活動評価プログラムへの参加
7. その他（ ）
8. 特になし

IV 環境保全に対する考え方

問 1 6 貴事業所では、環境保全に対する企業の役割について、どのようにお考えですか。
 以下それぞれの項目について、1～4のうち、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。
 (○は1つ)

	非常に重要である	重要である	必要ない	わからない
① 事業活動に伴う環境への負荷（排ガスや排水、廃棄物など）をできるだけ少なくする	1	2	3	4
② 環境にやさしい商品等を製造・販売することで、消費者の行動を環境保全型へと誘導する	1	2	3	4
③ 自らが製造・販売した商品等については、最終的にそれが廃棄されるまで責任を持つ	1	2	3	4
④ 商品の環境に関わる情報などを積極的に公開、提供する	1	2	3	4
⑤ 開発途上国における公害問題など、国際的な環境保全に協力する	1	2	3	4
⑥ 企業も一市民として地域の環境保全活動へ参加、協力する	1	2	3	4
⑦ 国や地方自治体の環境保全施策に協力する	1	2	3	4

V 行政への要望

問 1 7 貴事業所では、今後、環境保全に対し、国や県などの行政にどのような対応を望みますか。
 下欄にお書きください。（自由記述）

以上でアンケートは終わりです。
 ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

この調査票は同封の返信用封筒に入れ、**10月4日(金)**
 までにご返送ください。

環境問題に関する事業所意識
アンケート報告書
令和7年2月
群馬県 環境森林部 環境政策課
〒371-8570 群馬県前橋市大手町 1-1-1
TEL. 027-226-2811

この報告書は、再生紙を利用しています。